令和６年度

新潟県産業廃棄物実態調査報告書

（令和５年度実績）

令和７年３月

新潟県環境局　資源循環推進課

～ 目 次 ～

＜総　論＞ ---- 1
１．調査の目的 ---- 1
２．調査の概要 ---- 1
（１）調査の対象期間 ---- 1
（２）調査対象廃棄物 ---- 1
（３）調査対象業種 ---- 1
（４）調査方法 ---- 1
３．調査結果の概要 ---- 1
（１）排出量 ---- 2
（２）再生利用量 ---- 2
（３）最終処分量 ---- 2

第１章 調査の概要 ---- 4
第１節 調査の目的（再掲） ---- 4
第２節 調査に関する基本的事項 ---- 4
１． 調査対象期間 ---- 4
２． 調査対象廃棄物 ---- 4
３． 調査対象業種 ---- 5
４． 調査対象地域 ---- 7
５． 発生量及び処理状況の流れ図 ---- 8
第３節 調査の方法 ---- 10
１． 調査方法の概要 ---- 10
２． アンケート調査について ---- 10
３． 発生原単位の算出と調査対象全体の発生量の推計方法 ---- 12
４． 調査結果の利用上の留意事項 ---- 15
５． 標本抽出・回収結果 ---- 16

第２章 調査結果 ---- 18
第１節 調査結果の概要 ---- 18
第２節 廃棄物の発生・処理状況 ---- 19
１． 発生及び処理状況の概要 ---- 19
２． 排出の状況 ---- 23
３． 中間処理などの状況 ---- 27
第３節 業種別の調査結果 ---- 32
１． 農業（林業を除く） ---- 32
２． 鉱業 ---- 34
３． 建設業 ---- 36

４．　製造業 ---------- 38
５．　電気・水道業 ---------- 41
６．　運輸業、医療・福祉、サービス業等の業種 ---------- 44
第４節 特別管理産業廃棄物の発生・処理状況 ---------- 48
１．　発生及び処理状況の概要 ---------- 48
２．　業種別の状況 ---------- 49
３．　種類別の状況 ---------- 50
第５節 広域移動状況 ---------- 51
１．　県外への搬出状況 ---------- 51
２．　県内への搬入状況 ---------- 53

第３章 産業廃棄物の推移と将来の見込み ---------- 55
第１節 前回調査結果との比較 ---------- 55
第２節 目標値との比較 ---------- 58
第３節 将来の見込み ---------- 60

第４章 資源循環の意識調査 ---------- 65
第１節 資源循環の取り組みと課題 ---------- 65
１．　調査概要 ---------- 65
２．　調査結果 ---------- 65
第２節 資源循環の意識調査（製造業） ---------- 67
１．　製品/製造プロセスで使用されているプラスチックの資源循環について ---------- 67
２．　製品/製造プロセスでの資源循環について（プラスチック以外） ---------- 69
３．　廃棄物処理の委託先への要望 ---------- 70

＜総　論＞

１．調査の目的

本調査は、令和 5 年度における県内の産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を調査し、併せて将来の予測を行うことにより、「(第３次) 新潟県資源循環型社会推進計画」改定のための基礎資料を得ることを目的とした。

２．調査の概要

（１）調査の対象期間

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日までの 1 年間（令和 5 年度）

（２）調査対象廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び同法施行令に定める産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物

（３）調査対象業種

農業、鉱業、建設業、製造業、電気・水道業など

（４）調査方法

調査は、郵送によるアンケート調査と既存資料等により行い、回答を得た産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する指標（製造品出荷額等）を基に新潟県内の産業廃棄物の量を推計した。

３．調査結果の概要

令和 5 年度の排出量は、9,173 千トンであり、再生利用量は、4,416 千トン(排出量の 48.1%)、減量化量は、4,608 千トン（同 50.2%)、最終処分量は 146 千トン（同 1.6%）となっている。

平成 30 年度と比較すると、排出量が 311 千トン増加しており、再生利用量が 644 千トン増加、減量化量が 315 千トン減少、最終処分量が 20 千トン減少となっている。

処分比率を平成 30 年度と比較すると、再生利用率は 42.6%から 48.1%と 5.5 ポイント増加しており、減量化率は 55.6%から 50.2%と 5.4 ポイント減少、最終処分率は 1.9%から 1.6%と 0.3 ポイント減少している。

表-1　発生量及び処理処分量の推移

（単位：千 t/年）

	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量
平成 30 年度	9,000	138	8,862 (100%)	3,772 (42.6%)	4,923 (55.6%)	166 (1.9%)	1 (0.0%)
令和 5 年度	**9,328**	**155**	**9,173 (100%)**	**4,416 (48.1%)**	**4,608 (50.2%)**	**146 (1.6%)**	**3 (0.0%)**
増減	**328**	**17**	**311**	**644**	**▲315**	**▲20**	**2**

注）各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計は一致しない場合がある。

（１）排出量

令和 5 年度の排出量を種類別にみると、汚泥が 4,399 千トンで最も多く、次いで、がれき類が 2,091 千トン、動物のふん尿が 860 千トンとなっている。

排出量を業種別にみると、製造業が 3,355 千トンで最も多く、次いで、建設業が 2,755 千トン、電気・水道業が 1,624 千トン、農業が 862 千トンとなっている。

（２）再生利用量

令和 5 年度の再生利用量を種類別にみると、がれき類が 2,033 千トンで最も多く、次いで、動物のふん尿が 632 千トン、汚泥が 467 千トン、木くずが 213 千トンとなっている。

再生利用量を業種別にみると、建設業が 2,521 千トンで最も多く、次いで、製造業が 873 千トン、農業が 633 千トン、鉱業が 183 千トンとなっている。

（３）最終処分量

令和 5 年度の最終処分量を種類別にみると、がれき類 46 千トンで最も多く、汚泥 27 千トン、ガラス陶磁器くずが 18 千トンとなっている。

最終処分量を業種別にみると、建設業が 89 千トンで最も多く、次いで、製造業が 53 千トンとなっている。

表-2　種類別の排出量及び処理処分量

（単位：千ｔ/年）

項目／種類	排出量			再生利用量			最終処分量		
	H30	R5	増減	H30	R5	増減	H30	R5	増減
合　計	8,862	**9,173**	311	3,772	**4,416**	644	166	**146**	△20
燃え殻	56	**22**	△33	97	**90**	△7	18	**9**	△10
汚泥	4,735	**4,399**	△336	537	**467**	△70	17	**27**	11
廃油	122	**194**	72	11	**74**	63	0	**0**	△0
廃酸	276	**290**	14	10	**51**	41			
廃アルカリ	62	**145**	82	20	**102**	81			
廃プラ類	117	**209**	92	66	**117**	51	19	**6**	△12
紙くず	21	**24**	3	19	**22**	3	0	**0**	△0
木くず	202	**235**	33	166	**213**	47	3	**5**	2
繊維くず	2	**3**	1	1	**1**	0	0	**0**	△0
動植物性残さ	44	**29**	△15	29	**5**	△24	0		△0
動物系固形不要物	0	**0**	0						
ゴムくず	0	**1**	1	0	**1**	1	0	**0**	0
金属くず	110	**123**	13	107	**114**	7	2	**9**	6
ガラス陶磁器くず	219	**191**	△28	181	**169**	△12	41	**18**	△23
鉱さい	149	**205**	56	131	**190**	59	19	**15**	△3
がれき類	1,568	**2,091**	523	1,537	**2,033**	496	23	**46**	22
動物のふん尿	999	**860**	△140	718	**632**	△87			
動物の死体	1	**1**	0	1	**1**	0			
ばいじん	119	**76**	△43	113	**83**	△30	1	**4**	3
水銀廃棄物	－	**3**	－	－	**2**	－	－	**0**	－
その他の産業廃棄物	59	**73**	14	26	**48**	22	23	**7**	△16

注）各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計は一致しない場合がある。

注）「0」表示は 500ｔ/年未満の増加、「△0」表示は 500ｔ/年未満の減少、空欄表示は該当値がないものを示す。

注）水銀廃棄物は今回調査から項目に追加。

表-3　業種別の排出量及び処理処分量

（単位：千ｔ/年）

項目 / 業種	排出量			再生利用量			最終処分量		
	H30	R5	増減	H30	R5	増減	H30	R5	増減
合　計	8,862	**9,173**	311	3,772	**4,416**	644	166	**146**	△20
農業	1,010	**862**	△148	726	**633**	△92	0	**0**	△0
鉱業	608	**486**	△122	144	**183**	40	0	**1**	1
建設業	2,174	**2,755**	581	1,988	**2,521**	533	90	**89**	△2
製造業	3,190	**3,355**	165	614	**873**	260	62	**53**	△9
電気・水道業	1,713	**1,624**	△89	219	**141**	△78	2	**1**	△0
運輸業	71	**5**	△66	35	**4**	△31	1	**0**	△0
卸・小売業	50	**46**	△4	38	**38**	△0	8	**1**	△7
医療・福祉	14	**18**	4	1	**1**	0	2	**2**	0
サービス業	30	**20**	△9	4	**18**	14	1	**0**	△1
その他の業種	4	**3**	△1	3	**2**	△1	0	**0**	△0

注）各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計は一致しない場合がある。

注）「0」表示は 500ｔ/年未満の増加、「△0」表示は 500ｔ/年未満の減少、空欄表示は該当値がないものを示す。

第１章　調査の概要

第１節　調査の目的（再掲）

本調査は、令和 5 年度における県内の産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を調査し、併せて将来の予測を行うことにより、「(第３次) 新潟県資源循環型社会推進計画」改定のための基礎資料を得ることを目的とした。

第２節　調査に関する基本的事項

１．調査対象期間

令和 5 年４月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 1 年間（令和 5 年度）

２．調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「法」という。) 及び同法施行令に定める表 1-2-1 及び表 1-2-2 の産業廃棄物及び有償物とした。

なお、これらの産業廃棄物のうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて種類をさらに区別した。

表 1-2-1　産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例等
1	燃え殻	
2	汚泥	有機性汚泥、無機性汚泥
3	廃油	一般廃油、廃溶剤、その他の廃油
4	廃酸	
5	廃アルカリ	
6	廃プラスチック類	廃プラスチック、廃タイヤ ※本報告書における図表では「廃プラ類」と略した
7	紙くず	
8	木くず	
9	繊維くず	
10	動植物性残さ	
11	動物系固形不要物	
12	ゴムくず	
13	金属くず	
14	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	※本報告書における図表では、「ガラス陶磁器くず」と略した
15	鉱さい	
16	がれき類	コンクリート片、廃アスファルト、その他の建設廃材
17	動物のふん尿	
18	動物の死体	
19	ばいじん	
20	水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん	※本報告書における図表では、「水銀廃棄物」と略した
21	処分するために処理したもの	
22	その他の産業廃棄物	混合物等

表 1-2-2　特別管理産業廃棄物の区分

	調査対象廃棄物	細区分化の例等
1	廃油	揮発油類、灯油類、軽油類
2	廃酸	pH が 2.0 以下の廃酸
3	廃アルカリ	pH が 12.5 以上の廃アルカリ
4	感染性廃棄物	
5	廃石綿等	
6	廃水銀	
7	特定有害廃棄物	

また、次に示す有償物、廃棄物等については以下の取り扱いとした。

・ 法令上廃棄物とされていない有償物で、今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるもの（具体的には、金属スクラップなど）については、今回の調査対象に含めた。

・ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、法で指定された業種から排出された廃棄物のみが産業廃棄物となる。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ及び動物系固形不要物については、事業系一般廃棄物とし、産業廃棄物の集計から除外した。
ただし、貨物の流通のために使用したパレット（こん包用の木材を含む）については、業種による限定が設けられていないため、すべての業種で木くずとして集計した。

・ 酸性又はアルカリ性を呈する排水であって、これを公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行った場合は、中和処理後に生じた汚泥（沈殿物）を発生量とした。

・ 廃棄物を自己焼却処理した後に燃え殻が発生する場合は、焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

３．調査対象業種

調査対象業種は、「日本標準産業分類（令和 5 年 7 月改定、総務省）」に記載された分類を基本に、産業廃棄物の排出量等を勘案し、表 1-2-3 の業種とした。

なお、本報告書では業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-2-3　調査対象業種

業　種　名	略　称
<農業，林業＞	農　業
<漁業>	漁　業
<鉱業，採石業，砂利採取業>	鉱　業
<建設業>	建設業
<製造業> 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業（家具を除く） 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電気部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食　料　品 飲 料 ・ 飼 料 繊　維 木　材 家　具 パ ル プ ・ 紙 印　刷 化　学 石 油 ・ 石 炭 プ ラ ス チ ッ ク ゴ　ム 皮　革 窯 業 ・ 土 石 鉄　鋼 非 鉄 金 属 金　属 は ん 用 機 器 生 産 用 機 器 業 務 用 機 器 電 子 部 品 電 気 機 器 情 報 機 器 輸 送 機 器 そ の 他
<電気・ガス・熱供給・水道業> 電気業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・水道業 電　気　業 上 水 道 業 工 業 用 水 道 業 下 水 道 業
<情報通信業> 通信業 放送業 情報サービス業 その他情報通信業	情報通信業
<運輸業，郵便業＞ 道路旅客運送業 道路貨物運送業 その他運輸・郵便業	運　輸　業
<卸売業，小売業> 自動車小売業 燃料小売業 その他卸売・小売業	卸・小売業
<不動産業，物品賃貸業> 物品賃貸業	物品賃貸業
<学術研究，専門・技術サービス業> 自然科学研究所 写真業	学術・専門
<生活関連サービス業，娯楽業> 洗濯業	生活・娯楽業
<医療，福祉> 病院 一般診療所	医療・福祉 病　院 一般診療所
<サービス業> 自動車整備業 と畜場 その他サービス業	サービス業

注）＜　＞内は大分類、その他は中・小分類（日本標準産業分類による）

４．調査対象地域

調査対象地域は新潟県内全域とし、表 1-2-4 に示す構成市町村による 6 地域に区分した。

表 1-2-4　地域区分

地　域　名	構　成　市　町　村
下越地域	新発田市、村上市、胎内市、聖籠町、関川村、粟島浦村
新潟地域	新潟市、五泉市、阿賀野市、阿賀町
中越地域	長岡市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、見附市、燕市、 弥彦村、田上町、出雲崎町、刈羽村
魚沼地域	十日町市、津南町、魚沼市、南魚沼市、湯沢町
上越地域	上越市、妙高市、糸魚川市
佐渡地域	佐渡市

５．発生量及び処理状況の流れ図

調査集計結果は、図 1-2-1 に示す発生量及び処理状況の流れ図に示した項目により、とりまとめた。

なお、図 1-2-1 に示した各項目の用語の定義は、表 1-2-5 に示すとおりである。

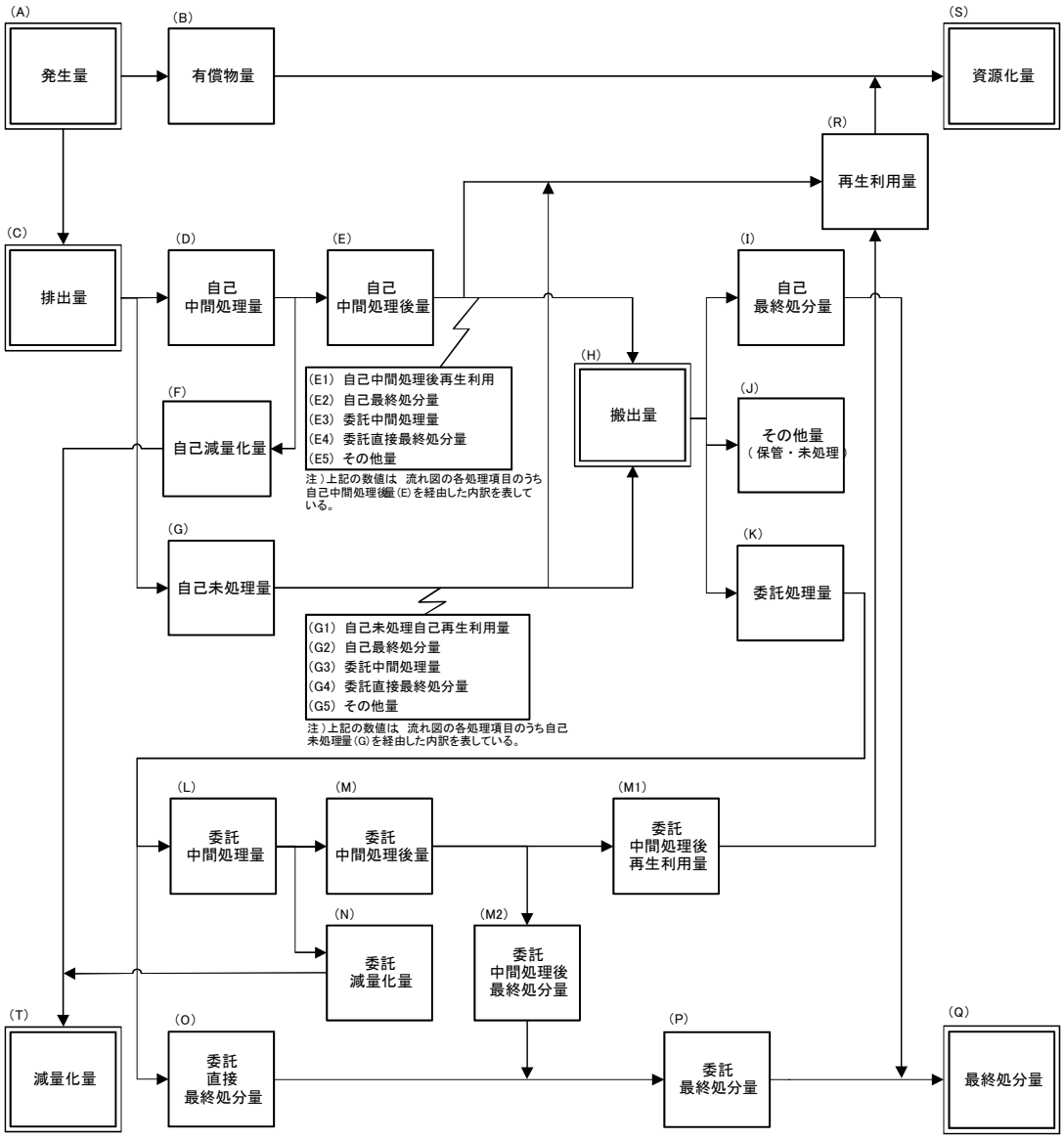


図 1-2-1　発生量及び処理状況の流れ図

表 1-2-5　発生量及び処理状況の流れ図の項目に関する用語の定義

項　目	定　義
(A)発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物及び有償物量
(B)有償物量	(A)の発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量
(C)排出量	(A)の発生量のうち、(B)の有償物量を除いた量
(D)自己中間処理量	(C)の排出量のうち、自ら中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G)自己未処理量	(C)の排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1)自己未処理自己再生利用量	(G)の自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2)自己最終処分量	(G)の自己未処理量のうち、自己最終処分された量
(G3)委託中間処理量	(G)の自己未処理量のうち、委託中間処理された量
(G4)委託直接最終処分量	(G)の自己未処理量のうち、委託直接最終処分された量
(G5)その他量	(G)の自己未処理量のうち、その他となった量
(E)自己中間処理後量	(D)で自己中間処理された後の廃棄物量
(E1)自己中間処理後再生利用量	(E)の自己中間処理後量のうち、自ら利用したもの又は他者に有償で売却した量
(E2)自己最終処分量	(E)の自己中間処理後量のうち、自己最終処分された量
(E3)委託中間処理量	(E)の自己中間処理後量のうち、委託中間処理された量
(E4)委託直接最終処分量	(E)の自己中間処理後量のうち、委託直接最終処分された量
(E5)その他量	(E)の自己中間処理後量のうち、その他となった量
(F)自己減量化量	(D)の自己中間処理量から(E)の自己中間処理後量を差し引いた量
(H)搬出量	(I)の自己最終処分量、(J)のその他量、(K)の委託処理量の合計
(I)自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J)その他量	保管されている量又はそれ以外の（年度内に処理されなかった）量
(K)委託処理量	中間処理及び最終処分を委託した量
(L)委託中間処理量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(O)委託直接最終処分量	(K)の委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(M)委託中間処理後量	(L)で中間処理された後の廃棄物量
(M1)委託中間処理後再生利用量	(M)の委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用し又は他者に有償で売却した量
(M2)委託中間処理後最終処分量	(M)の委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N)委託減量化量	(L)の委託中間処理量から(M)の委託中間処理後量を差し引いた量
(P)委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q)最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R)再生利用量	排出事業者と処理業者等で再生利用された量
(S)資源化量	(B)の有償物量と(R)の再生利用量の合計
(T)減量化量	排出事業者、処理業者等の中間処理により減量された量

第３節　調査の方法

１．調査方法の概要

本調査は、郵便配布（回収）によるアンケート調査及び資料調査により実施した。アンケート調査の対象業種のうち標本調査を実施した業種については、原単位法によって調査対象全体の発生量等の推計値を算出した。各業種における調査方法は表 1-3-1 に示すとおりである。

表 1-3-1　業種別の調査方法等

業種	調査方法			推計方法等
	アンケート調査		資料調査	
	全数調査	標本調査		
農業（林業を除く）			○	県保有の資料等を用いて発生量等の実績値を把握した。
電気・水道業	○			電気・水道業に属するすべての事業所に対してアンケート調査を行い、発生量等の実績値を把握した。
上記以外の業種		○		上記以外の業種に属する事業所から調査対象事業所を抽出してアンケート調査を行い、回答を得た産業廃棄物の発生量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する活動量指標を基に、発生量等を推計した。

２．アンケート調査について

（１）全数調査

全数調査は、対象業種に属する全ての事業所に対して、郵便配布（回収）によるアンケート調査を行い、その発生量及び処理状況の実績量を把握した。

（２）標本調査

標本調査は、標本調査対象業種に分類される事業所から調査事業所を抽出し、郵便配布（回収）によるアンケート調査を実施した。

回答を得た産業廃棄物の発生量及び処理状況に関する内容と産業廃棄物の発生量を説明する活動量指標（元請完成工事高、製造品出荷額等、従業者数等）を基に、県内の産業廃棄物の発生量等を推計した。

（３）標本調査抽出方法

標本調査の抽出は、「事業所母集団データベース」に登録された県内の事業所と病院名簿に登録された病院等を対象として、業種別、従業者規模、地域別等に事業所を層別区分し、これらの各層ごとに実施した（表 1-3-2 参照）。

表 1-3-2　標本調査抽出方法

業種	抽出方法
農業（林業のみ）	○従業者数 30 人以上：全数 ○従業者数 5 人以上 30 人未満：無作為
漁業	
鉱業	
建設業	○資本金 3,000 万円以上：全数 ○資本金 3,000 万円未満：無作為
製造業	○従業者数 30 人以上：全数 ○従業者数 5 人以上 30 人未満：無作為
情報通信業	○従業者数 30 人以上：全数 ○従業者数 5 人以上 30 人未満：無作為
運輸業	
卸・小売業	
物品賃貸業	
学術・専門	
生活・娯楽業	
医療・福祉	○病院：全数 ○一般診療所：従業者数 30 人以上全数 従業者数 5 人以上 30 人未満：無作為
サービス業	○従業者数 30 人以上：全数 ○従業者数 5 人以上 30 人未満：無作為

（4）アンケート調査項目

アンケート調査の項目は、活動量指標と廃棄物の発生量及び処理状況に関するものとし、調査票の形式は、各業種の発生廃棄物や処理状況の特性を考慮して、「建設業」と「建設業以外」の 2 種類の調査票を作成した。

３．発生原単位の算出と調査対象全体の発生量の推計方法

（１）推計方法の考え方

調査対象全体の発生量は、全数調査、標本調査及び資料調査による発生量の合計により算出した。

全数調査及び資料調査は実績値の集計により求めるが、標本調査は標本以外の発生量について推計を行う必要がある。

その際、事業所によっては多量に産業廃棄物を排出するなど同業他社と比較し排出状況が大きく異なるなど特殊な標本を特異値とし、特異値以外の標本データのみを用いて原単位を作成しアンケート調査以外の部分を推計した（図 1-3-1 参照）。

こうして得られた発生量の実績値と推計値を足し合わせ、調査対象全体の発生量を推計した。

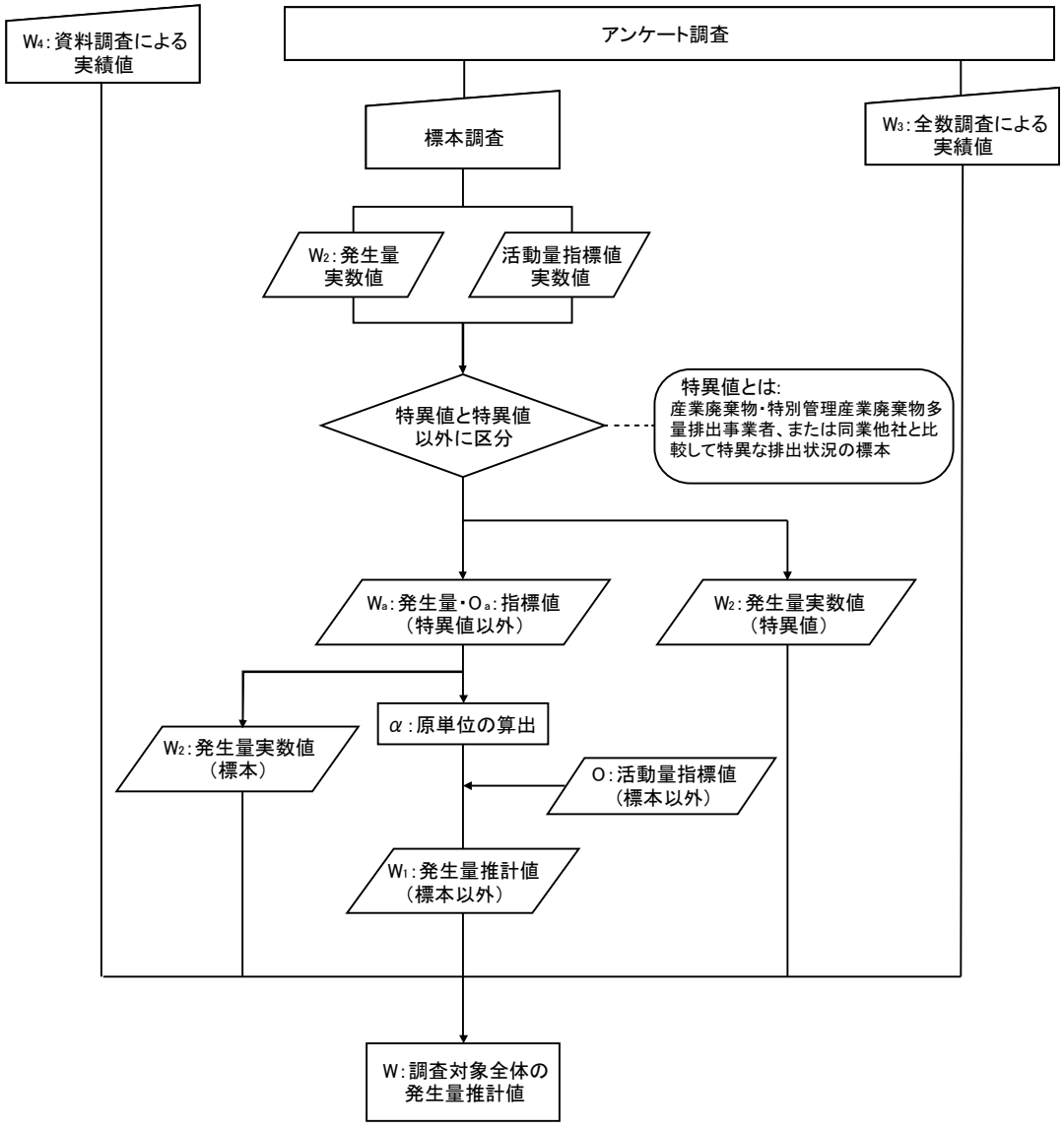


図 1-3-1　産業廃棄物の推計方法の概要図

（２）発生原単位の算出

発生原単位は、アンケート調査によって得られた標本の、業種別・種類別の集計産業廃棄物発生量と、業種別の集計活動量指標から算出した（図 1-3-2 A 式参照)。

なお、発生原単位は、図 1-3-1 に示すとおり特異値以外の標本を用いて算出した。

具体的には、特異値以外の標本の業種別・種類別の集計産業廃棄物発生量と集計活動量指標値から、業種別・種類別にそれぞれ算出した。

なお、特異値とは、多量排出事業者など廃棄物発生量が特に多い事業者や同業他社と比較して特異な排出状況の標本である。

（３）標本以外の発生量の推計方法

標本以外の発生量は、（２）で算出された発生原単位と、業種別の調査対象全体（母集団）における調査年度の標本による把握分以外の活動量指標を用いて推計した(図 1-3-2 B 式参照)。

（４）調査対象全体の発生量の推計

調査対象全体の発生量は、全数調査の発生量実績値、資料調査の発生量実績値、標本調査の発生量実績値及び標本以外の発生量推計値を積算し推計した（図 1-3-2 C 式参照)。

① 発生原単位の算出		
A 式 $\alpha = Wa \div Oa$	α	：産業廃棄物の発生原単位
	Wa	：特異値以外の集計産業廃棄物発生量
	Oa	：特異値以外の集計活動量指標値
② 標本以外の発生量の推計方法		
B 式 $W_1 = \alpha \times O$	W_1	：標本以外の発生量推計値
	α	：産業廃棄物の発生原単位
	O	：標本以外の活動量指標値
		（母集団指標値より標本で捕捉した指標値を除いた残り）
③ 調査対象全体の発生量の推計		
C 式 $W = W_1 + W_2 + W_3 + W_4$	W	：調査対象全体の発生量推計値
	W_1	：標本以外の発生量推計値
	W_2	：標本の発生量実績値
	W_3	：全数調査の発生量実績値
	W_4	：資料調査の発生量実績値

図 1-3-2　発生原単位と発生量の推計計算

（５）活動量指標

標本調査対象業種にて、推計に用いた活動量指標は、表 1-3-3 に示すとおりである。

表 1-3-3　業種別の活動量指標

産業分類		活動量指標等	出典
農業（林業のみ）		従業者数	令和３年度経済センサス－活動調査（統計局）
漁業			
鉱業			
建設業		元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（令和４年度実績）（国土交通省）
製造業		製造品出荷額等	令和４年工業統計調査結果（速報）（新潟県）
情報通信業		従業者数	令和３年度経済センサス－活動調査（統計局）
運輸業			
卸・小売業			
物品賃貸業			
学術・専門			
生活・娯楽業			
医療・福祉	病院	病床数	令和５年度病院名簿（新潟県）
	一般診療所	従業者数	令和３年度経済センサス－活動調査（統計局）
サービス業		従業者数	令和３年度経済センサス－活動調査（統計局）

４．調査結果の利用上の留意事項

（１）産業廃棄物の種類区分について

本報告書では、産業廃棄物の種類を、表 1-3-4 に示す 3 段階で設定した。

これは、焼却等の中間処理により廃棄物の種類が変化する場合があり、再生利用や最終処分される際には、変化した廃棄物の種類で捉えられているためである。

種類別の整理において、特に記載の無い場合は中間処理後の変化した廃棄物の種類で記載し、変化する前の廃棄物の種類で記載した場合には（種類別：無変換）と表現した。

表 1-3-4　中間処理による廃棄物の状態について

1 段階	発生時点の種類
2 段階	排出事業者の自己中間処理により、変化した処理後の種類 例：木くず→（焼却）→［燃え殻］ 注）1 段階時点の種類と事業者の中間処理方法に基づいて推計した。
3 段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類 注）2 段階時点の種類と委託中間処理方法に基づいて推計した。

（２）建設業の地域別発生量の推計方法

建設業は他の業種と違い、事業所のある場所が廃棄物の発生場所ではなく、工事現場が廃棄物の発生場所となっている。本調査では、建設業の各地域別の量を算出するため、建設業の全体量を地域別の人口数の割合で按分して算出した。

（３）単位と数値に関する処理

①単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて 1 年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千ｔ/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述した。

②数値の処理

本報告書に記載されている千トン表示及び割合（%）の数値は、四捨五入した値を使用しているために、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。

なお、図表中の「0」表示は 500ｔ/年未満であること、空欄表示は該当値がないものを示している。

③特別管理産業廃棄物について

本報告書は、第２章第４節以外では、特別管理産業廃棄物を含めた結果を産業廃棄物として記載した（例：引火性廃油→廃油に含む、廃水銀→水銀廃棄物に含む、特定有害廃酸→廃酸に含む）。

ただし、感染性廃棄物と詳細不明な特定有害廃棄物については、該当する産業廃棄物の種類がないため、「その他の産業廃棄物」として集計した。

５．標本抽出・回収結果

本調査では、新潟県内に所在する総事業所数 108,401 件（事業所母集団データベース）のうち、41,456 事業所をアンケート調査の対象とした。

このうち、業種特性、規模別特性等を考慮し、設定された業種別、従業者規模別の抽出率を基に、6,053 事業所を抽出し、郵送によるアンケート調査を実施した。

回答があった事業所は 3,536 事業所（回収率 58.4%）であり、このうち、廃業又は休業、建設業において県内元請工事の実績無し等の理由により、無効となった調査票を除いた有効調査票は、3,304 事業所（有効回答率 54.6%）であった。

表 1-3-5　標本抽出・回収結果

総事業所数	：108,401 事業所（事業所母集団データベース）
調査対象事業所数	：41,456 事業所
抽出事業所数	：6,053 事業所
回収事業所数	：3,536 事業所
回収率	：58.4%
有効調査票数	：3,304 事業所
有効回答率	：54.6%

抽出及び回収結果等は、表 1-3-6 のとおりであり、表中の項目の説明は次のとおりである。

(a)調査対象事業所数	：調査対象とした業種の県内全体の事業所数
(b)抽出事業所数	：調査対象事業所よりアンケート対象として抽出した事業所数
(c)抽出率	：b÷a×100
(d)回収事業所数	：アンケート調査票を送付し、調査票が回収（返送）された事業所数
(e)回収率	：d÷b×100
(f)有効調査票数	：廃業又は休業、建設業において県内元請工事の実績無し等の理由により無効となった調査票を除いた数
(i)指標捕捉率	：県全体（母集団）の活動量指標値に対する有効調査票による集計活動量指標値の割合 h÷g×100
(j)集計廃棄物発生量	：有効調査票の発生廃棄物の集計量
(k)推計廃棄物発生量	:「第１章第３節３．発生原単位の算出と調査対象全体の発生量の推計方法」に基づき推計した発生廃棄物の推計量
(l)捕捉率	：推計した廃棄物量に対する集計廃棄物量の割合 j÷k×100

表 1-3-6　標本抽出・回収結果等

業種名	調査対象事業所数	抽出事業所数	抽出率	回収数	回収率	有効調査票	有効回答率	県全体活動量	活動量集計値	指標捕捉率	集計廃棄物発生量（千t/年）	推計廃棄物発生量（千t/年）	捕捉率
	a	b	c=b/a	d	d/b	f		g	h	i=h/g	j	k	l=j/k
農業，林業	135	29	21.5%	25	86.2%	20	69.0%	1,192	465	39.0%	5	15	33.6%
林業	135	29	21.5%	25	86.2%	20	69.0%	1,192	465	39.0%	0	0	33.6%
漁業	62	24	38.7%	13	54.2%	11	45.8%	554	82	14.8%	0	0	14.8%
鉱業	92	36	39.1%	26	72.2%	26	72.2%	1,283	180	14.0%	176	488	36.0%
建設業	12,416	1,239	10.0%	846	68.3%	800	64.6%	1,531,483	628,721	41.1%	1,061	2,801	37.9%
製造業	10,164	2,526	24.9%	1,298	51.4%	1,206	47.7%	5,398,332	2,662,941	49.3%	2,512	3,447	72.9%
食料品	1,075	289	26.9%	151	52.2%	137	47.4%	757,273	413,492	54.6%	146	241	60.7%
飲料・飼料	178	53	29.8%	31	58.5%	31	58.5%	79,771	31,071	39.0%	3	7	48.4%
繊維	809	168	20.8%	74	44.0%	62	36.9%	56,817	10,677	18.8%	1	2	32.6%
木材	320	65	20.3%	35	53.8%	31	47.7%	37,711	5,461	14.5%	9	25	34.0%
家具	534	111	20.8%	56	50.5%	54	48.6%	34,219	19,158	56.0%	1	2	55.9%
パルプ・紙	160	58	36.3%	24	41.4%	22	37.9%	198,525	153,475	77.3%	1,180	1,278	92.4%
印刷	432	106	24.5%	55	51.9%	48	45.3%	79,887	79,887	100.0%	24	24	100.0%
化学	124	58	46.8%	44	75.9%	42	72.4%	869,072	429,151	49.4%	529	911	58.0%
石油・石炭	52	20	38.5%	17	85.0%	17	85.0%	21,632	9,977	46.1%	3	3	95.5%
プラスチック	341	88	25.8%	43	48.9%	41	46.6%	154,200	62,502	40.5%	9	22	40.5%
ゴム	42	23	54.8%	9	39.1%	8	34.8%	14,635	3,842	26.3%	1	2	56.7%
皮革	39	15	38.5%	6	40.0%	5	33.3%	2,775	236	8.5%	0	0	81.9%
窯業・土石	360	81	22.5%	54	66.7%	52	64.2%	104,457	62,479	59.8%	117	196	59.8%
鉄鋼	231	79	34.2%	55	69.6%	54	68.4%	315,170	149,591	47.5%	138	180	76.6%
非鉄金属	88	32	36.4%	14	43.8%	13	40.6%	97,041	23,232	23.9%	3	5	49.5%
金属	2,514	419	16.7%	205	48.9%	190	45.3%	668,020	158,320	23.7%	16	96	16.7%
はん用機器	361	89	24.7%	46	51.7%	44	49.4%	239,350	164,039	68.5%	17	25	68.5%
生産用機器	1,043	230	22.1%	108	47.0%	103	44.8%	438,558	356,886	81.4%	6	10	56.6%
業務用機器	138	70	50.7%	34	48.6%	33	47.1%	209,090	19,976	9.6%	1	6	10.7%
電子部品	216	99	45.8%	68	68.7%	60	60.6%	391,634	181,087	46.2%	270	340	79.4%
電気機器	316	144	45.6%	70	48.6%	66	45.8%	299,575	173,152	57.8%	9	15	57.7%
情報機器	38	28	73.7%	12	42.9%	10	35.7%	92,185	74,604	80.9%	0	0	17.0%
輸送機器	284	92	32.4%	40	43.5%	37	40.2%	192,236	72,073	37.5%	30	54	56.2%
その他	469	109	23.2%	47	43.1%	46	42.2%	44,499	8,573	19.3%	1	3	19.2%
電気・水道業	301	275	91.4%	240	87.3%	227	82.5%	－	－	－	1,624	1,624	100.0%
電気業	79	54	68.4%	52	96.3%	48	88.9%	－	－	－	97	97	100.0%
上水道業	130	129	99.2%	106	82.2%	101	78.3%	－	－	－	147	147	100.0%
工業用水道業	4	4	100.0%	4	100.0%	3	75.0%	－	－	－	12	12	100.0%
下水道業	88	88	100.0%	78	88.6%	75	85.2%	－	－	－	1,368	1,368	100.0%
情報通信業	836	157	18.8%	73	46.5%	61	38.9%	11,257	2,748	24.4%	0	1	8.4%
通信業	39	18	46.2%	9	50.0%	6	33.3%	115	223	193.9%	0	0	100.0%
新聞業	26	17	65.4%	7	41.2%	6	35.3%	712	64	9.0%	0	0	9.0%
出版業	21	10	47.6%	3	30.0%	3	30.0%	417	5	1.2%	0	0	1.3%
その他情報通信業	750	112	14.9%	54	48.2%	46	41.1%	10,013	2,456	24.5%	0	0	20.7%
運輸，郵便業	1,617	472	29.2%	261	55.3%	250	53.0%	52,247	13,825	26.5%	2	5	31.0%
道路旅客運送業	333	108	32.4%	66	61.1%	64	59.3%	8,173	2,286	28.0%	0	1	27.1%
道路貨物運送業	1,197	361	30.2%	192	53.2%	183	50.7%	30,901	10,231	33.1%	1	4	33.1%
その他運輸，郵便業	87	3	3.4%	3	100.0%	3	100.0%	13,173	1,308	9.9%	0	0	10.2%
卸売，小売業	10,392	614	5.9%	319	52.0%	295	48.0%	211,746	11,385	5.4%	4	48	8.1%
自動車小売業	1,998	152	7.6%	72	47.4%	69	45.4%	13,796	1,284	9.3%	2	12	15.2%
燃料小売業	1,080	108	10.0%	68	63.0%	61	56.5%	7,022	521	7.4%	0	2	7.2%
その他卸売，小売業	7,314	354	4.8%	179	50.6%	165	46.6%	190,928	9,580	5.0%	2	34	5.7%
不動産業	704	77	10.9%	40	51.9%	38	49.4%	5,304	484	9.1%	0	1	19.1%
物品賃貸業	704	77	10.9%	40	51.9%	38	49.4%	5,304	484	9.1%	0	1	19.1%
学術，専門	335	45	13.4%	23	51.1%	22	48.9%	1,831	420	22.9%	95	248	38.4%
学術・研究機関	103	20	19.4%	13	65.0%	13	65.0%	916	365	39.8%	0	0	40.3%
写真業	232	25	10.8%	10	40.0%	9	36.0%	915	55	6.0%	0	0	12.0%
生活，娯楽	807	81	10.0%	49	60.5%	47	58.0%	6,388	1,580	24.7%	1	1	71.9%
洗濯業	807	81	10.0%	49	60.5%	47	58.0%	6,388	1,580	24.7%	1	1	71.9%
医療，福祉	1,323	307	23.2%	239	77.9%	221	72.0%	41,511	20,565	49.5%	13	18	73.3%
病院	118	117	99.2%	100	85.5%	90	76.9%	27,852	19,090	68.5%	13	17	76.2%
一般診療所	1,205	190	15.8%	139	73.2%	131	68.9%	13,659	1,475	10.8%	0	1	27.4%
サービス業	2,272	171	7.5%	84	49.1%	80	46.8%	70,531	838	1.2%	1	32	3.6%
自動車整備業	931	112	12.0%	53	47.3%	52	46.4%	5,572	609	10.9%	1	10	10.8%
と畜場	2	2	100.0%	2	100.0%	2	100.0%	63	63	100.0%	0	0	96.3%
その他サービス業	1,339	57	4.3%	29	50.9%	26	45.6%	64,896	166	0.3%	0	22	0.2%
合計	41,456	6,053	14.6%	3,536	58.4%	3,304	54.6%				5,393	8,466	63.7%

注）水道業と病院は別リストから抽出。多量排出事業者は、県及び新潟市に令和6年度処理計画を提出した事業者。
　　多量排出事業者など、別名簿から抽出した事業者を含んでいるため、経済センサスによる事業所数とは異なる。
※　建設業は資本金500万円未満の事業所もしくは営業所等、その他業種は従業者数5人未満の事業所等。建設業の営業所等も除外。

第２章　調査結果

第１節　調査結果の概要

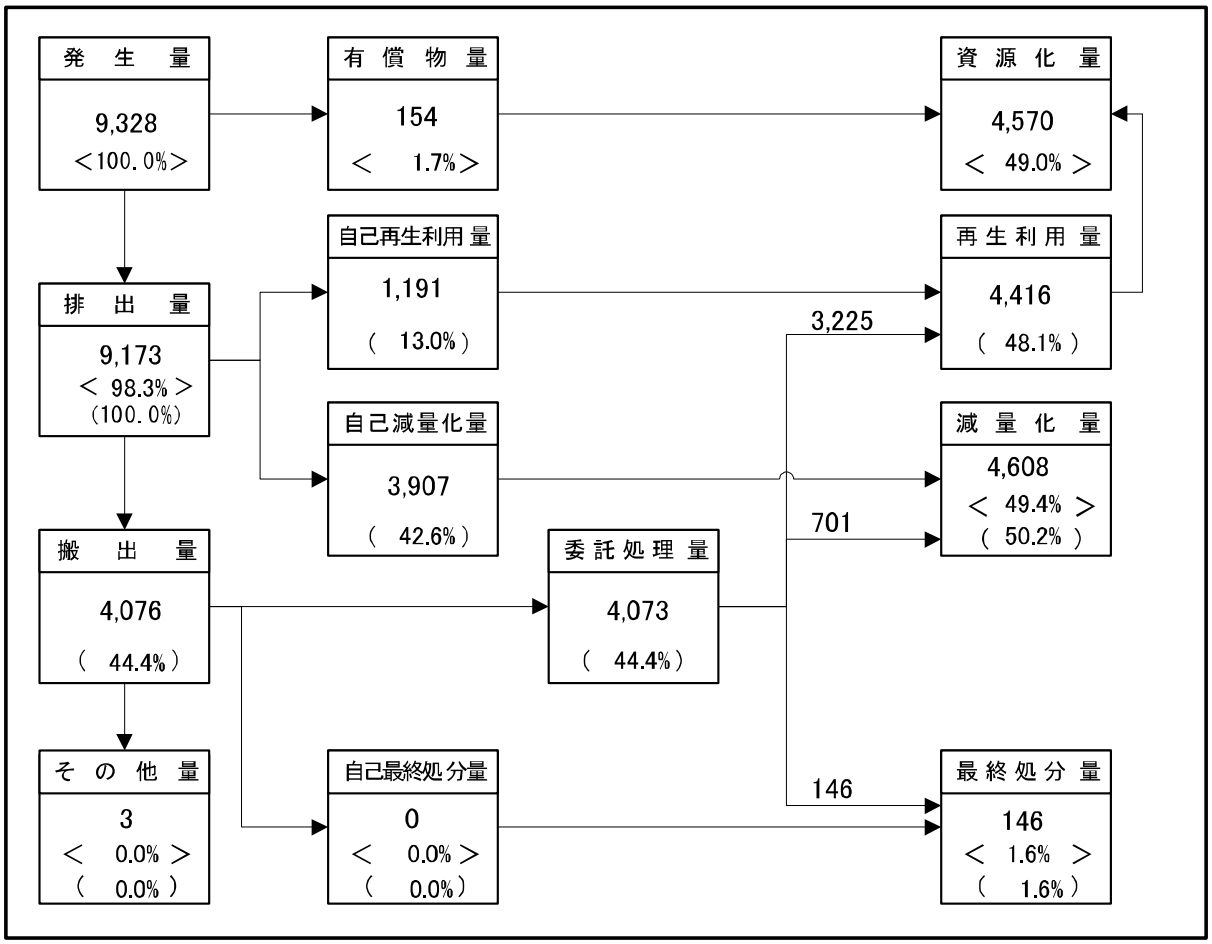
令和 5 年度における産業廃棄物の発生量は 9,328 千トンで、有償物量は 154 千トン（発生量の 1.7%）、排出量は 9,173 千トン（同 98.3%）となっている。

排出量 9,173 千トンのうち、排出事業者自らの中間処理により 3,907 千トン（排出量の 42.6%）が減量化され、また 1,191 千トン（同 13.0%）は自ら再生利用している。これらを除いた搬出量は 4,076 千トン（同 44.4%）となっている。

搬出量 4,076 千トンは、自己最終処分量及び委託処理量、その他量に区分される。委託処理量 4,073 千トン（同 44.4%）のうち、委託中間処理による減量化量が 701 千トン（同 7.6%）、再生利用量が 3,225 千トン（同 35.2%）、最終処分量が 146 千トン（同 1.6%）となっている。

県内で発生した産業廃棄物の流れをまとめると、再生利用量が 4,416 千トン（排出量の 48.1%）、減量化量が 4,608 千トン（同 50.2%）、最終処分量が 146 千トン（同 1.6%）となっている。

（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500ｔ/年未満であることを示している。
3.＜　　＞内の数値は発生量に対する割合を、（　　）内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-1-1　発生及び処理状況の概要

第２節　廃棄物の発生・処理状況

１．発生及び処理状況の概要

（１）発生量及び排出量

令和 5 年度の 1 年間に県内で発生した産業廃棄物の発生量は 9,328 千トンで、有償物量の 154 千トンを除いた排出量は 9,173 千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が 4,399 千トンと最も多く、次いで、がれき類の 2,091 千トン、動物のふん尿が 860 千トンとなっている。

（２）再生利用量

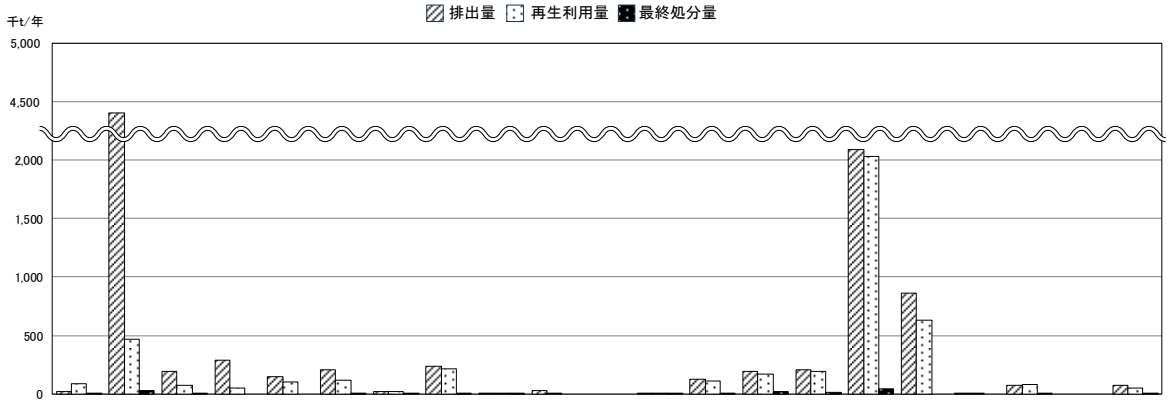
再生利用量は 4,416 千トンとなっており、再生利用率（排出量に対する割合）は 48.1%である。種類別にみると、がれき類が 2,033 千トンで最も多く、次いで、動物のふん尿が 632 千トン、汚泥が 467 千トンとなっている。

なお燃え殻については、汚泥や廃プラ類、木くずなどを焼却処理した後の残さを土木・建設資材やセメント原料に再生利用しているため、排出量より再生利用量の方が多くなっている。

（３）最終処分量

最終処分量は 146 千トンとなっており、最終処分率（排出量に対する割合）は 1.6%である。種類別にみると、がれき類が 46 千トンと最も多く、次いで、汚泥が 27 千トン、ガラス陶磁器くずが 18 千トン、鉱さいが 15 千トンとなっている。

ガラス陶磁器くずは、非飛散性の石綿等が含まれるため埋立処分される場合が多く、また、鉱さいも土木資材に資源化が図られているが、土木工事の状況に左右されるため、最終処分量が多くなっている。



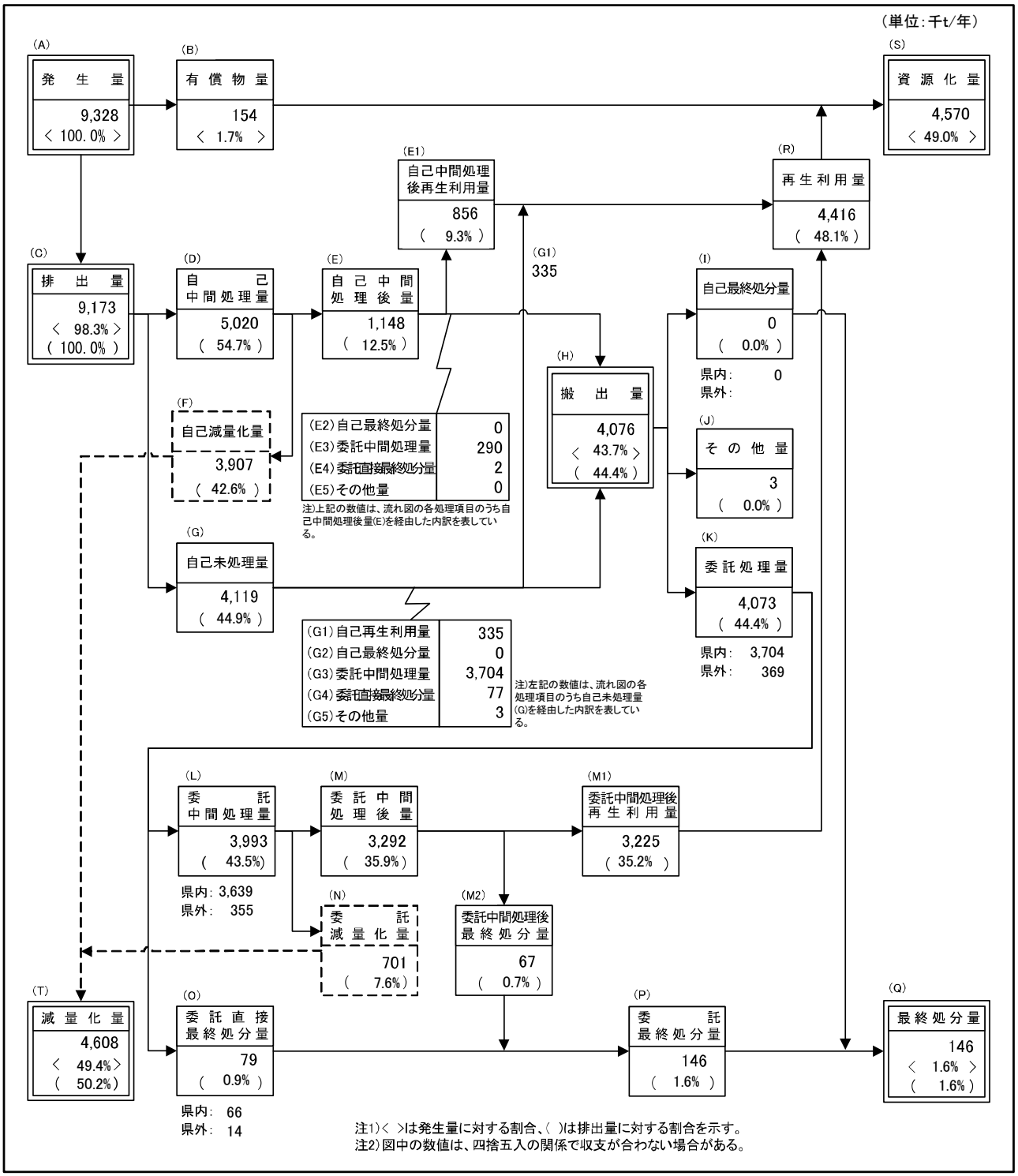
種類：変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	9,173	22	4,399	194	290	145	209	24	235	3	29	0	1	123	191	205	2,091	860	1	76	3	73
再生利用量	4,416	90	467	74	51	102	117	22	213	1	5		1	114	169	190	2,033	632	1	83	2	48
最終処分量	146	9	27	0			6	0	5	0			0	9	18	15	46			4	0	7

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-1　種類別の排出量、再生利用量、最終処分量

（４）処理の流れ

令和 5 年度に県内で発生した産業廃棄物の発生から処理の流れは、図 2-2-2 に示すとおりである。



注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-2　産業廃棄物の処理の流れ

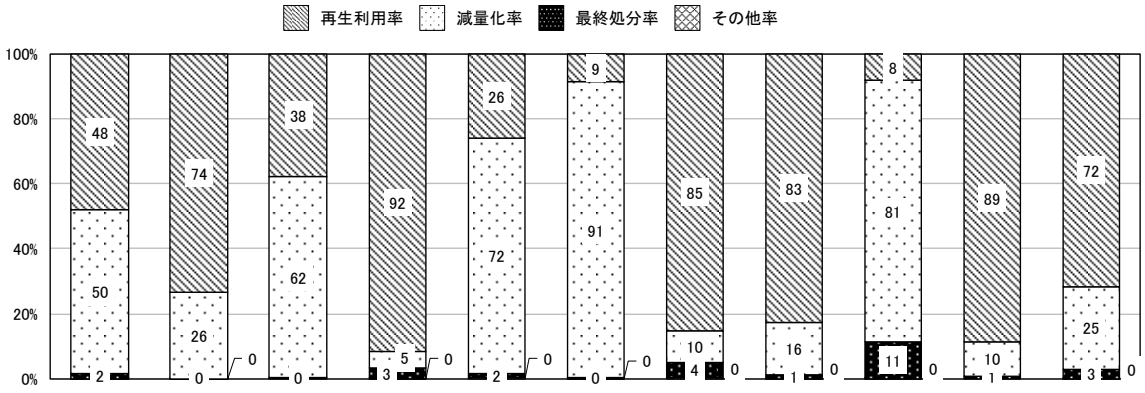
（５）排出量に対する処理量の割合

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合を業種別、種類別にみると、図 2-2-3 及び図 2-2-4 に示すとおりである。

最終処分量の多い業種について最終処分率をみると、建設業が 3%、製造業が 2%となっている。

建設業が排出する廃棄物は、がれき類が大部分を占めている。がれき類は土木・建設資材として再生利用されるため、再生利用率が高くなっている。

製造業が排出する廃棄物では、汚泥が大部分を占めている。汚泥は脱水や焼却等により大幅に減量するため、減量化率が高くなり、最終処分率は低くなっている。



業種（千t/年）	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気･水道業	運輸業	卸･小売業	医療･福祉	サービス業	その他の業種
排出量	9,173	862	486	2,755	3,355	1,624	5	46	18	20	3
再生利用量	4,416	633	183	2,521	873	141	4	38	1	18	2
減量化量	4,608	228	302	145	2,427	1,482	0	7	15	2	1
最終処分量	146	0	1	89	53	1	0	1	2	0	0
その他量	3	0		0	2	0	0	0	0		0

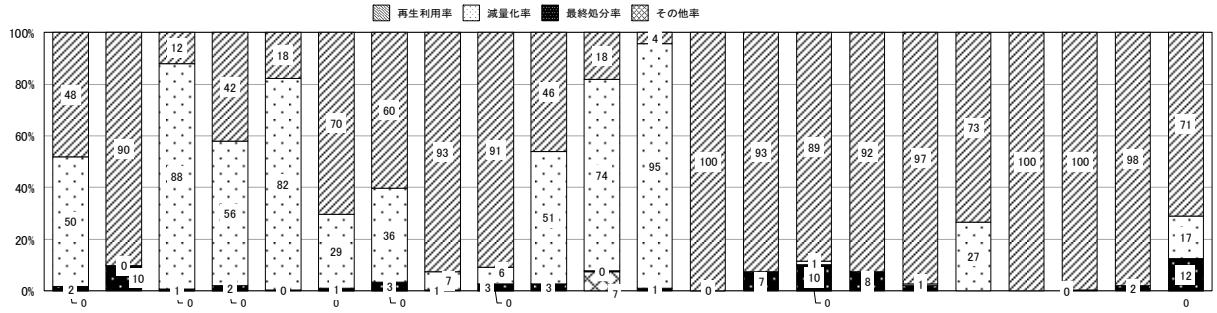
注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3.その他の業種は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」のこと。

図 2-2-3　業種別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合

最終処分量の多い種類について最終処分率をみると、がれき類と汚泥が１％、ガラス陶磁器くずが 10%、鉱さいが 8%、その他の産業廃棄物が 12%、廃プラスチック類が 3%となっている。

ガラス陶磁器くずの最終処分率が高いのは、全国的な傾向と同じとなっている。

その他の産業廃棄物は混合廃棄物等であり、複数の素材が混合されているため再生利用されにくいと推測される。



種類：無変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	9,173	22	4,399	194	290	145	209	24	235	3	29	0	1	123	191	205	2,091	860	1	76	3	73
再生利用量	4,416	20	523	81	51	102	126	22	214	2	5	0	1	114	169	190	2,034	632	1	76	2	52
減量化量	4,608	0	3,851	108	238	41	76	2	15	2	21	0			2		11	228				12
最終処分量	146	2	26	4	1	2	6	0	6	0	0	0	0	9	19	15	46			0	0	9
その他量	3		0	0		0	0		0		2				0							0

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2．「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3．中間処理等による廃棄物の種類の変化は考慮していない（種類：無変換）。

図 2-2-4　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（種類：無変換）

２．排出の状況

（１）業種別の排出状況

排出量を業種別にみると、製造業が 3,355 千トン（36.6%）で最も多く、次いで、建設業が 2,755 千トン（30.0%）、電気・水道業が 1,624 千トン(17.7%)、農業が 862 千トン（9.4%）となっており、この４業種で全体の 93.7%を占めている（図 2-2-5 参照)。

製造業や電気・水道業は汚泥の量が多く、汚泥は自己中間処理（脱水、焼却等）により大幅に減量されるため、搬出量は、排出量の 1/3 以下となっている。また、農業も動物のふん尿のほとんどが自己再生利用されるため、搬出量は 1/20 以下と非常に小さい。

建設業は、排出量の大部分をがれき類が占めている。がれき類は基本的に中間処理による減量は発生しないため、搬出量でみると、最も多い業種となっている(図 2-2-6 参照)。

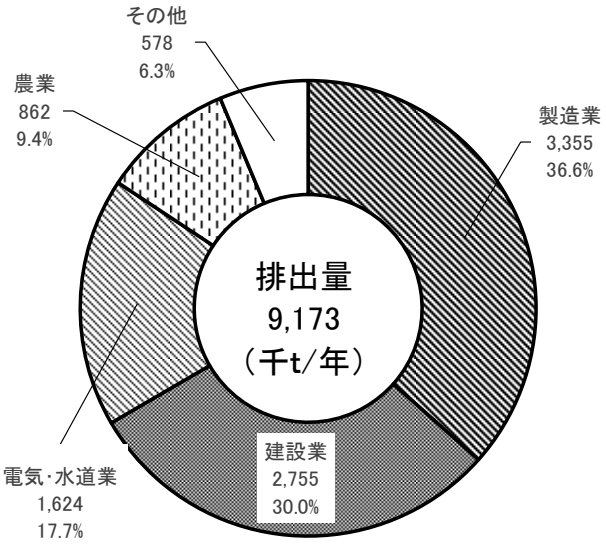
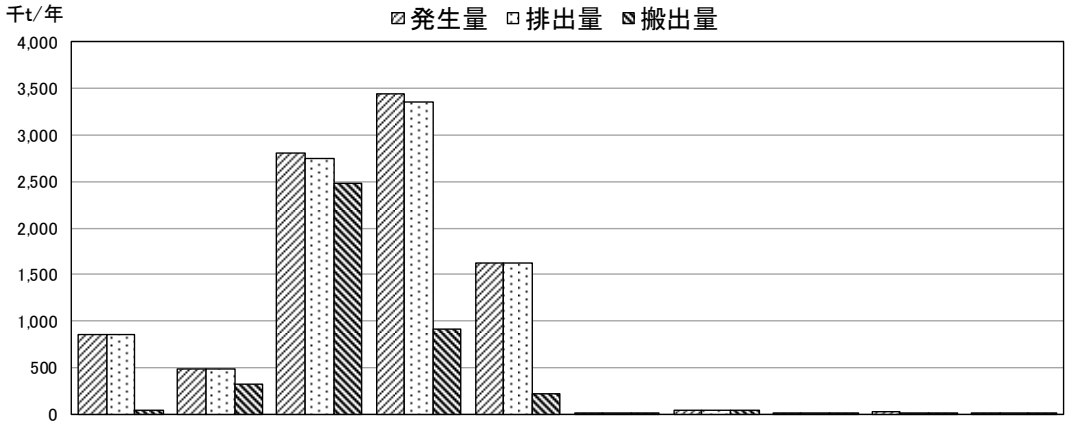


図 2-2-5　業種別の排出量



業種（千t/年）	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気･水道業	運輸業	卸･小売業	医療･福祉	サービス業	その他の業種
発生量	9,328	862	488	2,801	3,447	1,624	5	48	18	32	3
排出量	9,173	862	486	2,755	3,355	1,624	5	46	18	20	3
搬出量	4,076	37	325	2,478	919	224	5	46	18	20	3

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3.その他の業種は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」のこと。

図 2-2-6　業種別の発生量、排出量、搬出量

（２）種類別の排出状況

排出量を種類別でみると汚泥が 4,399 千トン（排出量の 48.0%）で最も多く、次いで、がれき類 2,091 千トン（同 22.8%）、動物のふん尿 860 千トン（同 9.4%）、廃酸 290 千トン（同 3.2%）、木くず 235 千トン（2.6%）、廃プラ類 209 千トン（同 2.3%）の順で多くなっている（図 2-2-7 参照）。

汚泥は排出量に占める割合は 48.0%と高いが、排出事業者自らによる脱水、乾燥、焼却等の処理により、大幅に減量され事業所外に搬出される。このため、搬出量でみるとがれき類が最も多くなる（図 2-2-8 参照）。

また、木くずなど自己中間処理で焼却処理した残さの燃え殻を搬出として捉えているため、燃え殻は発生・排出量より搬出量の方が大きくなっている。

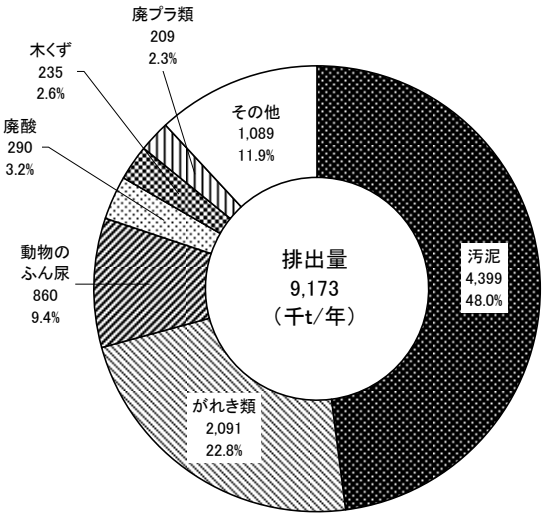
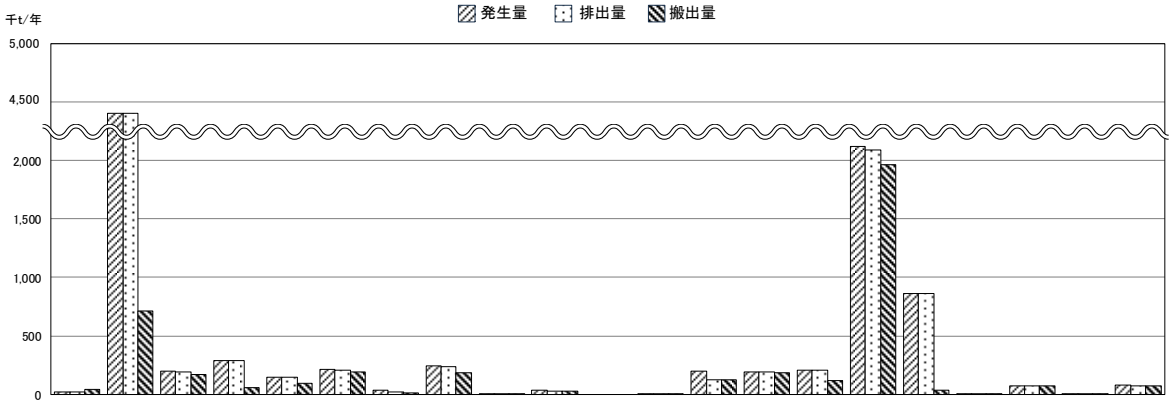


図 2-2-7　種類別の排出量



種類： 変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
発生量	9,328	22	4,403	197	290	145	212	36	246	3	37	0	1	202	192	205	2,118	860	1	76	3	79
排出量	9,173	22	4,399	194	290	145	209	24	235	3	29	0	1	123	191	205	2,091	860	1	76	3	73
搬出量	4,076	43	710	171	55	95	196	17	182	3	27	0	1	122	181	119	1,966	35	1	76	3	73

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-8　種類別の発生量、排出量、搬出量

業種別・種類別の排出量は表 2-2-1 に示すとおりであり、排出量の多い廃棄物の特徴は次のとおりである。

・汚泥の排出量 4,399 千トンのうち、生産活動等に伴い製造業から 2,183 千トンが排出されている。また、電気・水道業から 1,529 千トンが排出されており、これは主に下水道処理に伴う有機性汚泥である。

・がれき類の排出量は 2,091 千トンで、その大部分の 2,062 千トンは建設業から排出されており、主に建築物の新築や解体、道路工事の際に発生するコンクリート片や廃アスファルトなどで構成されている。

・動物のふん尿の排出量は 860 千トンで、すべて農業から排出されており、これは畜産に伴う家畜のふん尿である。

表 2-2-1　業種別・種類別の排出量

（単位：千 t/年）

業種 / 種類:無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種
合計	9,173	862	486	2,755	3,355	1,624	5	46	18	20	3
燃え殻	22			0	7	15	0				0
汚泥	4,399		416	259	2,183	1,529	0	9	0	2	1
廃油	194		5	1	176	6	0	3	0	2	0
廃酸	290		11	0	279	0		0	0	0	0
廃アルカリ	145		17	0	126	0	0	0	0	1	0
廃プラ類	209	1	19	24	136	0	2	18	3	4	1
紙くず	24			8	15					0	1
木くず	235		0	211	22		1	1	0	0	0
繊維くず	3			2	1	0	0	0		0	
動植物性残さ	29				29						
動物系固形不要物	0									0	
ゴムくず	1				1		0				
金属くず	123		0	39	70	3	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	191		14	105	68	0	0	3	0	0	0
鉱さい	205			4	201						
がれき類	2,091		2	2,062	21	6		1	0		0
動物のふん尿	860	860									
動物の死体	1	1									
ばいじん	76				11	66					
水銀廃棄物	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他産業廃棄物	73		1	35	11	0	0	7	14	5	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3.その他の業種は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」のこと。

（３）地域別の排出状況

排出量を地域別にみると、新潟地域が 3,724 千トン（40.6%）で最も多く、次いで、中越地域が 1,946 千トン（21.2%）、上越地域が 1,687 千トン（18.4%）、下越地域が 1,019 千トン（11.1%）、魚沼地域が 710 千トン（7.7%）、佐渡地域が 89 千トン（1.0%）となっている（図 2-2-9、図 2-2-10 参照）。

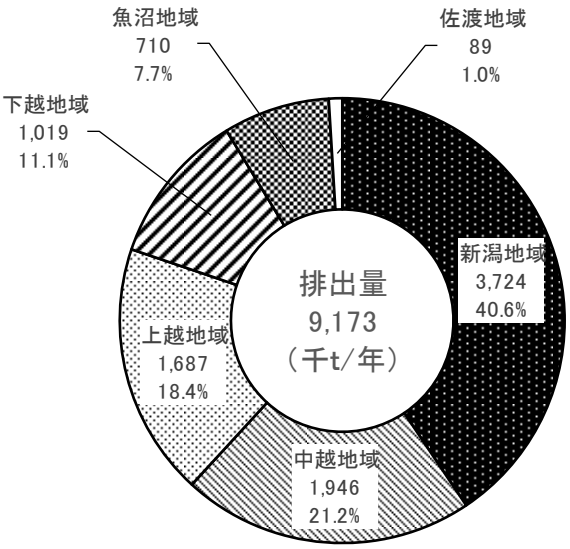
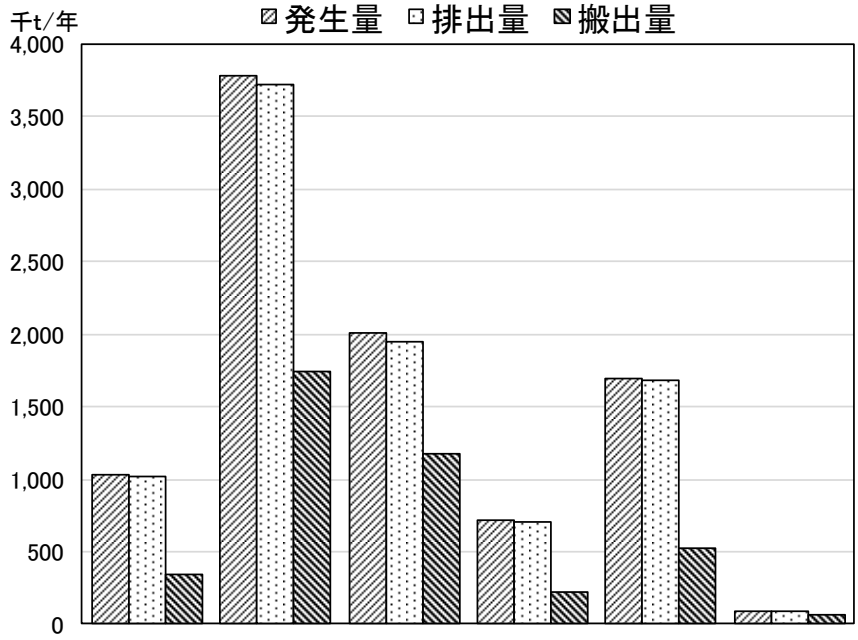


図 2-2-9　地域別の排出量



地域（千t/年）	合計	下越地域	新潟地域	中越地域	魚沼地域	上越地域	佐渡地域
発生量	9,328	1,036	3,774	2,010	719	1,699	90
排出量	9,173	1,019	3,724	1,946	710	1,687	89
搬出量	4,076	346	1,738	1,178	224	522	68

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-10　地域別の発生量、排出量、搬出量

３．中間処理などの状況

（１）自己中間処理状況

自己中間処理量は 5,020 千トンとなっており、排出量の 54.7%を占めている（図 2-2-11 参照）。

種類別に排出量に対する自己中間処理量の割合をみると、多量に排出されているものでは、汚泥や動物のふん尿の割合が高くなっている（図 2-2-12 参照）。

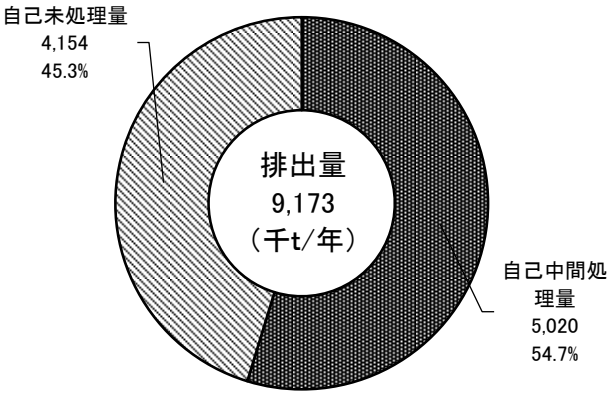
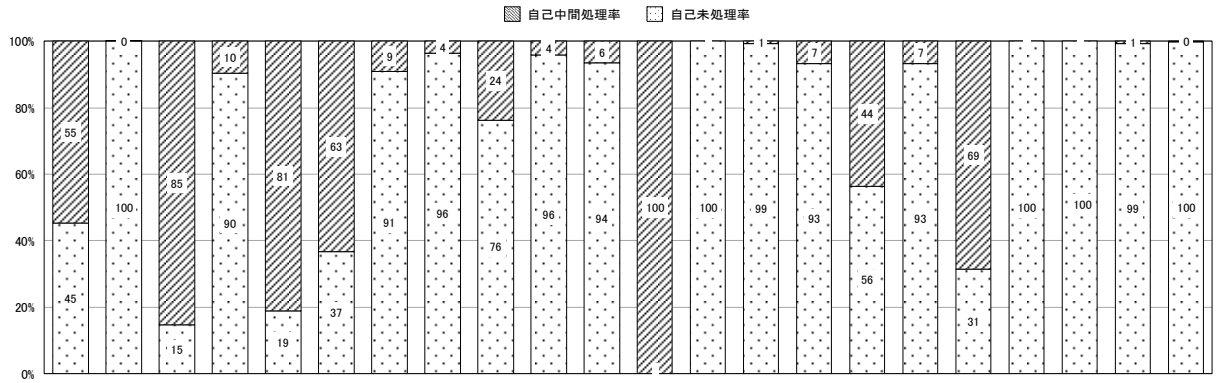


図 2-2-11　自己中間処理量及び未処理量



種類:無変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	9,173	22	4,399	194	290	145	209	24	235	3	29	0	1	123	191	205	2,091	860	1	76	3	73
自己中間処理量	5,020	0	3,761	19	236	92	19	1	56	0	2	0		1	13	90	142	590			0	0
自己未処理量	4,154	22	639	175	54	53	190	23	179	3	27		1	122	178	116	1,949	270	1	76	2	73

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3. 中間処理等による廃棄物の種類の変化は考慮していない（種類：無変換）。

図 2-2-12　種類別の排出量に対する自己中間処理量と自己未処理量の割合

（２）委託処理状況（自己中間処理後の廃棄物を含む）

委託処理量は 4,073 千トンであり、委託直接最終処分量が 79 千トン（委託処理量の 1.9%）、委託中間処理量が 3,993 千トン（同 98.0%）である。また、委託処理量の排出量に対する割合は 44.4%である。

種類別にみると、がれき類が 1,966 千トン（同 48.3%）で最も多く、次いで、汚泥が 710 千トン（17.4%）と、この２種類で 65.7%を占めている（図 2-2-13、図 2-2-14 参照）。

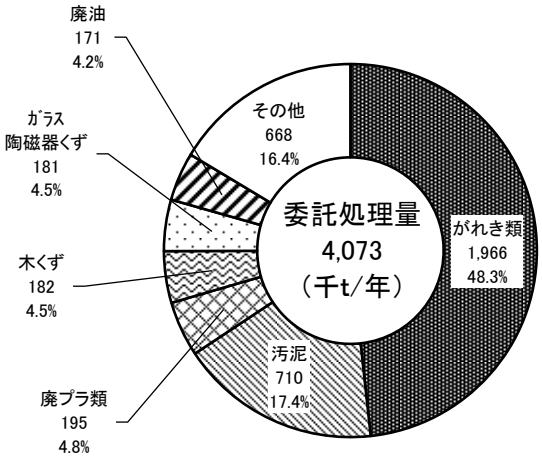
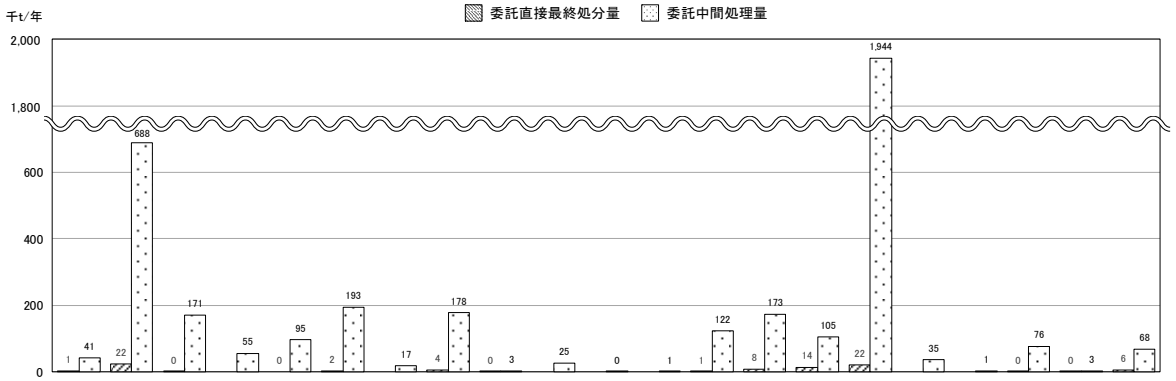


図 2-2-13　種類別の委託処理量



種類:変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
委託処理量	4,073	43	710	171	55	95	195	17	182	3	25	0	1	122	181	119	1,966	35	1	76	3	73
委託直接最終処分量	79	1	22	0		0	2		4	0				1	8	14	22			0	0	6
委託中間処理量	3,993	41	688	171	55	95	193	17	178	3	25	0	1	122	173	105	1,944	35	1	76	3	68

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-14　種類別の委託処理状況

（３）再生利用の状況

①種類別の再生利用状況

再生利用量は 4,416 千トンであり、排出量に対する割合は 48.1%である。種類別にみると、がれき類が 2,033 千トン（再生利用量の 46.0%）で最も多く、次いで、動物のふん尿が 632 千トン（同 14.3%）、汚泥が 467 千トン（同 10.6%）となっている。

また、有償物量は 154 千トンであり、金属くずが多くなっている（図 2-2-15、図 2-2-16 参照）。

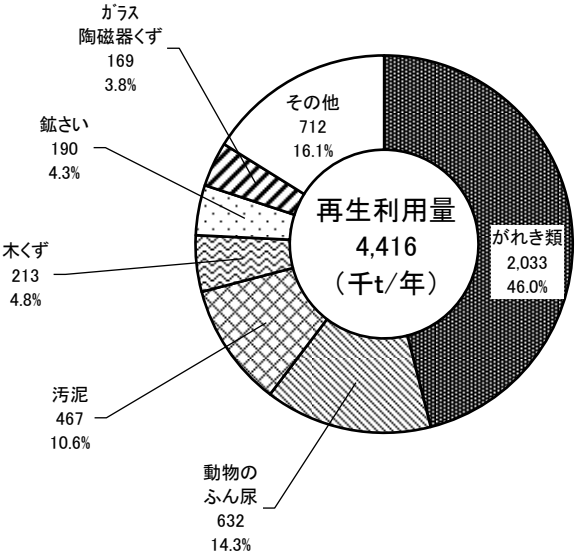
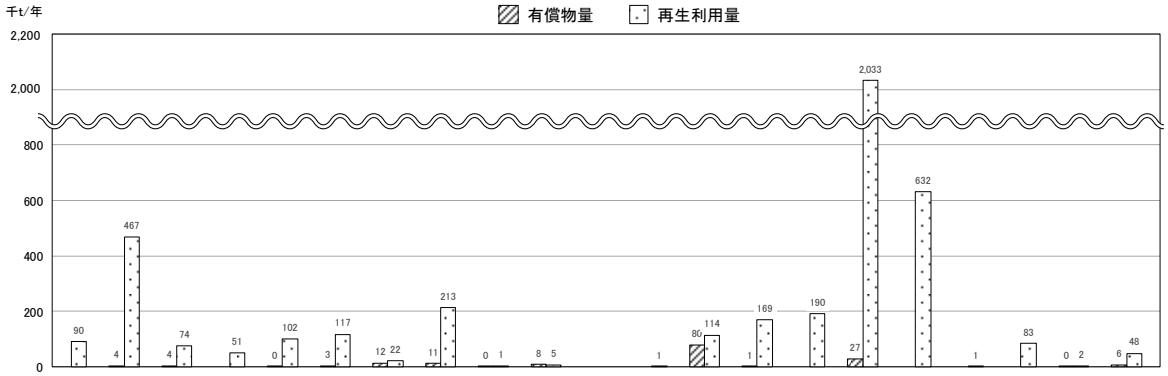


図 2-2-15　種類別の再生利用量



種類:変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
資源化量	4,570	90	471	78	51	102	120	34	224	2	13		1	193	170	190	2,060	632	1	83	2	54
有償物量	154		4	4		0	3	12	11	0	8			80	1		27				0	6
再生利用量	4,416	90	467	74	51	102	117	22	213	1	5		1	114	169	190	2,033	632	1	83	2	48

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-16　種類別の再生利用状況

②利用用途別の再生利用状況

再生利用量を利用用途別にみると、土木・建設資材が 2,682 千トン（再生利用量の 60.7%）と最も多く、次いで、肥料・土壌改良材が 933 千トン（同 21.1%）、燃料が 141 千トン（同 3.2%）などとなっている（図 2-2-17、表 2-2-2 参照）。

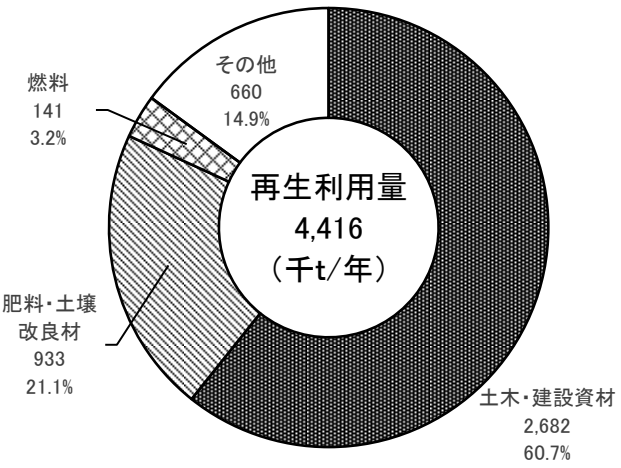


図 2-2-17　用途別の再生利用量

表 2-2-2　用途別種類別の再生利用状況

（単位：千 t/年）

用途 / 種類:変換	合計	土木・建設資材	肥料・土壌改良材	埋め戻し材	セメント原材料	燃料	鉄鋼原料	パルプ・紙原材料	非鉄金属原材料	その他の用途
合計	4,416	2,682	933	114	19	141	17	18	81	411
燃え殻	90	49	36			0				5
汚泥	467	74	262	114	13					5
廃油	74	0				27				47
廃酸	51					2				49
廃アルカリ	102					1				101
廃プラスチック類	117	0				66	4			47
紙くず	22					1		18		3
木くず	213	127			0	42		0		44
繊維くず	1					0				1
動植物性残さ	5		3							2
動物系固形不要物										
ゴムくず	1					1				0
金属くず	114						12		81	21
ガラス陶磁器くず	169	126			0					43
鉱さい	190	189	1		0					0
がれき類	2,033	2,015			6					12
動物のふん尿	632		632							
動物の死体	1									1
ばいじん	83	76				0				7
水銀廃棄物	2	0					0		0	2
その他の産業廃棄物	48	27				1	1		0	19

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3.「その他の用途」は、再生油や再生溶剤、プラスチック原材料、ガラス原材料など。

（４）最終処分の状況

最終処分量は 146 千トンとなっており、排出量に対する割合は 1.6%である。

種類別にみると、がれき類が 46 千トン（最終処分量の 31.3%）と最も多く、汚泥が 27 千トン（同 18.7%）、ガラス陶磁器くずが 18 千トン（同 12.3%）となっている（図 2-2-18、図 2-2-19 参照）。

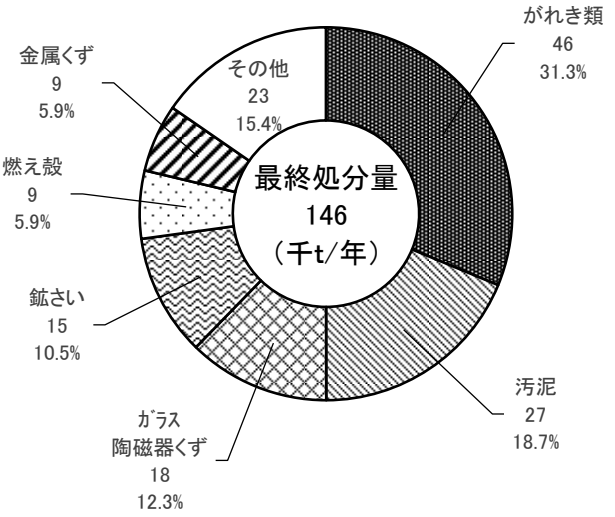
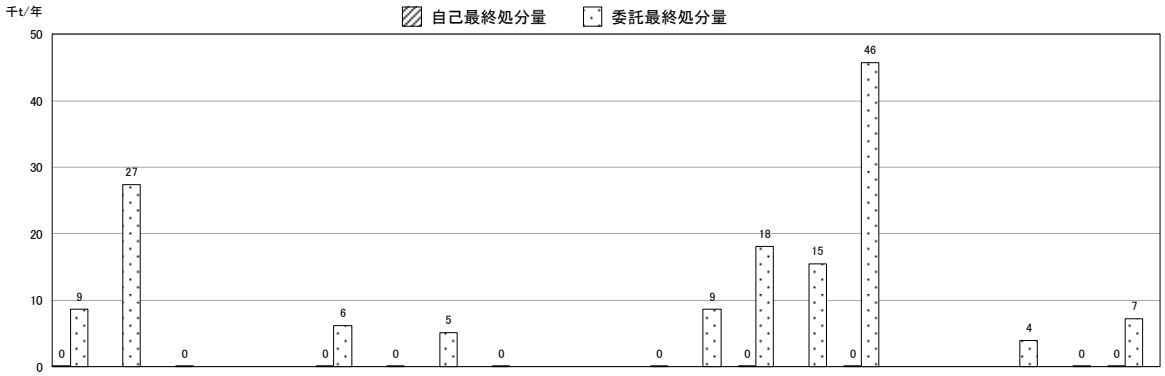


図 2-2-18　種類別の最終処分量



種類:実換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
最終処分量	146	9	27	0			6	0	5	0			0	9	18	15	46			4	0	7
自己最終処分量	0	0					0								0		0					0
委託最終処分量	146	9	27	0			6	0	5	0			0	9	18	15	46			4	0	7

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-2-19　種類別の最終処分状況

第３節　業種別の調査結果

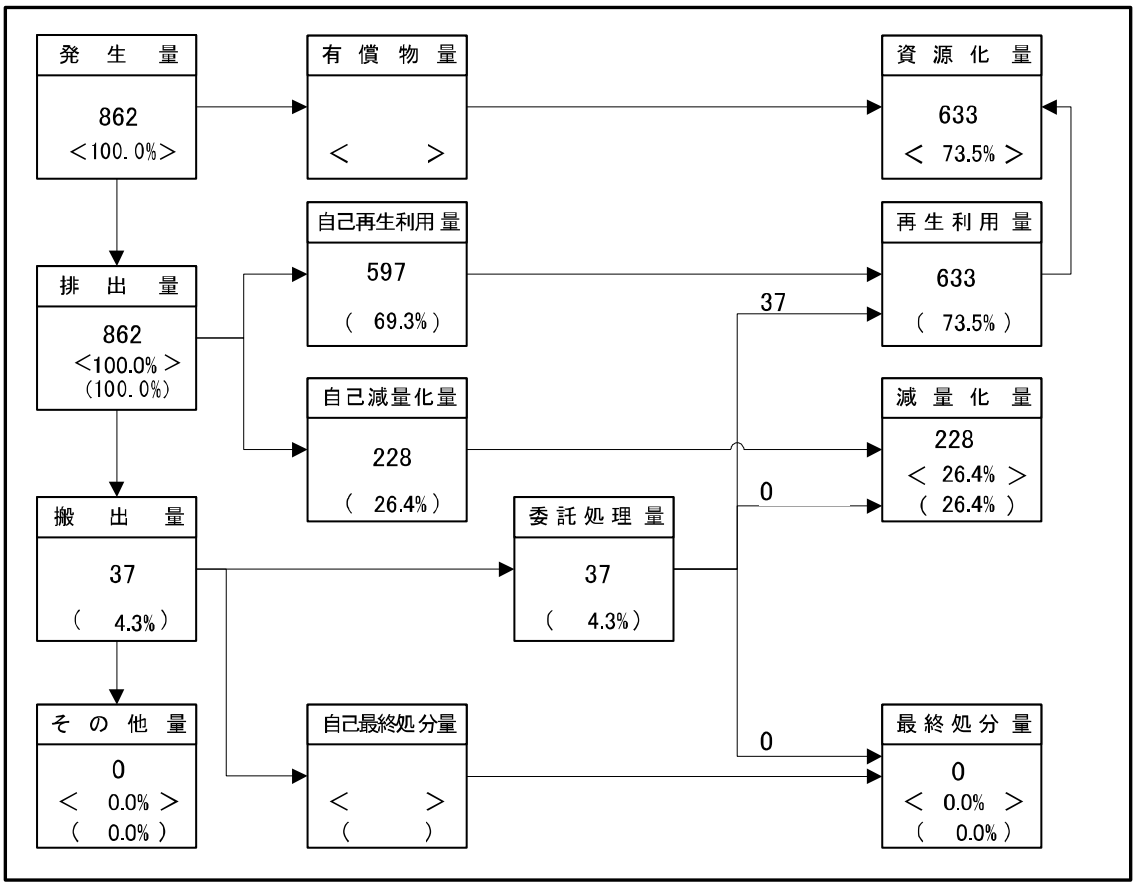
１．農業（林業を除く）

農業(林業を除く)から発生する産業廃棄物については、対象廃棄物は、畜産農業から排出される動物のふん尿と動物の死体、耕種農業から排出される廃プラスチックである。

農業(林業を除く)からの排出量は 862 千トンで、県全体の排出量の 9.4%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-1 に示すとおりである。

（単位：千t/年）

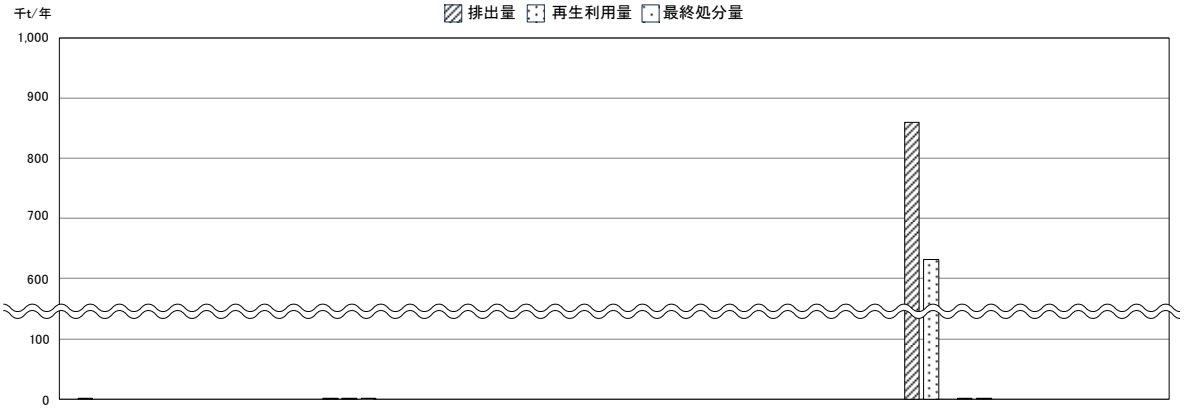


注)1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜　＞内の数値は発生量に対する割合を、(　)内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-1　発生及び処理状況の概要（農業（林業を除く））

（１）種類別

種類別にみると、動物のふん尿の排出量が 860 千トンで、中間処理（減量化）された後に全量が再生利用されている（図 2-3-2 参照）。

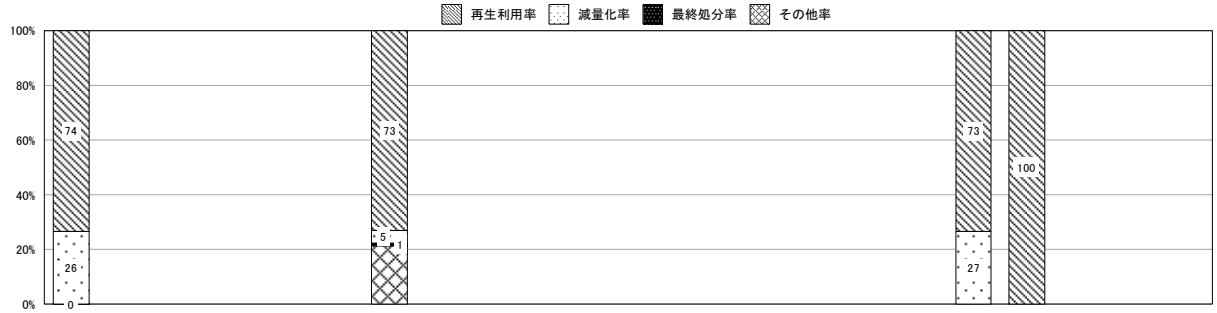


種類： 変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃業物	その他の産業廃業物
排出量	862						1											860	1			
再生利用量	633	0					1											632	1			
最終処分量	0						0															

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-2　種類別の排出量、再生利用量、最終処分量（農業（林業を除く））

また、排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-3 に示すとおりである。



種類：無変換 （千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃業物	その他の産業廃業物
排出量	862						1											860	1			
再生利用量	633						1											632	1			
減量化量	228						0											228				
最終処分量	0						0															
その他量	0						0															

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

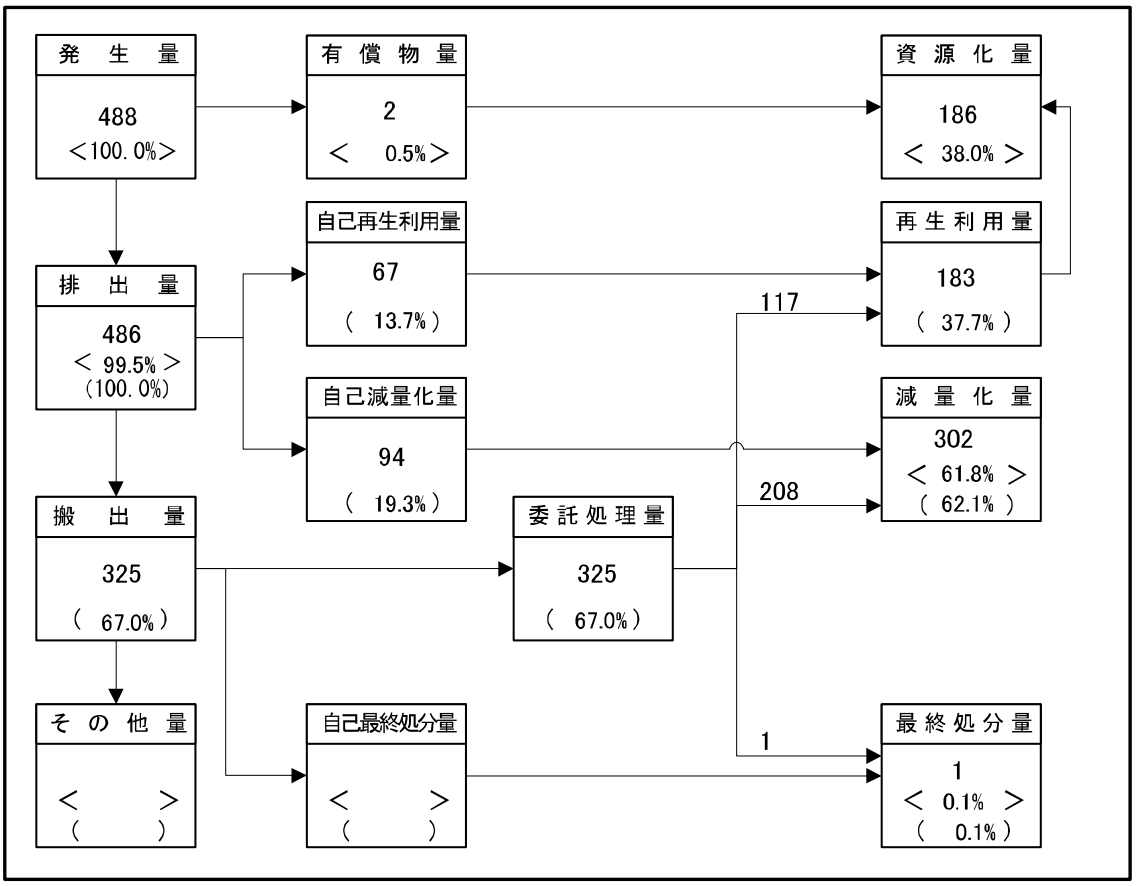
図 2-3-3　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（農業（林業を除く））

２．鉱業

鉱業からの排出量は 486 千トンで、県全体の排出量の 5.3%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-4 に示すとおりである。

（単位：千t/年）



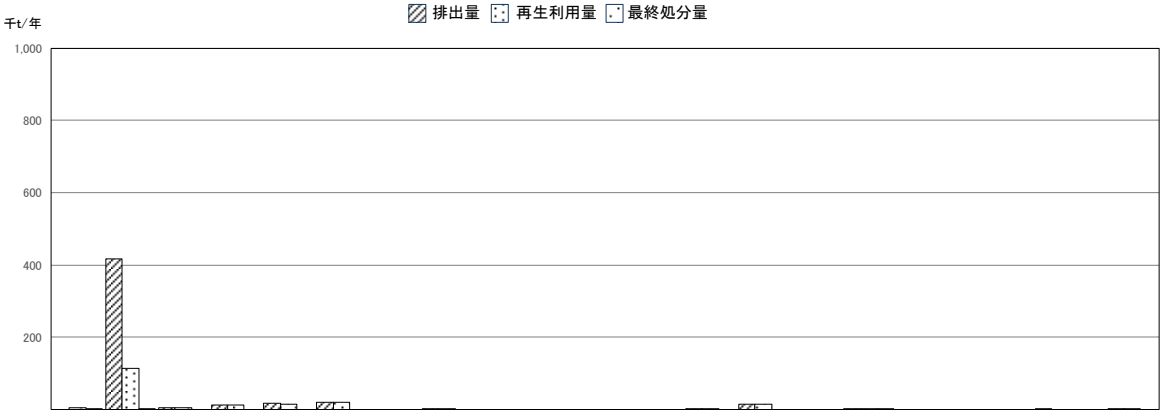
注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜ ＞内の数値は発生量に対する割合を、（ ）内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-4　発生及び処理状況の概要（鉱業）

（１）種類別

種類別にみると、汚泥の排出量が 416 千トンで最も多く、中間処理により減量化された後、ほぼ全量が再生利用されている（図 2-3-5 参照）。

汚泥は、砂利の採取に伴い発生する砂利洗浄汚泥である。この汚泥は脱水等の処理がされた後に採取跡地の埋め戻し材として再利用されている。

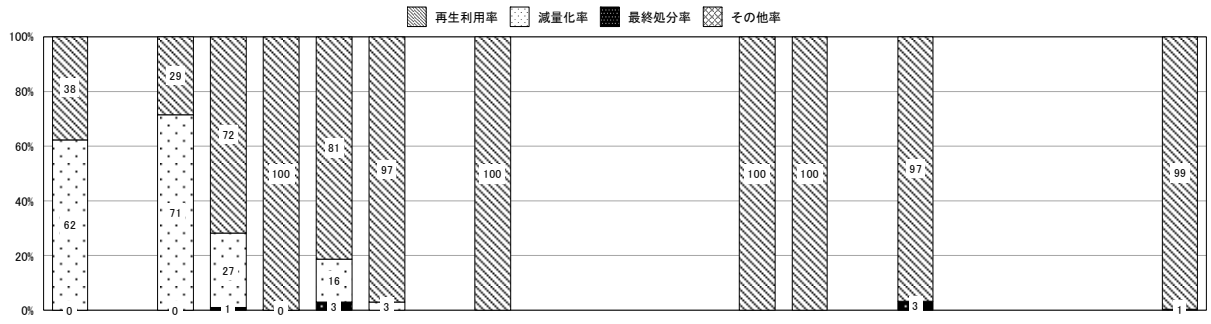


種類：変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	486		416	5	11	17	19		0					0	14		2					1
再生利用量	183	6	114	4	11	14	18		0					0	14		2					1
最終処分量	1	0	1														0			0		

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2．「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-5　種類別の排出量、再生利用量、最終処分量（鉱業）

また、排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-6 に示すとおりである。



種類：無変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	486		416	5	11	17	19		0					0	14		2					1
再生利用量	183		119	4	11	14	19		0					0	14		2					1
減量化量	302		297	1	0	3	1															0
最終処分量	1		0	0	0	1											0					
その他量																						

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2．「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3．中間処理等による廃棄物の種類の変化は考慮していない（種類：無変換）。

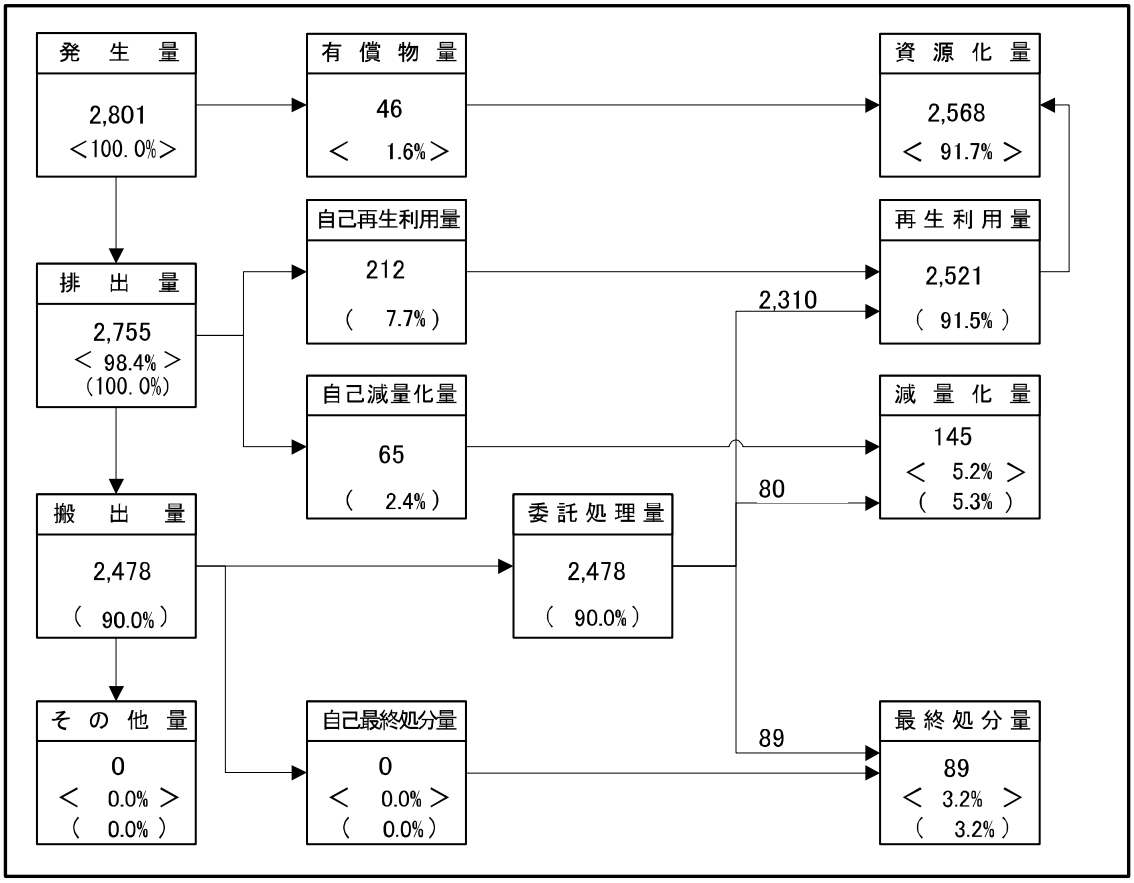
図 2-3-6　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（鉱業）

３．建設業

建設業からの排出量は 2,755 千トンで、県全体の排出量の 30.0%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-7 に示すとおりである。

（単位：千t/年）



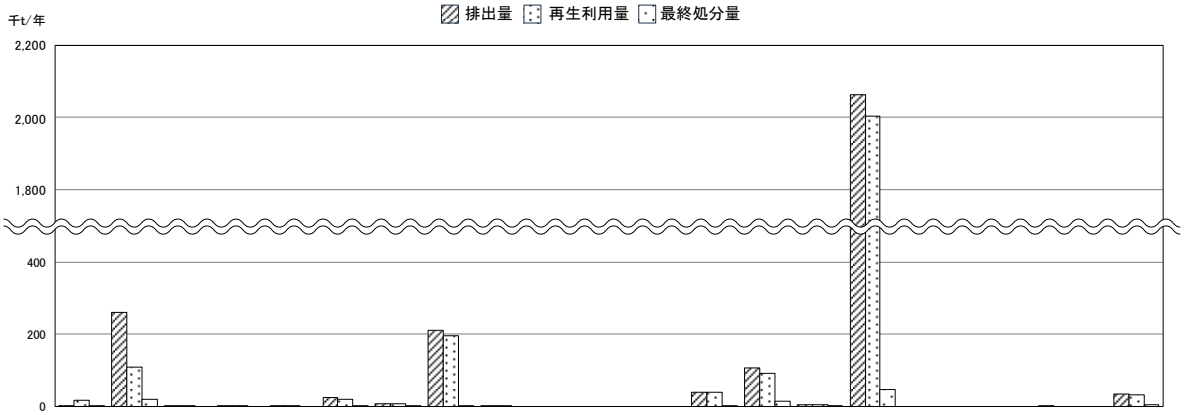
注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜　＞内の数値は発生量に対する割合を、（　）内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-7　発生及び処理状況の概要（建設業）

（１）種類別

種類別にみると、排出量が最も多いがれき類は 2,062 千トン(建設業の排出量全体の 74.8%)で、このうち 2,004 千トンは再生利用されており、最終処分量は 46 千トンとなっている。

また、汚泥の排出量は 259 千トン（同 9.4%）であるが、再生利用や減量化により最終処分量は 19 千トンとなっている（図 2-3-8 参照)。

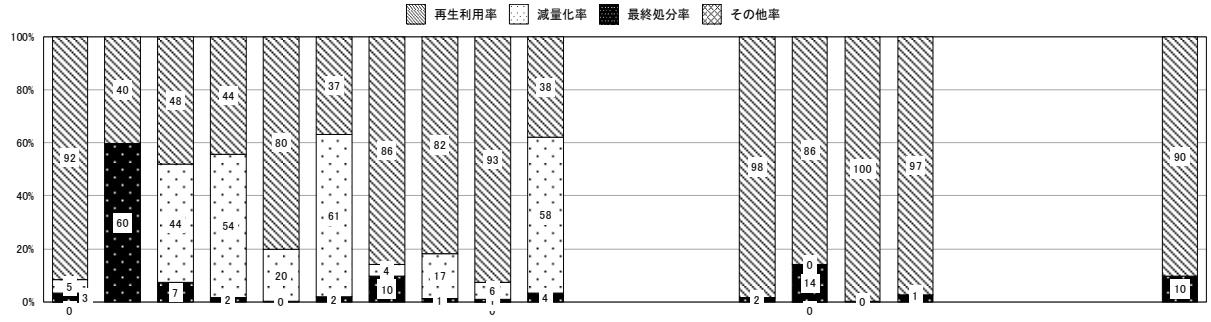


種類: 変換(千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃業物	その他の産業廃業物
排出量	2,753	0	259	1	0	0	24	8	211	2				39	105	4	2,062					35
再生利用量	2,519	18	110	0	0	0	21	6	195	1				39	90	4	2,004					31
最終処分量	89	2	19				2	0	1					1	15	0	46			0		3

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-8　種類別の排出量、再生利用量、最終処分量（建設業）

また、排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-9 に示すとおりである。



種類:無変換 (千t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀使用産廃等	その他の産業廃業物
排出量	2,753	0	259	1	0	0	24	8	211	2				39	105	4	2,062					35
再生利用量	2,519	0	125	0	0	0	21	6	196	1				39	90	4	2,005					31
減量化量	145		115	0	0	0	1	1	13	1					0		11					
最終処分量	89	0	19	0	0	0	2	0	2	0				1	15	0	46					3
その他量	0								0						0							

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3. 中間処理等による廃棄物の種類の変化は考慮していない（種類：無変換)。

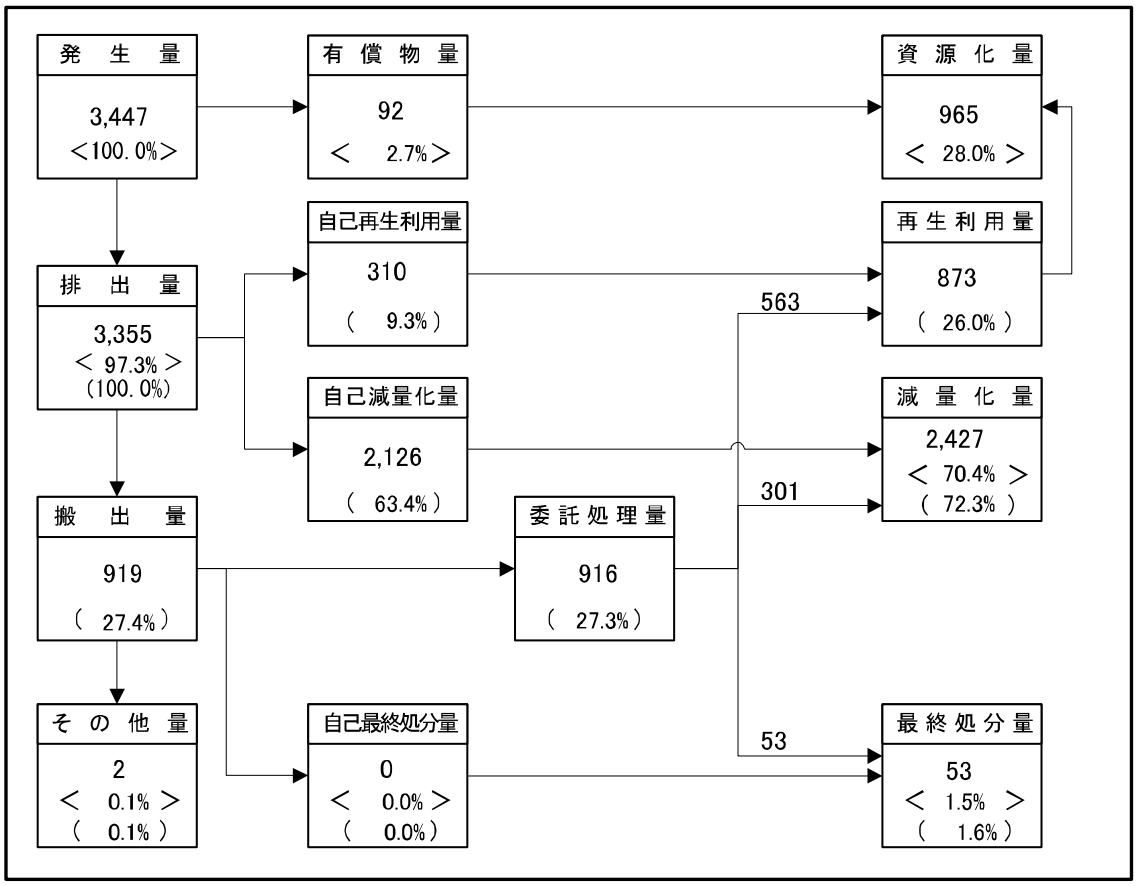
図 2-3-9　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（建設業）

４．製造業

製造業からの排出量は 3,355 千トンで、県全体の排出量の 36.6%を占めている。

排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-10 に示すとおりである。

（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜ ＞内の数値は発生量に対する割合を、（ ）内の数値は排出量に対する割合を示している。

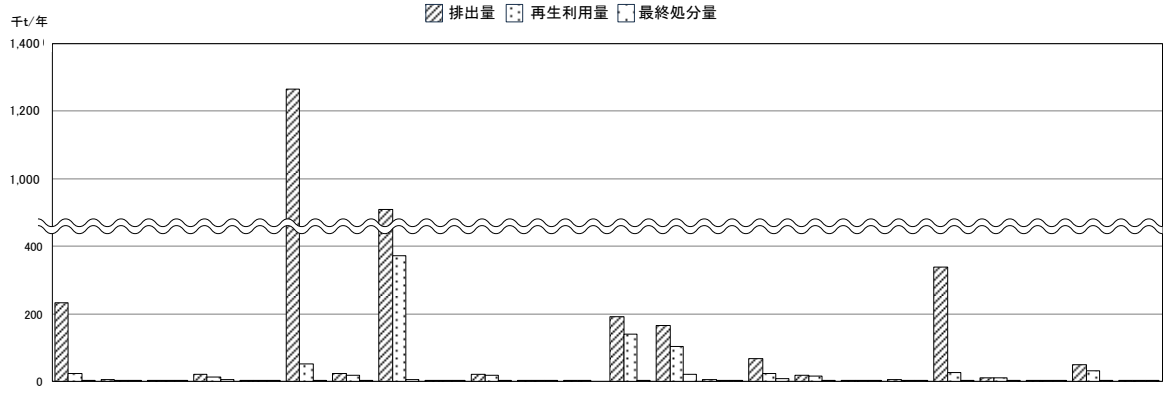
図 2-3-10　発生及び処理状況の概要（製造業）

（１）業種中分類別

業種中分類別にみると、排出量ではパルプ・紙の 1,266 千トン(製造業の排出量全体の 37.7%)が最も多く、次いで、化学が 910 千トン(同 27.1%)、電子部品が 339 千トン(同 10.1%)、窯業・土石が 193 千トン（同 5.8%）となっている。

再生利用量では化学が 373 千トンが最も多く、次いで、窯業・土石の 139 千トン、鉄鋼が 104 千トン、パルプ・紙が 53 千トンとなっている。

最終処分量では鉄鋼の 22 千トンが最も多く、次いで、金属が 10 千トンとなっている（図 2-3-11 参照）

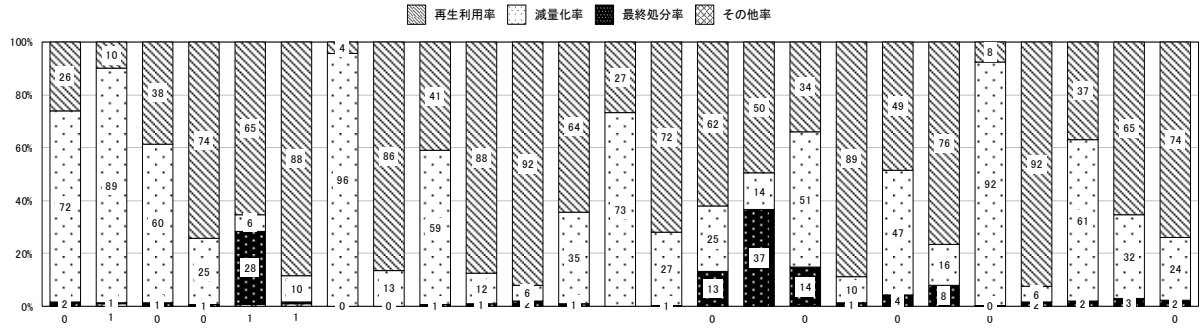


業種（千t/年）	合計	食料品	飲料・飼料	繊維・衣服	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他
排出量	3,355	233	6	1	21	2	1,266	23	910	3	22	2	0	193	167	5	69	20	5	5	339	11	0	49	3
再生利用量	873	23	2	1	14	2	53	20	373	3	20	1	0	139	104	2	23	18	2	4	26	10	0	32	2
最終処分量	53	1	0	0	6	0	1	0	5	0	0	0		1	22	2	10	0	0	0	1	0	0	1	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-11　業種中分類別の排出量、再生利用量、最終処分量（製造業）

また、排出量に対する業種中分類別の再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-12 に示すとおりである。



業種（千t/年）	合計	食料品	飲料・飼料	繊維・衣服	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他
排出量	3,355	233	6	1	21	2	1,266	23	910	3	22	2	0	193	167	5	69	20	5	5	339	11	0	49	3
再生利用量	873	23	2	1	14	2	53	20	373	3	20	1	0	139	104	2	23	18	2	4	26	10	0	32	2
減量化量	2,427	207	3	0	1	0	1,212	3	533	0	1	1	0	53	41	1	35	2	2	1	312	1	0	16	1
最終処分量	53	1	0	0	6	0	1	0	5	0	0	0		1	22	2	10	0	0	0	1	0	0	1	0
その他量	2	2	0	0	0	0									0		0		0		0				0

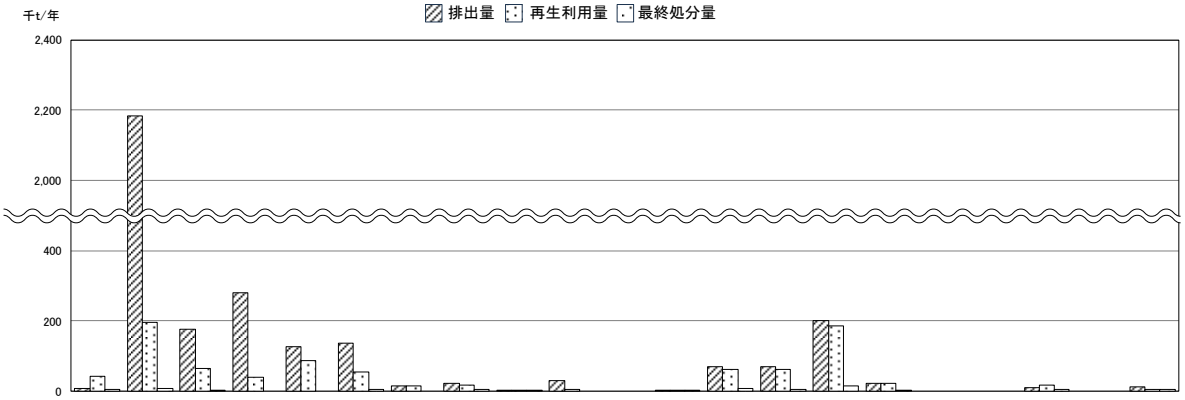
注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-12　業種中分類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（製造業）

（２）種類別

種類別にみると、汚泥の排出量が 2,183 千トン(製造業の排出量全体の 65.1%)と最も多く、次いで、廃酸の 279 千トン(同 8.3%)、鉱さい 201 千トン(同 6.0%)、廃油の 176 千トン(同 5.2%)、廃プラスチック類 136 千トン(同 4.1%)の順となっている。

汚泥は排出量は多いが、脱水等による減量化が図られているため、最終処分量に占める割合は低くなっている（図 2-3-13 参照)。

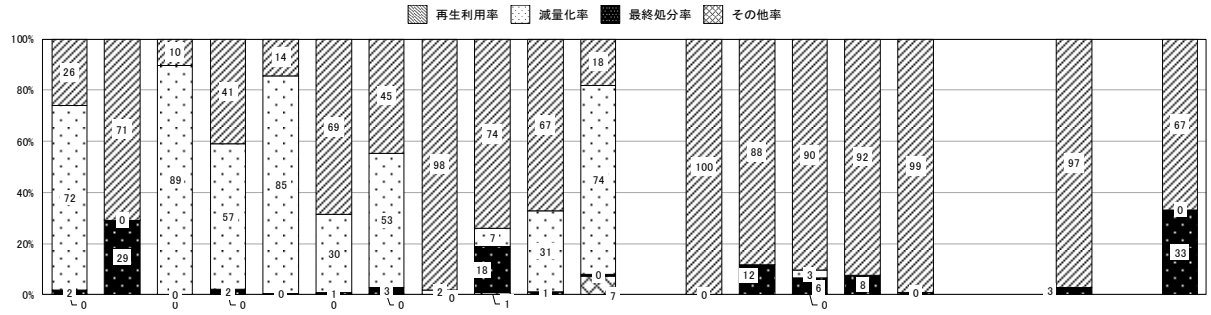


種類：変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	3,355	7	2,183	176	279	126	136	15	22	1	29		1	70	68	201	21			11		11
再生利用量	873	43	196	65	40	87	53	15	16	1	5		1	62	62	185	21			18		6
最終処分量	53	5	6	0			4		4	0			0	8	3	15	0			4		4

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-13　種類別の排出量、再生利用量、最終処分量（製造業）

また、排出量に対する種類別の再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-14 に示すとおりである。



種類：無変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	3,355	7	2,183	176	279	126	136	15	22	1	29		1	70	68	201	21			11		11
再生利用量	873	5	224	72	40	87	61	15	16	1	5		1	62	62	185	21			10		7
減量化量	2,427	0	1,954	100	238	38	71	0	2	0	21				2		0					0
最終処分量	53	2	5	3	1	1	4	0	4	0	0		0	8	4	15	0			0		4
その他量	2		0	0		0	0		0		2				0							

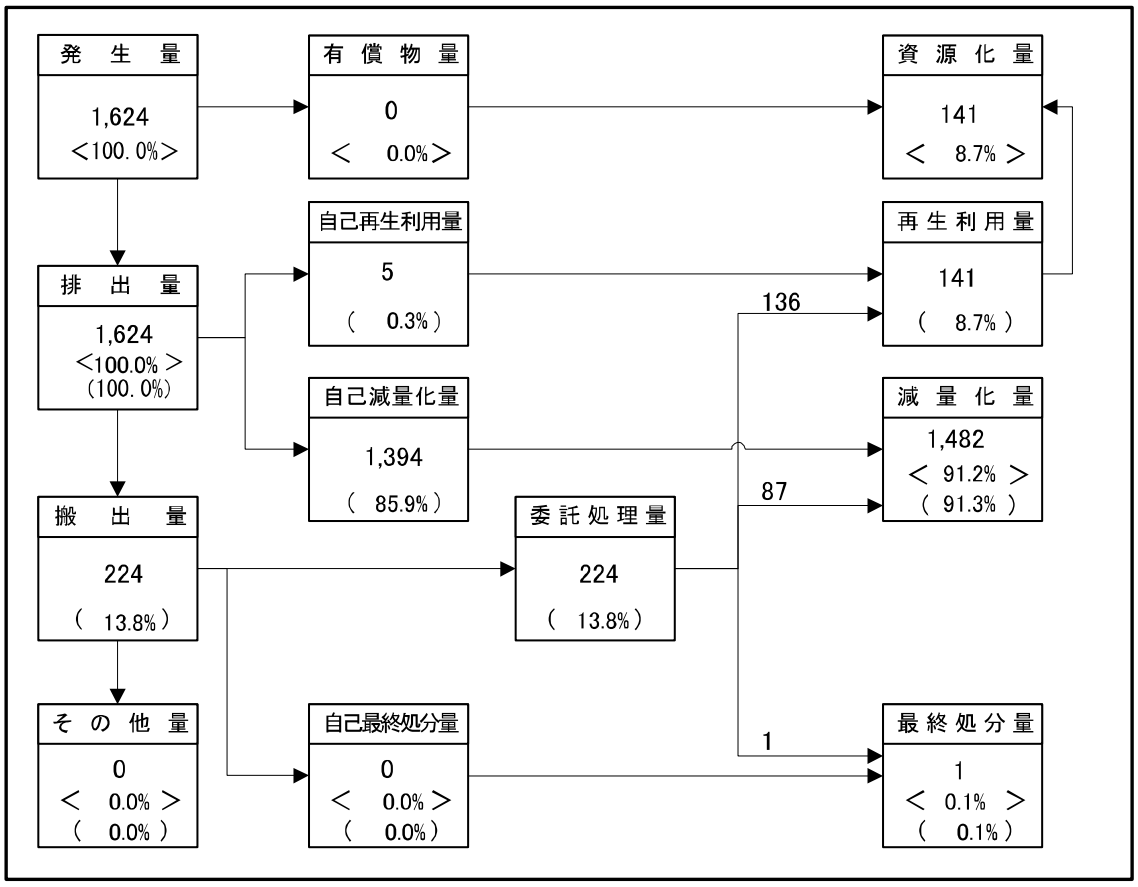
注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3. 中間処理等による廃棄物の種類の変化は考慮していない（種類：無変換)。

図 2-3-14　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（製造業）

５．電気・水道業

電気・水道業からの排出量は 1,624 千トンで、県全体の排出量の 17.7%を占めている。
排出した産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-15 に示すとおりである。

（単位：千t/年）



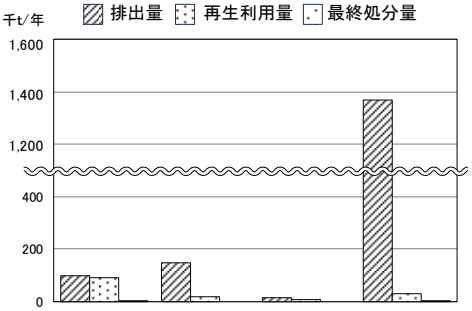
注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜　＞内の数値は発生量に対する割合を、(　)内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-15　発生及び処理状況の概要（電気・水道業）

（１）業種中・小分類別

業種中･小分類別にみると、排出量では下水道業が 1,368 千トン（電気・水道業の排出量の 84.2%）で最も多く、次いで、上水道業が 147 千トン（同 9.1%）となっている。

最終処分量では、下水道業が 1 千トン（最終処分量の 85.7%）で最も多くなっている（図 2-3-16）。



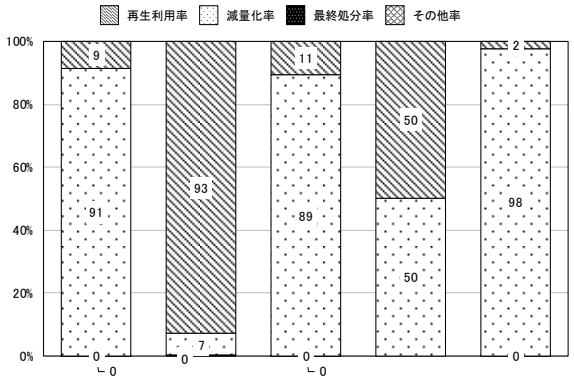
業種（千t/年）	合計	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業
排出量	1,624	97	147	12	1,368
再生利用量	141	90	16	6	29
最終処分量	1	0	0	0	1

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。

注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-16　業種中･小分類別の排出量、再生利用量、最終処分量（電気・水道業）

また、排出量に対する業種中･小分類別の再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-17 に示すとおりである。



業種（千t/年）	合計	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業
排出量	1,624	97	147	12	1,368
再生利用量	141	90	16	6	29
減量化量	1,482	7	131	6	1,337
最終処分量	1	0	0		1
その他量	0		0		

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。

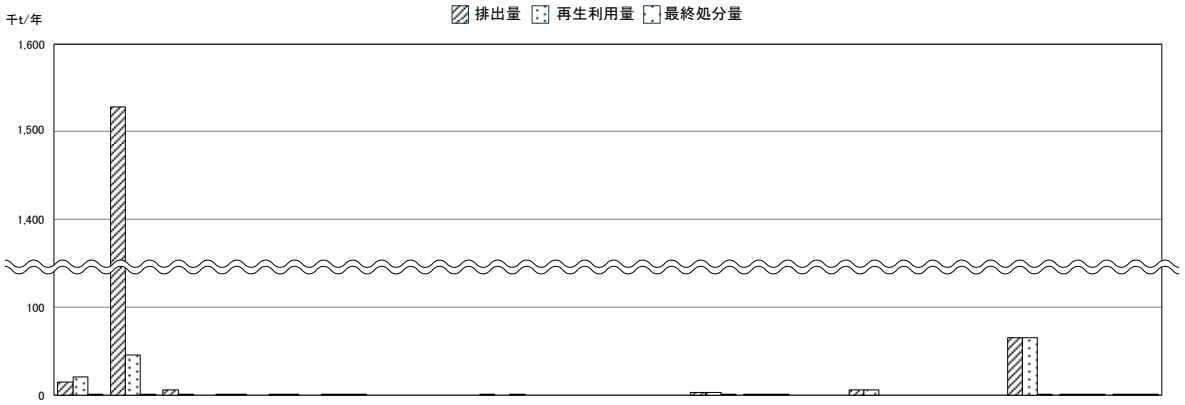
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-17　業種中･小分類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（電気・水道業）

（2）種類別

種類別にみると、汚泥の排出量が 1,529 千トン（電気・水道業の排出量全体の 94.2%）で、最も多くなっている。

なお、汚泥は主に自己中間処理（脱水・焼却等）により大きく減量化されるため、最終処分量は 1 千トンと少ない（図 2-3-18 参照）。

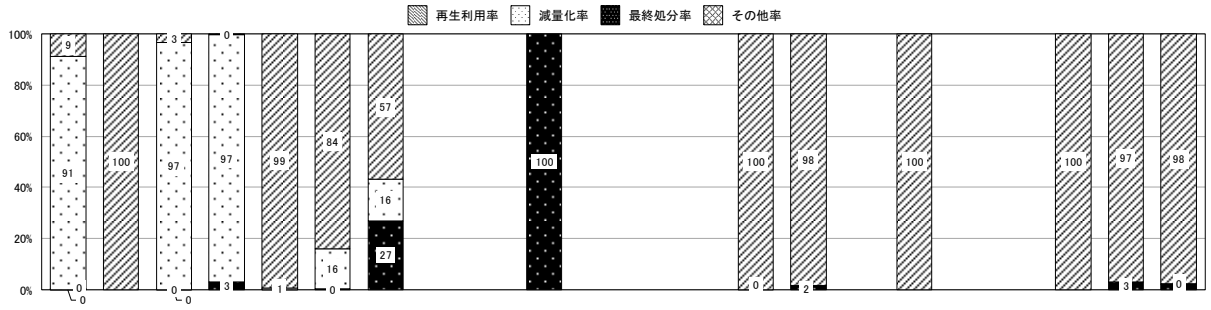


種類:変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	1,624	15	1,529	6	0	0	0			0				3	0		6			66	0	0
再生利用量	141	20	46	0	0	0	0							3	0		6			66	0	0
最終処分量	1	0	1				0			0				0	0					0	0	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

図 2-3-18　種類別の排出量、再生利用量、最終処分量（電気・水道業）

また、排出量に対する種類別の再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合は、図 2-3-19 に示すとおりである。



種類:無変換（千t/年）	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ｶﾞﾗｽ陶磁器くず	鉱さい	がれき類	動物のふん尿	動物の死体	ばいじん	水銀廃棄物	その他の産業廃棄物
排出量	1,624	15	1,529	6	0	0	0			0				3	0		6			66	0	0
再生利用量	141	15	51	0	0	0	0							3	0		6			66	0	0
減量化量	1,482		1,476	5	0	0	0															0
最終処分量	1		1	0	0	0	0			0				0	0						0	0
その他量	0		0																			

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。
注）3. 中間処理等による廃棄物の種類の変化は考慮していない（種類：無変換）。

図 2-3-19　種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合（電気・水道業）

６．運輸業、医療・福祉、サービス業等の業種

運輸、医療・福祉、サービス業、その他の業種からの排出量は 92 千トンで、県全体の排出量の 1.0%である。

各業種の排出量は表 2-3-1 に示すとおりであり、運輸業やサービス業のと畜場及び自動車の整備に係る業種から排出される汚泥や、運輸業やサービス業の自動車の整備に係る業種から排出される廃プラ類（廃タイヤ）及び医療・福祉から排出されるその他産業廃棄物（感染性廃棄物）などが多い。

表 2-3-1　運輸業、医療・福祉、サービス業等の業種の排出量

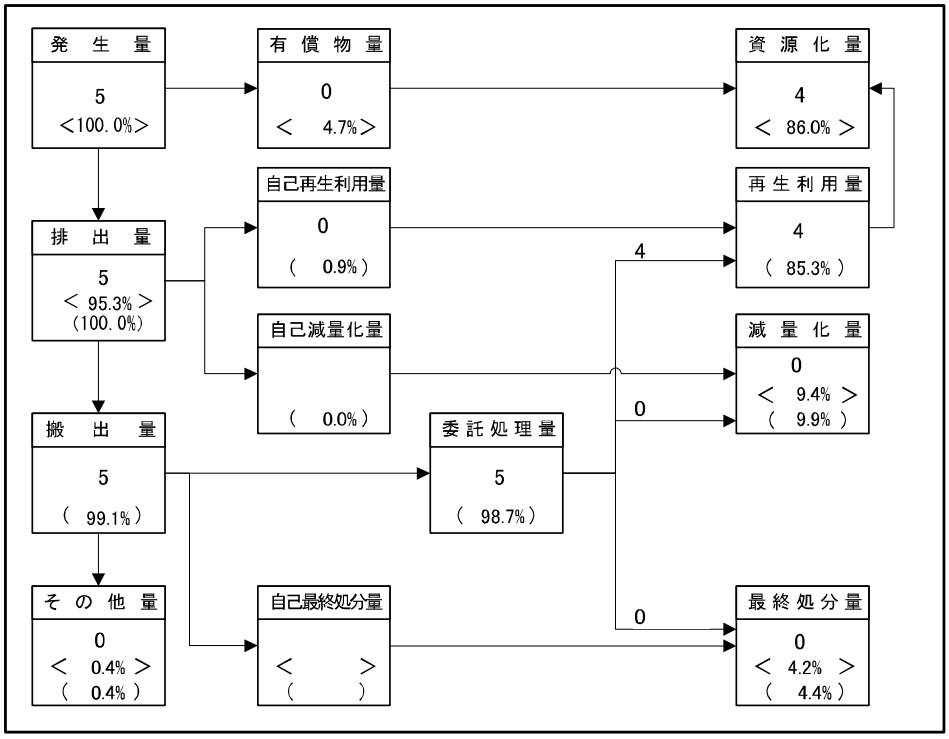
（単位：千ｔ/年）

業種 種類:無変換	合計	運輸業	卸･小売業	医療･福祉	サービス業	その他の業種※
合計	92	5	46	18	20	3
燃え殻	0	0				0
汚泥	12	0	9	0	2	1
廃油	6	0	3	0	2	0
廃酸	0		0	0	0	0
廃アルカリ	1	0	0	0	1	0
廃プラ類	29	2	18	3	4	1
紙くず	1				0	1
木くず	2	1	1	0	0	0
繊維くず	0	0	0		0	
動植物性残さ						
動物系固形不要物	0				0	
ゴムくず	0	0				
金属くず	10	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	3	0	3	0	0	0
鉱さい						
がれき類	1		1	0		0
動物のふん尿						
動物の死体						
ばいじん						
水銀廃棄物	0	0	0	0	0	0
その他の産業廃棄物	27	0	7	14	5	0
感染性廃棄物	14		0	14	0	0
混合物等	13	0	7	0	5	0

※その他の業種は、「林業」、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」のこと。
※「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

各業種の産業廃棄物の処理の流れは、図 2-3-20～図 2-3-24 に示すとおりである。

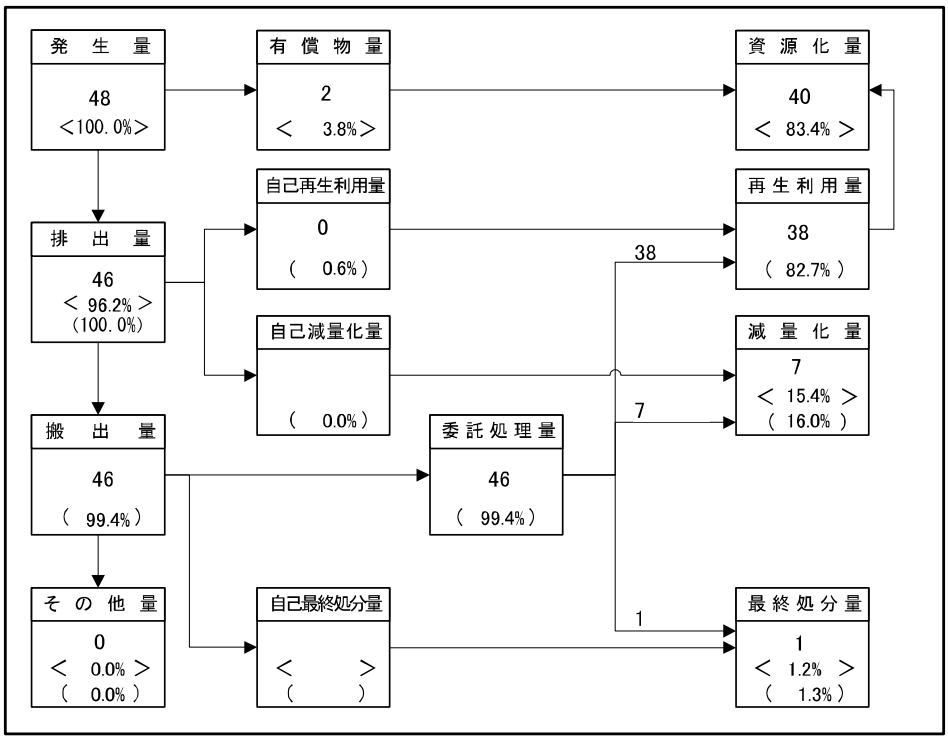
（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.< >内の数値は発生量に対する割合を、( )内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-20　発生及び処理状況の概要（運輸業）

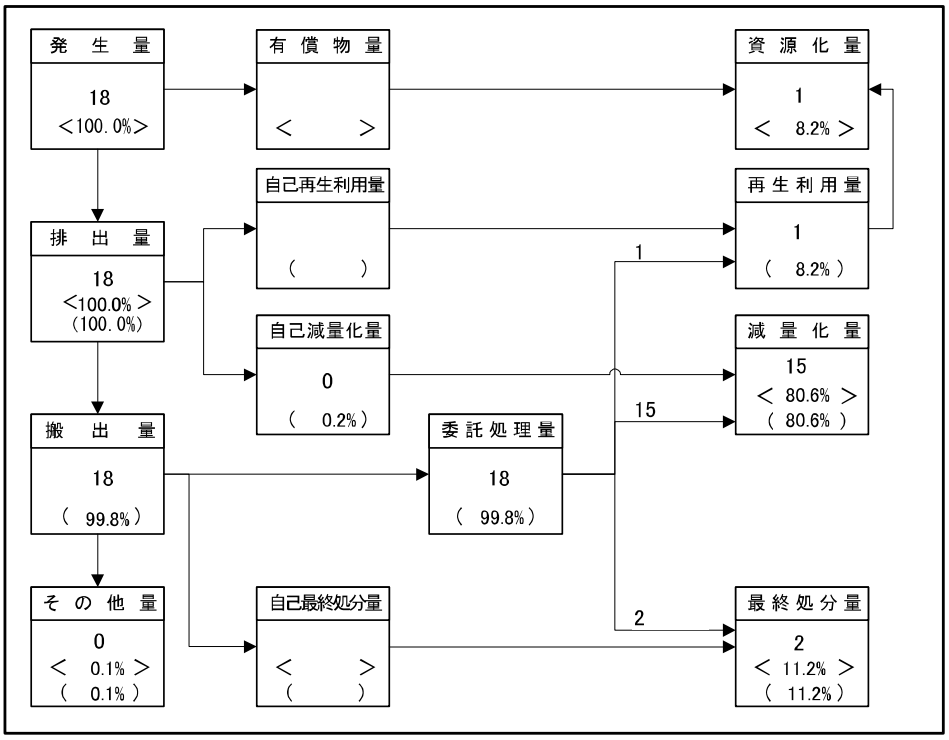
（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.< >内の数値は発生量に対する割合を、( )内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-21　発生及び処理状況の概要（卸・小売業）

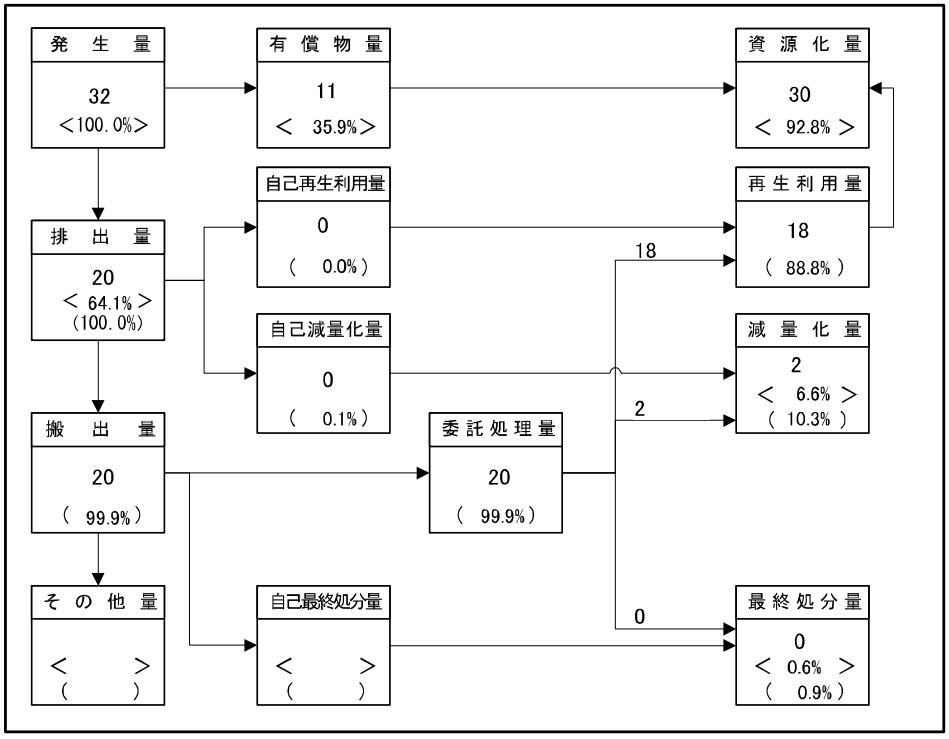
（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜　＞内の数値は発生量に対する割合を、（　）内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-22　発生及び処理状況の概要（医療・福祉）

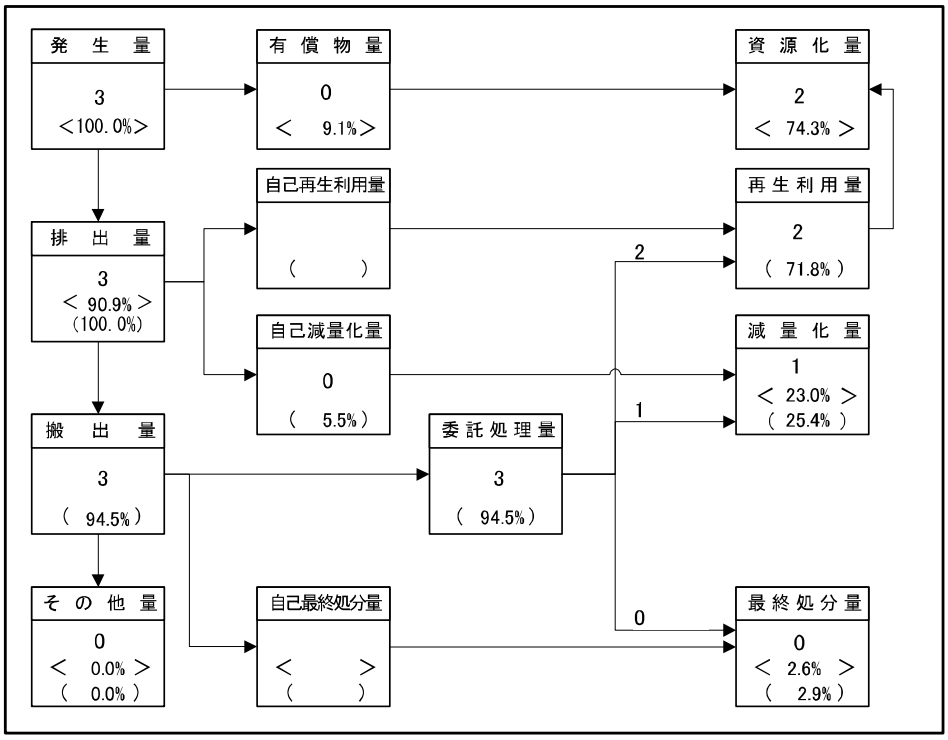
（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜　＞内の数値は発生量に対する割合を、（　）内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-23　発生及び処理状況の概要（サービス業）

（単位：千t/年）



注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500t/年未満であることを示している。
3.＜　＞内の数値は発生量に対する割合を、（　）内の数値は排出量に対する割合を示している。

図 2-3-24　発生及び処理状況の概要（その他の業種）

注）「その他の業種」は、「林業」、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」のこと

第４節　特別管理産業廃棄物の発生・処理状況

特別管理産業廃棄物（廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）、廃酸（pH2.0 以下）、廃アルカリ（pH12.5 以上）、感染性廃棄物、廃石綿等、廃水銀、特定有害廃棄物）については、他の産業廃棄物と同様にアンケート調査の回答を基に推計した。

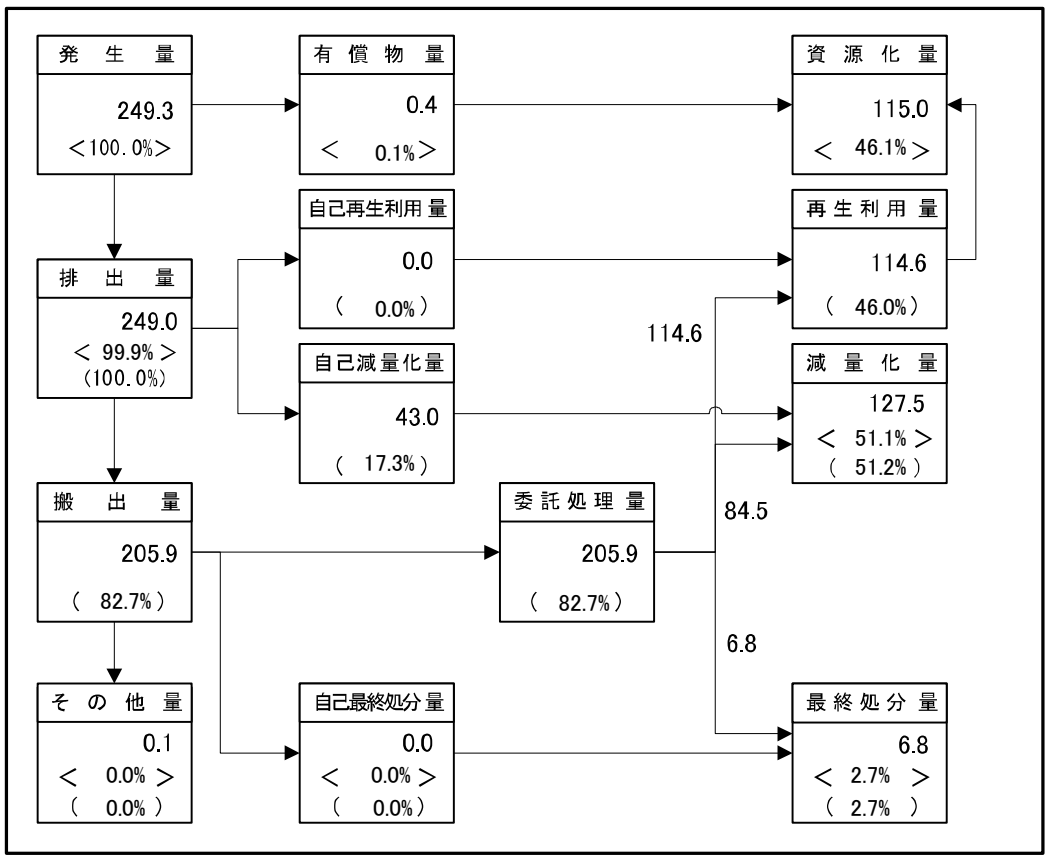
なお、本節以外については、特別管理産業廃棄物を含めた結果を「産業廃棄物」として記載している。

１．発生及び処理状況の概要

令和 5 年度の 1 年間に県内で発生した特別管理産業廃棄物の排出量は 249.3 千トンとなっている。

再生利用量は 114.6 千トン（特別管理産業廃棄物の排出量の 46.0%）であり、減量化量が 127.5 千トン（同 51.2%）、最終処分量が 6.8 千トン（同 2.7%）となっている（図 2-4-1 参照）。

（単位：千t/年）



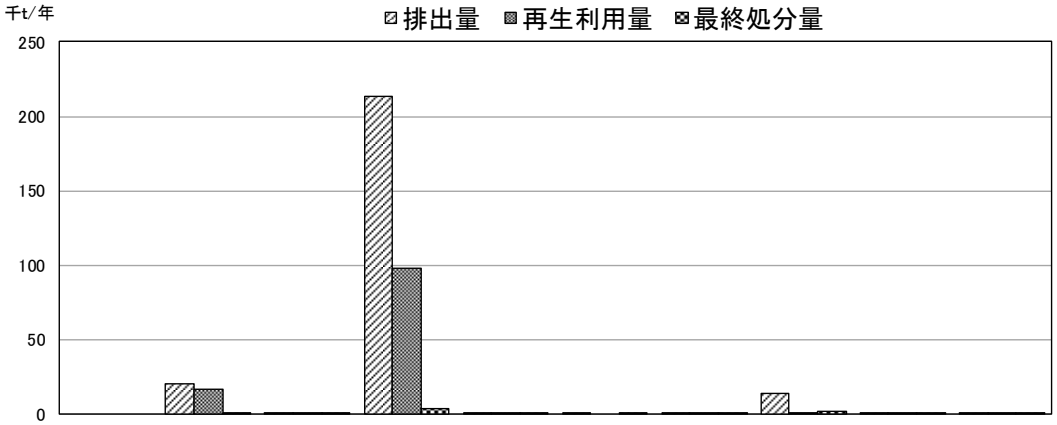
注）1.各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
2.「0」表示は500ｔ/年未満であることを示している。
3.＜　　＞内の数値は発生 量に対する割 合を、（　　）内の数値は排出量に対する割合を示している 。

図 2-4-1　特別管理産業廃棄物の発生及び処理状況の概要

２．業種別の状況

業種別にみると、排出量では、製造業が 213.6 千トン(特別管理産業廃棄物の排出量の 85.8%)と最も多く、次いで、鉱業が 19.8 千トン（同 8.0%）となっている。

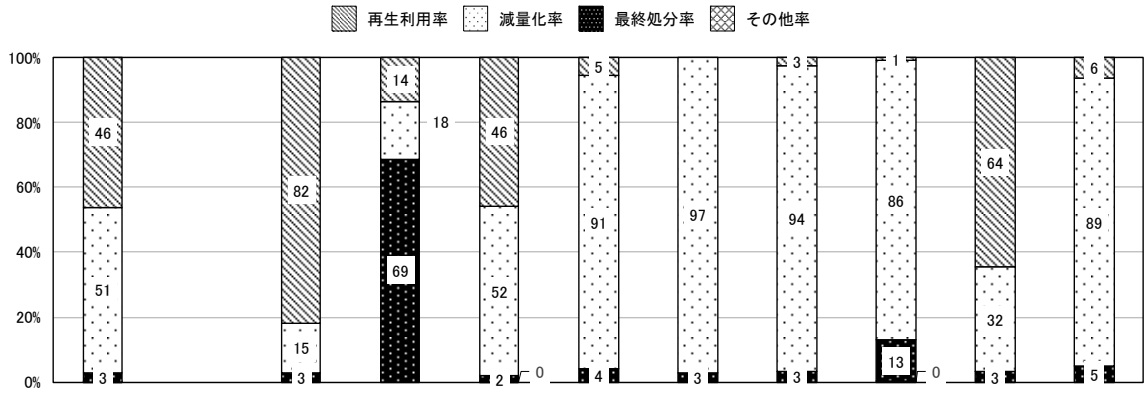
最終処分量では、製造業が 3.8 千トン（特別管理産業廃棄物の最終処分量の 55.9%）と最も多く、次いで、医療・福祉が 1.8 千トン（同 26.5%）となっている（図 2-4-2、図 2-4-3 参照)。



業種（千t/年）	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気･水道業	運輸業	卸･小売業	医療･福祉	サービス業	その他の業種
排出量	249.0		19.8	0.9	213.6	0.0	0.0	0.3	14.0	0.2	0.1
再生利用量	114.6		16.3	0.1	98.0	0.0		0.0	0.1	0.1	0.0
最終処分量	6.8		0.6	0.6	3.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0.0」表示は 50ｔ/年未満であることを示している。

図 2-4-2　特別管理産業廃棄物の業種別の排出量、再生利用量、最終処分量



業種（千t/年）	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気･水道業	運輸業	卸･小売業	医療･福祉	サービス業	その他の業種
排出量	249.0		19.8	0.9	213.6	0.0	0.0	0.3	14.0	0.2	0.1
再生利用量	114.6		16.3	0.1	98.0	0.0		0.0	0.1	0.1	0.0
減量化量	127.5		3.0	0.2	111.8	0.0	0.0	0.3	12.1	0.1	0.1
最終処分量	6.8		0.6	0.6	3.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
その他量	0.1				0.1				0.0		

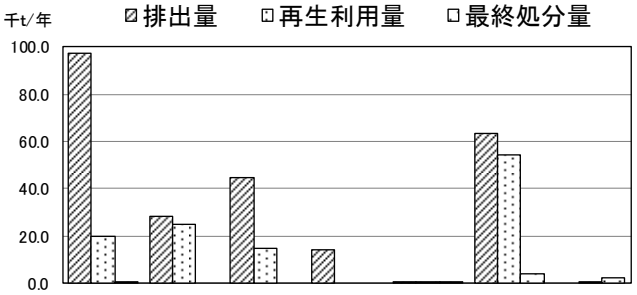
注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0.0」表示は 50ｔ/年未満であることを示している。

図 2-4-3　特別管理産業廃棄物の業種別の再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合

３．種類別の状況

特別管理産業廃棄物を種類別にみると、排出量では、廃油が 97.5 千トン（特別管理産業廃棄物排出量の 39.2%）と最も多く、次いで、特定有害廃棄物（廃石綿等を含む)が 63.7 千トン（同 25.6%)、廃アルカリが 45.0 千トン（同 18.1%)、廃酸が 28.7 千トン（同 11.5%)、感染性廃棄物が 14.1 千トン（同 5.7%）となっている。

最終処分量では、特定有害廃棄物（廃石綿等を含む）が 4.2 千トン（特別管理産業廃棄物最終処分量の 61.8%）となっており、焼却等の中間処理により特別管理産業廃棄物ではなくなった廃棄物が 2.6 千トン（同 38.2%）となっている（図 2-4-4 参照)。

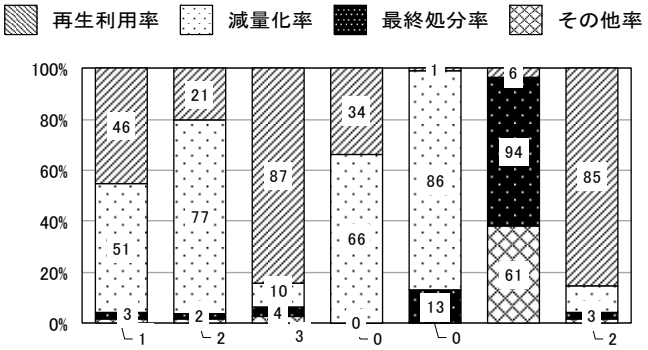


種類: 変換（千t/年）	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃水銀	特定有害廃棄物	非特別管理廃棄物
排出量	249.0	97.5	28.7	45.0	14.1	0.0	63.7	0.0
再生利用量	114.6	20.2	24.9	15.2	0.0	0.0	54.4	0.0
最終処分量	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	2.6

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。

注）2.「0.0」表示は 50ｔ/年未満であることを示している。

図 2-4-4　特別管理産業廃棄物の種類別の発生量、再生利用量、最終処分量



種類:無変換 （千t/年）	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃水銀	特定有害廃棄物
排出量	249.0	97.5	28.7	45.0	14.1	0.0	63.7
再生利用量	114.6	20.2	24.9	15.2	0.1	0.0	54.2
減量化量	127.5	75.2	2.7	29.7	12.2	0.0	7.6
最終処分量	6.8	2.0	1.1	0.1	1.8	0.0	1.8
その多量	3.7	1.9	0.7	0.0	0.0	0.0	1.0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。

注）2.「0.0」表示は 50ｔ/年未満であることを示している。

注）3.特定有害廃棄物は、中間処理の過程で重量が増えるため（薬品等を添加するため)、排出量と再生利用量、減量化量、最終処分量、その他量の合計は一致しない。

図 2-4-5　特別管理産業廃棄物の種類別の再生利用量、減量化量、最終処分量等の割合
（種類：無変換）

第５節　広域移動状況

１．県外への搬出状況

県外への搬出量は 368 千トンであり、中部地方への搬出量が 191 千トンで最も多く、次いで、関東地方が 120 千トン、東北地方が 42 千トンとなっている。

県外への搬出量を廃棄物の種類別にみると、がれき類が 112 千トンで最も多く、次いで、廃油が 94 千トン、汚泥が 59 千トン、鉱さいが 18 千トンとなっている（表 2-5-1 参照）。

県外への搬出量を処理目的別にみると、中間処理目的が 355 千トン、直接最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）が 14 千トンとなっている。（表 2-5-2、表 2-5-3 参照）。

表 2-5-1　県外への搬出量（全体）

（単位：千ｔ/年）

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
合計	369	3	42	120	191	8	0	5
燃え殻	11		0	10	1		0	0
汚泥	59	0	5	11	36	4	0	3
廃油	94	2	1	7	83	0	0	0
廃酸	5	0	1	1	3	0		0
廃アルカリ	14	0	1	1	13	0	0	0
廃プラ類	10	1	1	3	6	0	0	0
紙くず	6		0	0	3	3		
木くず	9		3	4	2	0		
繊維くず	0		0	0	0	0		
動植物性残さ	4		3	1	0			
動物系固形不要物								
ゴムくず	1			1				
金属くず	2	0	0	1	1	0	0	0
ガラス陶磁器くず	7	0	1	2	3	0	0	
鉱さい	18		2	13	3	0		0
がれき類	112		15	64	33	0		1
動物のふん尿								
動物の死体								
ばいじん	10		9	0	0			1
水銀廃棄物	1		0		0	0	0	
感染性廃棄物	1		0		0	0	0	
その他(混合物等)	6	0	0	2	4	0	0	

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

※各地域に属する都道府県は次のとおり

北海道：　北海道
東　北　：　青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関　東　：　茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中　部　：　富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近　畿　：　三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国四国：　鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州沖縄：　福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

表 2-5-2　県外への搬出量（中間処理目的）

（単位：千ｔ/年）

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
合計	355	3	42	120	177	8	0	5
燃え殻	10		0	10	0		0	0
汚泥	49	0	5	11	26	4	0	3
廃油	94	2	1	7	83	0	0	0
廃酸	5	0	1	1	3	0		0
廃アルカリ	14	0	1	1	13	0	0	0
廃プラ類	10	1	1	3	6	0	0	0
紙くず	6		0	0	3	3		
木くず	9		3	4	2	0		
繊維くず	0		0	0	0	0		
動植物性残さ	4		3	1	0			
動物系固形不要物								
ゴムくず	1			1				
金属くず	2	0	0	1	1	0	0	0
ガラス陶磁器くず	6	0	1	2	2	0	0	
鉱さい	18		2	13	3	0		0
がれき類	112		15	64	33	0		1
動物のふん尿								
動物の死体								
ばいじん	10		9	0	0			1
水銀廃棄物								
感染性廃棄物	1		0		0	0	0	
その他(混合物等)	5	0	0	2	3	0	0	

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

表 2-5-3　県外への搬出量（最終処分目的）

（単位：千ｔ/年）

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
合計	14		0	0	14	0	0	
燃え殻	1		0		1			
汚泥	10		0		10		0	
廃油	0				0			
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラ類	0		0		0			
紙くず								
木くず								
繊維くず								
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず	0				0			
ガラス陶磁器くず	1		0	0	1	0		
鉱さい	0				0			
がれき類	0				0			
動物のふん尿								
動物の死体								
ばいじん	0				0			
水銀廃棄物								
感染性廃棄物								
その他(混合物等)	2		0		2			

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

２．県内への搬入状況

県内への搬入量については、県外産業廃棄物処分計画協議及び実績報告のデータを用いて集計した。

県内への搬入量は 560 千トンであり、中部地方からの搬入量が 238 千トンで最も多く、次いで、東北地方が 167 千トン、関東地方が 103 千トンとなっている。

県内への搬入量を廃棄物の種類別にみると、ばいじんが 216 千トンで最も多く、次いで、汚泥が 63 千トン、鉱さいが 51 千トン、廃プラ類が 49 千トンとなっている（表 2-5-4 参照）。

県内への搬入量を処理目的別にみると、中間処理目的が 559 千トンで、直接最終処分目的（中間処理を経ずに最終処分）が 0 千トンとなっている（表 2-5-5、表 2-5-6 参照）。

平成 30 年度実績と比べ、県外廃棄物の搬入量は減少しており、要因としては、中部地方からの木くず搬入量の減少によるものとなっている。

表 2-5-4　県内への搬入量（全体）

（単位：千ｔ/年）

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
合計	560	3	167	103	238	44	4	
燃え殻	4		1	0	4	0	0	
汚泥	63		9	10	43	1	0	
廃油	2		0	0	1			
廃酸	37		10	8	16	2	0	
廃アルカリ	35		9	10	15	1	0	
廃プラ類	49		1	35	12	0	0	
紙くず	9		0	8	1			
木くず	13		0	8	5			
繊維くず	5		0	4	1			
動植物性残さ	8			0	7			
動物系固形不要物								
ゴムくず	0		0	0	0			
金属くず	41		27	3	11	0	0	
ガラス陶磁器くず	5		0	1	1	0	3	
鉱さい	51		5	6	38	2		
がれき類	9		1	2	6	0	0	
動物のふん尿								
動物の死体	0				0			
ばいじん	216	3	102	1	71	38		
水銀廃棄物	0				0			
感染性廃棄物	2		0		2			
その他(混合物等)	11		2	5	5	0		

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

※各地域に属する都道府県は次のとおり

北 海 道 ： 北海道
東　北　： 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関　東　： 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中　部　： 富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近　畿　： 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国四国： 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州沖縄： 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

表 2-5-5　県内への搬入量（中間処理目的）

（単位：千ｔ/年）

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
合計	559	3	167	103	238	44	4	
燃え殻	4		1	0	4	0	0	
汚泥	63		9	10	43	1	0	
廃油	2		0	0	1			
廃酸	37		10	8	16	2	0	
廃アルカリ	35		9	10	15	1	0	
廃プラ類	49		1	35	12	0	0	
紙くず	9		0	8	1			
木くず	13		0	8	5			
繊維くず	5		0	4	1			
動植物性残さ	8			0	7			
動物系固形不要物								
ゴムくず	0		0	0	0			
金属くず	41		27	3	11	0	0	
ガラス陶磁器くず	5		0	1	1	0	3	
鉱さい	51		5	6	38	2		
がれき類	9		1	2	6	0	0	
動物のふん尿								
動物の死体	0				0			
ばいじん	216	3	102	1	71	38		
水銀廃棄物	0				0			
感染性廃棄物	2		0		2			
その他(混合物等)	11		2	5	5	0		

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

表 2-5-6　県内への搬入量（最終処分目的）

（単位：千ｔ/年）

	合計	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国四国	九州沖縄
合計	0				0			
燃え殻								
汚泥								
廃油								
廃酸								
廃アルカリ								
廃プラ類								
紙くず								
木くず								
繊維くず								
動植物性残さ								
動物系固形不要物								
ゴムくず								
金属くず								
ガラス陶磁器くず								
鉱さい	0				0			
がれき類								
動物のふん尿								
動物の死体								
ばいじん								
水銀廃棄物								
感染性廃棄物								
その他(混合物等)								

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

第３章　産業廃棄物の推移と将来の見込み

第１節　前回調査結果との比較

（１）排出量

排出量は、平成 30 年度の排出量 8,862 千トンに比べて 311 千トン増加している。業種別にみると建設業が 581 千トン、製造業が 165 千トン増加している。

また、種類別にみると、がれき類が 523 千トン増加している。

平成 30 年度と比較して排出量が増加しているのは、建設業や製造業では元請完成工事高や製造品出荷額等の活動量指標が増加していることから、事業活動の好調に伴い排出量の増加に繋がったことによるものと考えられる。

表 3-1-1　排出量の比較

（単位:千t/年）

	平成30年度	令和5年度	増減量（増減率）
合 計	8,862	9,173	311 （3.5%）
農業	1,010	862	△148 （△14.7%）
鉱業	608	486	△122 （△20.1%）
建設業	2,174	2,755	581 （26.7%）
製造業	3,190	3,355	165 （5.2%）
電気･水道業	1,713	1,624	△89 （△5.2%）
運輸業	71	5	△66 （△93.0%）
卸･小売業	50	46	△4 （△7.9%）
医療･福祉	14	18	4 （30.5%）
サービス業	30	20	△9 （△31.3%）
その他の業種	4	3	△1 （△18.6%）

（単位:千t/年）

	平成30年度	令和5年度	増減量（増減率）
合 計	8,862	9,173	311 （3.5%）
燃え殻	56	22	△33 （△59.8%）
汚泥	4,735	4,399	△336 （△7.1%）
廃油	122	194	72 （58.6%）
廃酸	276	290	14 （5.2%）
廃アルカリ	62	145	82 （132.1%）
廃プラ類	117	209	92 （78.6%）
紙くず	21	24	3 （14.9%）
木くず	202	235	33 （16.4%）
繊維くず	2	3	1 （47.3%）
動植物性残さ	44	29	△15 （△34.0%）
動物系固形不要物	0	0	△0 （△99.9%）
ゴムくず	0	1	1 （593.4%）
金属くず	110	123	13 （11.7%）
ガラス陶磁器くず	219	191	△28 （△12.7%）
鉱さい	149	205	56 （37.4%）
がれき類	1,568	2,091	523 （33.4%）
動物のふん尿	999	860	△140 （△14.0%）
動物の死体	1	1	0 （0.8%）
ばいじん	119	76	△43 （△36.0%）
水銀廃棄物		3	- -
その他の産業廃棄物	59	73	14 （23.5%）

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2．「0」表示は 500ｔ/年未満であること、「△0」表示は 500ｔ/年未満の減少を示している。
注）3．水銀廃棄物は、令和 5 年度実績から新たに区分。

（2）再生利用量

再生利用量は、平成 30 年度と比較して 644 千トン増加している。業種別にみると、建設業が 533 千トン、製造業が 260 千トン増加し、農業が 92 千トン減少している。

種類別にみると、がれき類が 496 千トン、廃アルカリが 81 千トン、廃油が 63 千トン、鉱さいが 59 千トン増加し、動物のふん尿が 87 千トン、汚泥が 70 千トン減少している。

平成 30 年度と比較して再生利用量が増加しているのは、建設業からのがれき類や、製造業のうち化学からの廃油、廃アルカリの排出が増えたことが大きく影響している。

表 3-1-2　再生利用量の比較

（単位:千t/年）

	平成30年度	令和5年度	増減量（増減率）
合 計	3,772	4,416	644 （17.1%）
農業	726	633	△92 （△12.7%）
鉱業	144	183	40 （27.6%）
建設業	1,988	2,521	533 （26.8%）
製造業	614	873	260 （42.3%）
電気･水道業	219	141	△78 （△35.8%）
運輸業	35	4	△31 （△88.0%）
卸･小売業	38	38	△0 （△1.2%）
医療･福祉	1	1	0 （31.3%）
サービス業	4	18	14 （339.6%）
その他の業種	3	2	△1 （△29.5%）

（単位:千t/年）

	平成30年度	令和5年度	増減量（増減率）
合 計	3,772	4,416	644 （17.1%）
燃え殻	97	90	△7 （△7.3%）
汚泥	537	467	△70 （△13.0%）
廃油	11	74	63 （554.4%）
廃酸	10	51	41 （400.7%）
廃アルカリ	20	102	81 （396.8%）
廃プラ類	66	117	51 （77.1%）
紙くず	19	22	3 （18.0%）
木くず	166	213	47 （28.2%）
繊維くず	1	1	0 （50.4%）
動植物性残さ	29	5	△24 （△82.9%）
動物系固形不要物			- -
ゴムくず	0	1	1 （907.6%）
金属くず	107	114	7 （6.5%）
ガラス陶磁器くず	181	169	△12 （△6.4%）
鉱さい	131	190	59 （45.3%）
がれき類	1,537	2,033	496 （32.2%）
動物のふん尿	718	632	△87 （△12.1%）
動物の死体	1	1	0 （0.8%）
ばいじん	113	83	△30 （△26.4%）
水銀廃棄物		2	- -
その他の産業廃棄物	26	48	22 （85.0%）

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であること、「△0」表示は 500ｔ/年未満の減少を示している。
注）3. 水銀廃棄物は、令和 5 年度実績から新たに区分。

（3）最終処分量

最終処分量は、平成 30 年度と比較して 20 千トン減少している。業種別にみると、製造業が 9 千トン、卸・小売業が 7 千トン、建設業が 2 千トン減少している。

種類別にみると、ガラス陶磁器くずが 23 千トン、廃プラ類が 12 千トン減少し、がれきが 22 千トン、汚泥が 11 千トン、金属くずが 6 千トン増加している。

平成 30 年度と比較して最終処分量、最終処分率ともにやや減少となっている。最終処分率の高いガラス陶磁器くずの排出が減少したため、その分が最終処分量の減少に繋がったものと考えられる。

表 3-1-3　最終処分量の比較

（単位:千t/年）

	平成30年度	令和5年度	増減量（増減率）
合 計	166	146	△20 （△11.9%）
農業	0	0	△0 （△44.9%）
鉱業	0	1	0 （254.9%）
建設業	90	89	△2 （△1.9%）
製造業	62	53	△9 （△14.9%）
電気･水道業	2	1	△0 （△20.9%）
運輸業	1	0	△0 （△58.5%）
卸･小売業	8	1	△7 （△92.8%）
医療･福祉	2	2	0 （4.7%）
サービス業	1	0	△1 （△84.0%）
その他の業種	0	0	△0 （△77.4%）

（単位:千t/年）

	平成30年度	令和5年度	増減量（増減率）
合 計	166	146	△20 （△11.9%）
燃え殻	18	9	△10 （△53.1%）
汚泥	17	27	11 （65.7%）
廃油	0	0	△0 （△38.4%）
廃酸			- -
廃アルカリ			- -
廃プラ類	19	6	△12 （△66.5%）
紙くず	0	0	△0 （△65.7%）
木くず	3	5	2 （88.1%）
繊維くず	0	0	△0 （△97.4%）
動植物性残さ	0		△0 （△100.0%）
動物系固形不要物			- -
ゴムくず	0	0	△0 （△96.1%）
金属くず	2	9	6 （290.8%）
ガラス陶磁器くず	41	18	△23 （△55.7%）
鉱さい	19	15	△3 （△17.5%）
がれき類	23	46	22 （96.5%）
動物のふん尿			- -
動物の死体			- -
ばいじん	1	4	3 （251.0%）
水銀廃棄物		0	- -
その他の産業廃棄物	23	7	△16 （△68.9%）

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であること、「△0」表示は 500ｔ/年未満の減少を示している。
注）3. 水銀廃棄物は、令和 5 年度実績から新たに区分。

第２節　目標値との比較

（第 3 次）新潟県資源循環型社会推進計画　目標値

排　出　量：令和 7 年度の排出量を 8,844 千トン以下にする。

再生利用量：令和 7 年度の再生利用量を 43.3%（3,829 千トン）以上にする。

最終処分量：令和 7 年度の最終処分量を 1.8%（159 千トン）以下にする。

項目＼年度	平成 30 年度	令和 2 年度		令和 5 年度	令和 7 年度	
	（実績値）	（前計画目標値）		（実績値）	（目標値）	
排出量(千トン)	8,862	8,745	以下	9,173	8,844	以下
再生利用率	42.6%	49.0%	以上	48.1%	43.3%	以上
（再生利用量 千トン）	3,772	4,285		4,416	3,829	
最終処分率	1.9%	1.8%	以下	1.6%	1.8%	以下
（最終処分量 千トン）	166	157		146	159	

（１）排出量

排出量の推移及び目標値との比較については、図 3-2-1 に示すとおりである。

建設業や製造業からの排出量が増加したこともあり、令和 7 年度目標値(8,844 千トン以下)を上回っている。目標達成には、現況より 329 千トン削減が必要である。

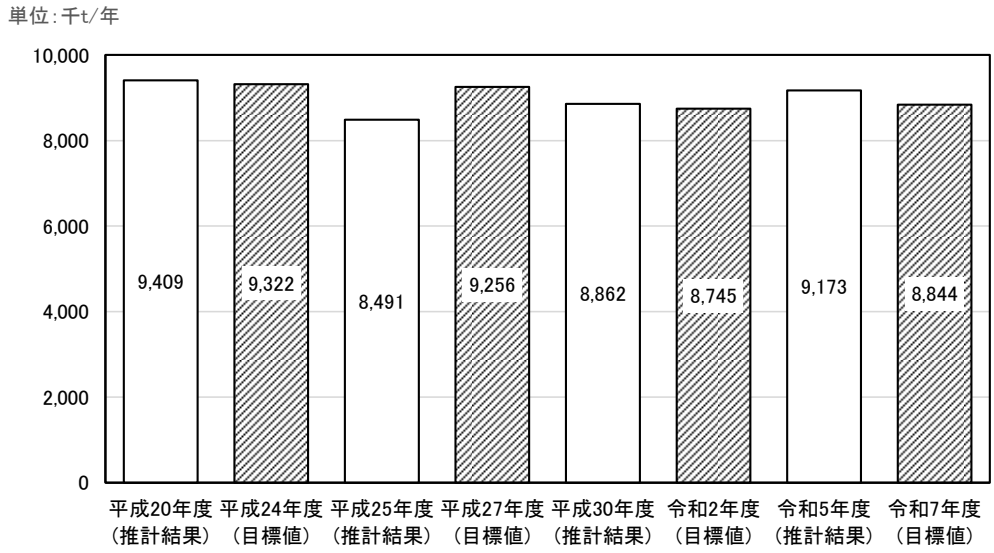


図 3-2-1　排出量の推移及び目標値との比較

（２）再生利用率・量

再生利用率・量の推移及び目標値との比較については、図 3-2-2 に示すとおりである。

令和 7 年度目標値（再生利用率 43.3%（3,829 千トン）以上）に対して 4.8 ポイント（587 千トン）多く、令和 2 年度目標値（再生利用率 49.0%（4,285 千トン）以上）に対して、再生利用量は 131 千トン多いが、再生利用率は 0.9 ポイント少ない。再生利用率の高いがれき類の排出量が増加したことで、良好な状態となっている。

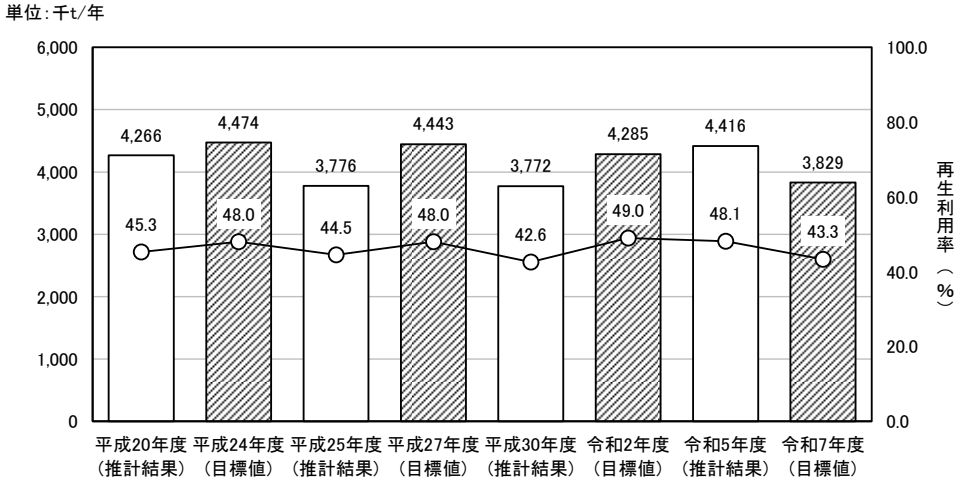


図 3-2-2　再生利用状況の推移及び目標値との比較

（３）最終処分率・量

最終処分率・量の推移及び目標値との比較については、図 3-2-3 に示すとおりである。

最終処分率、最終処分量ともに減少となっており、令和 7 年度目標値（1.8%（159 千トン）以下）及び令和 2 年度目標値（最終処分率 1.8%（最終処分量 157 千トン以下）は達成できている。

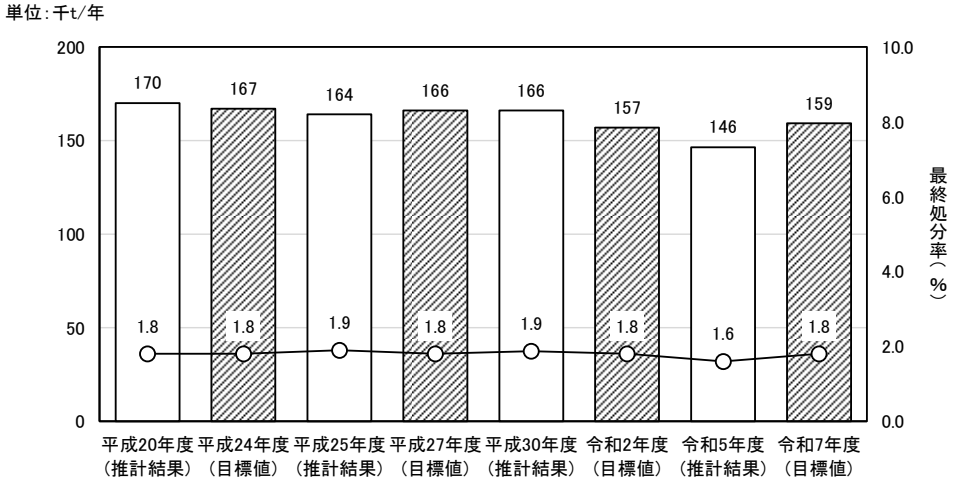


図 3-2-3　最終処分状況の推移及び目標値との比較

第３節　将来の見込み

産業廃棄物の排出状況及び経済的状況を整理し、排出量等の将来予測を次のとおり求めた。

（１）各種経済指標等を用いた将来予測（第１段階）

将来予測は、排出原単位及び処理形態が将来にわたり一定であると仮定して、各活動量指標等を将来推計し、推測した活動量指標等に令和 5 年度の原単位を乗じて排出量等を予測した。業種別の将来予測方法は次のとおりである。

表 3-3-1　業種別の将来予測方法

業種	各種経済指標の将来予測方法
農業	将来的に大きな増減が見込まれないため、現状のまま推移とした。
建設業	過去からのトレンド（令和元～令和 4 年）で元請完成工事高を推計し、将来の活動量指標とした。
製造業	過去からのトレンド（平成 28～令和 4 年）で業種中分類別に製造品出荷額等を推計し、将来の活動量指標とした。
電気・水道業	上水道業は将来推計人口※1 を将来の活動量指標とした。 下水道業は将来の下水処理人口※2 を将来の活動量指標とした。 電気業はエネルギー事情の変化で排出量が大きく変わることが考えられるため、現状のまま推移とした。
その他の業種	将来推計人口※1 のうち、生産年齢（15～64 歳）人口を将来の活動量指標とした。

※1：国立社会保障人口問題研究所による都道府県別将来推計人口
※2：将来推計人口に、下水道部局による将来の下水道普及率を乗じた値

予測の結果、電気・水道業は減少するが建設業と製造業は増加するため、全体としては排出量は増加し、現状（令和 5 年度）の 9,173 千トンから令和 12 年度には 9,248 千トンになると予測される。

再生利用量は、排出量の増加に伴い、現状の 4,416 千トンから令和 12 年度には 4,672 千トンに増加すると予測されるが、再生利用率は 48％から 51％と若干上昇すると予測される。

減量化量は、減量化率の高い汚泥の排出量が減少するため、現状の 4,608 千トンから令和 12 年度には 4,413 千トンに減少する。

最終処分量は、排出量の増加に伴い、現状の 146 千トンから令和 12 年度には 160 千トンに増加すると予測される。

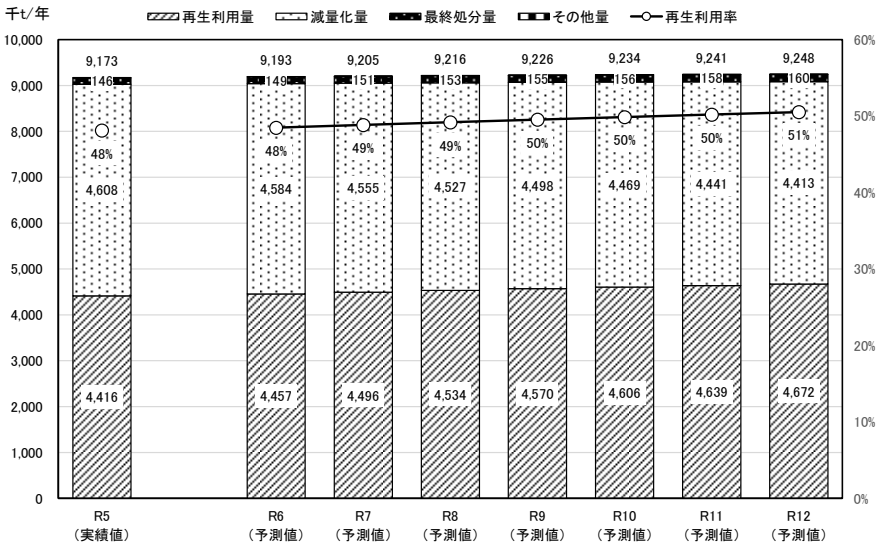


図 3-3-1　産業廃棄物の将来見込み（第１段階）

表 3-2　業種別種類別の将来予測値（排出量　令和 12 年度　第 1 段階）

（単位：千 t/年）

業種 / 種類：無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他
合計	9,248　(100.0%)	862 (9.3%)	444 (4.8%)	2,916 (31.5%)	3,350 (36.2%)	1,591 (17.2%)	5 (0.0%)	42 (0.5%)	17 (0.2%)	19 (0.2%)	3 (0.0%)
燃え殻	23 (0.3%)			0	8	15	0				0
汚泥	4,133 (44.7%)		381	275	1,970	1,496	0	8	0	2	0
廃油	241 (2.6%)		5	1	224	6	0	3	0	2	0
廃酸	366 (4.0%)		10	0	356	0		0	0	0	0
廃アルカリ	166 (1.8%)		16	0	149	0	0	0	0	1	0
廃プラ類	229 (2.5%)	1	17	26	158	0	2	17	3	4	1
紙くず	21 (0.2%)			8	12					0	1
木くず	245 (2.6%)		0	224	19		1	1	0	0	0
繊維くず	3 (0.0%)			3	1	0	0	0		0	
動植物性残さ	31 (0.3%)				31						
動物系固形不要物	0 (0.0%)									0	
ゴムくず	1 (0.0%)				1		0				
金属くず	138 (1.5%)		0	42	84	3	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	198 (2.1%)		13	111	71	0	0	3	0	0	0
鉱さい	226 (2.4%)			5	221						
がれき類	2,211 (23.9%)		2	2,183	21	6		1	0		0
動物のふん尿	860 (9.3%)	860									
動物の死体	1 (0.0%)	1									
ばいじん	79 (0.9%)				13	66					
水銀廃棄物	3 (0.0%)		0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他産業廃棄物	75 (0.8%)		1	37	13	0	0	6	13	5	0

注）1．各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2．「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

表 3-3-3　業種別種類別の将来予測値（再生利用量　令和 12 年度　第 1 段階）

（単位：千 t/年）

業種 / 種類：無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他
合計	4,672　(100.0%)	633 (6.9%)	168 (1.8%)	2,669 (28.9%)	1,004 (10.9%)	140 (1.5%)	4 (0.0%)	35 (0.4%)	1 (0.0%)	17 (0.2%)	2 (0.0%)
燃え殻	22 (0.5%)			0	6	15	0				0
汚泥	572 (12.2%)		109	132	277	50	0	2	0	1	0
廃油	102 (2.2%)		4	0	94	0	0	3	0	2	0
廃酸	62 (1.3%)		10	0	52	0			0	0	0
廃アルカリ	114 (2.4%)		13	0	100	0	0	0	0	1	0
廃プラ類	124 (2.7%)	1	17	22	61	0	2	16	1	4	0
紙くず	19 (0.4%)			7	11						1
木くず	223 (4.8%)		0	207	15		1	1		0	0
繊維くず	2 (0.0%)			1	1		0	0		0	
動植物性残さ	6 (0.1%)				6						
動物系固形不要物	0 (0.0%)									0	
ゴムくず	1 (0.0%)				1		0				
金属くず	127 (2.7%)		0	41	73	3	1	3	0	5	0
ガラス陶磁器くず	175 (3.7%)		13	96	63	0	0	3	0	0	0
鉱さい	207 (4.4%)			5	202						
がれき類	2,151 (46.0%)		1	2,123	20	6		1			0
動物のふん尿	632 (13.5%)	632									
動物の死体	1 (0.0%)	1									
ばいじん	78 (1.7%)				13	66					
水銀廃棄物	3 (0.1%)		0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他産業廃棄物	54 (1.2%)		1	33	9	0	0	6	0	4	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500 t /年未満であることを示している。
注）3. 焼却等による物質変換は考慮していない。

表 3-3-4　業種別種類別の将来予測値（最終処分量　令和 12 年度　第 1 段階）

（単位：千 t/年）

業種 / 種類：無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他
合計	160　(100.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	94 (1.0%)	61 (0.7%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
燃え殻	2 (1.1%)			0	2		0				
汚泥	28 (17.4%)		0	20	6	1		0	0	0	0
廃油	4 (2.7%)		0	0	4	0	0	0	0	0	0
廃酸	2 (1.0%)		0	0	2	0		0	0	0	0
廃アルカリ	2 (1.1%)		0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃プラ類	7 (4.2%)	0		2	4	0	0	0	0		0
紙くず	0 (0.1%)			0	0					0	
木くず	6 (3.5%)			2	3		0		0		0
繊維くず	0 (0.1%)			0	0	0					
動植物性残さ	0 (0.1%)				0						
動物系固形不要物	0 (0.0%)									0	
ゴムくず	0 (0.0%)				0						
金属くず	12 (7.3%)			1	11	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	21 (13.1%)			16	5	0	0	0	0	0	0
鉱さい	19 (11.7%)			0	19						
がれき類	48 (30.3%)		0	48	0				0		
動物のふん尿	(0.0%)										
動物の死体	(0.0%)										
ばいじん	0 (0.2%)				0						
水銀廃棄物	0 (0.0%)		0	0	0	0	0	0	0		0
その他産業廃棄物	10 (6.1%)			4	4	0	0	0	2	0	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500 t /年未満であることを示している。
注）3. 焼却等による物質変換は考慮していない。

（２）事業者の考えを反映した将来予測（第 2 段階）

各種経済指標等を用いた将来予測（第 1 段階）に、事業者が回答した「産業廃棄物の将来動向調査」の結果を反映させ、将来の産業廃棄物量を予測した。「産業廃棄物の将来動向調査」は、産業廃棄物実態調査の一部として、事業者に将来の排出量及び再生利用量や最終処分量の見込みを調査したものである。

事業者による景気動向の判断や、排出抑制、最終処分量削減の推進により、排出量や各処理量は増加傾向の第 1 段階に対して減少する予測となり、令和 12 年度の排出量は 9,096 千トンとなる。

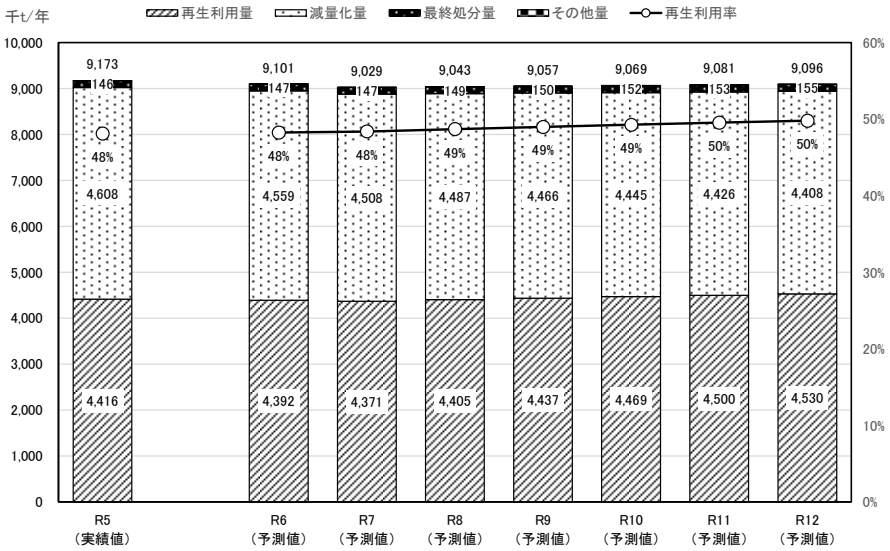


図 3-3-2　産業廃棄物の将来見込み（第 2 段階）

表 3-3-5　業種別種類別の将来予測値（排出量　令和 12 年度　第 2 段階）

（単位：千 t/年）

業種 / 種類：無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他
合計	9,096 (100.0%)	862 (9.5%)	332 (3.7%)	2,777 (30.5%)	3,455 (38.0%)	1,589 (17.5%)	4 (0.0%)	39 (0.4%)	17 (0.2%)	18 (0.2%)	3 (0.0%)
燃え殻	23 (0.3%)			0	8	15	0				0
汚泥	4,099 (45.1%)		285	261	2,046	1,497	0	7	0	2	0
廃油	254 (2.8%)		4	1	239	5	0	3	0	2	0
廃酸	369 (4.1%)		8	0	361	0		0	0	0	0
廃アルカリ	168 (1.8%)		12	0	155	0	0	0	0	1	0
廃プラ類	229 (2.5%)	1	13	24	165	0	2	16	3	4	1
紙くず	21 (0.2%)			8	13					0	1
木くず	233 (2.6%)		0	213	19		1	1	0	0	0
繊維くず	3 (0.0%)			2	1	0	0	0		0	
動植物性残さ	31 (0.3%)				31						
動物系固形不要物	0 (0.0%)									0	
ゴムくず	1 (0.0%)				1		0				
金属くず	138 (1.5%)		0	40	87	3	1	3	0	5	0
ガラス陶磁器くず	191 (2.1%)		10	106	72	0	0	2	0	0	0
鉱さい	218 (2.4%)			4	214						
がれき類	2,106 (23.2%)		1	2,078	21	6		0	0		0
動物のふん尿	860 (9.5%)	860									
動物の死体	1 (0.0%)	1									
ばいじん	76 (0.8%)				12	64					
水銀廃棄物	3 (0.0%)		0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他産業廃棄物	73 (0.8%)		0	35	13	0	0	6	13	5	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500ｔ/年未満であることを示している。

表 3-3-6　業種別種類別の将来予測値（再生利用量　令和 12 年度　第 2 段階）

（単位：千 t/年）

業種 / 種類：無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他
合計	4,530 (100.0%)	633 (7.0%)	125 (1.4%)	2,541 (27.9%)	1,039 (11.4%)	136 (1.5%)	4 (0.0%)	33 (0.4%)	1 (0.0%)	16 (0.2%)	2 (0.0%)
燃え殻	22 (0.5%)			0	7	15	0				0
汚泥	557 (12.3%)		81	126	298	49	0	2	0	1	0
廃油	108 (2.4%)		3	0	100	0	0	3	0	2	0
廃酸	63 (1.4%)		8	0	55	0			0	0	0
廃アルカリ	118 (2.6%)		9	0	108	0	0	0	0	1	0
廃プラ類	117 (2.6%)	1	13	21	60	0	1	15	1	4	0
紙くず	19 (0.4%)			6	12						1
木くず	213 (4.7%)		0	197	14		1	1		0	0
繊維くず	1 (0.0%)			1	1		0	0		0	
動植物性残さ	6 (0.1%)				6						
動物系固形不要物	0 (0.0%)									0	
ゴムくず	1 (0.0%)				1		0				
金属くず	127 (2.8%)		0	39	76	3	1	3	0	5	0
ガラス陶磁器くず	168 (3.7%)		10	91	64	0	0	2	0	0	0
鉱さい	200 (4.4%)			4	196						
がれき類	2,048 (45.2%)		1	2,021	21	6		0			0
動物のふん尿	632 (13.9%)	632									
動物の死体	1 (0.0%)	1									
ばいじん	76 (1.7%)				12	64					
水銀廃棄物	2 (0.1%)		0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他産業廃棄物	52 (1.1%)		0	32	9	0	0	6	0	4	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500 t /年未満であることを示している。

表 3-3-7　業種別種類別の将来予測値（最終処分量　令和 12 年度　第 2 段階）

（単位：千 t/年）

業種 / 種類：無変換	合計	農業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他
合計	155 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	89 (1.0%)	60 (0.7%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
燃え殻	2 (1.1%)			0	2		0				
汚泥	27 (17.3%)		0	19	6	1		0	0	0	0
廃油	4 (2.9%)		0	0	4	0	0	0	0	0	0
廃酸	2 (1.0%)		0	0	2	0		0	0	0	0
廃アルカリ	2 (1.1%)		0	0	1	0	0	0	0	0	0
廃プラ類	7 (4.2%)	0		2	4	0	0	0	0		0
紙くず	0 (0.1%)			0	0					0	
木くず	5 (3.5%)			2	3		0		0		0
繊維くず	0 (0.1%)			0	0	0					
動植物性残さ	0 (0.1%)				0						
動物系固形不要物	0 (0.0%)									0	
ゴムくず	0 (0.0%)				0						
金属くず	12 (7.6%)			1	11	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	20 (13.2%)			15	5	0	0	0	0	0	0
鉱さい	18 (11.5%)			0	18						
がれき類	46 (29.9%)		0	46	0				0		
動物のふん尿	(0.0%)										
動物の死体	(0.0%)										
ばいじん	0 (0.2%)				0						
水銀廃棄物	0 (0.0%)		0	0	0	0	0	0	0		0
その他産業廃棄物	9 (6.1%)			3	4	0	0	0	2	0	0

注）1. 各項目の数値は、四捨五入した値を使用しているため、総数と個々の合計とは一致しない場合がある。
注）2.「0」表示は 500 t /年未満であることを示している。

第４章　資源循環の意識調査

産業廃棄物に関する事業者の意識を把握するため、アンケート調査を実施した。

調査対象は、産業廃棄物実態調査票を送付した事業所とした。

第１節　資源循環の取り組みと課題

１．調査概要

実態調査と同じアンケート送付事業所 6,053 事業所に対して、3,536 事業所から回答が得られた。うち、意識調査について有効な回答が得られたのは 3,167 事業所となっている。

総事業所数	：108,401 事業所（事業所母集団データベース）
調査対象事業所数	：41,456 事業所
アンケート送付事業所数	：6,053 事業所
回収事業所数	：3,536 事業所
回収率	：58.4%
有効調査票数	：3,167 事業所
有効回答率	：52.5%

２．調査結果

「貴事業所が、資源循環（廃棄物）について、推進、取り組んでいることは何ですか。」という質問のうち、現在取り組んでいることは、図 4-1-1 に示すとおりで、最も多いのが、分別の徹底で 1,944 件（意識調査有効回答数に対する割合 61.4%）、ついで、発生量の低減が 1,415 件（同 44.7%）、再生利用（処理業者への委託）が 1,413 件（同 44.6%）などとなっている。

また、今後取り組む予定のことは、図 4-1-2 に示すとおりで、最も多いのが、発生量の低減で 1,031 件（同 32.6%）、ついで、分別の徹底が 1,015 件（32.0%）、再生利用（処理業者への委託）が 801 件（25.3%）などとなっている。

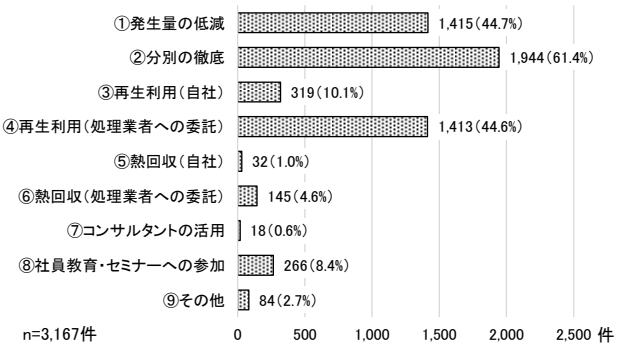


図 4-1-1　現在取り組んでいること

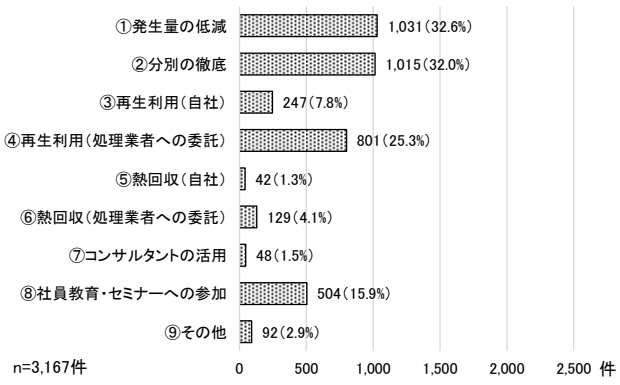


図 4-1-2　今後取り組む予定のこと

上記の推進、取組で課題と感じていることとしては、図 4-1-3 に示すとおり、最も多いのが、コストで 1,818 件（同 57.4%）、次いで、人材が 801 件（25.3%）、情報が 631 件（19.9%）などとなっている。

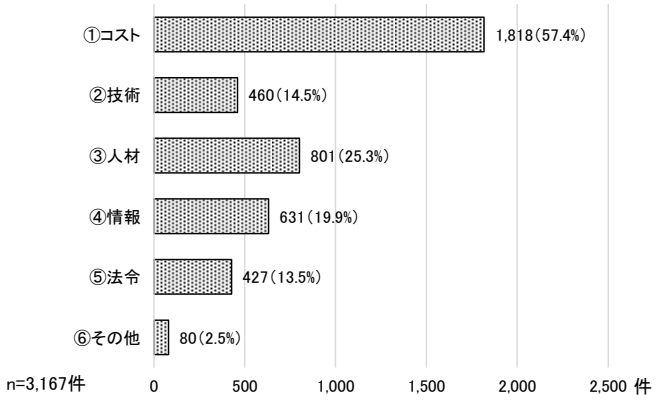


図 4-1-3　課題と感じていること

第２節　資源循環の意識調査（製造業）

製造業者に対しては、主にプラスチック製品に対する資源循環について、別途意識調査を実施した。

実態調査で回答のあった製造業のうち、1,020 件から意識調査に対しても有効回答が得られた。

対象事業所数	：2,526 事業所（製造業）
回収事業所数	：1,298 事業所
有効調査票数	：1,020 事業所
有効回答率	：40.4%

１．製品/製造プロセスで使用されているプラスチックの資源循環について

（１）使用されているプラスチックの用途種類

製品/製造プロセスで使用されているプラスチックについて、その用途別に種類を質問した結果は図 4-2-1～4 に示すとおりである。

PP（ポリプロピレン）や PE（ポリエチレン）は製品や包装・梱包、燃料として利用されるケースが多く、PET（ポリエチレンテレフタレート）、PS（ポリスチレン）は製品利用も多くなっている。

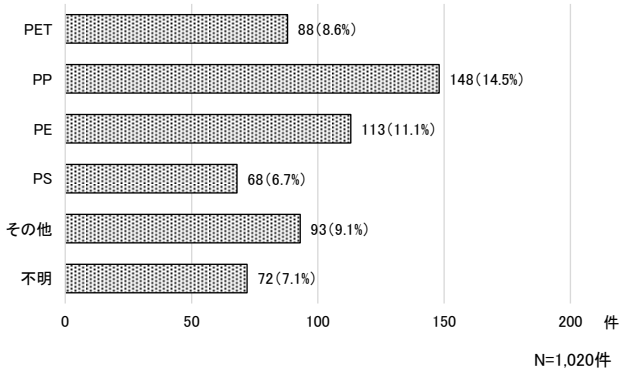


図 4-2-1　製品に使用

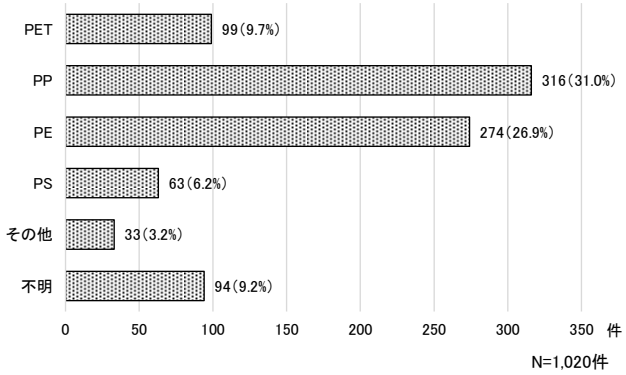


図 4-2-2　包装・梱包に使用

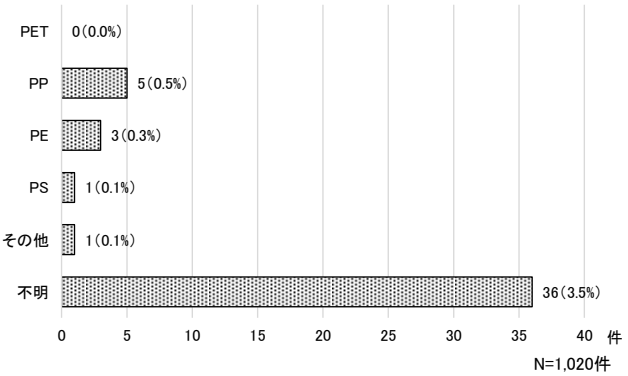


図 4-2-3　燃料に使用

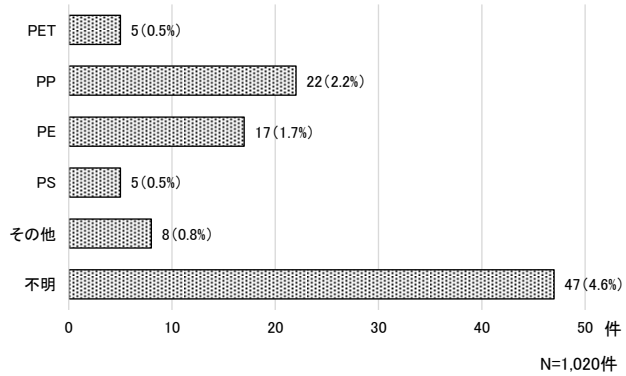


図 4-2-4　設備の維持管理に使用

（２）プラスチックの資源循環のための取組

プラスチック資源循環のために実施している取組については、図 4-2-5 に示すとおりで、最も多いのは、廃棄時の分別の徹底が 447 件（有効回答数の 43.8%）、次いで、包装の簡易化が 254 件（同 24.9%）、プラスチック使用量の削減が 213 件（同 20.9%）、再生プラスチックの利用については 83 件（8.1%）となっている。また、再生プラスチックの利用と回答した 83 件について、その素材としては図 4-2-6 に示すとおりである。

用途としては、緩衝材や梱包ベルト、パレットなどの包装・梱包資材が多くなっている。

また、再生プラスチックを利用する際の課題は、図 4-2-7 に示すとおりである。最も多いのは、強度、不純物などの品質面で 48 件（再生プラスチックの利用と回答した 57.8%）、次いで、コストが 35 件（同 42.2%）、安定供給が 15 件（同 18.1%）となっている。

再生プラスチックを利用するきっかけとして、最も多いのは、コストが 44 件（同 53.0%）、次いで、取引先の要望が 26 件（同 31.3%）、企業イメージの向上が 20 件（同 24.1%）となっている（図 4-2-8 参照）。

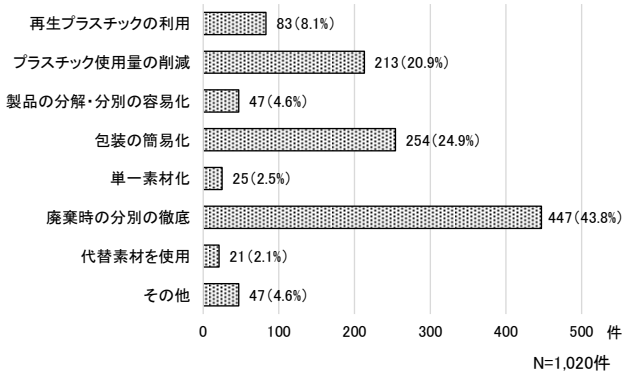


図 4-2-5　資源循環のための取組内容

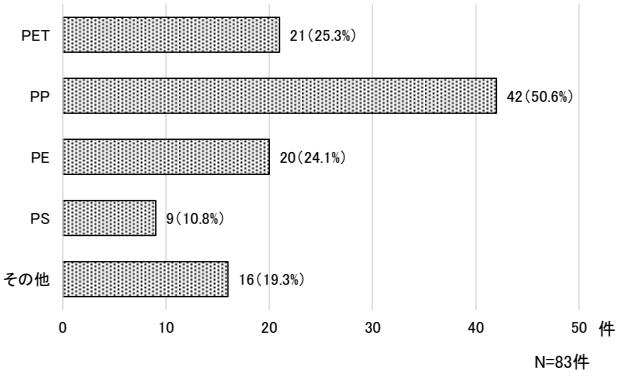


図 4-2-6　再生プラスチックの素材

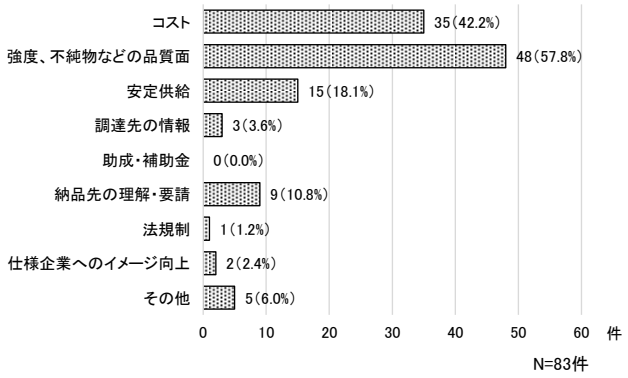


図 4-2-7　再生プラスチック利用時の課題

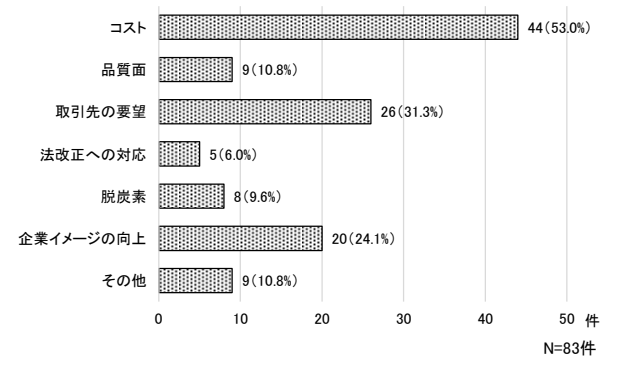


図 4-2-8　再生プラスチックを使用するきっかけ

（3）再生プラスチックを利用する予定

現在、再生プラスチックを利用していない事業所で、今後再生プラスチックを利用する予定の有無は、図 4-2-9 に示すとおりである。時期未定も含めて予定ありが 31 件（再生プラスチックを利用していない事業所の 3.3%）、予定なしが 154 件（同 16.4%）となっている。

また、再生プラスチックへの置き換えを行う場合に課題となると感じているのは、図 4-2-10 に示すとおりで、最も多いのは、コストが 332 件（同 35.4%）、次いで、強度、不純物などの品質面が 302 件（同 32.2%）、納品先の理解・要請が 138 件（同 14.7%）などとなっている。

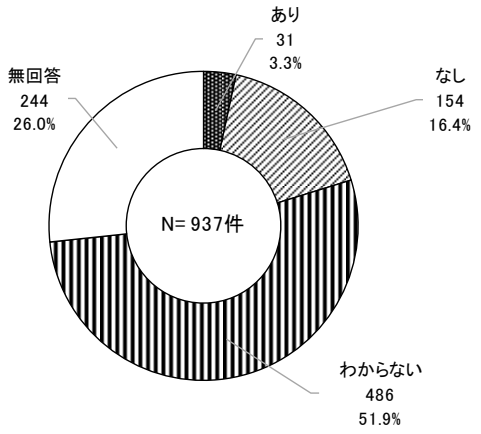


図 4-2-9　再生プラスチックを今後利用する予定

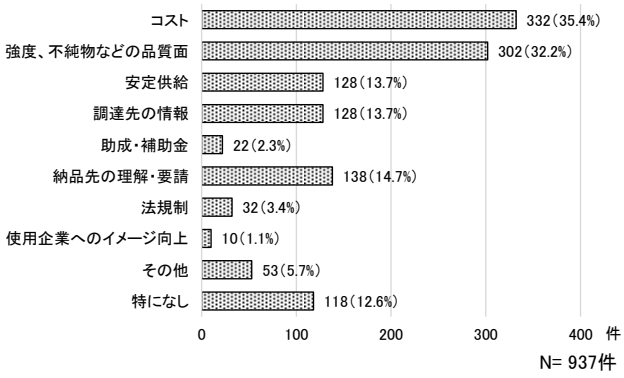


図 4-2-10　「再生プラスチック」への置き換えに対する課題

2．製品/製造プロセスでの資源循環について（プラスチック以外）

プラスチックに係る取組を除いて、資源循環の取組を行っている（取り組みたいも含む）ことは、図 4-2-11 に示すとおりで、最も多いのは、廃棄時の分別の徹底が 471 件（有効回答者の 46.2%）、次いで包装の簡易化が 271 件（同 26.6%）、材料の低減が 216 件（同 21.2%）などとなっている。

その場合の課題は、図 4-2-12 に示すとおりで、最も多いのは、コストが 343 件（同 33.6%）、次いで、強度、不純物などの品質面が 224 件（同 22.0%）、取引先の理解・要請が 178 件（同 17.5%）などとなっている。

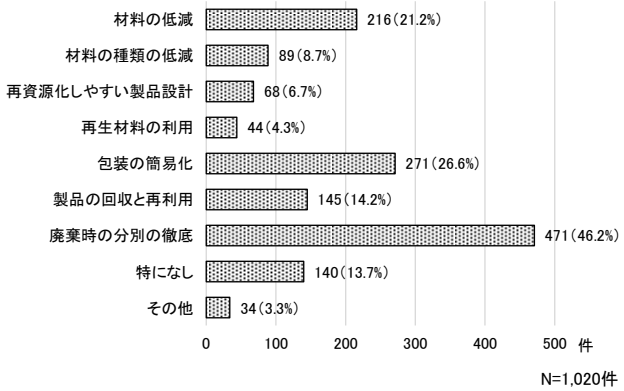


図 4-2-11　資源循環への取組

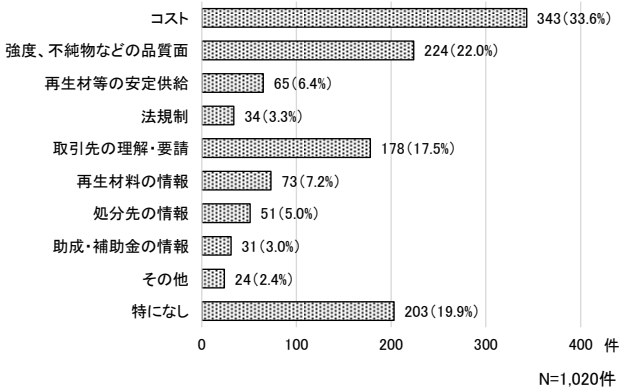


図 4-2-12　資源循環への取組に対する課題

「取引先（顧客）から、貴社の製品/製造プロセスの資源循環の推進について要望されたことはありますか」という質問に対して、脱炭素化など要望があったのは 367 件(有効回答の 40.8%)となっている（図 4-2-13 参照)。

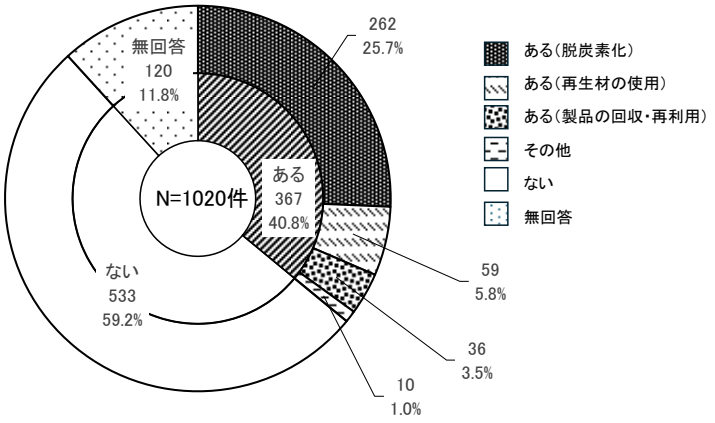


図 4-2-13　取引先（顧客）からの製品/製造プロセスへの資源循環の推進について要望

3．廃棄物処理の委託先への要望

製品/製造プロセスで発生する産業廃棄物の廃棄物処理の委託先（処分業者）に対する要望は図 4-2-14 に示すとおりで、最も多いのは、法令遵守が 415 件（製造業回答者の 40.7%)、次いで、再生利用の推進が 290 件（同 28.4%)、情報提供・公開が 168 件（同 16.5%）などとなっている。

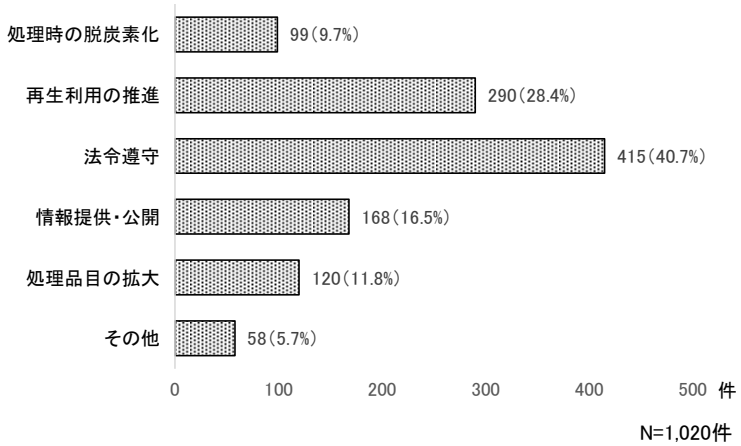


図 4-2-14　廃棄物処理の委託先（処分業者）に対する要望

【 巻 末 資 料 】

１． 統計表

２． 調査票

【 統 計 表 】

【統計表　目次】

表１ 業種別・種類別の結果表＜令和５年度＞

表１－１ 発生量……資-1
表１－２ 有償物量……資-2
表１－３ 排出量……資-3
表１－４ 搬出量……資-4
表１－５ 自己最終処分量……資-5
表１－６ 委託処理量……資-6
表１－７ 委託中間処理量……資-7
表１－８ 委託直接最終処分量……資-8
表１－９ 委託最終処分量……資-9
表１－１０ 再生利用量……資-10
表１－１１ 資源化量……資-11
表１－１２ 最終処分量……資-12
表１－１３ 排出量［下越地域］……資-13
表１－１４ 排出量［新潟地域］……資-14
表１－１５ 排出量［中越地域］……資-15
表１－１６ 排出量［魚沼地域］……資-16
表１－１７ 排出量［上越地域］……資-17
表１－１８ 排出量［佐渡地域］……資-18

表２ 発生量及び処理・処分量の結果表＜令和５年度＞

表２－１ 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）……資-19
表２－２ 発生量及び処理・処分量（種類別：変換）……資-21
表２－３ 発生量及び処理・処分量（下越地域　種類別：変換）……資-23
表２－４ 発生量及び処理・処分量（新潟地域　種類別：変換）……資-25
表２－５ 発生量及び処理・処分量（中越地域　種類別：変換）……資-27
表２－６ 発生量及び処理・処分量（魚沼地域　種類別：変換）……資-29
表２－７ 発生量及び処理・処分量（上越地域　種類別：変換）……資-31
表２－８ 発生量及び処理・処分量（佐渡地域　種類別：変換）……資-33

表３ 各業種における発生量及び処理・処分量の結果表＜令和５年度＞

表３－１ 農業……資-35
表３－２ 鉱業……資-37
表３－３ 建設業……資-39
表３－４ 製造業……資-41
表３－５ 電気・水道業……資-43
表３－６ 運輸業……資-45
表３－７ 卸・小売業……資-47
表３－８ 医療・福祉業……資-49

表３－９ サービス業 ……資-51
表３－１０ その他の業種 ……資-53

表４ 各地域における発生量及び処理・処分量の結果表（種類別）＜令和５年度＞
表４－１ 全地域……資-55
表４－２ 下越地域……資-57
表４－３ 新潟地域……資-59
表４－４ 中越地域……資-61
表４－５ 魚沼地域……資-63
表４－６ 上越地域……資-65
表４－７ 佐渡地域……資-67

表1-1 発生量（業種別・種類別）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計		農業	鉱業	建設業	製造業																									電気・水道業					運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
	全業種	農業を除く					食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業						
合計	9,328	8,466	862	488	2,801	3,447	241	7	2	25	2	1,278	24	911	3	22	2	0	196	180	5	96	25	10	6	340	15	0	54	3	1,624	97	147	12	1,368	5	48	18	32	3
燃え殻	22	22			0	7	0	0		1	0	1	0	5		0				0		0		0		0					15	15				0				0
汚泥	4,403	4,403		416	263	2,183	195	2	0	0	0	1,234	4	548	0	1	0		51	14	1	38	1	2	0	88	0		2	0	1,529	2	147	12	1,368	0	9	0	2	1
有機性汚泥	3,116	3,116			0	1,760	181	2	0		0	1,232	2	333		1						8	0		0	0	0		0	0	1,349	0			1,349	0	6	0	0	0
無機性汚泥	1,288	1,288		416	263	424	14		0	0	0	2	2	216	0	0	0		51	14	1	30	1	2	0	88	0		2	0	180	1	147	12	19	0	3	0	2	0
廃油	197	197		5	1	177	1	1	0	0	0	0	0	143	0	0	0		0	1	0	3	4	1	1	3	0	0	16	0	6	6	0		0	0	4	0	4	0
一般廃油	130	130		5	1	111	1	1	0	0	0	0	0	94	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	1	0	6	6	0		0	0	3	0	4	0
廃溶剤	50	50		0	0	50	0		0		0	0	0	50			0		0	0		0	0	0	0	0	0		0						0	0		0	0
その他の廃油	17	17		0	0	16								0	0	0	0		0	0		0	0	0		0		0	15		0	0				1	0	0	
廃酸	290	290		11	0	279	0	1	0				2	38	0	0			0	1	0	7	0	0	0	230	0		0	0	0	0	0		0		0	0	0	0
廃アルカリ	145	145		17	0	126	0	0	0			17	9	60	0	0	0		0	28	0	2	0	0	0	9	0		0	0	0	0	0		0	0	0	1	0
廃プラ類	212	210	2	19	25	137	10	1	1	1	1	3	3	77	0	20	1	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	19	3	4	1
廃プラスチック	186	184	2	2	25	137	10	1	1	1	1	3	3	77	0	20	0	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	13	3	3	1
廃タイヤ	26	26		17	0	0	0	0						0		0	0		0	0				0					0		0	0				1	5		2	0
紙くず	36	36			8	28						22	5	0								0	0					0										0	1
木くず	246	246		0	218	25	1	0	0	20	1	0	0	2	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1	0	0	0
繊維くず	3	3			2	1			1	0		0	0	0		0		0		0		0		0		0	0			0	0				0	0		0	
動植物性残さ	37	37				37	32	2						3																									
動物系固形不要物	0	0																																					0	
ゴムくず	1	1				1	0							0			1			0			0				0								0				
金属くず	202	202		3	43	134	2	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	3	18	1	41	9	6	2	2	10	0	12	0	3	3			0	1	4	0	14	1
ガラス陶磁器くず	192	192	0	14	106	68	0	0	0	1	0	0	0	8		0			56	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3	0	0	0
鉱さい	205	205			4	201													70	98	1	0	9	0	0		0	0	23											
がれき類	2,118	2,118		2	2,089	21	0	0		3		0		0	2	0	0		14	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1	0		0
コンクリート片	893	893		2	873	18	0	0		3				0	0	0	0		13	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	868	868		0	862	0		0		0					0				0												5	5								
その他の建設廃材	357	357		0	354	3	0			0		0			2				0	0		0				0	0										0	0		0
動物のふん尿	860		860																																					
動物の死体	1		1																																					
ばいじん	76	76				11				0				1						10	0	0							0	66	66									
水銀廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0		0	0	0								0								0				0				0		0							
その他の産業廃棄物	79	79		1	39	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	8	14	6	0
感染性廃棄物	14	14				0								0																						0	14	0	0
混合物等	65	65		1	39	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	8	0	6	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-2 有償物量（業種別・種類別）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	154	154		2	46	92	7	1	0	4	0	12	1	0		1	0	0	3	13	0	27	5	5	1	0	4	0	5	0	0	0			0	0	2		11	0
燃え殻																																							
汚泥	4	4			4	0																0		0			0				0				0				
有機性汚泥	0	0																													0				0					
無機性汚泥	4	4			4	0																0		0			0												
廃油	4	4			0	1	1					0		0					0			0	0	0		0					0				0	0	1		2	0
一般廃油	4	4			0	1	1					0		0					0			0	0	0							0				0	0	1		2	0
廃溶剤	0	0				0																				0													
その他の廃油																																							
廃酸																																							
廃アルカリ	0	0				0																				0													
廃プラ類	3	3			1	2			0				1	0		1					0	0		0		0	0	0							0	0			0
廃プラスチック	2	2			1	2			0				1	0		1					0	0		0		0	0	0								0			0
廃タイヤ	0	0																																	0	0			0
紙くず	12	12			0	12						12	0																										
木くず	11	11			7	4				4																													
繊維くず	0	0			0	0			0																														
動植物性残さ	8	8				8	7	1																															
動物系固形不要物																																							
ゴムくず																																							
金属くず	80	80		2	3	64	0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	2	13	0	27	5	5	1	0	4	0	5	0	0	0			0	0	0		9	0
ガラス陶磁器くず	1	1			0	0													0		0																		
鉱さい																																							
がれき類	27	27			27																																		
コンクリート片	11	11			11																																		
廃アスファルト	13	13			13																																		
その他の建設廃材	3	3			3																																		
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
ばいじん																																							
水銀廃棄物	0	0			0																																		
水銀使用製品廃棄物	0	0			0																																		
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀																																							
その他の産業廃棄物	6	6			4	0							0							0		0			0	0	0							0	1		1	0
感染性廃棄物																																							
混合物等	6	6			4	0							0							0		0			0	0	0							0	1		1	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-3 排出量（業種別・種類別）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	9,173	8,311	862	486	2,755	3,355	233	6	1	21	2	1,266	23	910	3	22	2	0	193	167	5	69	20	5	5	339	11	0	49	3	1,624	97	147	12	1,368	5	46	18	20	3
燃え殻	22	22			0	7	0	0		1	0	1	0	5		0				0		0		0		0					15	15				0				0
汚泥	4,399	4,399		416	259	2,183	195	2	0	0	0	1,234	4	548	0	1	0		51	14	1	38	1	2	0	88	0		2	0	1,529	2	147	12	1,368	0	9	0	2	1
有機性汚泥	3,115	3,115			0	1,760	181	2	0		0	1,232	2	333		1						8	0		0	0	0		0	0	1,349	0			1,349	0	6	0	0	0
無機性汚泥	1,284	1,284		416	259	423	14		0	0	0	2	2	216	0	0	0		51	14	1	30	1	2	0	88	0		2	0	180	1	147	12	19	0	3	0	2	0
廃油	194	194		5	1	176	1	1	0	0	0	0	0	143	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	16	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
一般廃油	126	126		5	1	109	1	1	0	0	0	0	0	93	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	1	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
廃溶剤	50	50		0	0	50	0		0		0	0	0	50			0		0	0		0	0	0	0	0	0		0						0	0		0	0
その他の廃油	17	17		0	0	16								0	0	0	0		0	0		0	0	0		0		0	15		0	0				1	0	0	
廃酸	290	290		11	0	279	0	1	0				2	38	0	0			0	1	0	7	0	0	0	230	0		0	0	0	0	0		0		0	0	0	0
廃アルカリ	145	145		17	0	126	0	0	0			17	9	60	0	0	0		0	28	0	2	0	0	0	9	0		0	0	0	0	0		0	0	0	1	0
廃プラ類	209	208	2	19	24	136	10	1	1	1	1	3	2	77	0	20	1	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	18	3	4	1
廃プラスチック	183	182	2	2	24	135	10	1	1	1	1	3	2	77	0	20	0	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	13	3	3	1
廃タイヤ	26	26		17	0	0	0	0						0			0	0	0	0				0					0		0	0				1	5		2	0
紙くず	24	24			8	15						10	5	0								0	0						0									0	1
木くず	235	235		0	211	22	1	0	0	16	1	0	0	2	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1	0	0	0
繊維くず	3	3			2	1			1	0		0	0	0		0		0		0		0		0		0	0			0	0				0	0		0	
動植物性残さ	29	29				29	25	1						3																									
動物系固形不要物	0	0																																				0	
ゴムくず	1	1				1	0							0			1			0			0				0								0				
金属くず	123	123		0	39	70	1	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0		1	5	0	13	4	1	1	2	6	0	7	0	3	3			0	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	191	191	0	14	105	68	0	0	0	1	0	0	0	8		0			56	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3	0	0	0
鉱さい	205	205			4	201													70	98	1	0	9	0	0		0	0	23											
がれき類	2,091	2,091		2	2,062	21	0	0		3		0		0	2	0	0		14	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1	0		0
コンクリート片	882	882		2	862	18	0	0		3				0	0	0	0		13	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	855	855		0	849	0		0		0					0				0												5	5								
その他の建設廃材	354	354		0	351	3	0			0		0			2				0	0		0				0	0										0	0		0
動物のふん尿	860		860																																				
動物の死体	1		1																																				
ばいじん	76	76				11				0				1						10	0	0								0	66	66								
水銀廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0		0	0	0								0								0				0				0		0							
その他の産業廃棄物	73	73		1	35	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	14	5	0
感染性廃棄物	14	14				0								0												0	0				0	0					0	14	0	0
混合物等	59	59		1	35	11	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	0	5	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-4 搬出量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	4,076	4,039	37	325	2,478	919	65	4	1	21	2	36	23	375	3	19	2	0	71	108	5	51	20	3	5	42	11	0	49	2	224	96	22	4	103	5	46	18	20	3
燃え殻	43	43			1	27	0	0	0	1	0	26	0	0		0				0		0		0		0					15	15			0	0			0	0
汚泥	710	710		256	160	152	28	1	0	0	0	2	4	67	0	1	0		3	4	1	20	1	0	0	17	0		2	0	129	1	22	4	103	0	9	0	2	0
有機性汚泥	191	191			0	83	27	1	0		0	0	2	49		1						2	0		0	0	0		0	0	101	0			101	0	6	0	0	0
無機性汚泥	519	519		256	160	69	1		0	0	0	2	2	18	0	0	0		3	4	1	18	1	0	0	17	0		2	0	28	1	22	4	1	0	3	0	2	0
廃油	171	171		5	1	153	1	1	0	0	0	0	0	121	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	16	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
一般廃油	112	112		5	1	96	1	1	0	0	0	0	0	80	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	1	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
廃溶剤	42	42		0	0	42	0		0		0	0	0	41			0		0	0		0	0	0	0	0	0		0						0	0		0	0
その他の廃油	17	17		0	0	16								0	0	0	0		0	0		0	0	0		0		0	15		0	0				1	0	0	
廃酸	55	55		11	0	44	0	1	0				2	27	0	0			0	1	0	7	0	0	0	7	0		0	0	0	0	0		0		0	0	0	0
廃アルカリ	95	95		17	0	77	0	0	0				9	59	0	0	0		0	0	0	2	0	0	0	5	0		0	0	0	0	0		0	0	0	1	0
廃プラ類	196	194	2	19	24	123	10	1	1	1	1	3	2	67	0	17	1	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	18	3	4	1
廃プラスチック	170	169	2	2	24	123	10	1	1	1	1	3	2	67	0	17	0	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	13	3	3	1
廃タイヤ	26	26		17	0	0	0	0						0			0	0		0				0					0		0	0				1	5		2	0
紙くず	17	17			7	10						5	5	0								0	0						0									0	1
木くず	182	182		0	159	21	1	0	0	16	1	0	0	2	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1	0	0	0
繊維くず	3	3			2	1			1	0		0	0	0		0		0		0		0		0		0	0			0	0				0	0		0	
動植物性残さ	27	27				27	24	0						3																					0				
動物系固形不要物	0	0																																				0	
ゴムくず	1	1				1	0							0			1			0			0				0								0				
金属くず	122	122		0	39	69	1	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0		1	5	0	13	4	1	1	2	6	0	7	0	3	3			0	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	181	181	0	14	105	59	0	0	0	1	0	0	0	3		0			51	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3	0	0	0
鉱さい	119	119			4	115													3	78	1	0	9	0	0		0	0	23											
がれき類	1,966	1,966		2	1,940	18	0	0		3		0		0	2	0	0		11	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1	0		0
コンクリート片	843	843		2	826	15	0	0		3				0	0	0	0		11	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	806	806		0	800	0		0		0					0																5	5								
その他の建設廃材	317	317		0	314	3	0			0		0			2				0	0		0				0	0										0	0		0
動物のふん尿	35		35																																				
動物の死体	1		1																																				
ばいじん	76	76				10				0										10	0	0								0	66	66								
水銀廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0		0	0	0								0								0				0				0		0							
その他の産業廃棄物	73	73		1	35	11	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	14	5	0
感染性廃棄物	14	14				0								0												0	0			0	0	0				0	14	0	0
混合物等	59	59		1	35	11	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	0	5	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-5 自己最終処分量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	0	0			0	0				0																				0				0					
燃え殻	0	0																												0				0					
汚泥																																							
有機性汚泥																																							
無機性汚泥																																							
廃油																																							
一般廃油																																							
廃溶剤																																							
その他の廃油																																							
廃酸																																							
廃アルカリ																																							
廃プラ類	0	0			0																																		
廃プラスチック	0	0			0																																		
廃タイヤ																																							
紙くず																																							
木くず																																							
繊維くず																																							
動植物性残さ																																							
動物系固形不要物																																							
ゴムくず																																							
金属くず																																							
ガラス陶磁器くず	0	0			0																																		
鉱さい																																							
がれき類	0	0				0				0																													
コンクリート片																																							
廃アスファルト																																							
その他の建設廃材	0	0				0				0																													
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
ばいじん																																							
水銀廃棄物																																							
水銀使用製品廃棄物																																							
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀																																							
その他の産業廃棄物	0	0				0				0																													
感染性廃棄物																																							
混合物等	0	0				0				0																													

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-6 委託処理量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	4,073	4,036	37	325	2,478	916	62	4	1	21	2	36	23	375	3	19	2	0	71	108	5	50	20	3	5	42	11	0	49	2	224	96	22	4	103	5	46	18	20	3
燃え殻	43	43			1	27	0	0	0	1	0	26	0	0		0				0		0		0		0					15	15				0			0	0
汚泥	710	710		256	160	152	28	1	0	0	0	2	4	67	0	1	0		3	4	1	20	1	0	0	17	0		2	0	129	1	22	4	103	0	9	0	2	0
有機性汚泥	191	191			0	83	27	1	0		0	0	2	49		1						2	0		0	0	0		0	0	101	0			101	0	6	0	0	0
無機性汚泥	519	519		256	160	69	1		0	0	0	2	2	18	0	0	0		3	4	1	18	1	0	0	17	0		2	0	28	1	22	4	1	0	3	0	2	0
廃油	171	171		5	1	153	1	1	0	0	0	0	0	121	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	16	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
一般廃油	112	112		5	1	95	1	1	0	0	0	0	0	80	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	1	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
廃溶剤	42	42		0	0	42	0					0	0	41			0		0	0		0	0	0	0	0	0		0						0	0		0	0
その他の廃油	17	17		0	0	16								0	0	0	0		0	0		0	0	0		0		0	15		0	0				1	0	0	
廃酸	55	55		11	0	44	0	1	0				2	27	0	0			0	1	0	7	0	0	0	7	0		0	0	0	0	0		0		0	0	0	0
廃アルカリ	95	95		17	0	77	0	0	0				9	59	0	0	0		0	0	0	2	0	0	0	5	0		0	0	0	0	0		0	0	0	1	0
廃プラ類	195	194	1	19	24	123	10	1	1	1	1	3	2	67	0	17	1	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	18	3	4	1
廃プラスチック	170	168	1	2	23	123	10	1	1	1	1	3	2	67	0	17	0	0	1	2	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	13	3	3	1
廃タイヤ	26	26		17	0	0	0	0						0			0	0		0			0						0		0	0				1	5		2	0
紙くず	17	17			7	10						5	5	0								0	0						0									0	1
木くず	182	182		0	159	21	1	0	0	16	1	0	0	2	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1	0	0	0
繊維くず	3	3			2	1			1	0		0	0	0		0		0		0		0		0		0	0			0	0				0	0		0	
動植物性残さ	25	25				25	22	0						3																					0				
動物系固形不要物	0	0																																				0	
ゴムくず	1	1				1	0							0			1			0			0				0								0				
金属くず	122	122		0	39	69	1	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0		1	5	0	13	4	1	1	2	6	0	7	0	3	3			0	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	181	181	0	14	105	59	0	0	0	1	0	0	0	3		0			51	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3	0	0	0
鉱さい	119	119			4	115													3	78	1	0	9	0	0		0	0	23											
がれき類	1,966	1,966		2	1,940	18	0	0		3		0		0	2	0	0		11	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1	0		0
コンクリート片	843	843		2	826	15	0	0		3				0	0	0	0		11	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	806	806		0	800	0		0		0					0																5	5								
その他の建設廃材	317	317		0	314	3	0			0		0			2				0	0		0				0	0										0	0		0
動物のふん尿	35		35																																				
動物の死体	1		1																																				
ばいじん	76	76				10				0										10	0	0								0	66	66								
水銀廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0		0	0	0								0								0				0				0		0							
その他の産業廃棄物	73	73		1	35	11	0	0			0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	14	5	0
感染性廃棄物	14	14				0								0												0	0				0	0					0	14	0	0
混合物等	59	59		1	35	11	0	0			0	0	1	0	0	0	0		0	7	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	0	5	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-7 委託中間処理量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	3,993	3,957	37	325	2,429	888	62	4	1	15	2	36	23	375	3	19	2	0	71	88	4	50	19	3	5	41	11	0	49	2	224	96	22	4	102	5	45	18	20	3
燃え殻	41	41			0	26	0	0	0		0	25	0	0		0				0		0		0		0					15	15				0				0
汚泥	688	688		256	142	149	28	1	0	0	0	2	4	67	0	1	0		3	2	1	20	1	0	0	17	0		2	0	129	1	22	4	102	0	9	0	2	0
有機性汚泥	190	190			0	83	27	1	0		0	0	2	49		1						2	0		0	0	0		0	0	101	0			101	0	6	0	0	0
無機性汚泥	497	497		256	142	66	1		0	0	0	2	2	18	0	0	0		3	2	1	18	1	0	0	17	0		2	0	28	1	22	4	1	0	3	0	2	0
廃油	171	171		5	1	153	1	1	0	0	0	0	0	121	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	16	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
一般廃油	112	112		5	1	95	1	1	0	0	0	0	0	80	0	0	0		0	1	0	2	4	1	1	3	0	0	1	0	6	6	0		0	0	3	0	2	0
廃溶剤	42	42		0	0	42	0					0	0	41			0		0	0		0	0	0	0	0	0		0						0	0		0	0
その他の廃油	17	17		0	0	16								0	0	0	0		0	0		0	0	0		0		0	15		0	0				1	0	0	
廃酸	55	55		11	0	44	0	1	0				2	27	0	0			0	1	0	7	0	0	0	7	0		0	0	0	0	0		0		0	0	0	0
廃アルカリ	95	95		17	0	77	0	0	0				9	59	0	0	0		0	0	0	2	0	0	0	5	0		0	0	0	0	0		0	0	0	1	0
廃プラ類	193	192	1	19	23	121	10	1	1	0	1	3	2	67	0	17	1	0	1	1	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	2	18	3	4	1
廃プラスチック	168	166	1	2	23	121	10	1	1	0	1	3	2	67	0	17	0	0	1	1	0	3	1	1	1	7	2	0	1	2	0	0	0	0	0	1	13	3	3	1
廃タイヤ	26	26		17	0	0	0	0						0			0	0		0					0				0		0	0				1	5		2	0
紙くず	17	17			7	10						5	5	0								0	0						0									0	1
木くず	178	178		0	159	17	1	0	0	12	1	0	0	2	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1		0	0
繊維くず	3	3			2	1			1	0		0	0	0		0		0		0		0		0		0				0	0				0	0		0	
動植物性残さ	25	25				25	22	0						3																									
動物系固形不要物	0	0																																					0	
ゴムくず	1	1				1	0							0			1			0			0				0								0				
金属くず	122	122		0	39	69	1	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0		1	5	0	13	4	1	1	2	6	0	7	0	3	3			0	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	173	173		14	98	58	0	0	0	0	0	0	0	3		0			51	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	3	0	0	0
鉱さい	105	105			4	101													3	65	1	0	9	0	0		0	0	23											
がれき類	1,944	1,944		2	1,918	18	0	0		3		0		0	2	0	0		11	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1	0		0
コンクリート片	841	841		2	823	15	0	0		3				0	0	0	0		11	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	795	795		0	789	0		0		0					0																5	5								
その他の建設廃材	308	308		0	305	3	0			0		0			2				0			0				0	0										0	0		0
動物のふん尿	35		35																																					
動物の死体	1		1																																					
ばいじん	76	76				10														10	0	0								0	66	66								
水銀廃棄物	3	3		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	2	2		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																										
廃水銀	0	0		0	0	0								0								0				0				0		0							
その他の産業廃棄物	68	68		1	33	8	0	0			0	0	1	0	0	0	0		0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	14	5	0
感染性廃棄物	14	14				0								0												0	0				0	0					0	14	0	0
混合物等	54	54		1	33	8	0	0			0	0	1	0	0	0	0		0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	0	5	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-8 委託直接最終処分量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	79	79	0		49	29	0	0	0	6	0	0	0	0		0	0		0	20	1	1	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0		1	0	0	0	0	0
燃え殻	1	1			0	1	0	0		1	0	0								0		0		0															0	
汚泥	22	22			18	3	0	0				0		0			0			2	0	0	0		0				0	0	1				1		0			0
有機性汚泥	1	1				0		0				0																			1				1					
無機性汚泥	21	21			18	3	0							0			0			2	0	0	0		0				0	0	0				0		0			0
廃油	0	0				0																0																	
一般廃油	0	0				0																0																	
廃溶剤																																							
その他の廃油																																							
廃酸																																							
廃アルカリ	0	0																												0		0							
廃プラ類	2	2	0		0	2	0	0		1		0	0	0		0	0		0	1		0	0	0		0	0		0		0		0		0	0	0		0
廃プラスチック	2	2	0		0	2	0	0		1		0	0	0		0	0		0	1		0	0	0		0	0		0		0		0		0	0	0		0
廃タイヤ	0	0			0																															0			
紙くず																																							
木くず	4	4				4				4														0											0		0		
繊維くず	0	0				0			0																	0									0				
動植物性残さ																																							
動物系固形不要物																																							
ゴムくず																																							
金属くず	1	1			0	0							0							0				0		0	0							0	0			0
ガラス陶磁器くず	8	8	0		7	1				1				0		0			0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0			0	0		0	0
鉱さい	14	14			0	14														14	0	0		0														
がれき類	22	22			22	0						0								0		0				0													
コンクリート片	2	2			2																																		
廃アスファルト	11	11			11																																		
その他の建設廃材	8	8			8	0						0								0		0				0													
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
ばいじん	0	0				0				0																													
水銀廃棄物	0	0			0																														0	0	0		
水銀使用製品廃棄物	0	0			0																														0	0	0		
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀																																							
その他の産業廃棄物	6	6			2	3	0					0				0			0	3		0		0		0									0	0	0		
感染性廃棄物	0	0																																			0		
混合物等	5	5			2	3	0					0				0			0	3		0		0		0									0	0	0		

※ 「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-9 委託最終処分量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	146	146	0	1	89	53	1	0	0	6	0	1	0	5	0	0	0		1	22	2	10	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0		1	0	1	2	0	0
燃え殻	9	9		0	2	5	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	2	0	0
汚泥	27	27		1	19	6	0	0	0			0	0	0			0		0	2	1	1	0	0	0	1	0		0	0	1		0		1		0	0	0	0
有機性汚泥	1	1				0	0	0				0		0								0								1				1			0		
無機性汚泥	26	26		1	19	6	0	0	0			0	0	0			0		0	2	1	1	0	0	0	1	0		0	0	0		0		0		0	0	0	0
廃油	0	0				0	0									0				0		0				0									0		0		
一般廃油	0	0				0	0									0				0		0				0									0		0		
廃溶剤	0	0				0																				0													
その他の廃油	0	0				0																				0													
廃酸																																							
廃アルカリ																																							
廃プラ類	6	6	0		2	4	0	0		1		0	0	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
廃プラスチック	6	6	0		2	4	0	0		1		0	0	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
廃タイヤ	0	0			0																															0			
紙くず	0	0			0																																0		
木くず	5	5			1	4				4										0				0											0		0		0
繊維くず	0	0				0			0																		0				0	0							
動植物性残さ																																							
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0	0				0																	0																
金属くず	9	9			1	8						0	0	0		0				0	0	8		0		0	0				0	0			0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	18	18	0		15	3	0	0	0	1		0		1		0			0	0	1	0	0	0	0	0			0		0	0	0			0	0		0
鉱さい	15	15			0	15														15	0	0		0															
がれき類	46	46		0	46	0						0							0	0		0				0											0		
コンクリート片	3	3			3																																		
廃アスファルト	11	11			11																																		
その他の建設廃材	32	32		0	32	0						0							0	0		0				0											0		
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
ばいじん	4	4		0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀廃棄物	0	0		0	0	0	0						0						0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0			0	0	0		0
水銀使用製品廃棄物	0	0			0	0	0						0						0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0				0	0	0		0
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀	0	0		0																										0		0							
その他の産業廃棄物	7	7			3	4	0	0				0	0			0			0	3	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物																																							
混合物等	7	7			3	4	0	0				0	0			0			0	3	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0			0	0	0	0	0	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-10 再生利用量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	4,416	3,782	634	183	2,521	873	23	2	1	14	2	53	20	373	3	20	1	0	139	104	2	23	18	2	4	26	10	0	32	2	141	90	16	6	29	4	38	1	18	2
燃え殻	90	90	0	6	18	43	2	0	0	0	0	15	0	22	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	15	0		5	0	2	1	1	0
汚泥	467	467		114	110	196	8	0	0	0	0	7	1	166	0		0		1	0	0	6	0	0	0	6	0		0	0	46	0	16	6	24	0	2	0	1	0
有機性汚泥	156	156			0	130	8	0	0		0	7	0	115								1	0		0	0	0		0	0	24	0			24	0	1	0	0	0
無機性汚泥	312	312		114	109	65	0		0	0	0	1	1	51	0		0		1	0	0	5	0	0	0	6	0		0		22	0	16	6	0	0	1	0	1	0
廃油	74	74		4	0	65	1	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0		0	0	0	1	3	0	1	2	0		0	0	0	0	0		0	0	3	0	2	0
一般廃油	31	31		4	0	23	1	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0		0	0	0	1	3	0	1	2	0		0	0	0	0	0		0	0	2	0	2	0
廃溶剤	41	41			0	41							0	41										0	0	0	0		0							0		0	
その他の廃油	1	1		0	0	0								0	0					0				0		0			0							1		0	
廃酸	51	51		11	0	40	0	1	0				2	26	0	0			0	0	0	5	0	0	0	5	0			0	0		0		0			0	0	0
廃アルカリ	102	102		14	0	87	0		0			17	8	56	0	0			0	0	0	1	0	0	0	3	0		0	0	0	0			0	0	0	1	0
廃プラ類	117	116	1	18	21	53	6	0	0	0	1	3	2	5	0	19	0		0	1	0	2	0	1	1	7	2	0	1	1	0	0		0	0	2	17	1	4	0
廃プラスチック	92	91	1	1	21	53	6	0	0	0	1	3	2	5	0	19	0		0	1	0	2	0	1	1	7	2	0	1	1	0	0		0	0	1	12	1	3	0
廃タイヤ	25	25		17	0	0	0	0						0		0	0		0	0				0						0		0	0				1	4		2	0
紙くず	22	22			6	15						10	5	0									0							0										1
木くず	213	213		0	195	16	1	0	0	11	1	0	0	2	0	0			0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1		0	0
繊維くず	1	1			1	1			0	0		0	0	0				0				0		0						0						0	0		0	
動植物性残さ	5	5				5	4	0						1																									
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	1	1				1								0			1			0																0				
金属くず	114	114		0	39	62	1	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0		1	5	0	6	4	1	1	2	6	0	7	0	3	3			0	1	4	0	5	0
ガラス陶磁器くず	169	169		14	90	62	0	0	0	0	0	0	0	6		0			54	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			0	0	3	0	0	0
鉱さい	190	190			4	185													70	83	1	0	9	0	0		0		23											
がれき類	2,033	2,033		2	2,004	21	0	0		3		0		0	2	0	0		13	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1			0
コンクリート片	879	879		2	859	18	0	0		3				0	0	0	0		13	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	843	843		0	838	0		0		0					0				0												5	5								
その他の建設廃材	311	311			308	3	0			0		0			2				0							0	0										0			0
動物のふん尿	632		632																																				
動物の死体	1		1																																				
ばいじん	83	83				18							0	8						10	0	0				0	0			0	66	66						0		
水銀廃棄物	2	2		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	2	2		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0			0	0																0				0													
その他の産業廃棄物	48	48		1	31	6	0	0		0	0	0	1	0	0	0			0	2		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	6	0	4	0
感染性廃棄物																																							
混合物等	48	48		1	31	6	0	0		0	0	0	1	0	0	0			0	2		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	6	0	4	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-11 資源化量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	4,570	3,937	634	186	2,568	965	31	4	1	18	2	65	21	373	3	21	1	0	142	117	3	51	23	7	5	26	15	0	37	2	141	90	16	6	30	4	40	1	30	2
燃え殻	90	90	0	6	18	43	2	0	0	0	0	15	0	22	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	15	0		5	0	2	1	1	0
汚泥	471	471		114	113	196	8	0	0	0	0	7	1	166	0		0		1	0	0	6	0	0	0	6	0		0	0	46	0	16	6	24	0	2	0	1	0
有機性汚泥	156	156			0	130	8	0	0		0	7	0	115								1	0		0	0	0		0	0	24	0			24	0	1	0	0	0
無機性汚泥	315	315		114	113	66	0		0	0	0	1	1	51	0		0		1	0	0	5	0	0	0	6	0		0		22	0	16	6	0	0	1	0	1	0
廃油	78	78		4	0	66	1	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0		0	0	0	1	3	0	1	2	0		0	0	0	0	0		0	0	4	0	3	0
一般廃油	35	35		4	0	25	1	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0		0	0	0	1	3	0	1	2	0		0	0	0	0	0		0	0	3	0	3	0
廃溶剤	41	41			0	41							0	41										0	0	0	0		0								0		0	
その他の廃油	1	1		0	0	0								0	0					0				0		0			0								1		0	
廃酸	51	51		11	0	40	0	1	0				2	26	0	0			0	0	0	5	0	0	0	5	0			0	0		0		0			0	0	0
廃アルカリ	102	102		14	0	87	0		0			17	8	56	0	0			0	0	0	1	0	0	0	3	0		0	0	0	0			0	0	0	0	1	0
廃プラ類	120	119	1	18	21	55	6	0	1	0	1	3	3	5	0	20	0		0	1	0	2	0	1	1	7	2	0	1	1	0	0		0	0	2	17	1	4	0
廃プラスチック	95	94	1	1	21	55	6	0	1	0	1	3	3	5	0	20	0		0	1	0	2	0	1	1	7	2	0	1	1	0	0		0	0	1	13	1	3	0
廃タイヤ	25	25		17	0	0	0	0						0		0	0		0	0				0						0		0	0				1	4		2	0
紙くず	34	34			6	27						22	5	0									0							0										1
木くず	224	224		0	202	20	1	0	0	14	1	0	0	2	0	0			0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0						1	1		0	0
繊維くず	2	2			1	1			0	0		0	0	0				0				0		0						0						0	0		0	
動植物性残さ	13	13				13	11	2						1																									
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	1	1				1								0			1			0																0				
金属くず	193	193		3	42	126	1	0	0	0	0	0	1	26	0	0	0	0	3	18	1	33	9	6	2	2	10	0	12	0	3	3			0	1	4	0	14	1
ガラス陶磁器くず	170	170		14	91	62	0	0	0	0	0	0	0	6		0			54	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0			0	0	3	0	0	0
鉱さい	190	190			4	185													70	83	1	0	9	0	0		0		23											
がれき類	2,060	2,060		2	2,031	21	0	0		3		0		0	2	0	0		13	0		0		0		0	2		0	0	6	6					1			0
コンクリート片	890	890		2	870	18	0	0		3				0	0	0	0		13	0		0		0			2		0	0	0	0					0			
廃アスファルト	856	856		0	851	0		0		0					0				0												5	5								
その他の建設廃材	314	314			311	3	0			0		0			2				0							0	0										0			0
動物のふん尿	632		632																																				
動物の死体	1		1																																				
ばいじん	83	83				18							0	8						10	0	0				0	0			0	66	66						0		
水銀廃棄物	2	2		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	2	2		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0			0	0																0				0													
その他の産業廃棄物	54	54		1	35	6	0	0		0	0	0	1	0	0	0			0	2		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	0	5	0
感染性廃棄物																																							
混合物等	54	54		1	35	6	0	0		0	0	0	1	0	0	0			0	2		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	7	0	5	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-12 最終処分量（業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	146	146	0	1	89	53	1	0	0	6	0	1	0	5	0	0	0		1	22	2	10	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0		1	0	1	2	0	0
燃え殻	9	9		0	2	5	1	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	2	0	0
汚泥	27	27		1	19	6	0	0	0			0	0	0			0		0	2	1	1	0	0	0	1	0		0	0	1		0		1		0	0	0	0
有機性汚泥	1	1				0	0	0				0		0								0								1				1			0		
無機性汚泥	26	26		1	19	6	0	0	0			0	0	0			0		0	2	1	1	0	0	0	1	0		0	0	0		0		0		0	0	0	0
廃油	0	0				0	0									0				0		0				0									0		0		
一般廃油	0	0				0	0									0				0		0				0									0		0		
廃溶剤	0	0				0																				0													
その他の廃油	0	0				0																				0													
廃酸																																							
廃アルカリ																																							
廃プラ類	6	6	0		2	4	0	0		1		0	0	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0		0
廃プラスチック	6	6	0		2	4	0	0		1		0	0	0		0	0		1	1		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0		0
廃タイヤ	0	0			0																															0			
紙くず	0	0			0																																0		
木くず	5	5			1	4				4										0				0											0		0		0
繊維くず	0	0				0			0																		0				0	0							
動植物性残さ																																							
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0	0				0																	0																
金属くず	9	9			1	8						0	0	0		0				0	0	8		0		0	0				0	0			0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	18	18	0		15	3	0	0	0	1		0		1		0			0	0	1	0	0	0	0	0			0		0	0	0			0	0		0
鉱さい	15	15			0	15														15	0	0		0														
がれき類	46	46		0	46	0				0		0							0	0		0				0											0		
コンクリート片	3	3			3																																		
廃アスファルト	11	11			11																																		
その他の建設廃材	32	32		0	32	0				0		0							0	0		0				0											0		
動物のふん尿																																							
動物の死体																																							
ばいじん	4	4		0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀廃棄物	0	0		0	0	0	0						0						0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0	0			0	0	0		0
水銀使用製品廃棄物	0	0			0	0	0						0						0	0	0	0	0	0	0	0			0		0	0				0	0	0		0
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀	0	0		0																										0		0							
その他の産業廃棄物	7	7			3	4	0	0		0		0	0			0			0	3	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
感染性廃棄物																																							
混合物等	7	7			3	4	0	0		0		0	0			0			0	3	0	0	0	0		0	0		0	0	0	0			0	0	0	0	0	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-13 排出量（下越地域 業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	1,019	556	463	11	248	175	29	1		10	0	6	14	13	0	0		0	1	0	0	21	0	0	0	78	1	0	1	0	119	0	3		115	0	1	2	0	0
燃え殻	0	0			0	0	0							0																									
汚泥	265	265		10	23	113	19	1		0	0	0	4	1					0	0		13	0	0		74	0		1		119	0	3		115	0	0	0	0	0
有機性汚泥	135	135			0	20	17	1				0	2	1												0	0				115				115			0		0
無機性汚泥	130	130		10	23	93	3			0	0	0	2	0					0	0		13	0	0		74	0		1		4	0	3			0	0	0	0	0
廃油	3	3		0	0	3	0			0	0	0	0	2	0	0			0	0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0				0	0	0	0	
一般廃油	3	3		0	0	3	0			0	0	0	0	2	0	0				0	0	0	0	0		0	0	0	0		0	0				0	0	0	0	
廃溶剤	0	0		0	0	0													0							0													
その他の廃油	0	0		0	0	0													0																				
廃酸	2	2			0	2	0	0					1	0		0				0		0				0			0								0		
廃アルカリ	6	6			0	6	0						5	0						0		0				1	0									0	0		
廃プラ類	20	20	0	0	2	17	2	0		0	0	0	1	10	0	0			0	0		0	0	0	0	2	0		0		0	0				0	0	0	0	0
廃プラスチック	20	19	0	0	2	17	2	0		0	0	0	1	10	0	0			0	0		0	0	0	0	2	0		0		0	0				0	0	0	0	0
廃タイヤ	0	0			0	0	0																													0	0		0	
紙くず	8	8			1	7						6	1	0																									
木くず	27	27		0	19	8	1			7	0		0	0					0					0		0	0												
繊維くず	0	0			0	0				0				0				0											0										
動植物性残さ	5	5				5	5	0																															
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0	0				0								0																									
金属くず	14	14		0	4	10	1			0	0	0	1	0		0				0		8	0	0	0	0	0		0		0	0				0	0			0
ガラス陶磁器くず	11	11			9	2	0	0		0			0	0					1	0		0		0	0	0	0		0		0	0				0				0
鉱さい	0	0			0	0																					0											
がれき類	188	188			186	2	0			2						0						0				0	0				0	0								
コンクリート片	80	80			78	2				2						0						0									0	0								
廃アスファルト	76	76			76	0				0																														
その他の建設廃材	32	32			32	0	0			0												0				0	0													
動物のふん尿	462		462																																					
動物の死体	0		0																																					
ばいじん																																								
水銀廃棄物	0	0			0	0	0	0		0	0		0							0		0		0	0	0	0			0	0	0					0	0		
水銀使用製品廃棄物	0	0			0	0	0	0		0	0		0							0		0		0	0	0	0			0	0	0					0	0		
水銀含有ばいじん																																								
廃水銀	0	0			0																																		
その他の産業廃棄物	6	6		0	3	1	0	0		0	0		1			0					0	0		0		0	0			0	0				0		2		0
感染性廃棄物	2	2																																			2		
混合物等	4	4		0	3	1	0	0		0	0		1			0					0	0		0		0	0			0	0				0		0		0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-14 排出量（新潟地域 業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	3,724	3,561	164	192	1,121	1,556	51	2	1	3	1	1,096	6	295	0	18	0	0	21	4	0	22	1	0	1	10	2	0	20	0	647	6	96	11	533	2	28	6	8	2
燃え殻	2	2			0	1	0	0		0	0	1	0	0								0									0	0				0				
汚泥	2,096	2,096		153	106	1,191	39	1	0		0	1,074	0	48	0	1	0		8	0	0	13	0	0	0	6	0		0		641	1	96	11	533	0	4	0	1	0
有機性汚泥	1,675	1,675			0	1,157	38	1			0	1,073	0	43		1													0		514				514	0	4	0	0	0
無機性汚泥	421	421		153	105	34	0		0		0	1	0	5	0		0		8	0	0	13	0	0	0	6	0		0		127	1	96	11	19	0	0	0	1	0
廃油	127	127		1	0	124	0	1	0		0	0	0	105	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0		15	0	0	0	0			0	1	0	1	0
一般廃油	71	71		1	0	69	0	1			0	0	0	65	0	0	0		0	0	0	1	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0			0	1	0	1	0
廃溶剤	41	41			0	41			0		0		0	41						0				0					0							0		0	0
その他の廃油	15	15			0	15									0					0			0					15							0		0	
廃酸	7	7		0	0	6	0						0	1						0	0	3	0		0	2				0		0					0	0	0
廃アルカリ	78	78		5	0	72	0					17	3	50						0		1	0			1			0	0		0			0	0	0	1	0
廃プラ類	135	134	0	18	10	91	4	0	0	0	0	3	1	62	0	17	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	0	2	0
廃プラスチック	113	112	0	1	10	91	4	0	0	0	0	3	1	62	0	17	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	1	0
廃タイヤ	22	22		17	0	0								0															0						0	3		1	0
紙くず	5	5			3	2						1	1																0									0	0
木くず	92	92			86	5	0		0	3	1		0	1	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0		0						1	0		0	0
繊維くず	1	1			1	0			0			0	0									0				0				0					0	0		0	
動植物性残さ	11	11				11	8	0						3																					0				
動物系固形不要物	0	0																																				0	
ゴムくず	0	0				0	0																												0				
金属くず	52	52			16	31	0		0	0	0	0	0	23	0	0	0		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0			0	0	3	0	1	0
ガラス陶磁器くず	73	73		14	43	14	0					0		2					11	0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	3	0	0	0
鉱さい	5	5			2	3														3																			
がれき類	849	849			839	4	0					0		0	0		0		2	0		0					2			0	6	6					0			
コンクリート片	355	355			351	4	0							0	0		0		2			0					2			0	0	0					0			
廃アスファルト	351	351			346	0									0																5	5								
その他の建設廃材	143	143			143	0						0								0																				
動物のふん尿	163		163																																				
動物の死体	0		0																																				
ばいじん																																							
水銀廃棄物	1	1		0	1	0	0				0	0	0	0						0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀使用製品廃棄物	1	1		0	1	0	0				0	0	0	0						0	0	0	0	0		0			0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0
水銀含有ばいじん	0	0				0								0																									
廃水銀	0	0			0	0								0																0		0							
その他の産業廃棄物	27	27		1	14	1	0	0				0		0	0					0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	4	6	1	0
感染性廃棄物	6	6				0								0																							0	6		0
混合物等	22	22		1	14	1	0	0				0		0	0					0		0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	4	0	1	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-15 排出量（中越地域 業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	1,946	1,838	107	122	807	604	79	0	0	6	0	164	4	12	0	3	0		106	142	0	25	18	2	4	4	8	0	26	2	282	7	28	1	246	1	10	6	5	1
燃え殻	1	1			0	0	0	0			0					0				0		0		0		0				1	1								0
汚泥	699	699		93	76	252	68	0			0	160	0	0	0	0			6	1	0	13	1	0	0	2	0		0	0	275	0	28	1	246	0	2	0	0	0
有機性汚泥	474	474			0	226	57	0			0	160		0								8	0		0	0	0			0	246	0			246		2	0	0	0
無機性汚泥	225	225		93	76	26	11					0	0	0	0	0			6	1	0	4	1	0	0	2	0		0	0	29	0	28	1	0	0	0	0	0	0
廃油	14	14		4	0	8	0		0		0	0	0	0	0	0			0	0		1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0	0
一般廃油	14	14		4	0	8	0		0		0	0	0	0	0	0			0	0		1	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	0	0	0
廃溶剤	0	0			0	0	0					0										0	0	0	0	0	0								0			0	
その他の廃油	0	0		0	0	0									0	0				0		0		0				0									0		
廃酸	26	26		11	0	15	0	0					0	11	0	0				1		3	0	0	0	0	0			0							0		0
廃アルカリ	43	43		12	0	30		0					0	0	0				0	28		1	0	0	0	0	0		0	0					0	0	0	0	0
廃プラ類	30	30	0	1	7	15	2	0	0	1	0	0	0	1		3			0	2	0	2	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0			0	0	4	2	0	0
廃プラスチック	29	28	0	1	7	15	2	0	0	1	0	0	0	1		3			0	2	0	2	0	1	1	1	2	0	0	1	0	0			0	0	3	2	0	0
廃タイヤ	1	1			0	0		0												0				0							0				0	1		0	0
紙くず	9	9			2	7						3	3									0																	0
木くず	69	69			62	6		0		5	0	0		0		0			0	0		0	0	0	0	0	0	0	0						0	1		0	0
繊維くず	1	1			1	0			0							0				0		0		0					0							0			
動植物性残さ	8	8				8	8	0																															
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	0	0				0											0			0							0								0				
金属くず	34	34		0	12	22	0	0	0	0	0	0	0	0		0			0	4	0	3	4	1	1	0	6	0	3	0	0	0			0	1	0	0	0
ガラス陶磁器くず	54	54		0	31	23		0	0	0	0	0	0	0		0			22	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0		
鉱さい	198	198			1	197													70	95	0	0	9	0	0			0	23										
がれき類	613	613		0	604	9		0		0									8	0		0		0		0			0							0			
コンクリート片	262	262		0	253	9				0									8	0				0					0							0			
廃アスファルト	249	249			249	0		0																															
その他の建設廃材	103	103			103	0													0	0		0				0													
動物のふん尿	107		107																																				
動物の死体	0		0																																				
ばいじん	15	15				10														10		0							0	6	6								
水銀廃棄物	1	1		0	1	0	0	0	0					0	0	0				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0		0
水銀使用製品廃棄物	1	1			1	0	0	0	0					0	0	0				0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0		0
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀	0	0		0	0	0														0						0													
その他の産業廃棄物	22	22		0	10	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0			0	0		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	2	4	4	0
感染性廃棄物	4	4				0																				0	0				0	0					0	4		0
混合物等	18	18		0	10	2	0	0	0		0	0	0	0	0	0			0	0		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	2	0	4	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-16 排出量（魚沼地域 業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	710	625	85	2	193	112	69	2	0	3	0		0		2	0	0		33			0	1	0	0	1	0	0	0	0	309	0	0		309	0	3	2	4	0
燃え殻	1	1			0	1				1																0													
汚泥	420	420			18	91	66	0									0		25			0	0	0		0					309	0	0		309		1	0	0	0
有機性汚泥	376	376			0	66	66	0															0								309	0			309		0	0		0
無機性汚泥	44	44			18	25											0		25			0	0	0		0					0	0	0		0		0	0	0	
廃油	2	2			0	0	0			0			0		0	0	0		0			0	0	0	0	0	0	0			0	0			0	0	1	0	0	0
一般廃油	1	1			0	0	0			0			0			0	0		0			0	0	0	0	0	0	0			0	0			0	0	0	0	0	0
廃溶剤	0	0			0	0											0									0													
その他の廃油	1	1			0	0									0											0					0	0					1	0		
廃酸	1	1			0	1		1															0	0			0				0				0			0		
廃アルカリ	0	0			0	0							0			0	0						0	0		0	0										0	0		
廃プラ類	7	7	0	0	2	2	1	0	0	0	0		0		0	0	0		0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	1	1	0
廃プラスチック	7	6	0	0	2	2	1	0	0	0	0		0		0	0	0		0				0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		0	0	1	1	1	0
廃タイヤ	1	1		0	0																															0	0		0	
紙くず	1	1			1	0							0										0																	
木くず	16	16			15	2				2	0						0						0	0												0			0	
繊維くず	0	0			0	0			0																															
動植物性残さ	3	3				3	2	0																																
動物系固形不要物																																								
ゴムくず	0	0				0																	0																	
金属くず	6	6			3	1		0	0							0			1			0	0	0		0	0				0					0	0	0	2	
ガラス陶磁器くず	16	16	0		7	9		0		1	0		0			0			8				0	0		0	0		0	0	0						0	0	0	
鉱さい	0	0			0	0																0																	
がれき類	148	148		1	144	2		0							2																									
コンクリート片	62	62		1	60	0		0																																
廃アスファルト	59	59		0	59	0		0																																
その他の建設廃材	27	27			25	2									2																									
動物のふん尿	85		85																																					
動物の死体	0		0																																					
ばいじん	0	0				0				0																														
水銀廃棄物	0	0			0	0	0						0			0	0		0				0	0		0	0	0			0	0			0		0	0		
水銀使用製品廃棄物	0	0			0	0	0						0			0	0		0				0	0		0	0	0			0	0			0		0	0		
水銀含有ばいじん																																								
廃水銀	0	0			0																																		
その他の産業廃棄物	3	3		0	2	0	0	0					0			0	0		0				0			0					0	0			0		0	1	0	0
感染性廃棄物	1	1																																				1		
混合物等	3	3		0	2	0	0	0					0			0	0		0				0			0					0	0			0		0	0	0	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-17 排出量（上越地域 業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	1,687	1,659	28	160	322	907	5	0	0		0	0	0	590	0	0	1		32	21	4	2	0	2	0	247	0	0	1	1	258	75	20		163	1	4	2	4	0
燃え殻	19	19			0	5								5																14	14				0				
汚泥	913	913		160	30	537	3		0					499		0	0		14	12	1	0	0	1	0	6	0		0	0	184	0	20		163	0	2	0	0	
有機性汚泥	455	455			0	291	3		0					289												0	0			0	163	0			163		0	0		
無機性汚泥	459	459		160	30	245			0					211		0	0		14	12	1	0	0	1	0	6	0		0		21	0	20			0	2	0	0	
廃油	41	41			0	40	0		0					36	0	0	0		0	0	0	0	0	0		2	0		0		0	0	0			0	0	0	1	
一般廃油	32	32			0	30	0		0					27	0	0			0	0	0	0	0	0		2	0		0		0	0	0			0	0	0	1	
廃溶剤	9	9			0	9								9										0		0	0												
その他の廃油	0	0			0	0								0	0		0			0										0	0								
廃酸	254	254			0	254	0		0					26					0	0	0	0		0		227					0	0	0					0		
廃アルカリ	18	18			0	18			0					10					0	0	0	0			0	7					0	0	0			0	0	0	0	
廃プラ類	16	16	0	0	3	11	1		0		0	0		4	0	0	0		1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0			0	1	0	1	0
廃プラスチック	15	15	0	0	3	10	1		0		0	0		3	0		0		1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0			0	1	0	0	0
廃タイヤ	1	1		0	0	0								0		0	0		0																	0	0		0	
紙くず	1	1			1	0							0																										
木くず	26	26			25	1			0		0	0		1		0				0	0	0				0	0		0	0						0		0		
繊維くず	0	0			0	0			0					0								0		0			0			0	0					0		0	
動植物性残さ	2	2				2	2	0						0																									
動物系固形不要物																																							
ゴムくず	1	1				1											1																						
金属くず	13	13			5	7	0		0		0			3		0			0	1	0	1	0	0	0	1	0	0		0	0	0			0	0	0	2	0
ガラス陶磁器くず	34	34		0	12	21	0		0		0			6		0			14	0	1	0		0	0	0			0		0	0	0			0	0	0	0	
鉱さい	1	1			1	1														0	1																		
がれき類	245	245		0	241	3								0					3																	0	0		0
コンクリート片	104	104			101	3								0					3																	0			
廃アスファルト	99	99			99	0													0																				
その他の建設廃材	41	41		0	41	0													0																	0	0		0
動物のふん尿	28		28																																				
動物の死体	0		0																																				
ばいじん	61	61				1								1							0										60	60							
水銀廃棄物	0	0			0	0	0		0			0		0					0	0	0	0	0	0	0	0			0	0							0	0		0
水銀使用製品廃棄物	0	0			0	0	0		0			0		0					0	0	0	0	0	0	0	0			0	0							0	0		0
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀	0	0			0																																		
その他の産業廃棄物	14	14		0	4	7								0		0			0	7		0		0		0			0	0	0	0			0	1	2	0	0
感染性廃棄物	2	2																																			2	0	
混合物等	12	12		0	4	7								0		0			0	7		0		0		0			0	0	0	0			0	1	0	0	0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表1-18 排出量（佐渡地域 業種別・種類別：変換）＜令和5年度＞

（単位：千t/年）

種類＼業種	合計 全業種	合計 農業を除く	農業	鉱業	建設業	製造業	食料品	飲料・飼料	繊維	木材	家具	パルプ・紙	印刷	化学	石油・石炭	プラスチック	ゴム	皮革	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	金属	はん用機器	生産用機器	業務用機器	電子部品	電気機器	情報機器	輸送機器	その他	電気・水道業	電気業	上水道業	工業用水道業	下水道業	運輸業	卸・小売業	医療・福祉	サービス業	その他の業種※
合計	89	73	15		63	0	0	0		0					0		0		0					0		0	0				9	8			1	0	1	0		0
燃え殻	0	0			0																																		0
汚泥	7	7			6	0																				0				1				1	0	0			
有機性汚泥	1	1			0																									1				1					
無機性汚泥	6	6			6	0																				0									0	0			
廃油	6	6			0	0													0					0		0					5	5				0	0			0
一般廃油	6	6			0	0													0					0		0					5	5				0	0			0
廃溶剤	0	0			0																																		
その他の廃油	0	0			0																									0	0					0			
廃酸	0	0			0	0																				0										0			
廃アルカリ	0	0			0																															0			
廃プラ類	1	1	0		1	0	0	0									0		0							0	0				0	0				0	0	0		0
廃プラスチック	1	1	0		1	0	0	0									0		0							0	0				0	0				0	0	0		0
廃タイヤ	0	0			0																															0			0
紙くず	0	0			0																																		
木くず	5	5			5	0				0																													
繊維くず	0	0			0																																		
動植物性残さ	0	0				0	0	0																															
動物系固形不要物																																							
ゴムくず																																							
金属くず	4	4			1	0													0					0		0					3	3				0	0			0
ガラス陶磁器くず	3	3			2	0		0											0							0					0	0								
鉱さい	0	0			0																																		
がれき類	47	47			47	0									0																									
コンクリート片	20	20			20																																		
廃アスファルト	20	20			20	0									0																									
その他の建設廃材	8	8			8																																		
動物のふん尿	15		15																																				
動物の死体	0		0																																				
ばいじん																																							
水銀廃棄物	0	0			0																									0	0				0				
水銀使用製品廃棄物	0	0			0																									0	0				0				
水銀含有ばいじん																																							
廃水銀	0	0			0																																		
その他の産業廃棄物	1	1			1	0																				0											0	0		0
感染性廃棄物	0	0																																				0		
混合物等	1	1			1	0																				0										0			0

※「その他の業種」は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計値である。

表2-1 発生量及び処理・処分量（種類別：無変換）＜令和5年度＞（その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	9,328	154	9,173	5,020	1,113	856	0	290	2	0	4,154	335	0	3,739	77	3	4,076	0	0	
燃え殻	22		22	0	0			0			22	5		17	1		18			
汚泥	4,403	4	4,399	3,761	387	243	0	144	0		639	49		568	22	0	734	0	0	
有機性汚泥	3,116	0	3,115	3,003	231	125	0	106	0		112	2		109	1	0	215	0	0	
無機性汚泥	1,288	4	1,284	757	157	118		38	0		527	46		459	21	0	519			
廃油	197	4	194	19	5	0		5			175	9		166	0	0	171			
一般廃油	130	4	126	19	5	0		5			107	0		107	0	0	112			
廃溶剤	50	0	50	0	0			0			50	9		42		0	42			
その他の廃油	17		17								17			17			17			
廃酸	290		290	236	1	0		1			54			54	0		55			
廃アルカリ	145	0	145	92	59	17		43	0		53			53	0	0	95			
廃プラ類	212	3	209	19	10	3		6	1		190	1	0	187	1	0	196	0	0	
廃プラスチック	186	2	183	18	8	3		5	1		166	1	0	163	1	0	170	0	0	
廃タイヤ	26	0	26	1	1			1			24	0		24	0	0	26			
紙くず	36	12	24	1	1	1		0			23	6		17			17			
木くず	246	11	235	56	55	52		3	0	0	179	0		175	4	0	182			
繊維くず	3	0	3	0	0	0		0			3	0		3	0		3			
動植物性残さ	37	8	29	2	1	1		0		0	27			25		2	27			
動物系固形不要物	0		0	0	0			0	0								0			
ゴムくず	1		1								1			1			1			
金属くず	202	80	123	1	1	0		1			122	0		121	1		122			
ガラス陶磁器くず	192	1	191	13	11	3		7	1	0	178	5	0	166	7	0	181	0	0	
鉱さい	205		205	90	90	86		3			116			102	14		119			
がれき類	2,118	27	2,091	142	130	89		41	0		1,949	25	0	1,903	22		1,966	0	0	
コンクリート片	893	11	882	47	46	34		12			835	4		829	2		843			
廃アスファルト	868	13	855	73	73	44		29			781	4		766	11		806			
その他の建設廃材	357	3	354	21	11	11		0	0		333	16	0	308	8		317	0	0	
動物のふん尿	860		860	590	362	362		35			270	235		35			35			
動物の死体	1		1								1			1			1			
ばいじん	76		76								76	1		76	0		76			
廃水銀等	3	0	3	0	0			0			2			2	0		3			
廃水銀	3	0	3	0	0			0			2			2	0		3			
水銀使用製品廃棄物	0		0								0			0			0			
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	79	6	73	0	0			0	0		73	0	0	68	6	0	73	0	0	
感染性廃棄物	14		14	0	0			0			14			14	0	0	14			
混合物等	65	6	59	0	0			0	0		59	0	0	54	5		59	0	0	

表2-1 発生量及び処理・処分量(種類別:無変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(処理主体の内訳)				
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	4,073	79	79	0	66	14	3,993	3,980	14	3,639	355	3,292	3,225	67	4,416	146	0	2	145	3	4,570
燃え殻	18	1	1	0	0	1	17	17		16	0	17	16	1	20	2		0	2		20
汚泥	734	22	22		12	10	712	702	10	654	59	234	231	4	523	26	0	1	25	0	527
有機性汚泥	215	1	1		1		215	205	10	184	30	62	61	1	189	2	0	1	1	0	189
無機性汚泥	519	21	21		12	10	497	497	0	469	28	172	169	3	334	24		0	24	0	338
廃油	171	0	0			0	171	171	0	77	94	76	72	4	81	4		0	4	0	85
一般廃油	112	0	0			0	112	112	0	35	77	34	31	2	32	2		0	2	0	35
廃溶剤	42						42	42		41	0	40	40	0	48	0			0	0	48
その他の廃油	17						17	17		1	16	2	1	1	1	1			1		1
廃酸	55						55	55	0	50	5	52	51	1	51	1			1		51
廃アルカリ	95	0	0	0	0		95	95	0	81	14	86	85	2	102	2		0	1	0	102
廃プラ類	195	2	2	0	2	0	193	193	1	183	10	126	122	4	126	6	0	0	6	0	129
廃プラスチック	170	2	2	0	2	0	168	167	1	159	8	101	96	4	100	6	0	0	6	0	103
廃タイヤ	26	0	0		0		26	26		24	2	26	26		26	0			0	0	26
紙くず	17						17	17	0	11	6	16	16	0	22	0		0	0		34
木くず	182	4	4		4		178	177	1	169	9	164	162	2	214	6		0	6	0	224
繊維くず	3	0	0		0		3	3	0	3	0	2	1	0	2	0		0	0		2
動植物性残さ	25						25	23	1	21	4	5	5	0	5	0		0	0	2	13
動物系固形不要物	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
ゴムくず	1						1	1		0	1	1	1	0	1	0			0		1
金属くず	122	1	1	0	1	0	122	122	0	119	2	122	113	8	114	9		0	9		193
ガラス陶磁器くず	181	8	8	0	7	1	173	173	0	168	6	173	162	11	169	19	0	0	19	0	170
鉱さい	119	14	14	0	14	0	105	105		87	18	105	104	2	190	15		0	15		190
がれき類	1,966	22	22		22	0	1,944	1,944	0	1,832	112	1,944	1,920	24	2,034	46	0	0	46		2,061
コンクリート片	843	2	2		2		841	841		827	14	841	841	0	879	3			3		890
廃アスファルト	806	11	11		11		795	795		746	49	795	795	0	843	11			11		856
その他の建設廃材	317	9	9		8	0	308	308	0	260	49	308	284	24	311	32	0	0	32		315
動物のふん尿	35						35	35		35		35	35		632						632
動物の死体	1						1	1		1		1	1		1						1
ばいじん	76	0	0			0	76	76		66	10	76	76	0	76	0			0		76
廃水銀等	3	0	0		0		3	3	0	2	0	3	2	0	2	0		0	0		2
廃水銀	3	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		2
水銀使用製品廃棄物	0						0	0			0	0	0		0						0
水銀含有ばいじん	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
その他の産業廃棄物	73	6	6	0	4	2	68	67	0	62	5	55	52	3	52	9	0	0	9	0	58
感染性廃棄物	14	0	0		0		14	14	0	13	1	2	0	2	0	2			2	0	0
混合物等	59	5	5	0	4	2	54	54	0	49	5	54	52	2	52	7	0	0	7		58

表2-2 発生量及び処理・処分量(種類別:変換)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	9,328	154	9,173	5,020	1,113	856	0	290	2	0	4,154	335	0	3,739	77	3	4,076	0	0	
燃え殻	22		22	0	28	4	0	25	0	0	22	5		17	1		43	0	0	
汚泥	4,403	4	4,399	3,761	359	240		120	0		639	49		568	22	0	710			
有機性汚泥	3,116	0	3,115	3,003	203	121		81	0		112	2		109	1	0	191			
無機性汚泥	1,288	4	1,284	757	157	118		38	0		527	46		459	21	0	519			
廃油	197	4	194	19	5	0		5			175	9		166	0	0	171			
一般廃油	130	4	126	19	5	0		5			107	0		107	0	0	112			
廃溶剤	50	0	50	0	0			0			50	9		42		0	42			
その他の廃油	17		17								17			17			17			
廃酸	290		290	236	1	0		1			54			54	0		55			
廃アルカリ	145	0	145	92	59	17		43			53			53	0	0	95			
廃プラ類	212	3	209	19	10	3		6	1		190	1	0	187	1	0	196	0	0	
廃プラスチック	186	2	183	18	8	3		5	1		166	1	0	163	1	0	170	0	0	
廃タイヤ	26	0	26	1	1			1			24	0		24	0	0	26			
紙くず	36	12	24	1	1	1		0			23	6		17			17			
木くず	246	11	235	56	55	52		3		0	179	0		175	4	0	182			
繊維くず	3	0	3	0	0	0		0			3	0		3	0		3			
動植物性残さ	37	8	29	2	1	1		0		0	27			25		2	27			
動物系固形不要物	0		0	0	0			0									0			
ゴムくず	1		1								1			1			1			
金属くず	202	80	123	1	1	0		1			122	0		121	1		122			
ガラス陶磁器くず	192	1	191	13	11	3		7	1	0	178	5	0	166	7	0	181	0	0	
鉱さい	205		205	90	90	86		3			116			102	14		119			
がれき類	2,118	27	2,091	142	130	89		41	0		1,949	25	0	1,903	22		1,966	0	0	
コンクリート片	893	11	882	47	46	34		12			835	4		829	2		843			
廃アスファルト	868	13	855	73	73	44		29			781	4		766	11		806			
その他の建設廃材	357	3	354	21	11	11		0	0		333	16	0	308	8		317	0	0	
動物のふん尿	860		860	590	362	362		35			270	235		35			35			
動物の死体	1		1								1			1			1			
ばいじん	76		76								76	1		76	0		76			
廃水銀等	3	0	3	0	0			0			2			2	0		3			
廃水銀	3	0	3	0	0			0			2			2	0		3			
水銀使用製品廃棄物	0		0								0			0			0			
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	79	6	73	0	0			0	0		73	0	0	68	6	0	73	0	0	
感染性廃棄物	14		14	0	0			0			14			14	0	0	14			
混合物等	65	6	59	0	0			0	0		59	0	0	54	5		59	0	0	

表2-2 発生量及び処理・処分量(種類別:変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量	委託処理量の内訳													再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(処理主体の内訳)				
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量							
	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	4,073	79	79	0	66	14	3,993	3,980	14	3,639	355	3,292	3,225	67	4,416	146	0	2	145	3	4,570
燃え殻	43	1	1	0	0	1	41	41	0	32	10	87	80	7	90	9	0	0	8	0	90
汚泥	710	22	22	0	12	10	688	678	10	639	49	186	181	5	467	27		1	27	0	471
有機性汚泥	191	1	1		1		190	180	10	169	21	34	34	1	156	1		1	1	0	156
無機性汚泥	519	21	21	0	12	10	497	497	0	469	28	152	147	5	312	26		0	26	0	315
廃油	171	0	0			0	171	171	0	77	94	72	72	0	74	0			0	0	78
一般廃油	112	0	0			0	112	112	0	35	77	31	31	0	31	0			0	0	35
廃溶剤	42						42	42		41	0	40	40	0	41	0			0	0	41
その他の廃油	17						17	17		1	16	1	1	0	1	0			0		1
廃酸	55						55	55	0	50	5	51	51		51						51
廃アルカリ	95	0	0		0		95	95	0	81	14	85	85		102					0	102
廃プラ類	195	2	2	0	2	0	193	193	1	183	10	117	113	4	117	6	0	0	6	0	120
廃プラスチック	170	2	2	0	2	0	168	167	1	159	8	93	88	4	92	6	0	0	6	0	95
廃タイヤ	26	0	0		0		26	26		24	2	25	25		25	0			0	0	25
紙くず	17						17	17	0	11	6	16	16	0	22	0			0		34
木くず	182	4	4		4		178	177	1	169	9	162	161	1	213	5			5	0	224
繊維くず	3	0	0		0		3	3	0	3	0	1	1	0	1	0			0		2
動植物性残さ	25						25	23	1	21	4	4	4		5					2	13
動物系固形不要物	0						0	0		0											
ゴムくず	1						1	1		0	1	1	1	0	1	0			0		1
金属くず	122	1	1	0	1	0	122	122	0	119	2	121	113	8	114	9		0	9		193
ガラス陶磁器くず	181	8	8	0	7	1	173	173	0	168	6	172	162	10	169	18	0	0	18	0	170
鉱さい	119	14	14	0	14	0	105	105		87	18	105	104	2	190	15		0	15		190
がれき類	1,966	22	22		22	0	1,944	1,944	0	1,832	112	1,943	1,919	24	2,033	46	0	0	46		2,060
コンクリート片	843	2	2		2		841	841		827	14	841	841	0	879	3			3		890
廃アスファルト	806	11	11		11		795	795		746	49	795	795	0	843	11			11		856
その他の建設廃材	317	8	8		8	0	308	308	0	260	49	307	283	24	311	32	0	0	32		314
動物のふん尿	35						35	35		35		35	35		632						632
動物の死体	1						1	1		1		1	1		1						1
ばいじん	76	0	0			0	76	76		66	10	79	76	4	83	4		0	4		83
廃水銀等	3	0	0		0		3	3	0	2	0	3	2	0	2	0		0	0		2
廃水銀	3	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		2
水銀使用製品廃棄物	0						0	0			0	0	0		0						0
水銀含有ばいじん	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
その他の産業廃棄物	73	6	6	0	4	2	68	67	0	62	5	50	48	2	48	7	0	0	7		54
感染性廃棄物	14	0	0		0		14	14	0	13	1										
混合物等	59	5	5	0	4	2	54	54	0	49	5	50	48	2	48	7	0	0	7		54

表2-3 発生量及び処理・処分量（下越地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	1,036	18	1,019	563	237	212		43	0	0	456	134	0	317	5	0	346	0	0	
燃え殻	0		0		0			0	0	0	0			0	0		0			
汚泥	265	0	265	215	23	4		18	0		49	0		48	2	0	68			
有機性汚泥	135		135	126	8			8			9			9		0	17			
無機性汚泥	130	0	130	89	15	4		11	0		40	0		39	2		51			
廃油	3	0	3	1	0			0			3	0		3			3			
一般廃油	3	0	3	1	0			0			2	0		2			2			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	2		2	0	0			0			2			2			2			
廃アルカリ	6		6	0	0			0			6			6			6			
廃プラ類	20	0	20	10	2	0		2			10	0	0	9	0	0	11	0	0	
廃プラスチック	20	0	20	10	2	0		2			9	0	0	9	0	0	11	0	0	
廃タイヤ	0	0	0								0			0	0	0	0			
紙くず	10	2	8	0	0	0		0			8	6		2			2			
木くず	28	1	27	5	5	5		0		0	22	0		22		0	22			
繊維くず	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0			0			
動植物性残さ	6	1	5								5			5			5			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	25	10	14	0	0	0		0			14	0		14	0		14			
ガラス陶磁器くず	11	0	11	1	1	1		0	0	0	10	0	0	9	1		10	0	0	
鉱さい	0		0								0			0	0		0			
がれき類	190	2	188	12	11	8		4	0		175	2	0	171	2		177	0	0	
コンクリート片	81	1	80	4	4	3		1			76	0		75	0		76			
廃アスファルト	78	1	76	7	7	4		3			70	0		69	1		72			
その他の建設廃材	32	0	32	2	1	1		0	0		30	1	0	27	1		28	0	0	
動物のふん尿	462		462	317	195	195		19			145	126		19			19			
動物の死体	0		0								0			0			0			
ばいじん																				
廃水銀等	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
廃水銀	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	6	0	6	0	0			0	0		6	0	0	5	0		6	0	0	
感染性廃棄物	2		2								2			1	0		2			
混合物等	4	0	4	0	0			0	0		4	0	0	4	0		4	0	0	

表2-3 発生量及び処理・処分量（下越地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	346	5	5		4	1	341	338	3	314	27	288	275	13	622	18	0	1	17	0	639
燃え殻	0	0	0		0	0	0	0		0	0	5	5	1	5	1		0	1	0	5
汚泥	68	2	2		1	1	66	63	3	58	8	18	17	1	21	3		1	2	0	21
有機性汚泥	17						17	14	3	15	2	3	2	1	2	1		1		0	2
無機性汚泥	51	2	2		1	1	49	49		43	6	15	14	1	19	2		0	2		19
廃油	3						3	3		2	1	2	2	0	2	0			0		2
一般廃油	2						2	2		2	1	2	2	0	2	0			0		2
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他の廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃酸	2						2	2	0	2	0	2	2		2						2
廃アルカリ	6						6	6	0	4	3	6	6		6						6
廃プラ類	11	0	0		0	0	11	11	0	9	2	10	10	0	10	1	0	0	1	0	10
廃プラスチック	11	0	0		0	0	11	11	0	9	2	10	9	0	9	1	0	0	1	0	10
廃タイヤ	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0	0	0
紙くず	2						2	2		2	0	2	2	0	8	0			0		10
木くず	22						22	22	0	21	1	20	20	0	25	0			0	0	25
繊維くず	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
動植物性残さ	5						5	5	0	4	1	1	1		1						2
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0
金属くず	14	0	0		0	0	14	14		14	0	14	6	8	6	8			8		17
ガラス陶磁器くず	10	1	1		1	0	10	10	0	9	0	10	9	1	9	2	0	0	2	0	10
鉱さい	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
がれき類	177	2	2		2	0	175	175	0	165	10	175	173	2	183	4	0	0	4		185
コンクリート片	76	0	0		0		76	76		75	1	76	76	0	79	0			0		80
廃アスファルト	72	1	1		1		71	71		67	4	71	71	0	75	1			1		77
その他の建設廃材	28	1	1		1	0	27	27	0	23	4	27	25	2	28	3	0	0	3		28
動物のふん尿	19						19	19		19		19	19		340						340
動物の死体	0						0	0		0		0	0		0						0
ばいじん												0	0	0	0	0			0		0
廃水銀等	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の産業廃棄物	6	0	0		0	0	5	5	0	5	0	4	4	0	4	0	0	0	0		4
感染性廃棄物	2	0	0		0		1	1		1	0										
混合物等	4	0	0		0	0	4	4	0	4	0	4	4	0	4	0	0	0	0		4

表2-4 発生量及び処理・処分量(新潟地域 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	3,774	50	3,724	2,054	291	168	0	129	0	0	1,670	55	0	1,593	21	0	1,738	0	0	
燃え殻	2		2	0	25		0	25	0	0	2			1	1		26	0	0	
汚泥	2,098	2	2,096	1,797	57	23		34	0		299	0		291	8		333			
有機性汚泥	1,675	0	1,675	1,618	24	0		24			58			57	0		81			
無機性汚泥	422	1	421	179	33	23		10	0		241	0		234	7		252			
廃油	130	2	127	1	1	0		1			127			127		0	127			
一般廃油	74	2	71	1	1	0		1			71			71		0	71			
廃溶剤	41		41								41			41		0	41			
その他の廃油	15		15								15			15			15			
廃酸	7		7	0	0			0			6			6			7			
廃アルカリ	78		78	59	59	17		42			19			19			61			
廃プラ類	136	1	135	4	4	2		2			131	0	0	130	0	0	132	0	0	
廃プラスチック	114	1	113	3	3	2		0			110	0	0	110	0	0	110	0	0	
廃タイヤ	22	0	22	1	1			1			21			21	0		22			
紙くず	6	0	5	0	0	0		0			5	0		5			5			
木くず	95	3	92	23	22	21		1			69	0		69	0	0	71			
繊維くず	1	0	1	0	0	0		0			1	0		1			1			
動植物性残さ	18	7	11	0	0	0		0		0	11			11		0	11			
動物系固形不要物	0		0	0	0			0									0			
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	73	21	52	1	1	0		1			51	0		51	0		51			
ガラス陶磁器くず	74	0	73	1	1	0		0	0	0	73	0	0	70	3		73	0	0	
鉱さい	5		5								5			4	0		5			
がれき類	861	11	849	57	52	35		17	0		793	10		774	9		800			
コンクリート片	360	5	355	18	18	13		5			337	2		335	1		341			
廃アスファルト	356	5	351	30	30	18		12			321	2		315	4		331			
その他の建設廃材	144	1	143	9	4	4		0	0		134	7		124	3		128			
動物のふん尿	163		163	112	69	69		7			51	45		7			7			
動物の死体	0		0								0			0			0			
ばいじん																				
廃水銀等	1	0	1	0	0			0			1			1	0		1			
廃水銀	1	0	1	0	0			0			1			1	0		1			
水銀使用製品廃棄物	0		0								0			0			0			
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	30	3	27	0	0			0	0		27			26	1	0	27			
感染性廃棄物	6		6	0	0			0			6			6	0	0	6			
混合物等	24	3	22	0	0			0	0		22			21	1		22			

表2-4 発生量及び処理・処分量(新潟地域 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量 (O)	(処理主体の内訳) 処理業者	自治体	(処理先地域の内訳) 県内	県外	委託中間処理量 (L)	(処理主体の内訳) 処理業者	自治体	(処理先地域の内訳) 県内	県外	委託中間処理後量 (M)	(処理後の処理内訳) 再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	(処理主体の内訳) 事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	1,738	22	22	0	18	4	1,716	1,715	1	1,558	158	1,326	1,300	26	1,523	48	0	1	48	0	1,573
燃え殻	26	1	1	0	0	0	26	26		16	10	45	41	4	41	5	0	0	4	0	41
汚泥	333	8	8		4	3	325	325	0	317	8	92	90	2	114	9		0	9		115
有機性汚泥	81	0	0		0		81	81	0	78	3	4	4	0	4	0			0		4
無機性汚泥	252	7	7		4	3	244	244	0	239	5	88	86	2	110	9		0	9		111
廃油	127						127	127	0	49	78	45	45		45					0	47
一般廃油	71						71	71	0	8	63	5	5		5					0	8
廃溶剤	41						41	41		41	0	39	39		39					0	39
その他の廃油	15						15	15		0	15	0	0		0						0
廃酸	7						7	7		6	0	5	5		5						5
廃アルカリ	61						61	61	0	60	1	58	58		75						75
廃プラ類	132	0	0		0	0	132	132	0	128	4	65	64	1	67	1	0	0	1	0	68
廃プラスチック	110	0	0		0	0	110	110	0	108	2	44	43	1	45	1	0	0	1	0	46
廃タイヤ	22	0	0		0		22	22		21	1	21	21		21	0			0		21
紙くず	5						5	5		4	1	4	4	0	5	0			0		5
木くず	71	0	0		0		71	70	0	65	5	65	64	0	85	0			0	0	88
繊維くず	1						1	1	0	1	0	1	1		1						1
動植物性残さ	11						11	11	0	9	1	2	2		2					0	9
動物系固形不要物	0						0	0		0											
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0
金属くず	51	0	0		0	0	51	51	0	51	0	51	51	0	51	0			0		72
ガラス陶磁器くず	73	3	3		3	0	70	70	0	69	1	69	65	4	65	7	0	0	7	0	65
鉱さい	5	0	0	0	0	0	4	4		2	2	4	2	2	2	2		0	2		2
がれき類	800	9	9		9	0	791	791	0	745	45	791	781	10	826	19		0	19		837
コンクリート片	341	1	1		1		340	340		334	6	340	340	0	354	1			1		359
廃アスファルト	331	4	4		4		327	327		307	20	327	327	0	346	4			4		352
その他の建設廃材	128	3	3		3	0	124	124	0	105	20	124	114	10	125	13		0	13		127
動物のふん尿	7						7	7		7		7	7		120						120
動物の死体	0						0	0		0		0	0		0						0
ばいじん												3	0	3	0	3		0	3		0
廃水銀等	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
廃水銀	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
水銀使用製品廃棄物	0						0	0			0	0	0		0						0
水銀含有ばいじん	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
その他の産業廃棄物	27	1	1	0	1	0	26	26	0	26	1	19	19	1	19	2		0	2		21
感染性廃棄物	6	0	0		0		6	6		5	1										
混合物等	22	1	1	0	1	0	21	21	0	21	0	19	19	1	19	2		0	2		21

表2-5 発生量及び処理・処分量（中越地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	2,010	65	1,946	780	248	199		52	1	0	1,166	38	0	1,092	34	2	1,178	0	0	
燃え殻	1		1		4	4		0	0	0	1			1	0		1			
汚泥	700	1	699	513	50	21		29	0		186	0		179	7	0	215			
有機性汚泥	474		474	437	30	7		22			37			37	0	0	59			
無機性汚泥	226	1	225	75	21	14		7	0		149	0		143	6	0	156			
廃油	15	0	14	0	0	0		0			14	0		14	0	0	14			
一般廃油	14	0	14	0	0	0		0			13	0		13	0	0	13			
廃溶剤	0	0	0	0	0			0			0			0		0	0			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	26		26	11	0			0			15			15			16			
廃アルカリ	43	0	43	28	0			0			15			15		0	15			
廃プラ類	31	1	30	3	3	1		2	1		27	0	0	26	1	0	29	0	0	
廃プラスチック	30	1	29	3	3	1		2	1		25	0	0	24	1	0	27	0	0	
廃タイヤ	1	0	1	0	0			0			1	0		1	0	0	1			
紙くず	19	10	9	0	0	0		0			9	0		9			9			
木くず	71	2	69	16	16	15		1			52	0		48	4		53			
繊維くず	1	0	1	0	0	0		0			1	0		1	0		1			
動植物性残さ	9	1	8	2	0	0		0			7			4		2	7			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	74	39	34	0	0	0		0			34	0		34	0		34			
ガラス陶磁器くず	54	0	54	2	2	1		0	0	0	52	0	0	50	2	0	52	0	0	
鉱さい	198		198	90	90	86		3			109			96	13		112			
がれき類	621	8	613	41	37	25		12	0		573	7		559	6		577			
コンクリート片	265	3	262	13	13	9		4			249	1		247	1		251			
廃アスファルト	253	4	249	22	21	13		8			227	1		223	3		234			
その他の建設廃材	104	1	103	6	3	3		0	0		97	5		90	2		92			
動物のふん尿	107		107	73	45	45		4			34	29		4			4			
動物の死体	0		0								0			0			0			
ばいじん	15		15								15			15			15			
廃水銀等	1	0	1	0	0			0			1			1	0		1			
廃水銀	1	0	1	0	0			0			1			1	0		1			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	24	2	22	0	0			0	0		22	0		21	1		22			
感染性廃棄物	4		4								4			4			4			
混合物等	20	2	18	0	0			0	0		18	0		18	1		18			

表2-5 発生量及び処理・処分量（中越地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量	委託処理量の内訳													再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量							
	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	1,175	35	35	0	32	3	1,140	1,132	8	1,059	81	964	948	16	1,185	51	0	0	51	2	1,250
燃え殻	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	14	12	1	16	1		0	1	0	16
汚泥	215	7	7	0	4	3	208	201	7	204	4	49	47	2	68	9		0	9	0	69
有機性汚泥	59	0	0		0		59	52	7	58	1	21	21	0	28	0			0	0	28
無機性汚泥	156	7	6	0	3	3	149	149	0	146	4	28	26	2	40	9		0	9	0	41
廃油	14	0	0			0	14	14	0	9	5	9	9	0	9	0			0	0	10
一般廃油	13	0	0			0	13	13	0	9	5	9	9	0	9	0			0	0	10
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0					0	0
その他の廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃酸	16						16	16		14	1	14	14		14						14
廃アルカリ	15						15	15	0	14	1	10	10		10					0	11
廃プラ類	29	2	2	0	2	0	27	27	0	26	1	22	21	1	21	3	0	0	3	0	23
廃プラスチック	27	2	2	0	2	0	26	25	0	25	1	20	19	1	20	3	0	0	3	0	21
廃タイヤ	1	0	0		0		1	1		1	0	1	1		1	0			0	0	1
紙くず	9						9	9	0	5	4	8	8	0	8	0			0		18
木くず	53	4	4		4		49	49	0	47	2	45	44	0	60	4			4		62
繊維くず	1	0	0		0		1	1	0	1	0	0	0		0	0			0		0
動植物性残さ	4						4	4	0	3	1	1	1		1					2	2
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0
金属くず	34	0	0	0	0	0	34	34	0	33	1	34	34	0	34	0		0	0		73
ガラス陶磁器くず	52	2	2	0	2	0	50	50	0	49	1	50	47	3	49	5	0	0	5	0	49
鉱さい	112	13	13		13		99	99		82	17	99	99	0	185	13			13		185
がれき類	577	6	6		6	0	571	571	0	538	33	571	564	7	596	13		0	13		604
コンクリート片	251	1	1		1		250	250		246	4	250	250	0	261	1			1		264
廃アスファルト	234	3	3		3		231	231		217	14	231	231	0	246	3			3		249
その他の建設廃材	92	2	2		2	0	90	90	0	75	14	89	82	7	90	10		0	10		91
動物のふん尿	4						4	4		4		4	4		79						79
動物の死体	0						0	0		0		0	0		0						0
ばいじん	15						15	15		6	10	16	15	0	15	0		0	0		15
廃水銀等	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
廃水銀	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
その他の産業廃棄物	22	1	1		1	0	21	21	0	21	0	17	17	1	17	1		0	1		19
感染性廃棄物	4						4	4	0	4	0										
混合物等	18	1	1		1	0	18	18	0	17	0	17	17	1	17	1		0	1		19

表2-6 発生量及び処理・処分量（魚沼地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	719	9	710	480	69	49		23	0	0	229	25	0	200	5	0	224	0	0	
燃え殻	1		1		0			0	0	0	1			0	1		1			
汚泥	420	0	420	407	19	3		16	0		13	0		12	1		29			
有機性汚泥	376		376	375	15			15	0		1			1			15			
無機性汚泥	44	0	44	32	4	3		1	0		13	0		11	1		13			
廃油	2	0	2	0	0	0		0			2			2			2			
一般廃油	1	0	1	0	0	0		0			1			1			1			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	1		1								1			1			1			
廃酸	1		1								1			1			1			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラ類	7	0	7	0	0	0		0			7	0	0	7	0	0	7	0	0	
廃プラスチック	7	0	7	0	0	0		0			7	0	0	6	0	0	7	0	0	
廃タイヤ	1		1								1			1	0		1			
紙くず	1	0	1	0	0	0		0			1	0		1			1			
木くず	20	4	16	4	4	4		0			13	0		13			13			
繊維くず	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0			0			
動植物性残さ	3		3	0	0	0		0			2			2			2			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	9	3	6	0	0	0		0			6	0		6	0		6			
ガラス陶磁器くず	16	0	16	2	1	0		1	0	0	14	0	0	13	1		15	0	0	
鉱さい	0		0								0			0	0		0			
がれき類	150	2	148	10	9	6		3	0		138	2		135	2		140			
コンクリート片	63	1	62	3	3	2		1			59	0		58	0		59			
廃アスファルト	60	1	59	5	5	3		2			54	0		53	1		56			
その他の建設廃材	27	0	27	1	1	1		0	0		25	1		24	1		24			
動物のふん尿	85		85	58	36	36		3			27	23		3			3			
動物の死体	0		0								0			0			0			
ばいじん	0		0								0				0		0			
廃水銀等	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
廃水銀	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	4	0	3	0	0			0	0		3			3	0		3			
感染性廃棄物	1		1								1			1			1			
混合物等	3	0	3	0	0			0	0		3			2	0		3			

表2-6 発生量及び処理・処分量（魚沼地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	委託処理量	委託処理量の内訳													再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量							
	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	224	5	5		3	2	219	219	0	202	18	196	193	3	267	8	0	0	8	0	276
燃え殻	1	1	1		0	1	0	0		0	0	3	2	0	2	1		0	1	0	2
汚泥	29	1	1		1	1	28	28		21	7	9	9	0	12	1		0	1		12
有機性汚泥	15	0	0		0		15	15		9	6	4	4		4	0			0		4
無機性汚泥	13	1	1		1	1	12	12		12	0	5	5	0	8	1		0	1		9
廃油	2						2	2		1	1	1	1	0	1	0			0		1
一般廃油	1						1	1		0	0	1	1	0	1	0			0		1
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他の廃油	1						1	1		0	1	1	1	0	1	0			0		1
廃酸	1						1	1		1	0	1	1		1						1
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃プラ類	7	0	0		0	0	7	7	0	7	0	5	5	0	5	0	0	0	0	0	5
廃プラスチック	7	0	0		0	0	6	6	0	6	0	5	5	0	5	0	0	0	0	0	5
廃タイヤ	1	0	0		0		1	1		0	0	1	1		1	0			0		1
紙くず	1						1	1		0	0	0	0	0	0	0			0		0
木くず	13						13	13	0	12	0	11	11	0	15	0			0		19
繊維くず	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
動植物性残さ	2						2	2	0	2		1	1		1						1
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0		0		0			0		
金属くず	6	0	0		0	0	6	6		6	0	6	6	0	6	0			0		8
ガラス陶磁器くず	15	1	1		1	0	14	14	0	13	1	14	14	1	14	2	0	0	2	0	14
鉱さい	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
がれき類	140	2	2		2	0	138	138	0	130	8	138	136	2	144	3		0	3		146
コンクリート片	59	0	0		0		59	59		58	1	59	59	0	62	0			0		62
廃アスファルト	56	1	1		1		55	55		52	3	55	55	0	59	1			1		60
その他の建設廃材	24	1	1		1	0	24	24	0	20	3	24	22	2	24	2		0	2		24
動物のふん尿	3						3	3		3		3	3		62						62
動物の死体	0						0	0		0		0	0		0						0
ばいじん	0	0	0			0						0	0	0	0	0			0		0
廃水銀等	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の産業廃棄物	3	0	0		0	0	3	3	0	3	0	2	2	0	2	0		0	0		3
感染性廃棄物	1						1	1	0	1	0										
混合物等	3	0	0		0	0	2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		3

表2-7 発生量及び処理・処分量（上越地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	1,699	12	1,687	1,126	257	217		40	0	0	561	78	0	471	11	0	522	0	0	
燃え殻	19		19		0			0	0	0	19	5		14	0		14			
汚泥	914	0	913	826	209	186		23	0		87	49		34	4		61			
有機性汚泥	455		455	447	127	114		13			7	2		5			18			
無機性汚泥	459	0	459	379	82	72		10	0		79	46		29	4		43			
廃油	42	1	41	17	4			4			24	9		16			20			
一般廃油	32	1	32	17	4			4			15	0		15			19			
廃溶剤	9		9								9	9		1			1			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	254		254	225	1	0		0			29			29	0		30			
廃アルカリ	18		18	5	0			0			13			13	0		13			
廃プラ類	16	0	16	1	1	0		1	0		15	1	0	14	0	0	15	0	0	
廃プラスチック	15	0	15	1	1	0		1	0		14	1	0	13	0	0	14	0	0	
廃タイヤ	1	0	1								1	0		1	0		1			
紙くず	1	0	1	0	0	0		0			1	0		1			1			
木くず	27	1	26	6	6	6		0			20	0		19	0		20			
繊維くず	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0	0		0			
動植物性残さ	2	0	2								2			2			2			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	1		1								1			1			1			
金属くず	19	6	13	0	0	0		0			13	0		13	0		13			
ガラス陶磁器くず	34	0	34	7	6	0		6	0	0	26	5	0	21	1		27	0	0	
鉱さい	1		1								1			1	0		1			
がれき類	248	3	245	19	18	13		5	0		226	3		220	3		227			
コンクリート片	105	1	104	8	8	6		1			96	0		95	0		97			
廃アスファルト	101	2	99	9	9	5		3			91	1		89	1		94			
その他の建設廃材	42	0	41	3	1	1		0	0		39	2		36	1		37			
動物のふん尿	28		28	19	12	12		1			9	8		1			1			
動物の死体	0		0								0			0			0			
ばいじん	61		61								61	1		60			60			
廃水銀等	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
廃水銀	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	14	0	14	0	0			0	0		14			10	4		14			
感染性廃棄物	2		2								2			2			2			
混合物等	12	0	12	0	0			0	0		12			8	4		12			

表2-7 発生量及び処理・処分量（上越地域　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	522	11	11		8	3	510	509	1	442	68	459	451	8	747	19	0	0	19	0	758
燃え殻	14	0	0		0	0	14	14		14	0	20	19	1	26	1		0	1	0	26
汚泥	61	4	4		2	2	57	57		35	22	17	17	0	250	4		0	4		250
有機性汚泥	18						18	18		8	9	3	3	0	118	0			0		118
無機性汚泥	43	4	4		2	2	39	39		27	13	14	14	0	132	4		0	4		133
廃油	20						20	20		11	9	15	15	0	16	0			0		17
一般廃油	19						19	19		10	8	14	14	0	14	0			0		15
廃溶剤	1						1	1		0	0	0	0	0	2	0			0		2
その他の廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃酸	30						30	30	0	27	3	29	29		29						29
廃アルカリ	13	0	0		0		13	13	0	3	10	10	10		10						10
廃プラ類	15	0	0		0	0	15	15	0	12	3	14	13	1	13	1	0	0	1	0	13
廃プラスチック	14	0	0		0	0	14	14	0	11	3	13	12	1	12	1	0	0	1	0	12
廃タイヤ	1	0	0		0		1	1		1	0	1	1		1	0			0		1
紙くず	1						1	1		0	0	1	1	0	1	0			0		1
木くず	20	0	0		0		20	20	0	19	1	18	18	0	24	0			0		25
繊維くず	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
動植物性残さ	2						2	1	1	2		0	0		0						0
動物系固形不要物																					
ゴムくず	1						1	1			1	1	1		1						1
金属くず	13	0	0		0	0	13	13	0	12	1	13	13	0	13	0			0		19
ガラス陶磁器くず	27	1	1		1	0	26	26	0	25	2	26	24	2	29	3	0	0	3	0	30
鉱さい	1	0	0		0		1	1		1		1	1		1	0			0		1
がれき類	227	3	3		3	0	225	225	0	212	13	225	222	3	238	5		0	5		241
コンクリート片	97	0	0		0		97	97		95	2	97	97	0	103	0			0		105
廃アスファルト	94	1	1		1		92	92		87	6	92	92	0	98	1			1		100
その他の建設廃材	37	1	1		1	0	36	36	0	30	6	36	33	3	36	4		0	4		37
動物のふん尿	1						1	1		1		1	1		20						20
動物の死体	0						0	0		0		0	0		0						0
ばいじん	60						60	60		60	0	60	60	0	68	0		0	0		68
廃水銀等	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の産業廃棄物	14	4	4		2	2	10	10	0	6	4	6	6	0	6	4		0	4		7
感染性廃棄物	2						2	2		2											
混合物等	12	4	4		2	2	8	8	0	4	4	6	6	0	6	4		0	4		7

表2-8 発生量及び処理・処分量(佐渡地域種類別:変換)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	90	1	89	17	12	11		2	0	0	71	5	0	66	1	0	68	0	0	
燃え殻	0		0		0			0	0	0	0			0	0		0			
汚泥	7	0	7	2	1	1		0	0		4	0		4	0		4			
有機性汚泥	1		1								1			1			1			
無機性汚泥	6	0	6	2	1	1		0	0		4	0		3	0		4			
廃油	6	0	6								6			6			6			
一般廃油	6	0	6								6			6			6			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラ類	1	0	1	0	0	0		0			1	0	0	1	0	0	1	0	0	
廃プラスチック	1	0	1	0	0	0		0			1	0	0	1	0	0	1	0	0	
廃タイヤ	0		0								0			0	0		0			
紙くず	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0			0			
木くず	5	0	5	1	1	1		0			4	0		4			4			
繊維くず	0	0	0	0	0	0		0			0	0		0			0			
動植物性残さ	0		0	0	0			0			0			0			0			
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	4	0	4	0	0	0		0			4	0		4	0		4			
ガラス陶磁器くず	3	0	3	0	0	0		0	0	0	3	0	0	2	0		3	0	0	
鉱さい	0		0								0			0	0		0			
がれき類	48	1	47	3	3	2		1	0		44	1		43	0		45			
コンクリート片	20	0	20	1	1	1		0			19	0		19	0		19			
廃アスファルト	20	0	20	2	2	1		1			18	0		17	0		18			
その他の建設廃材	8	0	8	0	0	0		0	0		8	0		7	0		7			
動物のふん尿	15		15	10	6	6		1			5	4		1			1			
動物の死体	0		0								0			0			0			
ばいじん																				
廃水銀等	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
廃水銀	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	1	0	1	0	0			0	0		1			1	0		1			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	1	0	1	0	0			0	0		1			1	0		1			

表2-8 発生量及び処理・処分量（佐渡地域種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量	委託処理量の内訳													再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量							
	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	68	1	1		1	0	67	67	0	64	3	59	57	1	73	2	0	0	2	0	74
燃え殻	0	0	0		0	0	0	0		0	0	1	0	0	0	0		0	0	0	0
汚泥	4	0	0		0	0	4	4	0	4	0	2	2	0	3	0		0	0		3
有機性汚泥	1						1	1		1		0	0		0						0
無機性汚泥	4	0	0		0	0	3	3	0	3	0	1	1	0	3	0		0	0		3
廃油	6						6	6		6	0	0	0		0						0
一般廃油	6						6	6		6	0	0	0		0						0
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他の廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃酸	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃プラ類	1	0	0		0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
廃プラスチック	1	0	0		0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1
廃タイヤ	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
紙くず	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
木くず	4						4	4	0	4	0	3	3	0	5	0			0		5
繊維くず	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
動植物性残さ	0						0	0		0		0	0		0						0
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	4	0	0		0	0	4	4		4	0	4	4	0	4	0			0		4
ガラス陶磁器くず	3	0	0		0	0	3	3	0	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	2
鉱さい	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
がれき類	45	0	0		0	0	44	44	0	42	3	44	44	1	46	1		0	1		47
コンクリート片	19	0	0		0		19	19		19	0	19	19	0	20	0			0		20
廃アスファルト	18	0	0		0		18	18		17	1	18	18	0	19	0			0		20
その他の建設廃材	7	0	0		0	0	7	7	0	6	1	7	6	1	7	1		0	1		7
動物のふん尿	1						1	1		1		1	1		11						11
動物の死体	0						0	0		0		0	0		0						0
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の産業廃棄物	1	0	0		0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
感染性廃棄物	0						0	0		0											
混合物等	1	0	0		0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1

表3-1 発生量及び処理・処分量（農業　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	862		862	590	362	362		35			272	235		37	0	0	37			
燃え殻																				
汚泥																				
有機性汚泥																				
無機性汚泥																				
廃油																				
一般廃油																				
廃溶剤																				
その他の廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ																				
廃プラ類	2		2								2			1	0	0	2			
廃プラスチック	2		2								2			1	0	0	2			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず																				
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず																				
ガラス陶磁器くず	0		0								0				0		0			
鉱さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿	860		860	590	362	362		35			270	235		35			35			
動物の死体	1		1								1			1			1			
ばいじん																				
廃水銀等																				
廃水銀																				
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん																				
その他の産業廃棄物																				
感染性廃棄物																				
混合物等																				

表3-1 発生量及び処理・処分量（農業 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量	委託処理量の内訳												再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量					委託中間処理量				委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）		（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量						
	(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	37	0	0		0		37	37		37		37	37		634	0			0	0	634
燃え殻												0	0		0						0
汚泥																					
有機性汚泥																					
無機性汚泥																					
廃油																					
一般廃油																					
廃溶剤																					
その他の廃油																					
廃酸																					
廃アルカリ																					
廃プラ類	1	0	0		0		1	1		1		1	1		1	0			0	0	1
廃プラスチック	1	0	0		0		1	1		1		1	1		1	0			0	0	1
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず																					
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず																					
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0											0			0		
鉱さい																					
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他の建設廃材																					
動物のふん尿	35						35	35		35		35	35		632						632
動物の死体	1						1	1		1		1	1		1						1
ばいじん																					
廃水銀等																					
廃水銀																					
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん																					
その他の産業廃棄物																					
感染性廃棄物																					
混合物等																					

表3-2 発生量及び処理・処分量（鉱業　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	488	2	486	160	67	67					325			325			325			
燃え殻																				
汚泥	416		416	160	66	66					256			256			256			
有機性汚泥																				
無機性汚泥	416		416	160	66	66					256			256			256			
廃油	5		5								5			5			5			
一般廃油	5		5								5			5			5			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	11		11								11			11			11			
廃アルカリ	17		17								17			17			17			
廃プラ類	19		19								19			19			19			
廃プラスチック	2		2								2			2			2			
廃タイヤ	17		17								17			17			17			
紙くず																				
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	3	2	0								0			0			0			
ガラス陶磁器くず	14		14	0	0	0					14			14			14			
鉱さい																				
がれき類	2		2								2			2			2			
コンクリート片	2		2								2			2			2			
廃アスファルト	0		0								0			0			0			
その他の建設廃材	0		0								0			0			0			
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	0		0								0			0			0			
廃水銀	0		0								0			0			0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	1		1								1			1			1			
感染性廃棄物																				
混合物等	1		1								1			1			1			

表3-2 発生量及び処理・処分量（鉱業　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量	委託処理量の内訳													再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量						委託中間処理量						委託中間処理後量							
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				（処理主体の内訳）				
													再生利用量	最終処分量			事業者	自治体	処理業者		
	(K) (O+L)	(O)	処理業者	自治体	県内	県外	(L)	処理業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	325						325	325		322	4	117	117	1	183	1			1		186
燃え殻												6	6	0	6	0			0		6
汚泥	256						256	256		256	0	48	47	1	114	1			1		114
有機性汚泥																					
無機性汚泥	256						256	256		256	0	48	47	1	114	1			1		114
廃油	5						5	5		2	4	4	4		4						4
一般廃油	5						5	5		2	4	4	4		4						4
廃溶剤	0						0	0		0											
その他の廃油	0						0	0		0		0	0		0						0
廃酸	11						11	11		11		11	11		11						11
廃アルカリ	17						17	17		17		14	14		14						14
廃プラ類	19						19	19		19	0	18	18		18						18
廃プラスチック	2						2	2		2	0	1	1		1						1
廃タイヤ	17						17	17		17	0	17	17		17						17
紙くず																					
木くず	0						0	0		0		0	0		0						0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0						0	0		0		0	0		0						3
ガラス陶磁器くず	14						14	14		14		14	14		14						14
鉱さい																					
がれき類	2						2	2		2		2	2	0	2	0			0		2
コンクリート片	2						2	2		2		2	2		2						2
廃アスファルト	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の建設廃材	0						0	0		0		0		0		0			0		
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
廃水銀	0						0	0		0		0	0		0						0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0		0		0		0			0		
その他の産業廃棄物	1						1	1		1		1	1		1						1
感染性廃棄物																					
混合物等	1						1	1		1		1	1		1						1

表3-3 発生量及び処理・処分量（建設業 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	2,801	46	2,755	297	232	186		46	1	0	2,458	26	0	2,383	48		2,478	0	0	
燃え殻	0		0		0			0	0	0	0			0	0		1			
汚泥	263	4	259	99	46	46		0	0		160	0		142	18		160			
有機性汚泥	0		0								0			0			0			
無機性汚泥	263	4	259	99	46	46		0	0		160	0		142	18		160			
廃油	1	0	1								1			1			1			
一般廃油	1	0	1								1			1			1			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラ類	25	1	24	1	1	0		0			23	0	0	23	0		24	0	0	
廃プラスチック	25	1	24	1	1	0		0			23	0	0	23	0		24	0	0	
廃タイヤ	0		0								0			0	0		0			
紙くず	8	0	8	1	1	1		0			7	0		7			7			
木くず	218	7	211	55	55	52		3			156	0		156			159			
繊維くず	2	0	2	0	0	0		0			2	0		2			2			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	43	3	39	0	0	0		0			39	0		39	0		39			
ガラス陶磁器くず	106	0	105	2	2	0		1	1	0	103	0	0	97	6		105	0	0	
鉱さい	4		4								4			4	0		4			
がれき類	2,089	27	2,062	139	127	86		41	0		1,923	25		1,877	22		1,940			
コンクリート片	873	11	862	44	44	31		12			817	4		811	2		826			
廃アスファルト	862	13	849	73	73	44		29			776	4		760	11		800			
その他の建設廃材	354	3	351	21	11	11		0	0		330	16		305	8		314			
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	2	0	2	0	0			0			2			2	0		2			
廃水銀	2	0	2	0	0			0			2			2	0		2			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	39	4	35	0	0			0	0		35			33	2		35			
感染性廃棄物																				
混合物等	39	4	35	0	0			0	0		35			33	2		35			

表3-3 発生量及び処理・処分量(建設業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(処理主体の内訳)				
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	2,478	49	49		40	10	2,429	2,428	1	2,297	132	2,349	2,310	39	2,521	89	0	0	88	0	2,568
燃え殻	1	0	0		0	0	0	0		0	0	19	18	2	18	2		0	2	0	18
汚泥	160	18	18		10	9	142	142		137	5	64	63	1	110	19		0	19		113
有機性汚泥	0						0	0		0		0	0		0						0
無機性汚泥	160	18	18		10	9	142	142		136	5	64	63	1	109	19		0	19		113
廃油	1						1	1		1	0	0	0		0						0
一般廃油	1						1	1		1	0	0	0		0						0
廃溶剤	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他の廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃酸	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃プラ類	24	0	0		0	0	23	23	0	22	2	22	20	2	21	2	0	0	2		21
廃プラスチック	23	0	0		0	0	23	23	0	22	2	22	20	2	21	2	0	0	2		21
廃タイヤ	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
紙くず	7						7	7		4	3	5	5	0	6	0			0		6
木くず	159						159	158	1	152	6	144	143	1	195	1			1		202
繊維くず	2						2	2	0	2	0	1	1		1						1
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	39	0	0		0	0	39	39		38	1	39	39	0	39	1			1		42
ガラス陶磁器くず	105	7	7		6	1	98	98	0	95	3	97	90	8	90	15	0	0	15	0	91
鉱さい	4	0	0		0		4	4		4		4	4		4	0			0		4
がれき類	1,940	22	22		21	0	1,918	1,918	0	1,806	112	1,917	1,893	24	2,004	46		0	46		2,031
コンクリート片	826	2	2		2		823	823		810	14	823	823	0	859	3			3		870
廃アスファルト	800	11	11		11		789	789		740	49	789	789	0	838	11			11		851
その他の建設廃材	314	8	8		8	0	305	305	0	257	48	304	281	24	308	32		0	32		311
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	2	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		2
廃水銀	2	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		2
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の産業廃棄物	35	2	2		2	0	33	33	0	33	0	33	31	2	31	3		0	3		35
感染性廃棄物																					
混合物等	35	2	2		2	0	33	33	0	33	0	33	31	2	31	3		0	3		35

表3-4 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	3,447	92	3,355	2,489	363	237		125	1	0	866	74	0	763	27	2	919	0	0	
燃え殻	7		7	0	28	4		25	0	0	7	5		1	1		27			
汚泥	2,183	0	2,183	2,022	161	122		39			161	49		110	3	0	152			
有機性汚泥	1,760		1,760	1,691	137	120		17			68	2		65	0	0	83			
無機性汚泥	424	0	423	330	24	2		22			93	46		44	3	0	69			
廃油	177	1	176	18	4	0		4			158	9		149	0	0	153			
一般廃油	111	1	109	18	4	0		4			91	0		91	0	0	96			
廃溶剤	50	0	50	0	0			0			50	9		42		0	42			
その他の廃油	16		16								16			16			16			
廃酸	279		279	236	1	0		1			43			43			44			
廃アルカリ	126	0	126	91	58	17		42			35			35		0	77			
廃プラ類	137	2	136	17	7	3		4	1		119	1		117	1	0	123			
廃プラスチック	137	2	135	17	7	3		4	1		119	1		117	1	0	123			
廃タイヤ	0		0	0	0			0			0			0			0			
紙くず	28	12	15								15	6		10			10			
木くず	25	4	22	1	0	0		0		0	21	0		17	4	0	21			
繊維くず	1	0	1	0	0			0			1	0		1	0		1			
動植物性残さ	37	8	29	2	1	1		0		0	27			25		2	27			
動物系固形不要物																				
ゴムくず	1		1								1			1			1			
金属くず	134	64	70	0	0	0		0			69	0		69	0		69			
ガラス陶磁器くず	68	0	68	11	9	2		7	0		57	5		52	1	0	59			
鉱さい	201		201	90	90	86		3			111			98	14		115			
がれき類	21		21	3	3	3		0	0		18		0	18	0		18	0	0	
コンクリート片	18		18	3	3	3		0			15			15			15			
廃アスファルト	0		0	0	0	0		0			0			0			0			
その他の建設廃材	3		3	0	0	0		0	0		3		0	3	0		3	0	0	
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	11		11								11	1		10	0		10			
廃水銀等	0		0	0	0			0			0			0			0			
廃水銀	0		0	0	0			0			0			0			0			
水銀使用製品廃棄物	0		0								0			0			0			
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	11	0	11	0	0			0	0		11	0	0	8	3		11	0	0	
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	11	0	11	0	0			0	0		11	0	0	8	3		11	0	0	

表3-4 発生量及び処理・処分量（製造業 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	916	29	28	0	24	4	888	885	3	683	204	587	563	24	873	53	0	1	52	2	965
燃え殻	27	1	1	0	0	1	26	26	0	16	10	36	33	4	43	5		0	4	0	43
汚泥	152	3	3		2	1	149	149	0	113	35	30	27	3	196	6			6	0	196
有機性汚泥	83	0	0		0		83	83	0	69	13	9	9	0	130	0			0	0	130
無機性汚泥	69	3	3		2	1	66	66	0	44	22	21	18	3	65	6			6	0	66
廃油	153	0	0			0	153	153	0	65	88	63	63	0	65	0			0	0	66
一般廃油	95	0	0			0	95	95	0	23	72	23	23	0	23	0			0	0	25
廃溶剤	42						42	42		41	0	40	40	0	41	0			0	0	41
その他の廃油	16						16	16		1	16	0	0	0	0	0			0		0
廃酸	44						44	44	0	39	5	40	40		40						40
廃アルカリ	77						77	77	0	62	14	70	70		87					0	87
廃プラ類	123	2	2	0	2	0	121	121	0	115	6	52	50	2	53	4		0	4	0	55
廃プラスチック	123	2	2	0	2	0	121	121	0	115	6	51	50	2	53	4		0	4	0	55
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0	0		0						0
紙くず	10						10	10	0	7	3	9	9		15						27
木くず	21	4	4		4		17	17	0	15	3	16	16	0	16	4			4	0	20
繊維くず	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1		1	0			0		1
動植物性残さ	25						25	23	1	21	4	4	4		5					2	13
動物系固形不要物																					
ゴムくず	1						1	1		0	1	1	1	0	1	0			0		1
金属くず	69	0	0		0	0	69	69	0	68	1	69	61	8	62	8			8		126
ガラス陶磁器くず	59	1	1	0	1	0	58	58	0	56	3	57	55	2	62	3		0	3	0	62
鉱さい	115	14	14	0	14	0	101	101		83	18	101	99	2	185	15		0	15		185
がれき類	18	0	0		0		18	18		18	0	18	18	0	21	0	0		0		21
コンクリート片	15						15	15		15	0	15	15		18						18
廃アスファルト	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の建設廃材	3	0	0		0		3	3		3	0	3	2	0	3	0	0		0		3
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	10	0	0			0	10	10		0	10	13	10	3	18	4		0	3		18
廃水銀等	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃水銀	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
水銀使用製品廃棄物	0						0	0			0	0	0		0						0
水銀含有ばいじん	0						0	0		0	0	0	0		0						0
その他の産業廃棄物	11	3	3	0	2	2	8	8	0	4	4	6	6	0	6	4	0	0	4		6
感染性廃棄物	0						0	0		0	0										
混合物等	11	3	3	0	2	2	8	7	0	4	4	6	6	0	6	4	0	0	4		6

表3-5 発生量及び処理・処分量(電気・水道業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	1,624	0	1,624	1,479	85	5	0	80	0		144			143	1	0	224	0	0	
燃え殻	15		15		0		0				15			15			15	0	0	
汚泥	1,529	0	1,529	1,479	85	5		80	0		49			48	1	0	129			
有機性汚泥	1,349	0	1,349	1,312	65	1		64	0		37			37	1		101			
無機性汚泥	180		180	168	20	4		16	0		12			12	0	0	28			
廃油	6	0	6	0	0	0		0			6			6			6			
一般廃油	6	0	6	0	0	0		0			6			6			6			
廃溶剤																				
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0	0		0			
廃アルカリ	0		0								0			0	0		0			
廃プラ類	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
廃プラスチック	0		0	0	0			0			0			0	0		0			
廃タイヤ	0		0								0			0			0			
紙くず																				
木くず																				
繊維くず	0		0								0			0			0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	3	0	3								3			3			3			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい																				
がれき類	6		6								6			6			6			
コンクリート片	0		0								0			0			0			
廃アスファルト	5		5								5			5			5			
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん	66		66								66			66			66			
廃水銀等	0		0	0	0			0			0			0			0			
廃水銀	0		0	0	0			0			0			0			0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん	0		0								0			0			0			
その他の産業廃棄物	0		0	0	0			0			0			0			0			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	0		0	0	0			0			0			0			0			

表3-5 発生量及び処理・処分量(電気・水道業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(処理主体の内訳)				
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	224	1	1		1	0	224	214	10	216	8	136	136	1	141	1	0	1	1	0	141
燃え殻	15						15	15		15	0	20	20	0	20	0	0		0		20
汚泥	129	1	1		1		129	119	10	121	8	41	41	1	46	1		1	1	0	46
有機性汚泥	101	1	1		1		101	91	10	93	7	23	23	1	24	1		1	1		24
無機性汚泥	28	0	0		0		28	28		28	0	18	18	0	22	0			0	0	22
廃油	6						6	6		6	0	0	0		0						0
一般廃油	6						6	6		5	0	0	0		0						0
廃溶剤																					
その他の廃油	0						0	0		0	0										
廃酸	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃アルカリ	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0						0
廃プラ類	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃タイヤ	0						0	0		0		0	0		0						0
紙くず																					
木くず																					
繊維くず	0						0	0			0	0		0		0			0		
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	3						3	3		3	0	3	3	0	3	0			0		3
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
鉱さい																					
がれき類	6						6	6		6		6	6		6						6
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アスファルト	5						5	5		5		5	5		5						5
その他の建設廃材																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん	66						66	66		66		66	66	0	66	0			0		66
廃水銀等	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃水銀	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん	0						0	0			0	0		0		0			0		
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
感染性廃棄物	0						0	0		0											
混合物等	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0

表3-6 発生量及び処理・処分量（運輸業 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	5	0	5								5	0		5	0	0	5			
燃え殻	0		0								0			0			0			
汚泥	0		0								0			0			0			
有機性汚泥	0		0								0			0			0			
無機性汚泥	0		0								0			0			0			
廃油	0	0	0								0			0			0			
一般廃油	0	0	0								0			0			0			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油																				
廃酸																				
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラ類	2	0	2								2	0		2	0	0	2			
廃プラスチック	1		1								1			1	0		1			
廃タイヤ	1	0	1								1	0		1		0	1			
紙くず																				
木くず	1		1								1			1	0		1			
繊維くず	0		0								0			0			0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0		0								0			0			0			
金属くず	1	0	1								1			1	0		1			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0			
鉱さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	0		0								0			0	0		0			
廃水銀	0		0								0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0	0	0								0			0	0		0			
感染性廃棄物																				
混合物等	0	0	0								0			0	0		0			

表3-6 発生量及び処理・処分量（運輸業 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分／種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	5	0	0		0		5	5	0	4	0	4	4	0	4	0		0	0	0	4
燃え殻	0						0	0		0		0	0	0	0	0		0	0		0
汚泥	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
有機性汚泥	0						0	0		0		0	0		0						0
無機性汚泥	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃溶剤	0						0	0		0											
その他の廃油																					
廃酸																					
廃アルカリ	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃プラ類	2	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0			0	0	2
廃プラスチック	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0			0		1
廃タイヤ	1						1	1		1	0	1	1		1					0	1
紙くず																					
木くず	1	0	0		0		1	1		1		1	1		1	0			0		1
繊維くず	0						0	0		0		0	0		0						0
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず	0						0	0		0		0	0		0						0
金属くず	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1		1	0			0		1
ガラス陶磁器くず	0						0	0	0	0		0	0		0						0
鉱さい																					
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他の建設廃材																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん																					
その他の産業廃棄物	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
感染性廃棄物																					
混合物等	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0

表3-7 発生量及び処理・処分量(卸・小売業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	48	2	46	1	1			1			44	0		44	0	0	46			
燃え殻																				
汚泥	9		9								9	0		9	0		9			
有機性汚泥	6		6								6			6			6			
無機性汚泥	3		3								3	0		3	0		3			
廃油	4	1	3	0	0			0			3	0		3			3			
一般廃油	3	1	3	0	0			0			3	0		3			3			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	1		1								1			1			1			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラ類	19	0	18	1	1			1			17	0		17	0	0	18			
廃プラスチック	13	0	13								13	0		13	0		13			
廃タイヤ	5	0	5	1	1			1			4	0		4	0	0	5			
紙くず																				
木くず	1		1								1			1			1			
繊維くず	0		0								0			0			0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	4	0	4								4	0		4	0		4			
ガラス陶磁器くず	3		3								3			3	0		3			
鉱さい																				
がれき類	1		1								1			1			1			
コンクリート片	0		0								0			0			0			
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0		0								0			0			0			
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	0		0								0			0	0		0			
廃水銀	0		0								0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん																				
その他の産業廃棄物	8	1	7								7	0		7	0		7			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	8	1	7								7	0		7	0		7			

表3-7 発生量及び処理・処分量(卸・小売業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳 委託直接最終処分量 (O)	(処理主体の内訳) 処理業者	自治体	(処理先地域の内訳) 県内	県外	委託中間処理量 (L)	(処理主体の内訳) 処理業者	自治体	(処理先地域の内訳) 県内	県外	委託中間処理後量 (M)	(処理後の処理内訳) 再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)	再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量 (Q) (I+O+M2)	(処理主体の内訳) 事業者 (Q1)	自治体 (Q2)	処理業者 (Q3)	その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
合計	46	0	0	0	0		45	45	0	41	4	38	38	0	38	1		0	0	0	40
燃え殻												2	2	0	2	0		0	0		2
汚泥	9	0	0		0		9	9	0	8	0	2	2	0	2	0		0	0		2
有機性汚泥	6						6	6		6		1	1		1						1
無機性汚泥	3	0	0		0		3	3	0	2	0	1	1	0	1	0		0	0		1
廃油	3						3	3		2	1	3	3		3						4
一般廃油	3						3	3		2	0	2	2		2						3
廃溶剤	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の廃油	1						1	1		0	1	1	1		1						1
廃酸	0						0	0		0											
廃アルカリ	0						0	0	0	0	0	0	0		0						0
廃プラ類	18	0	0		0		18	18	0	16	2	17	17	0	17	0			0	0	17
廃プラスチック	13	0	0		0		13	13	0	12	1	12	12	0	12	0			0		13
廃タイヤ	5	0	0		0		5	5		4	2	4	4		4	0			0	0	4
紙くず																					
木くず	1						1	1		1		1	1		1						1
繊維くず	0						0	0		0		0	0		0						0
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	4	0	0	0	0		4	4		4	0	4	4	0	4	0		0	0		4
ガラス陶磁器くず	3	0	0	0	0		3	3		3		3	3		3	0		0	0		3
鉱さい																					
がれき類	1						1	1		1		1	1		1						1
コンクリート片	0						0	0		0		0	0		0						0
廃アスファルト																					
その他の建設廃材	0						0	0		0		0	0		0						0
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん																					
その他の産業廃棄物	7	0	0		0		7	7	0	6	0	6	6	0	6	0			0		7
感染性廃棄物	0						0	0		0											
混合物等	7	0	0		0		7	7	0	6	0	6	6	0	6	0			0		7

表3-8 発生量及び処理・処分量（医療・福祉 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	18		18	0	0			0			18			18	0	0	18			
燃え殻																				
汚泥	0		0	0	0			0			0			0			0			
有機性汚泥	0		0	0	0			0			0			0			0			
無機性汚泥	0		0								0			0			0			
廃油	0		0								0			0			0			
一般廃油	0		0								0			0			0			
廃溶剤																				
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0								0			0			0			
廃プラ類	3		3	0	0			0			3			3	0		3			
廃プラスチック	3		3	0	0			0			3			3	0		3			
廃タイヤ																				
紙くず																				
木くず	0		0								0				0		0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	0		0								0			0			0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい																				
がれき類	0		0								0			0			0			
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0		0								0			0			0			
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	0		0								0			0	0		0			
廃水銀	0		0								0			0	0		0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん																				
その他の産業廃棄物	14		14	0	0			0			14			14	0	0	14			
感染性廃棄物	14		14	0	0			0			14			14	0	0	14			
混合物等	0		0	0	0			0			0			0	0		0			

表3-8 発生量及び処理・処分量（医療・福祉 種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外	(M)	再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
合計	18	0	0		0		18	17	0	17	1	3	1	2	1	2		0	2	0	1
燃え殻												2	1	2	1	2		0	2	0	1
汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
有機性汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
無機性汚泥	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃溶剤																					
その他の廃油	0						0	0		0											
廃酸	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃アルカリ	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃プラ類	3	0	0		0		3	3	0	3	0	1	1	0	1	0		0	0		1
廃プラスチック	3	0	0		0		3	3	0	3	0	1	1	0	1	0		0	0		1
廃タイヤ																					
紙くず																					
木くず	0	0	0		0											0			0		
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0			0		0
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
鉱さい																					
がれき類	0						0	0		0		0		0		0			0		
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他の建設廃材	0						0	0		0		0		0		0			0		
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0	0	0	0	0			0		0
廃水銀等	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃水銀	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん																					
その他の産業廃棄物	14	0	0		0		14	14	0	13	1	0	0	0	0	0			0		0
感染性廃棄物	14	0	0		0		14	14	0	13	1										
混合物等	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0

表3-9 発生量及び処理・処分量(サービス業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	32	11	20	2	2	0		2	0		18			18			20			
燃え殻					0				0								0			
汚泥	2		2	0	0			0			2			2			2			
有機性汚泥	0		0	0	0			0			0			0			0			
無機性汚泥	2		2								2			2			2			
廃油	4	2	2	1	1	0		1			2			2			2			
一般廃油	4	2	2	1	1	0		1			2			2			2			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油	0		0								0			0			0			
廃酸	0		0	0	0			0			0			0			0			
廃アルカリ	1		1	1	1			1			0			0			1			
廃プラ類	4		4	0	0			0			4			4			4			
廃プラスチック	3		3	0	0			0			3			3			3			
廃タイヤ	2		2								2			2			2			
紙くず	0		0	0	0			0									0			
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず	0		0								0			0			0			
動植物性残さ																				
動物系固形不要物	0		0	0	0			0									0			
ゴムくず																				
金属くず	14	9	5	1	1			1			5			5			5			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0			0			
鉱さい																				
がれき類																				
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材																				
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	0		0								0			0			0			
廃水銀	0		0								0			0			0			
水銀使用製品廃棄物																				
水銀含有ばいじん																				
その他の産業廃棄物	6	1	5								5			5			5			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	6	1	5								5			5			5			

表3-9 発生量及び処理・処分量(サービス業 種類別:変換)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					(処理主体の内訳)				
			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	20	0	0		0		20	20	0	19	1	18	18	0	18	0		0	0		30
燃え殻	0	0	0		0							1	1	0	1	0		0	0		1
汚泥	2						2	2		2	0	1	1	0	1	0			0		1
有機性汚泥	0						0	0		0		0	0		0						0
無機性汚泥	2						2	2		2	0	1	1	0	1	0			0		1
廃油	2						2	2	0	1	1	2	2		2						3
一般廃油	2						2	2	0	1	1	2	2		2						3
廃溶剤	0						0	0		0		0	0		0						0
その他の廃油	0						0	0		0		0	0		0						0
廃酸	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃アルカリ	1						1	1		1	0	1	1		1						1
廃プラ類	4						4	4		4	0	4	4		4						4
廃プラスチック	3						3	3		3		3	3		3						3
廃タイヤ	2						2	2		2	0	2	2		2						2
紙くず	0						0	0		0		0		0		0			0		
木くず	0						0	0		0		0	0		0						0
繊維くず	0						0	0		0		0	0		0						0
動植物性残さ																					
動物系固形不要物	0						0	0		0											
ゴムくず																					
金属くず	5						5	5		5	0	5	5	0	5	0			0		14
ガラス陶磁器くず	0						0	0		0	0	0	0		0						0
鉱さい																					
がれき類																					
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他の建設廃材																					
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	0						0	0		0		0	0		0						0
廃水銀	0						0	0		0		0	0		0						0
水銀使用製品廃棄物																					
水銀含有ばいじん																					
その他の産業廃棄物	5						5	5		5	0	4	4	0	4	0			0		5
感染性廃棄物	0						0	0		0											
混合物等	5						5	5		5	0	4	4	0	4	0			0		5

表3-10 発生量及び処理・処分量（その他の業種　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分／種類	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	3	0	3	0	0			0	0		3			3	0	0	3			
燃え殻	0		0								0			0			0			
汚泥	1		1	0	0			0	0		0			0		0	0			
有機性汚泥	0		0	0	0			0			0			0		0	0			
無機性汚泥	0		0		0				0		0			0			0			
廃油	0	0	0								0			0			0			
一般廃油	0	0	0								0			0			0			
廃溶剤	0		0								0			0			0			
その他の廃油																				
廃酸	0		0								0			0			0			
廃アルカリ	0		0	0							0			0			0			
廃プラ類	1	0	1								1			1	0		1			
廃プラスチック	1	0	1								1			1	0		1			
廃タイヤ	0	0	0								0			0			0			
紙くず	1		1								1			1			1			
木くず	0		0								0			0			0			
繊維くず																				
動植物性残さ																				
動物系固形不要物																				
ゴムくず																				
金属くず	1	0	0								0			0	0		0			
ガラス陶磁器くず	0		0								0			0	0		0			
鉱さい																				
がれき類	0		0								0			0			0			
コンクリート片																				
廃アスファルト																				
その他の建設廃材	0		0								0			0			0			
動物のふん尿																				
動物の死体																				
ばいじん																				
廃水銀等	0		0								0			0			0			
廃水銀	0		0								0			0			0			
水銀使用製品廃棄物																				
※ 水銀含有ばいじん																				
その他の産業廃棄物	0	0	0								0			0			0			
感染性廃棄物	0		0								0			0			0			
混合物等	0	0	0								0			0			0			

表3-10 発生量及び処理・処分量（その他の業種　種類別：変換）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 種類	委託処理量 (K) (O+L)	委託処理量の内訳													再生利用量 (R) (E1+G1+M1)	最終処分量				その他量 (J) (E5+G5)	資源化量 (S) (B+R)
		委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
			処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)		(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)		
		(O)					(L)					(M)									
合計	3	0	0	0	0		3	3	0	3	0	2	2	0	2	0		0	0	0	2
燃え殻	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
汚泥	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0
有機性汚泥	0						0	0		0	0	0	0		0					0	0
無機性汚泥	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
一般廃油	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃溶剤	0						0	0		0	0										
その他の廃油																					
廃酸	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃アルカリ	0						0	0		0	0	0	0		0						0
廃プラ類	1	0	0		0		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			0		0
廃プラスチック	1	0	0		0		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			0		0
廃タイヤ	0						0	0		0	0	0	0		0						0
紙くず	1						1	1		1		1	1		1						1
木くず	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
繊維くず																					
動植物性残さ																					
動物系固形不要物																					
ゴムくず																					
金属くず	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		1
ガラス陶磁器くず	0	0	0		0		0	0		0		0	0		0	0			0		0
鉱さい																					
がれき類	0						0	0		0		0	0		0						0
コンクリート片																					
廃アスファルト																					
その他の建設廃材	0						0	0		0		0	0		0						0
動物のふん尿																					
動物の死体																					
ばいじん												0		0		0			0		
廃水銀等	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
廃水銀	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
水銀使用製品廃棄物																					
※ 水銀含有ばいじん																					
その他の産業廃棄物	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
感染性廃棄物	0						0	0		0	0										
混合物等	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0

表4-1 発生量及び処理・処分量（業種別）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	全業種	9,328	154	9,173	5,020	1,148	856	0	290	2	0	4,119	335	0	3,704	77	3	4,076	0	0	
	農業を除く	8,466	154	8,311	4,430	751	494	0	255	2	0	3,882	100	0	3,702	77	2	4,039	0	0	
農業		862		862	590	397	362		35			237	235		2	0	0	37			
鉱業		488	2	486	160	67	67					325			325			325			
建設業		2,801	46	2,755	297	232	186		46	1	0	2,458	26	0	2,383	48		2,478	0	0	
製造業		3,447	92	3,355	2,489	363	237		125	1	0	866	74	0	763	27	2	919	0	0	
	食料品	241	7	233	181	14	1		13		0	52	0		50	0	2	65			
	飲料・飼料	7	1	6	2	1	0		1			4			4	0	0	4			
	繊維	2	0	1	0	0			0			1	0		1	0	0	1			
	木材	25	4	21	0	0	0				0	21	0	0	15	6		21	0	0	
	家具	2	0	2	0	0	0		0	0		2			2	0	0	2			
	パルプ・紙	1,278	12	1,266	1,249	51	27		25			17	6		11	0		36			
	印刷	24	1	23	0	0			0			23			23	0		23			
	化学	911	0	910	529	174	113		61	0		382	67		314	0		375			
	石油・石炭	3		3	0	0	0					3			3			3			
	プラスチック	22	1	22	3	3	2		0			19	0		18	0		19			
	ゴム	2	0	2								2			2	0		2			
	皮革	0	0	0								0			0			0			
	窯業・土石	196	3	193	132	82	71		11	0		61	0		60	0		71			
	鉄鋼	180	13	167	61	23	20		2	1		105	0		86	19	0	108			
	非鉄金属	5	0	5								5	0		4	1		5			
	金属	96	27	69	20	2	0		2	0		49			48	1	0	51			
	はん用機器	25	5	20	0	0			0			19			19	0		20			
	生産用機器	10	5	5	1	0			0			3			3	0	0	3			
	業務用機器	6	1	5								5			5	0		5			
	電子部品	340	0	339	309	13	2		11			31			31	0	0	42			
	電気機器	15	4	11	0	0			0			11			11	0		11			
	情報通信機器	0	0	0								0			0			0			
	輸送機器	54	5	49								49			49	0		49			
	その他	3	0	3	0	0	0		0			2			2	0	0	2			
電気・水道業		1,624	0	1,624	1,479	85	5	0	80	0		144			143	1	0	224	0	0	
	電気業	97	0	97	1	0			0			96			96	0		96			
	上水道業	147		147	138	14	1		13			9			9	0	0	22			
	工業用水道業	12		12	10	5	3		2			2			2			4			
	下水道業	1,368	0	1,368	1,331	67	1	0	65	0		37			37	1		103	0	0	
運輸業		5	0	5								5	0		5	0	0	5			
卸・小売業		48	2	46	1	1			1			44	0		44	0	0	46			
医療・福祉		18		18	0	0			0			18			18	0	0	18			
サービス業		32	11	20	2	2	0		2	0		18			18			20			
その他※		3	0	3	0	0			0	0		3			3	0	0	3			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-1 発生量及び処理・処分量（業種別）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 業種	委託処理量	委託処理量の内訳					再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
		委託直接最終処分量											
			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）								
			処理業者	自治体	県内	県外							
	（K） （O+L）	（O）					（R） （E1+G1+M1）	（Q） （I+O+M2）				（J） （E5+G5）	（S） （B+R）
合計 全業種	4,073	79	79	0	66	14	4,416	146	0	2	145	3	4,570
合計 農業を除く	4,036	79	79	0	66	14	3,782	146	0	2	145	3	3,937
農業	37	0	0		0		634	0			0	0	634
鉱業	325						183	1			1		186
建設業	2,478	49	49		40	10	2,521	89	0	0	88	0	2,568
製造業	916	29	28	0	24	4	873	53	0	1	52	2	965
食料品	62	0	0	0	0	0	23	1		0	1	2	31
飲料・飼料	4	0	0		0		2	0			0	0	4
繊維	1	0	0		0		1	0		0	0	0	1
木材	21	6	6		5	1	14	6	0	0	6	0	18
家具	2	0	0		0		2	0		0	0	0	2
パルプ・紙	36	0	0	0	0	0	53	1		0	1		65
印刷	23	0	0		0		20	0		0	0		21
化学	375	0	0		0	0	373	5		0	5		373
石油・石炭	3						3	0			0		3
プラスチック	19	0	0		0		20	0		0	0		21
ゴム	2	0	0		0	0	1	0			0		1
皮革	0						0						0
窯業・土石	71	0	0		0		139	1			1		142
鉄鋼	108	20	20	0	18	2	104	22		0	22	0	117
非鉄金属	5	1	1		0	0	2	2		0	2		3
金属	50	1	1		1	0	23	10		0	10	0	51
はん用機器	20	0	0		0		18	0			0		23
生産用機器	3	0	0	0	0		2	0		0	0	0	7
業務用機器	5	0	0		0		4	0		0	0		5
電子部品	42	0	0		0	0	26	1		0	1	0	26
電気機器	11	0	0		0		10	0		0	0		15
情報通信機器	0						0	0			0		0
輸送機器	49	0	0		0		32	1			1		37
その他	2	0	0		0		2	0		0	0	0	2
電気・水道業	224	1	1		1	0	141	1	0	1	1	0	141
電気業	96	0	0			0	90	0			0		90
上水道業	22	0	0		0		16	0			0	0	16
工業用水道業	4						6						6
下水道業	103	1	1		1		29	1	0	1	1		30
運輸業	5	0	0		0		4	0		0	0	0	4
卸・小売業	46	0	0	0	0		38	1		0	0	0	40
医療・福祉	18	0	0		0		3	2		0	2	0	1
サービス業	20	0	0		0		18	0		0	0		30
その他※	3	0	0	0	0		2	0		0	0	0	2

区分 / 業種	委託中間処理量				委託中間処理後量			最終処分量（処理主体の内訳）		
		（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）		（処理後の処理内訳）		事業者	自治体	処理業者
		処理業者	自治体	県内	県外	再生利用量	最終処分量			
	（L）					（M）	（M1）	（M2）	（Q1）	（Q2）	（Q3）
合計 全業種	3,993	3,980	14	3,639	355	3,292	3,225	67			
合計 農業を除く	3,957	3,943	14	3,602	355	3,256	3,189	67			
農業	37	37		37		37	37				
鉱業	325	325		322	4	117	117	1			
建設業	2,429	2,428	1	2,297	132	2,349	2,310	39			
製造業	888	885	3	683	204	587	563	24			
食料品	62	61	2	51	11	23	22	1			
飲料・飼料	4	4	0	4	0	2	2	0			
繊維	1	1	0	1	0	1	1	0			
木材	15	15	0	12	3	14	14	0			
家具	2	2	0	2	0	2	2	0			
パルプ・紙	36	36	0	26	10	21	20	1			
印刷	23	23	0	14	9	20	20	0			
化学	375	375		275	100	197	192	5			
石油・石炭	3	3		3	0	3	3	0			
プラスチック	19	19	0	19	0	17	17	0			
ゴム	2	2		1	1	1	1	0			
皮革	0	0		0		0	0				
窯業・土石	71	71		69	2	68	67	1			
鉄鋼	88	88		56	32	86	84	2			
非鉄金属	4	4	0	2	2	4	2	1			
金属	50	50	0	46	4	33	23	9			
はん用機器	19	19		19	0	18	18	0			
生産用機器	3	3	0	3	0	2	2	0			
業務用機器	5	5	0	4	1	4	4	0			
電子部品	41	41	0	29	13	25	24	1			
電気機器	11	11	0	10	1	10	10	0			
情報通信機器	0	0		0		0	0	0			
輸送機器	49	49		34	15	33	32	1			
その他	2	2	0	2	0	2	2	0			
電気・水道業	224	214	10	216	8	136	136	1			
電気業	96	96	0	96	0	90	90	0			
上水道業	22	22		22	0	15	15	0			
工業用水道業	4	4		4		3	3				
下水道業	102	92	10	95	7	29	28	1			
運輸業	5	5	0	4	0	4	4	0			
卸・小売業	45	45	0	41	4	38	38	0			
医療・福祉	18	17	0	17	1	3	1	2			
サービス業	20	20	0	19	1	18	18	0			
その他※	3	3	0	3	0	2	2	0			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-2 発生量及び処理・処分量（下越地域 業種別）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	全業種	1,036	18	1,019	563	256	212		43	0	0	437	134	0	298	5	0	346	0	0	
	農業を除く	574	18	556	246	42	18		25	0	0	310	8	0	297	5	0	327	0	0	
農業		463		463	317	213	195		19			127	126		0	0	0	19			
鉱業		11		11								11			11			11			
建設業		252	4	248	27	21	17		4	0	0	221	2	0	214	4		223	0	0	
製造業		188	13	175	100	14	1		13		0	75	6	0	69	0	0	83	0	0	
	食料品	30	1	29	13	1			1			16			16			18			
	飲料・飼料	1		1	1	0			0			0			0			0			
	繊維																				
	木材	10	0	10	0	0					0	9	0	0	9	0		9	0	0	
	家具	0	0	0								0			0		0	0			
	パルプ・紙	8	2	6								6	6		0			0			
	印刷	14	0	14								14			14			14			
	化学	13		13	11	2			2			2			2			4			
	石油・石炭	0		0								0			0			0			
	プラスチック	0	0	0								0			0			0			
	ゴム																				
	皮革	0		0								0			0			0			
	窯業・土石	1	0	1	1	1	1					0			0	0		0			
	鉄鋼	7	7	0								0			0			0			
	非鉄金属	0		0								0			0			0			
	金属	21	0	21								21			21	0		21			
	はん用機器	0		0								0			0			0			
	生産用機器	1	1	0								0			0			0			
	業務用機器	0		0								0			0			0			
	電子部品	78	0	78	75	10	0		10			3			3			13			
	電気機器	2	2	1								1			1	0		1			
	情報通信機器	0		0								0			0			0			
	輸送機器	1	0	1								1			1			1			
	その他	0		0								0			0			0			
電気・水道業		119		119	119	7			7			0			0			7			
	電気業	0		0	0	0			0			0			0			0			
	上水道業	3		3	3	0			0									0			
	工業用水道業																				
	下水道業	115		115	115	7			7									7			
運輸業		0	0	0								0			0		0	0			
卸・小売業		1	0	1								1	0		1			1			
医療・福祉		2		2								2			2	0		2			
サービス業		0		0								0			0			0			
その他※		0	0	0	0	0			0			0			0	0	0	0			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-2 発生量及び処理・処分量（下越地域 業種別）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		委託処理量	委託処理量の内訳												再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
			委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量				（処理主体の内訳）				
				（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）			事業者	自治体	処理業者		
				処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量						
		(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	全業種	346	5	5		4	1	341	338	3	314	27	288	275	13	622	18	0	1	17	0	639
	農業を除く	327	5	5		4	1	322	319	3	295	27	269	256	13	282	18	0	1	17	0	299
農業		19	0	0		0		19	19		19		19	19		340	0			0	0	340
鉱業		11						11	11		11	0	3	3	0	3	0			0		3
建設業		223	4	4		4	1	219	219	0	207	12	211	208	4	227	8	0	0	8	0	231
製造業		83	0	0		0		83	82	0	68	15	52	43	9	49	9	0	0	9	0	63
	食料品	18						18	17	0	16	2	8	7	0	7	0			0		8
	飲料・飼料	0						0	0	0	0		0	0		0						0
	繊維																					
	木材	9	0	0		0		9	9		9	0	9	9	0	9	0	0		0	0	9
	家具	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
	パルプ・紙	0						0	0		0	0	0	0	0	6	0			0		8
	印刷	14						14	14		9	5	11	11	0	11	0			0		11
	化学	4						4	4		4	0	3	3	0	3	0			0		3
	石油・石炭	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	プラスチック	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	ゴム																					
	皮革	0						0	0		0		0	0		0						0
	窯業・土石	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	1	0			0		1
	鉄鋼	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		7
	非鉄金属	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0			0
	金属	21	0	0		0		21	21	0	21	0	12	4	8	4	8			8		4
	はん用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	生産用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		1
	業務用機器	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	電子部品	13						13	13		6	7	6	6	0	6	0			0		6
	電気機器	1	0	0		0		1	1		0	0	0	0	0	0	0			0		2
	情報通信機器	0						0	0		0		0		0		0			0		
	輸送機器	1						1	1		1	0	1	0	0	0	0			0		0
	その他	0						0	0	0	0		0	0		0						0
電気・水道業		7						7	4	3	7	0	2	1	1	1	1		1	0		1
	電気業	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	上水道業	0						0	0		0		0	0		0						0
	工業用水道業																					
	下水道業	7						7	4	3	7		1	1	1	1	1		1			1
運輸業		0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0	0	0
卸・小売業		1						1	1	0	1	0	0	0	0	0	0			0		1
医療・福祉		2	0	0		0		2	2		2	0	0	0	0	0	0			0		0
サービス業		0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
その他※		0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0	0	0

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-3 発生量及び処理・処分量(新潟地域 業種別)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	全業種	3,774	50	3,724	2,054	297	168	0	129	0	0	1,664	55	0	1,587	21	0	1,738	0	0	
	農業を除く	3,610	50	3,561	1,942	222	99	0	122	0	0	1,619	11	0	1,586	21	0	1,731	0	0	
農業		164		164	112	75	69		7			45	45		0	0	0	7			
鉱業		192		192								192			192			192			
建設業		1,140	19	1,121	121	95	76		19	0	0	1,000	11	0	970	20		1,009	0	0	
製造業		1,575	19	1,556	1,192	90	20		70	0	0	364	0		363	1	0	434			
	食料品	58	6	51	34	3			3		0	17			17	0	0	20			
	飲料・飼料	3	1	2	1	0			0			1			1	0		2			
	繊維	1	0	1								1			1		0	1			
	木材	3	0	3								3	0		3	0		3			
	家具	1		1	0	0			0			1			1	0	0	1			
	パルプ・紙	1,096		1,096	1,089	41	17		25			7			6	0		31			
	印刷	6	1	6	0	0			0			5			5			6			
	化学	295	0	295	42	42	0		41	0		253			253			295			
	石油・石炭	0		0	0	0	0					0			0			0			
	プラスチック	18	0	18	2	2	2					16			16			16			
	ゴム	0		0								0			0	0		0			
	皮革	0	0	0								0			0			0			
	窯業・土石	21		21	7	0			0			14			14			14			
	鉄鋼	6	2	4								4			3	0		4			
	非鉄金属	0	0	0								0			0			0			
	金属	25	3	22	11	0	0		0	0		11			11	0		11			
	はん用機器	2	1	1								1			1			1			
	生産用機器	0	0	0	0	0			0			0			0	0		0			
	業務用機器	1	0	1								1			1			1			
	電子部品	10	0	10	6	1	1		0			4			4	0		4			
	電気機器	2	0	2								2			2			2			
	情報通信機器	0		0								0			0			0			
	輸送機器	24	4	20								20			20			20			
	その他	0		0								0			0		0	0			
電気・水道業		647	0	647	625	34	3	0	30			21			21	0		52	0	0	
	電気業	6		6	0	0			0			6			6			6			
	上水道業	96		96	88	7			7			8			8			15			
	工業用水道業	11		11	9	5	3		2			2			2			4			
	下水道業	534	0	533	529	22	0	0	22			5			4	0		27	0	0	
運輸業		2	0	2								2			2	0		2			
卸・小売業		29	1	28	1	1			1			26	0		26	0		28			
医療・福祉		6		6	0	0			0			6			6	0	0	6			
サービス業		19	11	8	2	2	0		2	0		6			6			8			
その他※		2	0	2								2			2			2			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-3 発生量及び処理・処分量(新潟地域 業種別)＜令和5年度＞ (その2)

(単位:千t/年)

区分 / 業種		委託処理量	委託処理量の内訳												再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
			委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量				(処理主体の内訳)				
				(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)			(処理後の処理内訳)			事業者	自治体	処理業者		
				処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量						
		(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	全業種	1,738	22	22	0	18	4	1,716	1,715	1	1,558	158	1,326	1,300	26	1,523	48	0	1	48	0	1,573
	農業を除く	1,731	22	22	0	18	4	1,709	1,708	1	1,551	158	1,319	1,293	26	1,403	48	0	1	48	0	1,453
農業		7	0	0		0		7	7		7		7	7		120	0			0	0	120
鉱業		192						192	192		192		84	84	0	84	0			0		84
建設業		1,009	20	20		16	4	989	988	0	935	54	956	940	16	1,026	36	0	0	36	0	1,045
製造業		434	1	1	0	1	0	432	432	1	332	101	222	213	9	233	11		0	10	0	252
	食料品	20	0	0	0	0	0	20	20	0	17	3	6	6	0	6	0		0	0	0	12
	飲料・飼料	2	0	0		0		2	2		1	0	0	0	0	0	0			0		1
	繊維	1						1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0		0	1
	木材	3	0	0			0	3	3		0	3	3	3	0	3	0			0		3
	家具	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0			0	0	1
	パルプ・紙	31	0	0		0	0	31	31	0	21	10	17	16	1	33	1		0	1		33
	印刷	6						6	6		4	2	5	5	0	5	0		0	0		6
	化学	295	0	0		0		294	294		229	66	137	132	4	133	4			4		133
	石油・石炭	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	プラスチック	16						16	16		16		15	15	0	17	0			0		17
	ゴム	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	皮革	0						0	0		0		0	0		0						0
	窯業・土石	14						14	14		14		13	13	0	13	0			0		13
	鉄鋼	4	0	0	0	0	0	3	3		2	2	3	1	2	1	2		0	2		3
	非鉄金属	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	金属	11	0	0		0	0	11	11		10	1	8	8	0	8	0			0		11
	はん用機器	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		2
	生産用機器	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
	業務用機器	1						1	1	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1
	電子部品	4	0	0		0		4	4		4	0	2	1	1	2	1			1		2
	電気機器	2						2	2		2	0	2	2	0	2	0			0		2
	情報通信機器	0						0	0		0		0	0		0						0
	輸送機器	20						20	20		5	15	6	5	1	5	1			1		9
	その他	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0		0	0
電気・水道業		52	0	0		0		51	51	0	50	1	23	23	0	26	0	0		0		26
	電気業	6						6	6		6	0	6	6	0	6	0			0		6
	上水道業	15						15	15		15	0	9	9	0	9	0			0		9
	工業用水道業	4						4	4		4		3	3		6						6
	下水道業	27	0	0		0		26	26	0	25	1	5	5		5	0	0		0		5
運輸業		2	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0		2
卸・小売業		28	0	0		0		27	27	0	25	2	23	23	0	23	0		0	0		24
医療・福祉		6	0	0		0		6	6	0	5	1	1	0	1	0	1			1	0	0
サービス業		8	0	0		0		8	8	0	8	0	7	7	0	7	0		0	0		17
その他※		2						2	2	0	1	0	1	1	0	1	0		0	0		1

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-4 発生量及び処理・処分量（中越地域 業種別）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	全業種	2,010	65	1,946	780	253	199		52	1	0	1,162	38	0	1,088	34	2	1,178	0	0	
	農業を除く	1,903	65	1,838	706	203	154		48	1	0	1,132	8	0	1,087	34	2	1,173	0	0	
農業		107		107	73	49	45		4			30	29		0	0	0	5			
鉱業		122		122								122			122			122			
建設業		821	14	807	87	68	54		13	0	0	720	8	0	698	14		726	0	0	
製造業		654	50	604	376	111	99		11	1		228	0		206	19	2	239			
	食料品	79	0	79	68	4	1		4			11			9	0	2	15			
	飲料・飼料	1	1	0								0			0	0	0	0			
	繊維	0		0	0	0			0			0	0		0	0		0			
	木材	6		6	0	0	0					6			1	4		6			
	家具	0	0	0	0	0			0	0		0			0			0			
	パルプ・紙	174	10	164	159	10	10					4			4	0		4			
	印刷	4	0	4	0	0			0			4			4	0		4			
	化学	12		12	11	0			0			1			1			1			
	石油・石炭	0		0								0			0			0			
	プラスチック	4	1	3	1	1	0		0			2	0		2	0		2			
	ゴム	0		0								0			0			0			
	皮革																				
	窯業・土石	106	0	106	76	71	68		4			30			30			34			
	鉄鋼	146	5	142	50	22	20		1	1		91	0		77	14	0	93			
	非鉄金属	1	0	0								0	0		0	0		0			
	金属	47	22	25	9	2			2			15			15	0	0	17			
	はん用機器	22	4	18	0	0			0			18			18	0		18			
	生産用機器	6	3	2	0	0			0			2			2	0	0	2			
	業務用機器	5	1	4								4			4	0		4			
	電子部品	4	0	4	1	0	0		0			2			2	0	0	3			
	電気機器	10	2	8	0	0			0			8			8			8			
	情報通信機器	0	0	0								0			0			0			
	輸送機器	27	1	26								26			26	0		26			
	その他	2	0	2	0	0	0		0			1			1	0		1			
電気・水道業		282	0	282	243	24	1		23			40			39	0	0	63			
	電気業	7	0	7								7			7			7			
	上水道業	28		28	27	6			6			1			1		0	7			
	工業用水道業	1		1	1	0			0									0			
	下水道業	246	0	246	215	18	1		17			32			31	0		49			
運輸業		1	0	1								1			1	0		1			
卸・小売業		10	1	10								10	0		9	0	0	10			
医療・福祉		6		6								6			6			6			
サービス業		5	0	5								5			5			5			
その他※		1	0	1	0	0			0	0		1			1			1			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-4 発生量及び処理・処分量（中越地域 業種別）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		委託処理量	委託処理量の内訳													再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
			委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量					（処理主体の内訳）				
				（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）				事業者	自治体	処理業者		
				処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量							
		(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	全業種	1,175	35	35	0	32	3	1,140	1,132	8	1,059	81	964	948	16	1,185	51	0	0	51	2	1,250
	農業を除く	1,170	35	35	0	32	3	1,135	1,127	8	1,055	81	959	943	16	1,106	51	0	0	51	2	1,171
農業		5	0	0		0		5	5		5		5	5		79	0			0	0	79
鉱業		122						122	122		118	4	29	28	1	28	1			1		28
建設業		726	14	14		12	3	712	711	0	673	39	688	677	12	739	26	0	0	26	0	752
製造業		237	20	20	0	20	1	217	216	0	180	37	196	193	3	292	23		0	23	2	342
	食料品	13	0	0		0		13	13	0	11	1	5	4	1	5	1		0	1	2	5
	飲料・飼料	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0	0	1
	繊維	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0		0
	木材	6	4	4		4		1	1	0	1		1	1	0	1	4		0	4		1
	家具	0	0	0		0		0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0		0
	パルプ・紙	4	0	0	0	0		4	4	0	4	0	4	4	0	14	0		0	0		24
	印刷	4	0	0		0		4	4	0	1	3	3	3	0	3	0			0		3
	化学	1						1	1		1	1	1	1	0	1	0			0		1
	石油・石炭	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	プラスチック	2	0	0		0		2	2	0	2	0	2	2	0	3	0		0	0		3
	ゴム	0						0	0		0		0	0		0						0
	皮革																					
	窯業・土石	34						34	34		33	0	33	33	0	101	0			0		101
	鉄鋼	93	15	15		14	1	79	79		52	27	77	77	0	97	15			15	0	102
	非鉄金属	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0
	金属	17	0	0		0	0	16	16	0	13	3	11	10	1	10	2		0	2	0	32
	はん用機器	18	0	0		0		18	18		18	0	17	17	0	17	0			0		20
	生産用機器	2	0	0	0	0		2	2	0	2	0	2	2	0	2	0		0	0	0	5
	業務用機器	4	0	0		0		4	4	0	3	1	3	3	0	3	0		0	0		4
	電子部品	3	0	0		0	0	3	3		2	1	2	2	0	2	0			0	0	2
	電気機器	8						8	8	0	7	0	8	8	0	8	0		0	0		10
	情報通信機器	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	輸送機器	26	0	0		0		26	26		26	0	26	26	0	26	0			0		26
	その他	1	0	0		0		1	1	0	1	0	1	1	0	1	0			0		1
電気・水道業		63	0	0		0		63	56	7	62	0	31	31	0	32	0			0	0	32
	電気業	7						7	7		7	0	7	7	0	7	0			0		7
	上水道業	7						7	7		7	0	6	6	0	6	0			0	0	6
	工業用水道業	0						0	0		0		0	0		0						0
	下水道業	49	0	0		0		49	42	7	48	0	18	18	0	19	0			0		19
運輸業		1	0	0		0		1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
卸・小売業		10	0	0	0	0		9	9	0	9	0	8	8	0	8	0		0	0	0	9
医療・福祉		6						6	6	0	6	0	1	1	0	1	0			0		1
サービス業		5						5	5		4	0	4	4	0	4	0			0		5
その他※		1	0		0	0		1	1		1	0	1	1	0	1	0		0	0		1

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-5 発生量及び処理・処分量（魚沼地域 業種別）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	全業種	719	9	710	480	72	49		23	0	0	226	25	0	196	5	0	224	0	0	
	農業を除く	634	9	625	422	33	13		20	0	0	202	2	0	196	5	0	220	0	0	
農業		85		85	58	39	36		3			23	23		0	0	0	4			
鉱業		4	2	2								2			2			2			
建設業		196	3	193	21	16	13		3	0	0	172	2	0	167	3		173	0	0	
製造業		116	4	112	92	7	0		7			20			19	1	0	27			
	食料品	69		69	66	5			5			3			3		0	8			
	飲料・飼料	2		2	0	0	0		0			2			2			2			
	繊維	0		0								0			0			0			
	木材	7	4	3								3			2	1		3			
	家具	0		0	0	0	0					0			0			0			
	パルプ・紙																				
	印刷	0		0								0			0			0			
	化学																				
	石油・石炭	2		2								2			2			2			
	プラスチック	0	0	0								0			0			0			
	ゴム	0		0								0			0			0			
	皮革																				
	窯業・土石	34	0	33	26	2			2			8			8			9			
	鉄鋼																				
	非鉄金属																				
	金属	0		0								0			0			0			
	はん用機器	1		1	0	0			0			0			0			0			
	生産用機器	0	0	0								0			0			0			
	業務用機器	0	0	0								0			0			0			
	電子部品	1		1								1			1			1			
	電気機器	0	0	0								0			0			0			
	情報通信機器	0	0	0								0			0			0			
	輸送機器	0		0								0			0			0			
	その他	0		0								0			0			0			
電気・水道業		309	0	309	309	10	0		10	0		0			0	0		10			
	電気業	0		0								0			0			0			
	上水道業	0		0								0			0			0			
	工業用水道業																				
	下水道業	309	0	309	309	10	0		10	0		0			0	0		10			
運輸業		0		0								0			0			0			
卸・小売業		3	0	3								3			3			3			
医療・福祉		2		2								2			2			2			
サービス業		4		4								4			4			4			
その他※		0		0	0	0			0			0			0			0			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-5 発生量及び処理・処分量（魚沼地域 業種別）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		委託処理量	委託処理量の内訳					委託中間処理量					委託中間処理後量			再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
			委託直接最終処分量											（処理後の処理内訳）				（処理主体の内訳）				
				（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			再生利用量	最終処分量			事業者	自治体	処理業者		
				処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外										
		(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	全業種	224	5	5		3	2	219	219	0	202	18	196	193	3	267	8	0	0	8	0	276
	農業を除く	220	5	5		3	2	216	215	0	198	18	193	190	3	204	8	0	0	8	0	214
農業		4	0	0		0		4	4		4		4	4		63	0			0	0	63
鉱業		2						2	2		1	0	2	2		2						4
建設業		173	3	3		3	1	170	170	0	161	9	164	162	3	176	6	0	0	6	0	180
製造業		27	1	1		0	1	26	25	0	20	6	18	18	0	18	1		0	1	0	22
	食料品	8						8	8	0	3	5	3	3	0	3	0			0	0	3
	飲料・飼料	2						2	2		2		1	1		1						1
	繊維	0						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
	木材	3	1	1		0	1	2	2		2	0	1	1		1	1			1		5
	家具	0						0	0		0		0	0		0						0
	パルプ・紙																					
	印刷	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	化学																					
	石油・石炭	2						2	2		2	0	2	2		2						2
	プラスチック	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	ゴム	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	皮革																					
	窯業・土石	9						9	9		9	1	8	8	0	8	0			0		9
	鉄鋼																					
	非鉄金属																					
	金属	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	はん用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	生産用機器	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	業務用機器	0						0	0		0		0		0		0			0		0
	電子部品	1						1	1	0	1	0	0	0	0	0	0		0	0		0
	電気機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	情報通信機器	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	輸送機器	0						0	0		0		0	0		0						0
	その他	0						0	0		0		0	0		0						0
電気・水道業		10	0	0		0		10	10		8	1	2	2	0	2	0			0		2
	電気業	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	上水道業	0						0	0		0		0	0		0						0
	工業用水道業																					
	下水道業	10	0	0		0		10	10		8	1	2	2	0	2	0			0		2
運輸業		0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
卸・小売業		3						3	3		2	1	2	2	0	2	0			0		2
医療・福祉		2						2	2	0	2	0	0	0	0	0	0		0	0		0
サービス業		4						4	4		4	0	4	4	0	4	0			0		4
その他※		0						0	0		0	0	0	0		0						0

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-6 発生量及び処理・処分量（上越地域 業種別）＜令和5年度＞ （その1）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	（自己中間処理後の処理内訳） 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	（自己未処理の処理内訳） 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	（処理先地域の内訳） 県内	県外
合計	全業種	1,699	12	1,687	1,126	258	217		40	0	0	560	78	0	470	11	0	522	0	0	
	農業を除く	1,671	12	1,659	1,107	245	206		39	0	0	552	71	0	470	11		521	0	0	
農業		28		28	19	13	12		1			8	8		0	0	0	1			
鉱業		160		160	160	67	67					0			0			0			
建設業		328	5	322	35	27	22		5	0	0	288	3	0	279	6		290	0	0	
製造業		913	6	907	728	141	117		24	0		179	67		106	6		135			
	食料品	5	0	5	1	0	0		0			4	0		4			4			
	飲料・飼料	0		0								0			0			0			
	繊維	0	0	0								0			0			0			
	木材																				
	家具	0		0								0			0			0			
	パルプ・紙	0		0								0			0			0			
	印刷	0		0								0			0			0			
	化学	591	0	590	465	131	113		17			125	67		58	0		75			
	石油・石炭	0		0								0			0			0			
	プラスチック	0		0								0			0	0		0			
	ゴム	1	0	1								1			1	0		1			
	皮革																				
	窯業・土石	34	2	32	23	9	3		5	0		9	0		8			14			
	鉄鋼	21		21	11	1			1			10			5	5		11			
	非鉄金属	4	0	4								4			4	0		4			
	金属	3	1	2								2			2			2			
	はん用機器	1	0	0								0			0			0			
	生産用機器	3	1	2	1	0			0			1			1			1			
	業務用機器	0		0								0			0			0			
	電子部品	247	0	247	227	1	0		0			20			20			20			
	電気機器	0	0	0								0			0	0		0			
	情報通信機器	0		0								0			0			0			
	輸送機器	1		1								1			1			1			
	その他	1		1								1			1			1			
電気・水道業		258	0	258	183	10	1		10			74			74	0		84			
	電気業	75	0	75	0	0			0			74			74	0		74			
	上水道業	20		20	20	1	1					0			0	0		0			
	工業用水道業																				
	下水道業	163		163	163	10			10			0			0			10			
運輸業		1	0	1								1	0		1	0		1			
卸・小売業		5	0	4								4			4	0		4			
医療・福祉		2		2								2			2	0		2			
サービス業		4	0	4								4			4			4			
その他※		0	0	0								0			0	0		0			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-6 発生量及び処理・処分量（上越地域 業種別）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		委託処理量	委託処理量の内訳												再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
			委託直接最終処分量					委託中間処理量					委託中間処理後量				（処理主体の内訳）				
				（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理後の処理内訳）			事業者	自治体	処理業者		
				処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量						
		(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	全業種	522	11	11		8	3	510	509	1	442	68	459	451	8	747	19	0	0	19	0	758
	農業を除く	521	11	11		8	3	509	508	1	441	68	457	450	8	726	19	0	0	19	0	738
農業		1	0	0		0		1	1		1		1	1		21	0			0	0	21
鉱業		0						0	0		0	0	0	0	0	67	0			0		67
建設業		290	6	6		5	1	284	284	0	269	15	275	270	5	295	10	0	0	10	0	300
製造業		135	6	6		3	2	130	129	1	84	46	99	96	3	280	8		0	8		286
	食料品	4						4	3	1	4	1	1	1	0	1	0		0	0		1
	飲料・飼料	0						0	0		0		0	0		0						0
	繊維	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	木材																					
	家具	0						0	0	0	0		0	0	0	0	0		0			0
	パルプ・紙	0						0	0		0		0	0		0						0
	印刷	0						0	0		0		0	0		0						0
	化学	75	0	0		0	0	75	75		42	34	56	55	0	236	0		0	0		236
	石油・石炭	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	プラスチック	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	ゴム	1	0	0			0	1	1		0	1	1	1	0	1	0			0		1
	皮革																					
	窯業・土石	14	0	0		0		14	14		12	1	13	13	1	16	1			1		18
	鉄鋼	11	5	5		3	2	6	6		3	4	5	5	0	5	5			5		5
	非鉄金属	4	0	0		0	0	4	4		2	2	3	2	1	2	2			2		2
	金属	2						2	2		2	0	2	2	0	2	0			0		3
	はん用機器	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	生産用機器	1						1	1		1	0	1	0	0	0	0			0		2
	業務用機器	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	電子部品	20						20	20		16	4	15	15	0	15	0		0	0		15
	電気機器	0	0	0		0		0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	情報通信機器	0						0	0		0		0	0		0						0
	輸送機器	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
	その他	1						1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
電気・水道業		84	0	0		0	0	84	84	0	79	5	76	76	0	77	0			0		77
	電気業	74	0	0			0	74	74	0	74	0	74	74	0	74	0			0		74
	上水道業	0	0	0		0		0	0		0		0	0	0	1	0			0		1
	工業用水道業																					
	下水道業	10						10	10		5	5	2	2		2						2
運輸業		1	0	0		0		1	1		1	0	1	1	0	1	0			0		1
卸・小売業		4	0	0		0		4	4		3	1	3	3	0	3	0			0		3
医療・福祉		2	0	0		0		2	2		2	0	0	0	0	0	0			0		0
サービス業		4						4	4		3	1	3	3	0	3	0			0		3
その他※		0	0	0		0		0	0		0	0	0	0		0	0			0		0

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-7 発生量及び処理・処分量(佐渡地域 業種別)＜令和5年度＞ (その1)

(単位:千t/年)

区分 / 業種		発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量 (D)	自己中間処理後量 (E)	(自己中間処理後の処理内訳) 再生利用量 (E1)	自己最終処分量 (E2)	委託中間処理量 (E3)	委託直接最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	自己未処理量 (G)	(自己未処理の処理内訳) 再生利用量 (G1)	自己最終処分量 (G2)	委託中間処理量 (G3)	委託直接最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量 (I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳) 県内	県外
合計	全業種	90	1	89	17	12	11		2	0	0	71	5	0	65	1	0	68	0	0	
	農業を除く	75	1	73	7	5	4		1	0	0	67	1	0	65	1		67	0	0	
農業		15		15	10	7	6		1			4	4		0	0	0	1			
鉱業																					
建設業		64	1	63	7	5	4		1	0	0	57	1	0	55	1		57	0	0	
製造業		1	0	0	0	0	0		0			0			0			0			
	食料品	0		0	0	0			0			0			0			0			
	飲料・飼料	0		0								0			0			0			
	繊維																				
	木材	0		0								0			0			0			
	家具																				
	パルプ・紙																				
	印刷																				
	化学																				
	石油・石炭	0		0	0	0	0														
	プラスチック																				
	ゴム	0		0								0			0			0			
	皮革																				
	窯業・土石	0		0								0			0			0			
	鉄鋼																				
	非鉄金属																				
	金属																				
	はん用機器																				
	生産用機器	0		0								0			0			0			
	業務用機器																				
	電子部品	0	0	0								0			0			0			
	電気機器	0	0	0								0			0			0			
	情報通信機器																				
	輸送機器																				
	その他																				
電気・水道業		9		9								9			9			9			
	電気業	8		8								8			8			8			
	上水道業																				
	工業用水道業																				
	下水道業	1		1								1			1			1			
運輸業		0		0								0			0			0			
卸・小売業		1		1								1			1			1			
医療・福祉		0		0								0			0			0			
サービス業																					
その他※		0		0								0			0			0			

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

表4-7 発生量及び処理・処分量（佐渡地域 業種別）＜令和5年度＞ （その2）

（単位：千t/年）

区分 / 業種		委託処理量	委託処理量の内訳					委託中間処理量					委託中間処理後量			再生利用量	最終処分量				その他量	資源化量
			委託直接最終処分量											（処理後の処理内訳）				（処理主体の内訳）				
				（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			（処理主体の内訳）		（処理先地域の内訳）			再生利用量	最終処分量			事業者	自治体	処理業者		
				処理業者	自治体	県内	県外		処理業者	自治体	県内	県外										
		(K) (O+L)	(O)					(L)					(M)	(M1)	(M2)	(R) (E1+G1+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q1)	(Q2)	(Q3)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)
合計	全業種	68	1	1		1	0	67	67	0	64	3	59	57	1	73	2	0	0	2	0	74
	農業を除く	67	1	1		1	0	66	66	0	63	3	58	57	1	62	2	0	0	2	0	63
農業		1	0	0		0		1	1		1		1	1		11	0			0	0	11
鉱業																						
建設業		57	1	1		1	0	56	56	0	53	3	54	53	1	58	2	0	0	2	0	59
製造業		0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	食料品	0						0	0		0		0	0		0						0
	飲料・飼料	0						0	0		0		0	0		0						0
	繊維																					
	木材	0						0	0		0		0	0		0						0
	家具																					
	パルプ・紙																					
	印刷																					
	化学																					
	石油・石炭															0						0
	プラスチック																					
	ゴム	0						0	0		0		0	0		0						0
	皮革																					
	窯業・土石	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	鉄鋼																					
	非鉄金属																					
	金属																					
	はん用機器																					
	生産用機器	0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
	業務用機器																					
	電子部品	0						0	0		0	0	0	0	0	0	0			0		0
	電気機器	0						0	0		0		0	0		0						0
	情報通信機器																					
	輸送機器																					
	その他																					
電気・水道業		9						9	9		9	0	3	3	0	3	0			0		3
	電気業	8						8	8		8	0	3	3	0	3	0			0		3
	上水道業																					
	工業用水道業																					
	下水道業	1						1	1		1		0	0		0						0
運輸業		0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
卸・小売業		1						1	1	0	1		0	0	0	0	0		0	0		0
医療・福祉		0						0	0		0		0	0	0	0	0			0		0
サービス業																						
その他※		0						0	0		0		0	0		0						0

※ その他は、「漁業」、「情報通信業」、「物品賃貸業」、「学術・専門」及び「生活・娯楽業」の合計

【 調 査 票 】

資 循 第 １２７９ 号
令 和 ６ 年 ９ 月 ５ 日

調査対象事業者　各位

新潟県環境局資源循環推進課長

新潟県産業廃棄物実態等調査について（依頼）

本県の資源循環行政の推進につきましては、日ごろ格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、資源循環行政の基本方針として令和３年３月に策定した「第３次新潟県資源循環型社会推進計画」を令和７年度に改定する予定です。

この計画改定の基礎資料とするため、このたび、事業者の皆様に御協力をいただき、令和５年度を調査対象とした産業廃棄物の発生及び処理状況に関する実態調査を実施することといたしました。

つきましては、貴事業所を調査対象事業所とさせていただきました。御多用中のところ恐縮ですが、本調査の趣旨を御理解いただき、別添調査票に御記入のうえ、同封しました返信用封筒にて令和６年９月27日（金）までに御返送いただきますようお願い申し上げます。

なお、御回答いただきました内容は、統計数値として使用するものであり、会社や個人が特定されないように処理した上で使用します。

また、本調査は、応用技術株式会社に委託しておりますので、調査票の記入方法等に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

［委託調査機関・お問い合わせ先・調査票送付先］
応用技術株式会社　エンジニアリング本部　まちづくり計画部
〒530-0015　大阪府大阪市北区中崎西２－４－１２　梅田センタービル
電話：０１２０－９６７－７０８（専用）
受付時間：9：00～17：00（12：00～13：00、土日・祝日、年末年始を除く。）
ＦＡＸ：０６－６３７３－６１２６

［調査主体］
新潟県　環境局　資源循環推進課　産業廃棄物係
〒950-8570　新潟県新潟市中央区新光町４番地１
電話：０２５－２８０－５１６１

回答票の電子ファイル（エクセルファイル）を、以下の Web ページにアップロードしてあります。
調査票は、【建設業向け】と、【建設業以外の業種向け】の２種類あります。
また製造業の方には、プラスチック類等の資源循環に係るアンケートもございますので、該当する調査票の電子ファイルをダウンロードしてご利用ください。

URL：https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shigenjunkan/1356924545702.html

なお、回答票を電子メールにより提出される場合は、件名欄に以下の記入例を参考にして、宛名の下に記載しております調査票番号（７桁コード）をご記入ください。

件名（例）：「新潟県産業廃棄物実態調査の回答（15X9999）」　（調査票番号が 15X9999 の場合）
提出先　：　sanpai@apptec.co.jp

産 業 廃 棄 物 実 態 調 査 票

調査票番号

＜記入にあたって＞
- ●本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関してのみご記入ください。
  従って、他所に本・支社（店）、工場等があってもそれらは調査対象となりません。
- ●調査票の様式（EXCELデータ）は、下記アドレスよりダウンロードできますのでご活用ください。
  新潟県庁ホームページアドレス
  https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shigenjunkan/1356924545702.html
- ●ご提出いただいた記入内容についてお問い合わせする場合もありますので、調査票の控えをお取りいただくようお願いします。

1．事業所の概要について

貴事業所の概要についてお聞かせください。

事業所名				
所在地				
記入者	部署名			
	氏名		電話番号	
業種		※下記の業種から該当する番号を選んでご記入ください 06 総合工事業　07 職別工事業　08 設備工事業		
従業者数	令和6年3月31日時点の当該事業所の従業者数を記入 （パート等の臨時従業員、人材派遣要員及び役員等を含む）			人

2．元請工事について

貴事業所が新潟県内で元請として請け負った工事で、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）に完成した工事がありますか。

該当する番号を選択してください。	□ 1．あり	⟶ 裏面も含め、すべての設問にお答えください。
	□ 2．なし	⟶ 「4．令和5年度に発生した産業廃棄物の量について」以外の設問にお答えください。

3．事業活動量について

令和５年度における新潟県内での元請工事（出来高工事を含む）についてお聞かせください。

工事件数		件
元請完成工事高（消費税を含む）		万円

※ 共同企業体（J．V）による工事の場合

「分担施工方式」の場合…貴事業所の持ち分を記入してください。

「共同施工方式」の場合…貴事業所が代表会社の場合のみ、貴事業所が一括して記入してください。

4．令和５年度に発生した産業廃棄物の量について

※裏面に回答欄があります。

5．産業廃棄物等の将来動向について

① 発生量

貴事業所で発生する産業廃棄物等（有償で取引されている副産物も含む）の量について、令和5年度（2023年度）を100とした場合、将来予想される割合をご記入ください。

	令和5年度（2023年度）	令和7年度（2025年度）	令和12年度（2030年度）	令和17年度（2035年度）	令和22年度（2040年度）
発生量	100				

② 資源化量

貴事業所で発生した産業廃棄物のうち、資源化される量（産業廃棄物処分業者に資源化を委託しているものも含む）について、令和5年度（2023年度）を100とした場合、将来予想される割合をご記入ください。

	令和5年度（2023年度）	令和7年度（2025年度）	令和12年度（2030年度）	令和17年度（2035年度）	令和22年度（2040年度）
資源化量	100				

③ 最終処分量（埋立処分量）

貴事業所で発生した産業廃棄物のうち、最終処分される量（産業廃棄物処分業者に埋立を委託しているものも含む）について、令和5年度（2023年度）を100とした場合、将来予想される割合をご記入ください。

	令和5年度（2023年度）	令和7年度（2025年度）	令和12年度（2030年度）	令和17年度（2035年度）	令和22年度（2040年度）
最終処分量	100				

6．産業廃棄物の資源循環の取り組みと課題について

当県は、資源循環の貴社の取組や課題と考えていることなどを把握し、次期の「新潟県資源循環型社会推進計画」に反映したいと考えています。

Ⅰ 貴事業所が、資源循環（廃棄物）について、推進、取り組んでいることは何ですか。
選択肢の番号を記載してください。
（複数回答可。選択にない場合は、⑨その他に記載してください。）
現在取り組んでいること：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
今後取り組む予定のこと：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
①発生量の低減　②分別の徹底　③再生利用（自社）　④再生利用（処理業者への委託）
⑤熱回収（自社）　⑥熱回収（処理業者への委託）　⑦コンサルタントの活用
⑧社員教育・セミナーへの参加
⑨その他（具体例：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Ⅱ 上記の推進、取組で課題と感じていることを記入してください。（複数回答可）
回答：＿＿＿＿
①コスト　②技術　③人材　④情報　⑤法令　⑥その他（　　）

Ⅲ 資源循環/廃棄物について、貴事業所のご意見など自由に記載ください。

（　　）

※以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

4. 令和5年度に発生した産業廃棄物の量について

●別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。
●自社で発生した副産物（産業廃棄物、有価・無価引渡物）全てが対象となります。 再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。（別紙、「廃棄物分類表」に示した具体例を参考にしてください。）

②廃棄物の分類番号
別紙、「廃棄物分類表」をみて、該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。
※小数点以下は、四捨五入してください。

④自社での中間処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「④中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残さ量を記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。
※小数点以下は、四捨五入してください。

⑥処理・処分の方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の名称を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑦に該当する）等を行った処理・処分施設のある所在地を記入してください。

⑨委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分の方法」で「U1（中間処理を委託）」と回答された場合は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「⑨委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その番号を記入してください。

1．再生利用・リサイクルしている。
2．県内の処分場で埋立処分している。
3．県外の処分場で埋立処分している。
4．海洋投入している。

⑪資源化の用途
⑥の「処理・処分の方法」で、「V1，V2，W1，X1」又は前問⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

区分		自社で発生した廃棄物等の発生量				自社での中間処理				自社処分・自社再利用、委託処理			委託中間処理		自社・委託での資源化
	行番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量 百万 十万 万 千 百 十 一 単位		④方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑤中間処理後量 百万 十万 万 千 百 十 一 単位			⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途
記入欄					kg t m³ 袋				kg t m³ 袋			都道府県 市区町村			

④中間処理方法コード表

A：焼却	I：圧縮	O：コンクリート固型化
B：脱水	J：溶融	V：濃縮
C：天日乾燥	K：切断	W：油化
D：機械乾燥	L：焼成	
E：油水分離	M：堆肥化	Z：その他
F：中和		
G：破砕		
H：分級		

具体的に

⑥処理・処分方法コード表

＜自己処理＞
V1：自社で再利用した。
V2：売却できないものを自社で再利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

＜市町村・一部事務組合へ委託処理（ごみ収集を含む）＞
R1：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。
R5：市町村等が設置する焼却場へ搬入した。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
U1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
X1：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1：処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1：処理業者で直接海洋投入した。

＜その他＞
Z9：その他

具体的に

⑨委託中間処理方法コード表

A：焼却	I：圧縮	O：コンクリート固型化
B：脱水	J：溶融	T：金属（鉄）回収
C：天日乾燥	K：切断	U：非鉄金属回収
D：機械乾燥	L：焼成（セメント原材料）	V：濃縮
E：油水分離	M：堆肥化	W：油化
F：中和	（発酵）	Z：その他
G：破砕	N：銀回収	
H：分級		

具体的に

⑪資源化用途コード表

10：鉄鋼原料	70：ガラス原材料
20：非鉄金属等原材料	80：プラスチック原材料
30：燃料	81：再生タイヤ
31：木炭	90：セメント原材料
41：飼料	91：再生砕・再生溶剤
42：肥料・堆肥	92：中和剤
43：土壌改良材	93：高炉還元
50：土木・建設資材	98：その他
51：再生木材・合板	
60：パルプ・紙原材料	

10～93に該当するものがない場合、⑪の枠中に具体的な用途を直接記入してください。

＜調査票の記入要領・記入例＞

調査対象範囲

●この調査の対象工事は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）に完成した建設工事です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～⑪までの流れに従って記入してください。

調査対象とする工事と副産物

●この調査では、県内で施工した元請工事から発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）が記入の対象となります。

●廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「廃棄物分類表」を掲げてありますので参考にしてください。

発生量について

●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答えください。

○自社で焼却している場合、発生した廃棄物とは焼却前のものです。（記入例 C を参考にしてください）

木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○自社で脱水している場合の発生量とは脱水前のものです。（記入例 E を参考にしてください）

汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された１年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の量を把握していない場合は、下記の式より計算してください。

＜式＞：（脱水前の汚泥発生量）＝（脱水後の汚泥量）×（１００％－脱水後の含水率％）÷（１００％－脱水前の含水率％）

記入について

●記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物です。

●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入してください。

●処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考にして記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入してください。

④中間処理方法コード表

A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：破砕
H：分級
I：圧縮
J：溶融
K：切断
L：成形
M：堆肥化
O：ｺﾝｸﾘｰﾄ固型化
V：濃縮
W：油化
Z：その他

⑥処理・処分方法コード表

＜自己処理＞
V1：自社で再利用した。
V2：売却できないものを自社で再利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
U1：処理業者に中間処理（質適化・リサイクルを含む）を委託した。
X1：廃品回収（買源）業者、あるいは購入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1：処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1：処理業者で直接海洋投入した。

＜市町村・一部事務組合へ委託処理（ごみ収集を含む）＞
R1：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。
R5：市町村等が設置する焼却場へ搬入した。

＜その他＞
Z9：その他

⑨委託中間処理方法コード表

A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：破砕
H：分級
I：圧縮
J：溶融
K：切断
L：成形（セメント原材料）
M：堆肥化（発酵）
N：銅回収
O：ｺﾝｸﾘｰﾄ固型化
T：金属（鉄）回収
U：非鉄金属回収
V：濃縮
W：油化
Z：その他

⑩資源化用途コード表

10：鉄鋼原料
20：非鉄金属等原材料
30：燃料
31：木炭
41：飼料
42：肥料・堆肥
43：土壌改良材
50：土木・建設資材
51：再生木材・合板
60：パルプ・紙原材料
70：ガラス原材料
80：プラスチック原材料
81：再生タイヤ
90：セメント原材料
91：再生油・再生溶剤
92：中和剤
93：高炉還元
98：その他

※「９８その他」を選択した場合、()の枠中に具体的な用途を適用記入してください。

調査票の記入例

本紙の裏面の「廃棄物分類表」を参照してください。

上記「発生量について」の注意事項に注意してください。小数点以下は四捨五入してください。

該当する単位に、必ず○をつけてください。

容量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0（ゼロ）」を記入し、単位はkgに○を付けてください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

⑩処理後の処分方法
1．再生利用・リサイクルしている。
2．県内の処分場で埋立処分している。
3．県外の処分場で埋立処分している。
4．海洋投入している。

	区分 行番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量 百万 十万 万 千 百 十 一	単位	④方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑤中間処理後量 百万 十万 万 千 百 十 一	単位	⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑨方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑩処理後の処分方法	⑪資源化用途
記入例：A	1	鉄筋くず	1 2 1 0	9	kg t m³ ㎡ ㌧ ①			kg t m³ ㎡ ㌧ ①	W	1	(株)ハハ産業	都道府県 ○○ 市区町村		1	10
記入例：B	2	木くず	0 8 1 0	3 0	kg t m³ ㎡ ㌧ ①			kg t m³ ㎡ ㌧ ①	U	1	□□商店	都道府県 ○× 市区町村	G	1	30
記入例：C	3	紙くず	0 7 0 0	1 5 0	kg t m³ ㎡ ㌧ ②	A		1 0 kg t m³ ㎡ ㌧ ②	S	1	(株)×□	都道府県 ○△ 市区町村		2	
記入例：D	4	プラスチックくず	0 6 0 0	5	kg t m³ ㎡ ㌧ ①			kg t m³ ㎡ ㌧ ①	U	1	■▼(株)	都道府県 ×● 市区町村	1	1	30
記入例：E	5	ベントナイト汚泥	0 2 2 1	6 0 0	kg t m³ ㎡ ㌧ ①	B	1 0 0	kg t m³ ㎡ ㌧ ①	S	1	■■(株)	▼× 都道府県 ▲○ 市区町村		3	
記入例：F	6	コンクリートのがれき	1 5 1 0	1 2 0	kg t m³ ㎡ ㌧ ①			kg t m³ ㎡ ㌧ ①	U	1	△△(株)	都道府県 ×▽ 市区町村	G	1	50
記入例：G	7	石綿含有（非飛散性）のがれき	2 4 4 0	5 0	kg t m³ ㎡ ㌧ ①			kg t m³ ㎡ ㌧ ①	S	1	(株)○○	都道府県 □○ 市区町村		2	
入力欄	8														

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入してください。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入してください。

記入例：A

・工事現場から鉄筋くずが年間9ｔ発生したが、すべて、○○町の㈱ハハ産業に売却した。
・相手先では、鉄鋼材料として再生利用している。

記入例：B

・工事現場から建設木くずが年間に２ｔ車で30台分発生した。
・１台当たりの重量が1ｔ程度であるため、重量に換算すると、30ｔである。
・これは、○×市にある□□商店に料金を払って処理を委託した。
・相手先では、破砕チップ化し、燃料として再生利用している。

記入例：C

・工事現場から紙くずが年間15ｔ発生した。
・すべて自社の焼却炉で焼却した。
・その灰の量は年間で10kg程度であり、○△町にある㈱×□の処分場で埋立処分した。

記入例：D

・工事現場からプラスチックくずが年間5ｔ発生した。
・これは、×●市にある■▼㈱に中間処理を委託した。
・委託先では圧縮して固形燃料を製造している。

記入例：E

・工事現場からベントナイト汚泥が発生したが、すべて工事現場内で脱水した。
・脱水後の汚泥量は、100ｔ（含水率70%）であった。
・脱水前の量は、把握していないので正確でないが、脱水前の含水率が95%であるため計算すると600ｔとなる。
（100ｔ×(100－70)÷(100－95)－600ｔ）
・処理後の汚泥は、㈱□□に運搬を委託し、▼×県▲○市内に管理型処分地を保有する■■㈱で埋立処分した。

記入例：F

・工事現場からコンクリートのがれき等が10ｔダンプで12台分発生した。
・重量に換算すると120ｔ程度である。
・これは、×▽市に破砕プラントを保有する△△㈱に中間処理を委託した。
・△△㈱では破砕後、骨材として再生利用している。

記入例：G

・工事現場から石綿（非飛散性）が含まれたがれき等が50ｔ発生した。
・これは、石綿含有産業廃棄物の処理が認められた□○市にある安定型処分地保有する㈱○○で埋立処分した。

【廃棄物分類表】

（特別管理産業廃棄物でない）産業廃棄物の種類　（特別管理産業廃棄物は右下）

種類		分類番号	具体例
燃え殻	燃え殻	0110	燃料などの焼却灰(石炭殻、コークス灰、重油灰、木灰、炉清出物、クリンカなど) ≪注意!≫可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。
	廃活性炭・廃カーボン	0120	廃活性炭、廃カーボン
汚泥 (液状のもの)	有機性汚泥	0210	排水処理汚泥、製紙汚泥、活性汚泥(余剰汚泥)、ビルピット汚泥(し尿を含むものは除く)、染色廃水処理汚泥、クリーニング廃水処理汚泥(水洗を主とする場合)、イースト菌培養残さなど
	下水汚泥	0211	下水汚泥
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場廃水処理汚泥、窯業廃水処理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、金属さび粉体、廃ショットブラスト(さび落ししたものに限る)、廃サンドブラスト(塗料かすを含むものに限る)、酸処石こう、赤泥、ガラス研磨汚泥、金属研磨汚泥、道路側溝汚泥、洗車汚泥、廃白土、油水分離後の汚泥、廃顔料など
	建設汚泥(残土を除く)	0221	建設高含水率汚泥、ベントナイト汚泥
	上水汚泥	0222	上水汚泥
廃油	一般廃油	0310	
	鉱物性油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油、潤滑油、燃料など
	動植物性油	0312	魚油、鯨油、ヘット、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油など
廃溶剤		0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など
固形油		0330	アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、パステルなど
油でい		0340	油分の含有量が5%以上の汚泥(タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカムなど)
廃酸	廃酸	0400	塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、フッ化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄液、エッチング廃液、染色酸性廃液(漂白浸せき工程、染色工程)、クロメート廃液、硫酸ピッチ、ギ酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液など
廃アルカリ	廃アルカリ	0500	アルカリ性洗浄廃液、液洗びん用廃アルカリ、石灰廃液、廃灰汁、アルカリ性メッキ廃液、金属せっけん廃液、ドロマイト廃液、染色廃水(精錬工程、シルケット加工)、黒液(チップ蒸解廃液)、脱墨廃液(金属表面処理)、硬化ソーダ廃液など
廃プラスチック類	廃プラスチック	0600	合成樹脂建材、塗料かす(固形)、エナメルかす、ラッカーかす、廃ポリマー、廃ワニス(樹脂系のもの)、染料かす(樹脂系のもの)、接着剤かす、電熱皮膜材、フィルム、プラスチックタイル、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管など
	FRP	0601	繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃船など
	熱可塑性プラスチック	0602	ポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂など
	熱硬化性樹脂	0603	フェノール樹脂(ベークライト)、ユリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニン樹脂、ウレタン樹脂など
	発泡樹脂	0604	発泡スチロール、発泡ウレタン、発泡ポリエチレンなど
	合成ゴム	0605	パッキンくず、ライニングくず、図形ラテックスなど
	合成繊維	0606	ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維など
	廃タイヤ(大型)	0621	大型車・中型貨物車用廃タイヤ
	廃タイヤ(小型)	0622	普通車・軽自動車用廃タイヤ
紙くず		0700	紙くず、印刷くず、製本・裁断くず、段ボールなど
	建設工事の紙くず	0710	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた紙くず(壁紙、障子紙、紙袋など)
木くず		0800	廃木材、おがくず、パーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類など
	建設工事の木くず	0810	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた木くず(型枠、足場材、伐採材など)
	廃パレット	0820	貨物の運通のために使用したパレット(こん包用の木材を含む)
繊維くず		0900	羊毛、麻、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート混紡繊維(天然繊維が主体のもの) ≪注意!≫ナイロンなど合成繊維は「廃プラスチック類」に分類されます。
	建設工事の繊維くず	0910	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた繊維くず(畳、天然繊維のじゅうたん、カーテンなど)
動植物性残さ	動物性残さ	1001	魚・獣の骨、魚・獣の皮、内臓等のあら、皮革くず、ボイルかす、うらごしかす、缶詰め・瓶詰め不良品、乳製品精製残さ、卵から、貝殻、羽毛など
	植物性残さ	1002	ソースかす、醤油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす等の発酵・醸造かす、あめかす、糖かす、でんぷんかす、豆腐かす、あんかす、茶かす、米、麦粉、大豆かす、不良豆、果物の皮、種子、野菜くず、茶殻かす、油かす、パンくず、麺類くずなど
ゴムくず(天然ゴムくず)		1100	ゴムくず、エボナイトくず、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム板くずなど ≪注意!≫合成ゴムや廃タイヤは「廃プラスチック類」に分類されます。
金属くず	鉄くず	1210	鉄くず、スクラップ(主体が鉄製の場合)、切粉、ショットブラスト(金属のみがきに使用したものに限る)、トタンくず、空き缶(鉄製のもの)など
	非鉄金属くず	1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶、ブリキくず、鉛製の管または板、電線くずなど
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	1310	白熱電球、窓ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、カレット、ロックウール、岩綿吸音板など
	陶磁器くず	1320	セラミックくず、れんが、瓦、土管、陶管、タイル、陶器など
	石膏ボード	1330	石膏ボードくず
	コンクリート製品くず(がれき類を除く)	1340	コンクリート製品くず、コンクリートがら、コンクリート塊、残コン、生コンクリート、戻りコンクリート、製品不良品、セメント瓦くず、セメント製品くず、ALC(軽量気泡コンクリート)など

（特別管理産業廃棄物でない）産業廃棄物の種類　（特別管理産業廃棄物は下）

種類		分類番号	具体例
鉱さい	鋳物砂	1410	鋳物砂、サンドブラスト廃砂など
	炉さい	1420	高炉水さい、高炉の残さ、平炉の残さ、転炉の残さ、電気炉の残さ、キューポラのノロ、ドロス、スラグなど
	鉱さい類	1430	不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石くずなど
がれき類 (工作物の除去に伴って生じた物に限る)	コンクリート片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	廃アスファルト	1520	アスファルトコンクリートの破片
	その他の建設資材	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、解体工事に伴うれんが、スレート、タイル、断熱材など
建設混合廃棄物		2000	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
安定型混合廃棄物		2100	安定型品目(廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類)のみで混合されたもの
管理型混合廃棄物		2200	安定型品目以外のものが含まれる混合廃棄物
ばいじん		1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダスト、煙道・煙突に付着堆積したすす
シュレッダーダスト		2300	廃自動車破砕物、廃電気機械器具破砕物
石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	2410	非飛散性アスベストが含まれている建設混合廃棄物
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2420	非飛散性アスベストが含まれているガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
	廃プラスチック類	2430	非飛散性アスベストが含まれている廃プラスチック類
	がれき類	2440	非飛散性アスベストが含まれている、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、がれき類
	紙くず	2450	非飛散性アスベストが含まれている紙くず
	木くず	2460	非飛散性アスベストが含まれている木くず
	繊維くず	2470	非飛散性アスベストが含まれている繊維くず
水銀使用製品産業廃棄物		2501	水銀電池、水銀体温計、蛍光灯、HIDランプ、水銀の製剤等
水銀含有ばいじん等		2502	ばいじん、燃え殻、汚泥、鉱さいのうち、水銀を15mg/kgを超えて含有するもの、もしくは廃酸、廃アルカリのうち、水銀を15mg/Lを超えて含有するもの。(特別管理産業廃棄物に該当しないもの)
その他	廃自動車	3000	業務用に使用したバス・トラック・農用車などの廃自動車、廃二輪車など
	廃電気機械器具(家電リサイクル以外)	3100	家電リサイクル法の対象機器(エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫)を除く廃電機機械器具(プリント配線板、電子レンジ、パソコン、電話機など)
	廃電池類	3500	自動車・機械類のバッテリー、鉛蓄電池、乾電池など
動物系固形不要物		4000	と畜場から生ずる獣畜に係る固形状の不要物、食鳥処理場から生ずる食鳥に係る固形状の不要物

特別管理産業廃棄物の種類

種類		分類番号	具体例
引火性廃油		7000	燃えやすい廃油(ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど)
引火性廃油(有害)		7010	燃えやすい廃油であって基準値を超える有害物質を含むもの
強酸		7100	pH2.0以下の廃酸(強酸)
強酸(有害)		7110	pH2.0以下の廃酸(強酸)であって基準値を超える有害物質を含むもの
強アルカリ		7200	pH12.5以上の廃アルカリ(強アルカリ)
強アルカリ(有害)		7210	pH12.5以上の廃アルカリ(強アルカリ)であって基準値を超える有害物質を含むもの
感染性廃棄物		7300	医療機関等において生じた、感染性病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物であって汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等であるもの(血液、血液製剤、血液等が付着した手術用手袋、使用済みの注射器・注射針、メス、実験・検査に使用した培地、脱脂綿など)
特定有害産業廃棄物		7400	≪注意!≫廃PCB等、PCB汚染物は、本調査では対象外です。
	廃石綿(アスベスト)等	7421	吹き付け石綿、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
	有害物質を含む鉱さい	7423	基準値を超える有害物質を含む鉱さい
	有害物質を含む燃え殻	7424	基準値を超える有害物質を含む燃え殻
	有害物質を含む廃油	7425	基準値を超える有害物質を含む廃油(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを含む廃油など)
	有害物質を含む汚泥	7426	基準値を超える有害物質を含む汚泥(指定下水汚泥、ドライクリーニング汚泥など)
	有害物質を含む廃酸	7427	基準値を超える有害物質を含む廃酸
	有害物質を含む廃アルカリ	7428	基準値を超える有害物質を含む廃アルカリ
	有害物質を含むばいじん	7429	基準値を超える有害物質を含むばいじん
	廃水銀等	7430	特定施設において生じた廃水銀又は廃水銀化合物(水銀使用製品に封入されたものを除く)等または、水銀が含まれている物(一般廃棄物を除く。)または、水銀使用製品が産業廃棄物になったものから回収した廃水銀

建設業以外

産 業 廃 棄 物 実 態 調 査 票

調査票番号

＜記入にあたって＞
- ●本調査は事業所単位で行いますので、調査票が送付された事業所に関してのみご記入ください。
  従って、他所に本・支社（店）、工場等があってもそれらは調査対象となりません。
- ●調査票の様式（EXCELデータ）は、下記アドレスよりダウンロードできますのでご活用ください。
  新潟県庁ホームページアドレス
  https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shigenjunkan/1356924545702.html
- ●ご提出いただいた記入内容についてお問い合わせする場合もありますので、調査票の控えをお取りいただくようお願いします。

1．事業所の概要について

貴事業所の概要についてお聞かせください。

事業所名				
所在地				
記入者	部署名			
	氏名		電話番号	
事業内容	（具体的に）			
事業所の形態	※貴事業所の形態に該当する番号を選択してください □ 1. 工場・作業所・鉱業所　□ 2. 開発・研究所のみ　□ 3. 事務所・店舗のみ □ 4. 医療機関　□ 5. その他			
従業者数	令和6年3月31日時点の当該事業所の従業者数を記入してください（パート等の臨時従業員、役員等を含む）			人

2．産業廃棄物発生の有無

令和５年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の１年間に、産業廃棄物は発生しましたか。

該当する番号を選択してください。	□ 1. 発生した ⟶ 裏面も含め、すべての設問にお答えください。
	□ 2. 発生しなかった ⟶ 「4. 令和5年度に発生した産業廃棄物の量について」以外の設問にお答えください。

3．事業活動量

令和５年度における事業活動量についてお聞かせください。

【製造業の方のみ記入】 令和5年度の製造品出荷額等		万円/年
【鉱業の方のみ記入】 令和5年度の年間採取量		㎥
【医療機関の方のみ記入】 令和6年3月31日現在の病床数		床

4．令和５年度に発生した産業廃棄物の量について

※裏面に回答欄があります。

5．産業廃棄物等の将来動向について

① 発生量

貴事業所で発生する産業廃棄物等（有償で取引されている副産物も含む）の量について、令和5年度（2023年度）を100とした場合、将来予想される割合をご記入ください。

	令和5年度（2023年度）	令和7年度（2025年度）	令和12年度（2030年度）	令和17年度（2035年度）	令和22年度（2040年度）
発生量	100				

② 資源化量

貴事業所で発生した産業廃棄物のうち、資源化される量（産業廃棄物処分業者に資源化を委託しているものも含む）について、令和5年度（2023年度）を100とした場合、将来予想される割合をご記入ください。

	令和5年度（2023年度）	令和7年度（2025年度）	令和12年度（2030年度）	令和17年度（2035年度）	令和22年度（2040年度）
資源化量	100				

③ 最終処分量（埋立処分量）

貴事業所で発生した産業廃棄物のうち、最終処分される量（産業廃棄物処分業者に埋立を委託しているものも含む）について、令和5年度（2023年度）を100とした場合、将来予想される割合をご記入ください。

	令和5年度（2023年度）	令和7年度（2025年度）	令和12年度（2030年度）	令和17年度（2035年度）	令和22年度（2040年度）
最終処分量	100				

6．産業廃棄物の資源循環の取り組みと課題について

当県は、資源循環の貴社の取組や課題と考えていることなどを把握し、次期の「新潟県資源循環型社会推進計画」に反映したいと考えています。

Ⅰ貴事業所が、資源循環（廃棄物）について、推進、取り組んでいることは何ですか。
選択肢の番号を記載してください。
（複数回答可。選択にない場合は、⑨その他に記載してください。）

現在取り組んでいること：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
今後取り組む予定のこと：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

①発生量の低減　②分別の徹底　③再生利用（自社）　④再生利用（処理業者への委託）
⑤熱回収（自社）　⑥熱回収（処理業者への委託）　⑦コンサルタントの活用
⑧社員教育・セミナーへの参加
⑨その他（具体例：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

Ⅱ 上記の推進、取組で課題と感じていることを記入してください。（複数回答可）

回答：＿＿＿＿＿＿＿＿

①コスト　②技術　③人材　④情報　⑤法令　⑥その他（　　）

Ⅲ 資源循環/廃棄物について、貴事業所のご意見など自由に記載ください。

＜製造業の事業者様へ＞
製造業に対し、国は再生プラスチックの利用を義務化する方針を検討しています。
プラスチック類の利用状況や資源循環の課題について、別紙アンケートについても記入ください。

※以上で質問は終了です。ご協力ありがとうございました。

4. 令和5年度に発生した産業廃棄物の量について

●別紙、「調査票の記入要領・記入例」、「廃棄物分類表」を参考に記入してください。
●自社で発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）全てが対象となります。 再生利用、売却をしている場合も記入してください。

①事業所で発生した廃棄物の名称
貴事業所で日常使用している名称で記入してください。（別紙、「廃棄物分類表」に示した具体例を参照）

②廃棄物の分類番号
別紙、「廃棄物分類表」をみて該当する4ケタの番号を記入してください。

③年間の発生量（中間処理する前の量）
各行ごとに1年間の発生量を、焼却や脱水などの中間処理をする前の量で記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。
※小数点以下は、四捨五入してください。

④自社での中間処理方法
自社で中間処理された場合は、該当する処理方法の記号を下欄の「中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑤中間処理後の量
中間処理後の残さ量を記入してください。なお、単位は該当するものを選び、○で囲んでください。
※小数点以下は、四捨五入してください。

⑥処理・処分の方法
発生（自社で中間処理した場合は、中間処理後の廃棄物）した廃棄物の処理・処分方法を下欄の「処理・処分方法コード表」から選んで、その記号を記入してください。

⑦処理・処分先又は再生利用先の名称
処理・処分（⑥に該当する）等を行った先の名称を記入してください。

⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地
処理・処分（⑦に該当する）等を行った処理・処分施設のある所在地を記入してください。

⑨委託中間処理の方法
⑥の「処理・処分の方法」で「U1（中間処理を委託）」と回答された場合は、委託先で中間処理された内容に該当する処理方法の番号を下欄の「委託中間処理方法コード表」から選んで、中間処理の過程順に記入してください。

⑩委託中間処理後の再生利用・処分の方法
委託先で中間処理された後の廃棄物の処理方法に該当する番号を下記から選んで、その番号を記入してください。

1．再生利用・リサイクルしている。
2．県内の処分場で埋立処分している。
3．県外の処分場で埋立処分している。
4．海洋投入している。

⑪資源化の用途
⑥の「処理・処分の方法」で、「V1，V2，W1，X1」又は前問⑩で「1」と回答された場合、下欄の「資源化用途コード表」から該当する番号を記入してください。

区分	行番	自社で発生した廃棄物等の発生量 ①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量 百万 十万 万 千 百 十 一	単位	自社での中間処理 ④方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑤中間処理後量 百万 十万 万 千 百 十 一	単位	自社処分・自社再利用、委託処理 ⑥処理・処分の方法	⑦処理・処分先又は再生利用先の名称	⑧処理・処分先又は再生利用先の所在地	委託中間処理 ⑨方法番号 1次処理 2次処理 3次処理	⑩処理後の処分方法	自社・委託での資源化 ⑪資源化用途
記入欄					kg t m³ 缶			kg t m³ 缶			都道府県 市区町村			

④中間処理方法コード表

A：焼却　I：圧縮　O：コンクリート固型化
B：脱水　J：溶融　V：濃縮
C：天日乾燥　K：切断　W：希化
D：機械乾燥　L：焼成
E：油水分離　M：堆肥化　Z：その他
F：中和
G：破砕
H：分級

具体的に

⑥処理・処分方法コード表

＜自己処理＞
V1：自社で再利用した。
V2：売却できないものを自社で再利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

＜市町村・一部事務組合へ委託処理（ごみ収集を含む）＞
R1：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。
R5：市町村等が設置する焼却場へ搬入した。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
U1：処理業者に中間処理（資源化・リサイクルを含む）を委託した。
X1：廃品回収（資源）業者、あるいは納入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1：処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1：処理業者で直接海洋投入した。

＜その他＞
Z9：その他

具体的に

⑨委託中間処理方法コード表

A：焼却　I：圧縮　O：コンクリート固型化
B：脱水　J：溶融　T：金属（鉄）回収
C：天日乾燥　K：切断　U：非鉄金属回収
D：機械乾燥　L：焼成　V：濃縮
E：油水分離　（セメント原材料）　W：油化
F：中和　M：堆肥化
G：破砕　（発酵）　Z：その他
H：分級　N：銀回収

具体的に

⑪資源化用途コード表

10：鉄鋼原料　70：ガラス原材料
20：非鉄金属等原材料　80：プラスチック原材料
30：燃料　81：再生タイヤ
31：木炭　90：セメント原材料
41：飼料　91：再生油・再生溶剤
42：肥料・堆肥　92：中和剤
43：土壌改良材　93：高炉還元
50：土木・建設資材　98：その他
51：再生木材・合板
60：パルプ・紙原材料

10～93に該当するものがない場合、⑪の枠中に具体的な用途を直接記入してください。

＜調査票の記入要領・記入例＞

調査対象期間

●この調査の対象期間は、令和5年度（令和5年4月1日～令和6年3月31日）の1年間です。この期間中の廃棄物の発生と処理・処分の状況を質問①～⑩までの流れに従って記入してください。

調査対象とする事業所と廃棄物

●この調査では、調査票が送付された事業所内で発生した副産物（産業廃棄物、有償・無償引渡物）だけが記入の対象となります。
●廃棄物がどのように分類されているかを示すために、裏面に「廃棄物分類表」を掲げてありますので参考にしてください。
●有償物につきましても、「廃棄物分類表」を参考にご記入下さい。

発生量について

●発生した廃棄物の「名称」と「数量」の回答欄には、「焼却」、「脱水」等の処理を行う前の「名称」と「数量」をお答えください。

○自社で焼却している場合、発生した廃棄物とは焼却前のものです。（記入例 D を参考にしてください）
木くず、紙くず、廃プラスチック等を焼却している場合の「③年間発生量」は、焼却前の量です。従って「①廃棄物の名称」、「②分類番号」は、燃やす前の名称とその分類番号となります。なお、焼却後の灰の量が「⑤中間処理後量」となります。

○自社で脱水している場合の発生量とは脱水前のものです。（記入例 E を参考にしてください）
汚泥の発生量は、脱水、乾燥等の中間処理を行う前の量であり、脱水機等に投入された１年間の量が「③年間発生量」となります。なお、脱水前の量を把握していない場合は、下記の式より計算してください。

＜式＞：（脱水前の汚泥発生量）＝（脱水後の汚泥量）×（１００％－脱水後の含水率％）÷（１００％－脱水前の含水率％）

●ただし、以下のものについては、中間処理後のものを発生量としてお答え下さい。
○廃酸、廃アルカリを公共水域（河川、公共下水道等）へ放流するために中和処理した場合。 → 中和処理後の「汚泥」を発生量とします。
○含油排水を油水分離した場合。 → 油水分離後の「廃油」と「油でい」等を個別に（それぞれ１行ずつ）発生量とします。

記入について

●記入対象は、事業活動によって発生する産業廃棄物、有償あるいは無償で引渡している副産物です。
●同じ種類の廃棄物でも中間処理方法や処分方法、委託処理先等が異なる場合は、質問①の欄から行を分けて記入してください。
●処理業者へ処理・処分を委託している場合は、マニフェスト伝票等を参考にして記入してください。不明な点は、具体的な内容を処理業者に確認したうえで記入してください。

④中間処理方法コード表
A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：破砕
H：分級
I：圧縮
J：溶融
K：切断
L：成形
M：堆肥化
O：コンクリート固型化
V：濃縮
W：希化
Z：その他

⑥処理・処分方法コード表
＜自己処理＞
V1：自社で再利用した。
V2：売却できないものを自社で再利用した。
W1：売却（利益があった）した。
Z1：自社で保管している。
Q1：自社の処分場で埋立処分した。

＜産業廃棄物処理業者等へ委託処理＞
U1：処理業者に中間処理（減溶化・リサイクルを含む）を委託した。
X1：廃品回収（買取）業者、あるいは購入業者、関連企業等で再生処理をした。
S1：処理業者の処分場で直接埋立処分した。
T1：処理業者で直接海洋投入した。

＜市町村・一部事務組合へ委託処理（ごみ収集を含む）＞
R1：市町村等が設置する埋立処分場へ搬入した。
R5：市町村等が設置する焼却場へ搬入した。

＜その他＞
Z9：その他

⑨委託中間処理方法コード表
A：焼却
B：脱水
C：天日乾燥
D：機械乾燥
E：油水分離
F：中和
G：破砕
H：分級
I：圧縮
J：溶融
K：切断
L：成形（セメント原材料）
M：堆肥化（乳酸）
N：凝固吸
O：コンクリート固型化
T：金属（鉄）回収
U：非鉄金属回収
V：濃縮
W：希化
Z：その他

⑩資源化用途コード表
１０．建設資材
２０．非鉄金属等原材料
３０．燃料
３１．木質
４１．肥料
４２．肥料・堆肥
４３．土壌改良材
５０．土木・建設資材
５１．再生木材・合板
６０．パルプ・紙原材料
７０．ガラス原材料
８０．プラスチック原材料
８１．再生タイヤ
９０．セメント原材料
９１．再生油・再生溶剤
９２．中和剤
９３．吸着還元
９８．その他
※「９８その他」を選択した場合、⑩の欄中に具体的な用途を直接記入してください。

調査票の記入例

本紙の裏面の「廃棄物分類表」を参照してください。

上記「発生量について」の注意事項に注意してください。
小数点以下は四捨五入してください。

該当する単位に、必ず○をつけてください。

数量又は液状廃棄物を焼却し、焼却灰が1kg未満の場合は、「0（ゼロ）」を記入し、単位はkgに○を付けてください。

廃棄物を委託している場合で、委託後の具体的な処理・処分を把握していない場合は、委託先へ確認して記入してください。また、不定期の回収業者等で、住所などの詳細が不明な場合は、わかる範囲で記入してください。

⑩処理後の処分方法
1．再生利用・リサイクルしている
2．自社の処分場で埋立処分している。
3．自社の処分場で埋立処分している。
4．海洋投入している。

	区分 行番	①廃棄物の名称	②分類番号	③年間発生量	④方法番号 1次処理	2次処理	3次処理	⑤中間処理後量	⑥処理・処分先又は再生利用先の名称	⑦処理・処分先又は再生利用先の所在地	⑧方法番号 1次処理	2次処理	3次処理	⑨処理後の処分方法	⑩資源化用途
記入例：A	1	鉄板くず	1210	12 t					W 1 (株)□□	都道府県 ○○ 市区町村				1	10
記入例：B	2	機械油	0311	1,080 kg					U 1 ××商店	都道府県 ▼× ○× 市区町村	E			1	30
記入例：C	3	廃タイヤ	0621	400 kg					X 1 ■■タイヤ販売	都道府県 ○△ 市区町村				1	81
記入例：D	4	木くず	0800	10 t	A			5 t	S 1 (株)×▼	都道府県 ×● 市区町村					
記入例：E	5	排水処理汚泥	0220	50 t	B	D		10 t	U 1 □×(株)	都道府県 ○× ▲○ 市区町村	L			1	90
記入例：F	6	感染性廃棄物	7300	1,200 kg					U 1 △△産業	都道府県 ×▽ 市区町村	A			3	
	7			kg t m³				kg t m³		都道府県 市区町村					
欄	8			kg t m³				kg t m³							

ここでは、中間処理、再生利用や最終処分した先の名称を記入してください。委託した廃棄物が中間処理後に最終処分されている場合は、中間処理業者の名称を記入してください。

記入例：A
・鉄板の加工の際に鉄板くずが年間12ｔ発生した。
・これは、○○市にある鋼□□に売却した。
・相手先では鉄鋼材料として利用している。

記入例：B
・月平均で一斗缶５本ぐらいの機械油が発生した。
・重量換算すると年間に1,080kgである。
・これは、▼×県○×市の再生業者××商店に処理を有料で依頼した。
・相手先では、油水分離後、燃料として利用している。

記入例：C
・年間に廃タイヤが400kg発生した。
・これは、納入業者である○△町の■■タイヤ販売に渡した。
・■■タイヤ販売では再生タイヤとして利用している。

記入例：D
・木くずが年間10ｔ発生した。
・自社の焼却炉で全て焼却した。
・焼却灰は500kg程度で、これは、×●市に処分場を保有する(株)×▼で直接埋立処分した。

記入例：E
・排水処理汚泥が発生した。
・自社の施設で脱水→乾燥を行い、乾燥後の残さが10ｔ（含水率85％）であった。
・脱水前の量は、把握していないので正確ではないが、脱水前の含水率が97％であるため計算すると、50ｔ程度となる。
・処理後の汚泥は、○×県▲○市にある□×(株)のセメント製造工場で処理をした。委託先では、セメント原料として再生利用している。

※計算式10ｔ×（100％－85％）÷（100％－97％）＝50ｔ

記入例：F
・感染性廃棄物が年間1,200リットル発生した。
・院内では処理せず××市に処理施設を保有する△△産業に委託し、焼却処理してもらった。
・焼却後は県外の最終処分場に埋め立てているとの事である。

【廃棄物分類表】

（特別管理産業廃棄物でない）産業廃棄物の種類　（特別管理産業廃棄物は右下）

種類		分類番号	具体例
燃え殻	焼却灰	0110	燃料などの焼却灰（石炭殻、コークス灰、重油灰、木灰、炉掃出物、クリンカなど） ≪注意!≫可燃ごみなどを自社で焼却処理した場合、「燃え殻」ではなく、焼却する前の廃棄物の種類で記入してください。
	廃活性炭・廃カーボン	0120	廃活性炭、廃カーボン
汚泥（泥状のもの）	有機性汚泥	0210	排水処理汚泥、製紙汚泥、活性汚泥（余剰汚泥）、ピルピット汚泥（し尿を含むものは除く）、染色廃水処理汚泥、クリーニング廃水処理汚泥（水洗を主とする場合）、イースト菌培養残さなど
	下水汚泥	0211	下水汚泥
	無機性汚泥	0220	めっき汚泥、金属表面処理汚泥、研磨汚泥、砂利洗浄汚泥、セメント工場廃水処理汚泥、窯業廃水処理汚泥、水酸化アルミ汚泥、イオン交換樹脂再生廃液処理汚泥、金属さび粉体、廃ショットブラスト（さび落ししたものに限る）、廃サンドブラスト（塗料かすを含むものに限る）、脱硫石こう、赤泥、ガラス研磨汚泥、金属研磨汚泥、道路側溝汚泥、洗車汚泥、廃白土、油水分離後の汚泥、廃顔料など
	建設汚泥（残土を除く）	0221	建設発生水準汚泥、ベントナイト汚泥
	上水汚泥	0222	上水汚泥
廃油	一般廃油	0310	
	鉱物性油	0311	エンジンオイル、機械油、グリス、切削油、絶縁油、圧延油、作動油、重油、原油、潤滑油、燃料など
	動植物性油	0312	魚油、鯨油、ヘット、ラード、天ぷら油、サラダ油、アマニ油、桐油、ゴマ油、なたね油、やし油、大豆油、とうもろこし油など
	廃溶剤	0320	アルコール類、ケトン、洗浄油など
固形物		0330	アスファルト、タールピッチ類、パラフィンろう、固形石けん、固形脂肪酸、クレヨン、パステルなど
油でい		0340	油分の含有量が5%以上の汚泥（タンクスラッジ、オイルスラッジ、オイルトラップ汚泥、油性スカムなど）
廃酸	廃酸	0400	塩酸、硫酸、フッ酸、クロム酸、リン酸、フッ化水素酸、過塩素酸、スルファミン酸、ケイフッ酸、酸性洗浄液、エッチング廃液、染色酸性廃液（漂白漫せき工程、染色工程）、クロメート廃液、硫酸ピッチ、ギ酸、酢酸、シュウ酸、酒石酸、クエン酸、アルコール発酵廃液、アミノ酸発酵廃液など
廃アルカリ	廃アルカリ	0500	アルカリ性洗浄廃液、液洗びん用廃アルカリ、石灰廃液、廃灰汁、アルカリ性メッキ廃液、金属せっけん廃液、ドロマイト廃液、染色廃水（精錬工程、シルケット加工）、黒液（チップ蒸解廃液）、脱墨廃液（金属表面処理）、硬化ソーダ廃液など
廃プラスチック類	廃プラスチック	0600	合成樹脂建材、塗料かす（固形）、エナメルかす、ラッカーかす、廃ポリマー、廃ゴム（脱脂系のもの）、染料かす（脱脂系のもの）、複雑剤かす、電熱皮膜材、フィルム、プラスチックタイル、ビニールシート、ビニール袋、塩ビ管など
	FRP	0601	繊維強化プラスチック、ガラス繊維強化プラスチック、FRP廃船など
	熱可塑性プラスチック	0602	ポリ：チレン樹脂、ポリスチレン樹脂、ポリプロピレン樹脂など
	熱硬化性樹脂	0603	フェノール樹脂（ベークライト）、ユリア樹脂、エポキシ樹脂、メラニン樹脂、ウレタン樹脂など
	発泡樹脂	0604	発泡スチロール、発泡ウレタン、発泡ポリエチレンなど
	合成ゴム	0605	パッキンくず、ライニングくず、固形ラテックスなど
	合成繊維	0606	ナイロン繊維、ポリエステル繊維、アクリル繊維、混紡繊維、化繊ロープ、化学繊維など
	廃タイヤ（大型）	0621	大型車・中型貨物車用廃タイヤ
	廃タイヤ（小型）	0622	普通車・軽自動車用廃タイヤ
紙くず		0700	紙くず、印刷くず、製本・紙断くず、段ボールなど
	建設工事の紙くず	0710	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた紙くず（壁紙、障子紙、紙袋など）
木くず		0800	流木材、おがくず、バーク類、竹、ベニヤ、ベニヤボード類など
	建設工事の木くず	0810	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた木くず（型枠、足場材、梱包材など）
	パレット	0820	荷物の流通のために使用したパレット（こん包用の木材を含む）
繊維くず		0900	羊毛、綿、麻、絹、麻等の天然繊維、レーヨン、アセテート紡績繊維（天然繊維が主体のもの） ≪注意!≫合成繊維は「廃プラスチック類」に分類されます。
	建設工事の繊維くず	0910	工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた繊維くず（畳、じゅうたん、カーテンなど）
動植物性残さ	動物性残さ	1001	魚・獣の骨、魚・獣の皮、内臓等のあら、皮革くず、ボイルかす、うらごしかす、缶詰め・瓶詰め不良品、乳製品精製残さ、卵から、貝殻、羽毛など
	植物性残さ	1002	ソースかす、醤油かす、こうじかす、酒かす、ビールかす等の発酵・醸造かす、あめかす、糊かす、でんぷんかす、豆腐かす、あんかす、茶かす、米、麦粉、大豆かす、不良豆、果物の皮、種子、野菜くず、茶葉かす、油かす、パンくず、原料くずなど
ゴムくず（天然ゴムくず）		1100	ゴムくず、エボナイトくず、ゴム手袋、ゴムチューブ、ゴム板くずなど ≪注意!≫合成ゴムや廃タイヤは「廃プラスチック類」に分類されます。
金属くず	鉄くず	1210	鉄くず、スクラップ（主体が鉄製の場合）、切粉、ショットブラスト（金属のみがきに使用したものに限る）、トタンくず、空き缶（鉄製のもの）など
	非鉄金属くず	1220	銅線、銅くず、アルミくず、アルミ缶、ブリキくず、鉛製の弦または塊、電線くずなど
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず	1310	白熱電球、家ガラス、びん類、グラスウール、ガラス食器、光学レンズ、クリスタルガラス、理化学用ガラス器具、カレット、ロックウール、岩綿吸音板など
	陶磁器くず	1320	セラミックくず、れんが、瓦、土管、瀬戸、タイル、陶器など
	石膏ボード	1330	石膏ボードくず
	コンクリート製品くず（がれき類を除く）	1340	コンクリート製品くず、コンクリートがら、コンクリート塊、残コン、生コンクリート、戻りコンクリート、製品不良品、セメント瓦くず、セメント製品くず、ALC（軽量気泡コンクリート）など

（特別管理産業廃棄物でない）産業廃棄物の種類　（特別管理産業廃棄物は下）

種類		分類番号	具体例
鉱さい	廃砂	1410	鋳物砂、サンドブラスト廃砂など
	鉱さい	1420	高炉水さい、高炉の残さ、平炉の残さ、転炉の残さ、電気炉の残さ、キューポラのノロ、ドロス、カラミなど
	鉱さい類	1430	不良鉱石、ボタ、粉炭かす、鉱じん、破石くずなど
がれき類（工作物の除去に伴って生じた物に限る）	コンクリート片	1510	コンクリート破片、コンクリートブロック破片
	廃アスファルト	1520	アスファルトコンクリートの破片
	その他の建設廃材	1530	鉄道用線路の砂利、骨材、石材、れんが、スレート、タイル、断熱材など
汚泥混合廃棄物		2000	工事現場内及び自社にて分別を行わなかったものや分別不可能なもの
安定型混合廃棄物		2100	安定型品目（廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類）のみで混合されたもの
管理型混合廃棄物		2200	安定型品目以外のものが含まれる混合廃棄物
ばいじん		1800	電気集じん器捕集ダスト、集じん器捕集ダスト、煙道・煙突に付着堆積したすす
シュレッダーダスト		2300	廃自動車破砕物、廃電気機械器具破砕物
石綿含有産業廃棄物	建設混合廃棄物	2410	非飛散性アスベストが含まれている建設混合廃棄物
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2420	非飛散性アスベストが含まれているガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
	廃プラスチック類	2430	非飛散性アスベストが含まれている廃プラスチック類
	がれき類	2440	非飛散性アスベストが含まれている、コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片、がれき類
	紙くず	2450	非飛散性アスベストが含まれている紙くず
	木くず	2460	非飛散性アスベストが含まれている木くず
	繊維くず	2470	非飛散性アスベストが含まれている繊維くず
水銀使用製品産業廃棄物		2501	水銀電池、水銀体温計、蛍光灯、HIDランプ、水銀の製剤等
水銀含有ばいじん等		2502	ばいじん、燃え殻、汚泥、鉱さいのうち、水銀を15mg/kgを超えて含有するもの、もしくは廃酸、廃アルカリのうち、水銀を15mg/Lを超えて含有するもの。（特別管理産業廃棄物に該当しないもの）
その他	廃自動車	3000	災害用に使用したバス・トラック・乗用車などの廃自動車、廃二輪車など
	廃電気機械器具（家電リサイクル以外）	3100	家電リサイクル法の対象機器（エアコン、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫）を除く廃電機機械器具（プリント配線板、電子レンジ、パソコン、電話機など）
	廃電池類	3500	自動車・機械類のバッテリー、鉛蓄電池、乾電池など
動物系固形不要物		4000	と畜場から生ずる獣畜に係る固形状の不要物、食鳥処理場から生ずる食鳥に係る固形状の不要物

特別管理産業廃棄物の種類

種類		分類番号	具体例
引火性廃油		7000	燃えやすい廃油（ガソリン、灯油、軽油、シンナー、トルエン、キシレン、エーテルなど）
引火性廃油（有害）		7010	燃えやすい廃油であって基準値を超える有害物質を含むもの
強酸		7100	pH2.0以下の廃酸（強酸）
強酸（有害）		7110	pH2.0以下の廃酸（強酸）であって基準値を超える有害物質を含むもの
強アルカリ		7200	pH12.5以上の廃アルカリ（強アルカリ）
強アルカリ（有害）		7210	pH12.5以下の廃アルカリ（強アルカリ）であって基準値を超える有害物質を含むもの
感染性廃棄物		7300	医療機関等において生じた、感染性病原体が含まれ、若しくは付着している廃棄物又はこれらのおそれのある廃棄物であって汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等であるもの（血液、血液製剤、血液等が付着した手術用手袋、使用済みの注射器・注射針、メス、実験・検査に使用した培地、脱脂綿など）
特定有害産業廃棄物		7400	≪注意！≫廃PCB等、PCB汚染物は、本調査では対象外です。
	廃石綿（アスベスト）等	7421	吹き付け石綿、石綿含有保温材、大気汚染防止法の特定粉じん発生施設を有する事業場の集じん装置で集められた飛散性の石綿など
	有害物質を含む鉱さい	7423	基準値を超える有害物質を含む鉱さい
	有害物質を含む燃え殻	7424	基準値を超える有害物質を含む燃え殻
	有害物質を含む廃油	7425	基準値を超える有害物質を含む廃油（トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンを含む廃油など）
	有害物質を含む汚泥	7426	基準値を超える有害物質を含む汚泥（指定下水汚泥、ドライクリーニング汚泥など）
	有害物質を含む廃酸	7427	基準値を超える有害物質を含む廃酸
	有害物質を含む廃アルカリ	7428	基準値を超える有害物質を含む廃アルカリ
	有害物質を含むばいじん	7429	基準値を超える有害物質を含むばいじん
	廃水銀等	7430	特定施設において生じた廃水銀又は廃水銀化合物（水銀使用製品に封入されたものを除く）等または、水銀が含まれている物（一般廃棄物を除く。）または、水銀使用製品が産業廃棄物になったものから回収した廃水銀

別紙

資源循環の意識調査（製造業）

I　製品/製造プロセスで使用されているプラスチックの資源循環について

① 貴社の製品/製造プロセスで使用されているプラスチックの種類、その用途例について記載ください。（複数回答可）。

□製品に使用　（用途例：　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS □その他（　　）　□不明

□包装・梱包に使用（用途例：梱包用材料　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS □その他（　　）　□不明

□燃料に使用　　（用途例：　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS □その他（　　）　□不明

□設備の維持管理に使用（用途例：　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS □その他（　　）　□不明

□その他（　　）

□使用していない

② プラスチック資源循環のため、どのような取組を行っていますか。
（複数回答可）

□　再生プラスチックの使用（※③以降に関連の質問があります）
□　プラスチック使用量の削減　　□　製品の分解・分別の容易化
□　包装の簡易化　　□　単一素材化（使用する材質を統一など）
□　廃棄時の分別の徹底　　□　代替素材を使用（プラ→金属など）
□　その他（　　）

※差し支えなければ、具体の取組を教えてください。
（　　）

③ ②で「再生プラスチックの使用」と回答された事業者にお聞きします。

A 再生プラスチックの用途と種類

用途１（　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS　□その他（　　）　使用割合＿＿%
用途２（　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS　□その他（　　）　使用割合＿＿%
用途３（　　）
　□PET　□PP　□PE　□PS　□その他（　　）　使用割合＿＿%

B 使用時に課題となったこと

□コスト　□強度、不純物などの品質面　□安定供給　□調達先の情報
□助成・補助金　□納品先の理解・要請　□法規制　□使用企業へのイメージ向上
□その他（　　）

C　再生プラスチックを使用するきっかけ（複数回答可）

□コスト　□品質面　□取引先の要望　□法改正への対応　□脱炭素
□企業イメージの向上　□その他（　　）

④ ②で「再生プラスチックの使用」を選択されなかった事業者にお聞きします。
再生プラスチックを今後利用する予定はありますか。
□あり（□１年以内　□５年以内　□それ以降もしくは時期未定）
□なし　□わからない

⑤ 貴社で使用しているプラスチックを「再生プラスチック」へ置き換えるには何が課題だと考えていますか。（複数回答可）。
□コスト　□強度、不純物などの品質面　□安定供給　□調達先の情報
□助成・補助金　□納品先の理解・要請　□法規制　□使用企業へのイメージ向上
□その他（　　）
□特になし

⑥ 再生プラスチックの利用促進に関し、課題や意見がありましたら、記載ください。

例）○○であれば、再生プラスチックを採用してみたい。 △△なので、利用に至っていない。

II　製造／製造プロセスでの資源循環について（プラスチック以外）

① 資源循環の取組を行っている（取り組みたい）ことは何ですか（プラスチックに係る取組は除きます）。
（複数回答可）
□ 材料の低減（減容化や軽量化など）
□ 材料の種類の低減（単一素材化）
□ 再資源化しやすい製品設計（分別が容易な製品など）
□ 再生材料（代替素材）の利用
（素材の種類：　　）
□ 包装の簡易化
□ 製品の回収と再利用（リユースやリサイクル）
□ 廃棄時の分別の徹底
□ 特になし
□ その他（　　）
※具体の取組を教えてください。
（　　）

② ①の取組の課題・障壁となっていることを記載してください。（複数回答可）
□コスト　□強度、不純物などの品質面　□再生材等の安定供給　□法規制
□取引先の理解・要請　□再生材料の情報　□処分先（業者）の情報
□助成・補助金の情報□その他（　　）
□特になし
※具体の事例があれば教えてください。
（　　）

③　取引先（顧客）から、貴社の製品/製造プロセスの資源循環の推進について要望されたことはありますか。

□ある

要望の内容：□脱炭素化　□再生材の使用　□製品の回収・再利用

□その他（　　）

□ない

Ⅲ　事業で発生する廃棄物について

貴社の製品/製造プロセスで発生する廃棄物処理の委託先（処分業者）に対して要望はありますか。以下から最大３つまで選択してください。

□処理時の脱炭素化　□再生利用の推進　□法令遵守　□情報提供・公開

□処理品目の拡大　□その他（　　）

※具体の要望があれば記載してください。

（例：自社で排出される●●について、県内に処分先がない）

ありがとうございました。